元総社蒼海遺跡群（1）

前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

２００６・３

前橋市埋蔵文化財発掘調査団

元総社蒼海遺跡群（１）

前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

２００６・３

前橋市埋蔵文化財発掘調査団

２トレンチ全景　国分尼寺・榛名方面を望む（南西から）

２トレンチＨ－11号住居　カマド袖補強材検出状況（西から）

２トレンチ出土の律令期以前の土器

４トレンチＷ－３号溝検出状況

はじめに

前橋市の北にそびえる赤城山は、往古から人々とかかわりが深く、親しまれ愛される逍遥の山であります。その悠々と裾野を広げる台地を中心として、岩宿遺跡で知られるように旧石器時代から開けてきた地域で、いたるところで旧石器時代や縄文時代の遺跡が発見されています。

古代において前橋台地を中心に、800余りの古墳が築造されました。東国古墳文化の中心地として栄え、今でも９基もの国史跡指定となる古墳が存在します。

続く律令制の時代に入ると、総社古墳群から連綿と続く山王廃寺、上野国分僧寺、上野国分尼寺、上野国府など「クニ」の中枢施設が次々に造られ、政治・宗教・学問の中心として繁栄いたしました。

中世になると、戦国武将の長尾氏、上杉氏、武田氏、北条氏が鎬をけずった地として知られ、近世においては、譜代大名の酒井氏、松平氏が居城した関東七名城の一つに数えられる厩橋城が築かれました。

近代では、横浜港が開港されると、輸出の花形商品として生糸をもって一番乗りしたのが、前橋の糸商人でした。前橋は、藩をあげて蚕糸に力を注ぎ、我が国初の製糸の機械化に取り組みました。生糸によって、横浜と前橋が結ばれまさに「シルクロード」として文化交流が始まりました。このように本市は、歴史溢れる豊かなまちです。

本報告書に掲載いたしました元総社蒼海遺跡群の発掘調査は区画整理事業に伴うものですが、上野国府を解明する重要な目的があります。調査により、国府と推定される元総社町から群馬町の国分寺一帯まで集落が存在することが判明いたしました。これらは今後、分析が進めば、「国府のマチ」として解釈されるものと期待されます。

発掘調査にあたりましては、ご協力をいただきました元総社地区の皆さま、市区画整理第二課、調査に従事されました皆さまに厚く御礼申し上げます。

なお、本報告書が斯学の発展に少しでも寄与できれば幸いに存じます。

平成18年３月

前橋市埋蔵文化財発掘調査団
団　長　　根　岸　　雅

例　　言

1．本報告書は、前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う元総社遺跡群（１）発掘調査報告書である。

2．調査主体は、前橋市埋蔵文化財発掘調査団である。

3．発掘調査の要項は次のとおりである。

調　査　場　所	群馬県前橋市元総社町1743番地１ほか
発掘調査期間	平成17年５月16日～平成17年12月19日
整理・報告書作成期間	平成17年12月20日～平成18年３月23日
発掘・整理担当者	梅澤克典・井上　登（発掘調査係員）

4．本書の原稿執筆・編集は梅澤・井上が行った。

5．発掘調査・整理作業にかかわった方々は次のとおりである。

石原義夫・岩木　操・大澤俊夫・岸フクエ・斉藤亀寿・白石　晃・須田博治・髙澤京子・角田　愷・渡木秋子・中澤光江・平林しのぶ・星野和子・湯浅たま江・湯浅道子

6．発掘調査で出土した遺物は、当発掘調査団より前橋市教育委員会に保管を依頼し、前橋市教育委員会文化財保護課で保管されている。

凡　　例

1．挿図中に使用した北は、座標北である。

2．挿図に建設省国土地理院発行の１/200,000地形図（宇都宮、長野）、１/25,000地形図（前橋）、１/2,500前橋市現形図を使用した。

3．遺跡の略称は、次のとおりである。・元総社蒼海遺跡群（１）：17A130－１～４

4．遺構及び遺構施設の略称は、次のとおりである。

Ｈ…古墳・奈良・平安時代の竪穴住居跡　　Ｂ…堀立柱住居　　Ｗ…溝跡　　Ａ…硬化面　　Ｄ…土坑

Ｐ…ピット・貯蔵穴（住居内Ｐ５を貯蔵穴とした。）

5．遺構・遺物の実測図の縮尺は、原則的に次のとおりである。その他、各図スケールを参照されたい。

遺構　　住居跡・溝跡・土坑・ピット…１/60　　竈断面図…１/30

　　全体図…１/200

遺物　　土器•鉄製品…１/1、１/３、１/４　石器•石製品…１/１、１/３、２/３、１/４、１/５　瓦…１/５

6．計測値については、（　　）は現存値、［　　］は復元値を表す。

7．スクリーントーンの使用は、次のとおりである。

遺構平面図　　焼　土…　　粘土…

遺構断面図　　構　築　面…

遺物実測図　　須恵器断面…　　炭化物（煤付着など）…

　　灰釉・緑釉陶器断面…　　灰釉陶器内面…　　粘土付着…

8．主な火山降下物等の略称と年代は次のとおりである。

As-B　（浅間Ｂ軽石：供給火山・浅間山、1108年）

Hr-FP　（榛名二ッ岳伊香保テフラ：供給火山・榛名山、６世紀中葉）

Hr-FA　（榛名二ッ岳渋川テフラ：供給火山・榛名山、６世紀初頭）

As-C　（浅間Ｃ軽石：供給火山・浅間山、４世紀前半～中葉）

目　　次

はじめに……i
Ⅰ 調査に至る経緯……1
Ⅱ 遺跡の位置と環境
1 遺跡の立地……1
2 歴史的環境……1
Ⅲ 調査の方針と経過
1 調査方針……7
2 調査経過……7
Ⅳ 基本層序……8
Ⅴ 遺構と遺物
1 1トレンチの遺構と遺物
(1) 竪穴住居跡……9
(2) 掘立柱建物跡……9
(3) 溝跡・硬化面……10
(4) 土坑……10
(5) グリッド等出土遺物……10
2 2トレンチの遺構と遺物
(1) 竪穴住居跡……10
(2) 掘立柱建物跡……15
(3) 溝跡・硬化面……15
(4) 土坑・ピット……16
(5) グリッド等出土遺物……16
3 3トレンチの遺構と遺物
(1) 竪穴住居跡……17
(2) 溝跡……17
(3) 土坑……17
(4) グリッド等出土遺物……17
4 4トレンチの遺構と遺物
(1) 竪穴住居跡……18
(2) 溝跡……18
(3) グリッド等出土遺物……18
Ⅵ まとめ
1 竪穴住居について……29
2 古代の溝について……30
3 蒼海城堀跡について……31
引用参考文献……32

挿　　図

Fig. 1　元総社蒼海遺跡群位置図
2　周辺遺跡図
3　元総社蒼海遺跡群（1）位置図とグリッド設定図
4　元総社蒼海遺跡群（1）基本層序
5　元総社蒼海遺跡群（1）1・3トレンチ全体図
6　元総社蒼海遺跡群（1）2・4トレンチ全体図
7　1トレンチ　H－1号住居・B－1号掘立柱建物・D－1、3～5号土坑
8　1トレンチ　W－1、2号溝・A－1、2号硬化面
9　2トレンチ　H－2、3号住居
10　2トレンチ　H－4～6、8号住居
11　2トレンチ　H－7号住居
12　2トレンチ　H－10、11号住居
13　2トレンチ　H－11号住居カマド
14　2トレンチ　H－12～14、16、25号住居
15　2トレンチ　H－17～21号住居
16　2トレンチ　H－22～24、27号住居
17　2トレンチ　H－26、29、31号住居
18　2トレンチ　H－31号住居カマド
19　2トレンチ　H－28号住居
20　2トレンチ　H－32、33号住居
21　2トレンチ　H－34号住居・B－1号掘立柱建物・W－1、3、4号溝
22　2トレンチ　W－2号溝
23　2トレンチ　W－5～8、10号溝
24　2トレンチ　W－9号溝・A－1、2号硬化面・D－1～3、5号土坑
25　2トレンチ　D－6、7、9～16号土坑・P－1～10
26　2トレンチ　P－11～18　3トレンチH－1号住居
27　3トレンチH－2号住居・W－1～3号溝・D－1号土坑
28　4トレンチH－1、2号住居・W－1、2号溝
29　4トレンチW－3号溝
30　1トレンチ出土の土器・瓦・鉄器および2トレンチH－2号住居出土の土器
31　2トレンチH－3、5～6号住居出土の土器
32　2トレンチH－6～8、10号住居出土の土器
33　2トレンチH－10、11号住居出土の土器
34　2トレンチH－11～14、16～22号住居出土の土器
35　2トレンチH－23～25、28、29号住居出土の土器
36　2トレンチH－31～33号住居出土の土器
37　2トレンチH－34号住居・B－1号掘立柱建物・溝・土坑・遺構外出土の土器およびH－3、7号住居出土の瓦
38　2トレンチH－7号住居出土の瓦
39　2トレンチH－7号住居出土の瓦
40　2トレンチH－7号住居出土の瓦
41　2トレンチH－7号住居出土の瓦
42　2トレンチH－8、10、18号住居出土の瓦
43　2トレンチH－11、16、17、32号住居・D－6号土坑出土の瓦
44　2トレンチ出土の石製品・鉄器・特殊遺物および3トレンチH－1、2号住居出土の土器
45　3トレンチ遺構外出土の土器・鉄器および4トレンチ出土の土器・鉄器

図　　版

口絵1　2トレンチ全景国分尼寺・榛名方面を望む（南西から）
2　2トレンチH－11号住居カマド袖補強材検出状況（西から）
3　2トレンチ出土の律令期以前の土器
4　4トレンチW－3号溝検出状況
PL. 1　1トレンチ／全景、H－1号住居、B－1号掘立柱建物、W－1号溝
2　1トレンチ／W－2号溝、A－1・2号硬化面、D－1・3・4・5号土坑
3　2トレンチ／北区・南区全景
4　2トレンチ／H－2・3・4・5・6・7・13・

15・18号住居
5　2トレンチ／H－7・8・10・11号住居
6　2トレンチ／H－11・12・14・16・17・18号住居
7　2トレンチ／H－19～27号住居全景
8　2トレンチ／H－28・29・31・32号住居
9　2トレンチ／H－33・34号住居、B－1掘立柱建物、W－1～4号溝
10　2トレンチ／W－5～10号溝、D－5・12・14号土坑
11　3トレンチ／北区・南区全景
12　3トレンチ／H－1・2号住居、W－1～3号溝、D－1号土坑
13　4トレンチ／全景、W－1・2・3号溝
14　4トレンチ／H－1・2号住居、W－1・2・3号溝
15　1トレンチ／H－1号住居出土の土器、A－1・2号硬化面および調査区出土の瓦、2トレンチ／H－1～3・5号住居出土の土器
16　2トレンチ／H－5～7号住居出土の土器
17　2トレンチ／H－7・8・10・11号住居出土の土器
18　2トレンチ／H－11・12・16・17・18・19・21号住居出土の土器
19　2トレンチ／H－21～23・25・28・29号住居出土の土器
20　2トレンチ／H－31～34号住居出土の土器
21　2トレンチ／H－34号住居、B－1号掘立柱建物、W－2・5・6号溝、A－2号硬化面および調査区出土の土器、H－3・7号住居出土の瓦
22　2トレンチ／H－7号住居出土の瓦
23　2トレンチ／H－7号住居出土の瓦
24　2トレンチ／H－8・10・17・18・32号住居、D－6号土坑出土の瓦
25　2トレンチ／H－11・16・17・18号住居、D－6号土坑出土の瓦、2トレンチ出土の特殊遺物、石製品、鉄器
26　3トレンチ／H－1・2号住居、調査区出土遺物、4トレンチ／H－1・2号住居、W－1号溝出土遺物

表

Tab. 1　元総社蒼海遺跡群周辺遺跡概要一覧表
2　1トレンチ／竪穴住居跡・掘立柱建物跡計測表
3　1トレンチ／溝跡・硬化面計測表
4　1トレンチ／土坑計測表
5　2トレンチ／竪穴住居跡・掘立柱建物跡計測表
6　2トレンチ／住居カマド計測表
7　2トレンチ／溝跡・硬化面計測表
8　2トレンチ／土坑・ピット計測表
9　3トレンチ／竪穴住居跡計測表
10　3トレンチ／住居カマド計測表
11　3トレンチ／溝跡計測表
12　3トレンチ／土坑計測表
13　4トレンチ／竪穴住居跡計測表
14　4トレンチ／住居カマド計測表
15　4トレンチ／溝跡計測表
16　1トレンチ／土器観察表
17　1トレンチ／瓦観察表
18　1トレンチ／鉄器観察表
19　2トレンチ／土器観察表
20　2トレンチ／瓦観察表
21　2トレンチ／石製品観察表
22　2トレンチ／鉄器観察表
23　2トレンチ／特殊遺物観察表
24　3トレンチ／土器観察表
25　3トレンチ／鉄器観察表
26　4トレンチ／土器観察表
27　4トレンチ／鉄器観察表

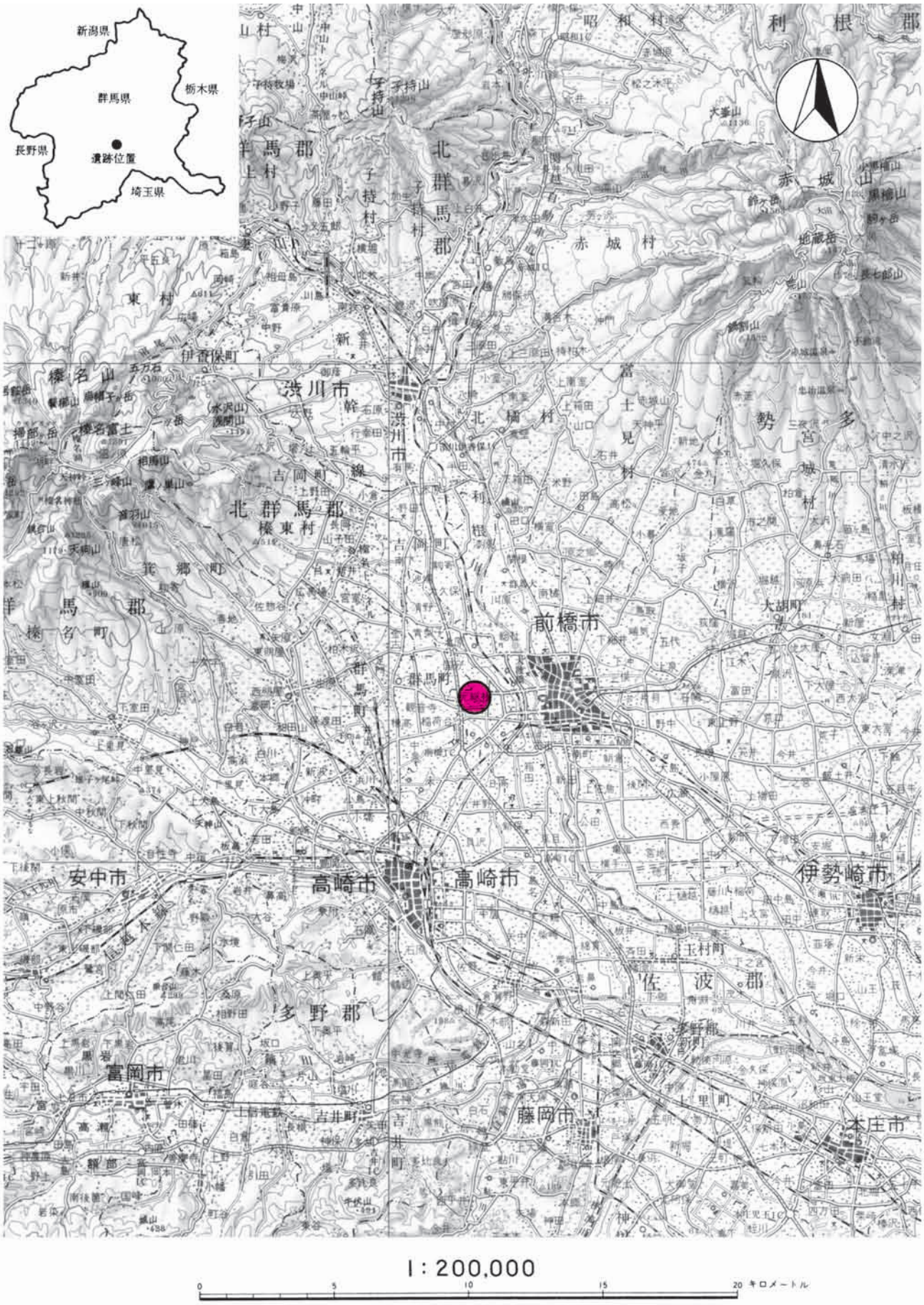


Fig. 1　元総社蒼海遺跡群位置図

Ⅰ　調査に至る経緯

本発掘調査は、前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴い実施され、6年目にあたる。本調査地は、周辺で埋蔵文化財調査が長年に渡って行われていることから、遺跡地であることが確認されている。

平成17年4月13日付けで、前橋市長　高　木　政　夫より前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査の依頼が前橋市教育委員会に提出された。前橋市教育委員会ではこれを受け、内部組織である前橋市埋蔵文化財発掘調査団　団長　根岸　雅に対し、調査実施を協議し、調査団はこれを受諾した。平成17年4月28日、調査依頼者である前橋市長　高　木　政　夫と前橋市埋蔵文化財発掘調査団　団長　根岸　雅との間で、本発掘調査の委託契約を締結し、5月16日に現地での発掘調査を開始するに至った。

なお、遺跡名称「元総社蒼海遺跡群（1）」（遺跡コード：17A130－1～4）の「元総社蒼海遺跡群」は区画整理事業名を採用し、数字の「（1）」は過年に実施した調査と区別するために付したものである。

Ⅱ　遺跡の位置と環境

1　遺跡の立地

前橋市は、利根川が赤城・榛名の両火山の裾合を経て関東平野を望むところに位置し、地形・地質の特徴から、北東部の赤城火山斜面、南西部の前橋台地利根川右岸、南部から南西部にかけての前橋台地利根川左岸、東部の広瀬川低地帯の4つの地域に分けられる。

本遺跡の立地する前橋台地は、約24,000年前の浅間山爆発によって引き起こされた火山泥流堆積物とそれを被覆するローム層（水成）から成り立っている。台地の東部は広瀬川低地帯と直線的な崖で画されていて、台地の中央には現利根川が貫流している。現在の利根川の流路は中世以降のもので、旧利根川は現在の広瀬川流域と推定される。台地の西部には榛名山麓の相馬ヶ原扇状地が広がり、榛名山を源とする中小河川が利根川に向かって流下し、台地面を刻んで細長い微高地を作り上げている。総社・元総社付近の染谷川や牛池川は、微高地との比高3m～5mを測り、段丘崖上は高燥な台地で、桑畑を主とした畑地として利用されてきた。

本遺跡は、前橋市街地から利根川を隔て、西へ約3㎞の地点、前橋市元総社町地内に所在している。南東へ約1㎞の所に上野国総社神社があり、すぐ西には関越自動車道が南北に走っている。さらに、遺跡地の南側には国道17号、主要地方道前橋・群馬・高崎線が東西に走り、東側には市道大友・石倉線が南北に走り、これらの幹線道路を中心にオフィスビルや大規模小売店が進出している。本遺跡はこれらの幹線道路から奥に入ったところに位置し、周囲には田畑が多い住宅地という静かで落ち着いた環境である。

2　歴史的環境

本遺跡地周辺には、古墳時代後期から終末までの上野地域と中央政権との関連をうかがわせる総社古墳群と山王廃寺、古代の中心地であった上野国府、さらに、中世には長尾氏により国府の堀割りを利用し築かれたとされる蒼海城があり、歴史的環境に優れている。周辺の埋蔵文化財発掘調査によって、これまで連綿と続いてきた歴史を物語る多くの新しい知見が集積されている。

縄文時代の遺跡としては、前期・中期の集落跡が検出された産業道路東・西遺跡や上野国分僧寺・尼寺中間地

域が筆頭に挙げられ、縄文文化を考える上で重要な資料といえる。

弥生時代の調査例は少ない。当時の稲作の様子を示す水田・集落跡等が検出された日高遺跡、後期住居跡が検出された上野国分僧寺・尼寺中間地域や桜ヶ丘遺跡、下東西遺跡等に散見するだけである。

古墳時代の遺跡としては、まず本遺跡のおもに北に広がる総社古墳群が挙げられる。総社古墳群を代表するものには、前方後円墳である遠見山古墳、川原石を用いた積石塚である王山古墳、前方部と後円部にそれぞれ石室をもつ二段に築造された前方後円墳の総社二子山古墳、横穴式石室をもつ方墳の愛宕山古墳、県内終末期と考えられ仏教文化の影響を強く受けた方墳の宝塔山古墳・蛇穴山古墳がある。また、宝塔山古墳の南西500mには白鳳期の建立と考えられる山王廃寺跡（放光寺）がある。さらにこの寺の塔心礎や石製鴟尾、根巻石等の石造物群は、宝塔山古墳の石棺や蛇穴山古墳の石室と同系統の石造技術を駆使して加工されている。これらのことから、この寺は上野地域を治めていた「上毛野氏」の氏寺であり、この古墳群には「上毛野氏」一族が葬られているとも考えられている。これらから、この地が「車評」の中心地として、仏教文化が古墳文化と併存しながら機能していた様子が窺える。

奈良・平安時代に至ると、上野国府、国分僧寺、国分尼寺の建設と相まって、本地域は古代の政治的・経済的・文化的中心地としての様相を呈してくる。律令期における国司の政治活動の拠点で地方を統治する機能をもつ国府は、元総社地区に置かれたとされる。

国府に関連する遺跡には、県下最大級の掘立柱建物跡が検出された元総社小学校校庭遺跡や、「國厨」・「曹司」・「国」・「邑厨」等と書かれた墨書土器や人形が出土した元総社寺田遺跡、律令期の掘立柱建物跡と考えられる柱穴が検出された元総社宅地遺跡がある。また、国府域の推定を可能にした大規模な東西方向の溝跡が検出された閑泉樋遺跡と南北方向の溝跡が検出された元総社明神遺跡の調査成果により、国府域の東外郭線が想定されるに至った。さらに近年では、元総社小見内Ⅲ遺跡や元総社小見内Ⅳ遺跡から、国分尼寺の東南隅から国府の中心部に向かうと思われる溝跡が検出されたり、官人の用いたと考えられる円面硯、巡方（腰帯具）も出土し、国府について考えるうえで貴重な資料となっている。

国分僧寺は大正15年に国指定史跡となり、昭和40年代からは部分的ながら調査が進められるようになった。本格的な発掘調査は昭和55年12月から始まり、主要伽藍の礎石、築垣、堀等が確認されている。さらに国分尼寺の調査では、昭和44・45年に推定中軸線上のトレンチ調査が行われ伽藍配置が推定できるようになった。さらに平成12年に前橋市埋蔵文化財発掘調査団で南辺の寺域確認調査を行い、東南隅と西南隅の築垣、それと平行する溝跡や道路状遺構が確認された。国分僧寺・尼寺周辺では、関越自動車道建設に伴う発掘調査が行われ、上野国分僧寺・尼寺中間地域では、当時の大規模な集落跡や掘立柱建物跡群が検出されている。

また、群馬町の調査等により、本遺跡から約1.5㎞南の地点にN－64°－E方向の東山道（国府ルート）があることが推定されている。また、推定日高道は、日高遺跡で検出された幅約4.5mの道路状遺構を国府方面へ延長したものである。これらは、当時の交通網を物語る重要な遺構である。

中世に至り、永享元年(1429)、上野国守護代の長尾氏によって古代国府跡に築かれた蒼海城は城郭としての機能を有し県内でも最古級に位置づけられる。しかも、県下最初の城下町を形成したと考えられている。蒼海城の縄張りは国府と関係が深く、現在の本地域の主要道路はこの縄張りに沿って作られていると推測される。

このように歴史的に重要な役割を果たしてきた総社・元総社地区であるが、その中でも上野国府が所在したと推定される元総社地区は注目される地域の一つである。元総社蒼海土地区画整理事業に伴い、平成11年より継続的に本地域の発掘調査が行われていく。これにより、手つかず状態であった本地域の全容が明らかになっていくであろう。今後、この調査の進捗によって、上野国府や蒼海城が解明されていくことを期待する。

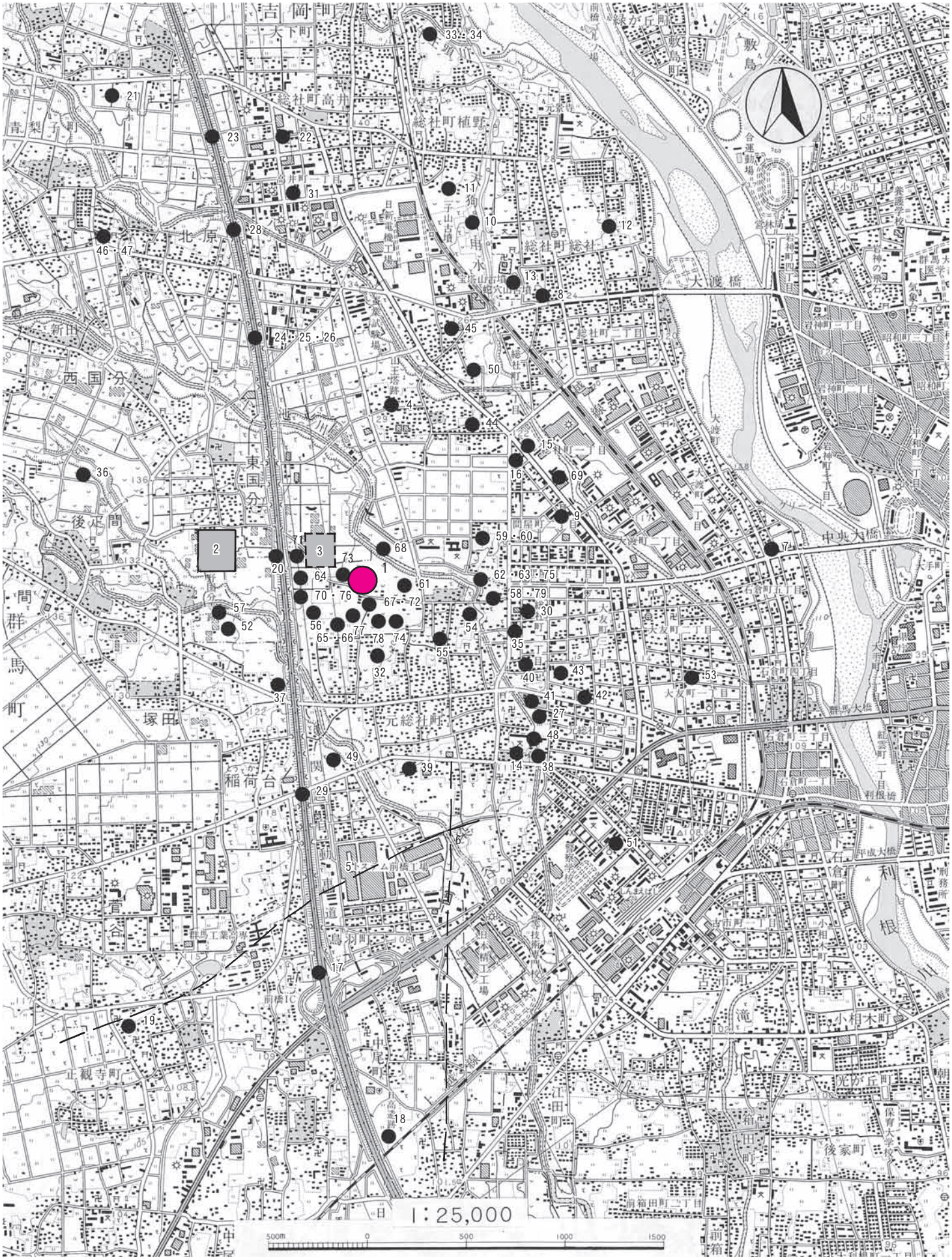

1:25,000
500m
0
500
1000
1500
大渡橋
中央大橋
群馬大橋
利根橋
平成大橋
敷島
総社町植野
総社町高井
総社町総社
総社町一丁目
元総社町
大友町
石倉町
東国分
西国分
後疋間
塚田
稲荷台
北原
新田
青梨子町
吉岡町
大下町
岩神町
昭和町
利根
後家町
小相木町
正観寺町
中尾町
江田町
箱田町
前箱田町
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24・25・26
27
28
29
30
31
32
33・34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46・47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58・79
59・60
61
62・63・75
64
65・66
67・72
68
69
70・76
71
73
74
77
78

Fig. 2　周辺遺跡図

Tab. 1　元総社蒼海遺跡群周辺遺跡概要一覧表

番号	遺　跡　名	調査年度	時代：主な遺構・出土遺物
1	元総社蒼海遺跡群（１）	2005	本遺跡
2	上野国分寺跡（県教委）	1980～88	奈良：金堂基壇・塔基壇
3	上野国分尼寺跡	(1999)	奈良：西南隅・東南隅築垣
4	山王廃寺跡	(1974)	古墳：塔心礎・根巻石
5	東山道（推定）		
6	日高道（推定）		
7	王山古墳	1972	古墳：前方後円墳（６Ｃ中）
8	蛇穴山古墳	1975	古墳：方墳（８Ｃ初）
9	稲荷山古墳	1988	古墳：円墳（６Ｃ後半）
10	愛宕山古墳	1996	古墳：円墳（７Ｃ初）
11	総社二子山古墳	未調査	古墳：前方後円墳（６Ｃ末～７Ｃ初）
12	遠見山古墳	未調査	古墳：前方後円墳（５Ｃ後半）
13	宝塔山古墳	未調査	古墳：方墳（７Ｃ末）
14	元総社小学校校庭遺跡	1962	平安：掘立柱建物跡・柱穴群・周濠跡
15	産業道路東遺跡	1966	縄文：住居跡
16	産業道路西遺跡		縄文：住居跡
17	中尾遺跡（事業団）	1976	奈良・平安：住居跡
18	日高遺跡（事業団）	1977	弥生：水田跡・方形周溝墓・住居跡・木製農耕具、平安：条里制水田跡
19	正観寺遺跡Ⅰ～Ⅳ(高崎市)	1979～81	弥生：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、中世：溝跡
20	上野国分僧寺・尼寺中間地域（事業団）	1980～83	縄文：住居跡・配石遺構、弥生：住居跡・方形周溝墓、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・掘立柱建物跡、中世：掘立柱建物跡・溝状遺構・道路状遺構
21	清里南部遺跡群・Ⅲ	1980	縄文：ピット、奈良・平安：住居跡、溝跡
22	中島遺跡	1980	奈良・平安：住居跡
23	下東西遺跡（事業団）	1980～84	縄文：屋外埋甕、弥生：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・掘立柱建物跡・柵列、中世：住居跡・溝跡
24	国分境遺跡（事業団）	1990	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡
25	国分境Ⅱ遺跡	1991	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡
26	国分境Ⅲ遺跡（群馬町）	1991	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・畠跡、中世：土壙墓
27	元総社明神遺跡Ⅰ～ⅩⅢ	1982～96	古墳：住居跡・水田跡・堀跡、奈良・平安：住居跡・溝跡・大形人形、中世：住居跡・溝跡・天目茶碗
28	北原遺跡（群馬町）	1982	縄文：土坑・集石遺構、古墳：水田跡、奈良・平安：住居跡・掘立柱建物跡
29	鳥羽遺跡（事業団）	1978～83	古墳：住居跡・鍛冶場跡、奈良・平安：住居跡・掘立柱建物跡（神殿跡）
30	閑泉樋遺跡	1983	奈良・平安：溝跡（上幅6,5～７ｍ、下幅3,24ｍ、深さ２ｍ）
31	柿木遺跡・Ⅱ遺跡	1983，88	奈良・平安：住居跡・溝跡
32	草作遺跡	1984	古墳：住居跡、平安：住居跡、中世：井戸跡
33	桜ケ丘遺跡		弥生：住居跡
34	総社桜ケ丘遺跡・Ⅱ遺跡	1985，87	奈良・平安：住居跡
35	閑泉樋南遺跡	1985	古墳：住居跡、奈良・平安：溝跡
36	後疋間遺跡Ⅰ～Ⅲ(群馬町)	1985～87	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、中世：道路状遺構
37	塚田村東遺跡（群馬町）	1985	平安：住居跡
38	寺田遺跡	1986	平安：溝跡・木製品
39	天神遺跡・Ⅱ遺跡	1986，88	奈良・平安：住居跡
40	屋敷遺跡・Ⅱ遺跡	1986，95	古墳：住居跡、平安：住居跡、中世：堀跡・石敷遺構
41	大友屋敷Ⅱ・Ⅲ遺跡	1987	古墳：住居跡、平安：住居跡・溝跡・地下式土坑
42	堰越遺跡	1987	奈良・平安：住居跡・溝跡
43	堰越Ⅱ遺跡	1988	平安：住居跡

番号	遺　跡　名	調査年度	時代：主な遺構・出土遺物
44	昌楽寺廻向遺跡・II遺跡	1988	奈良・平安：住居跡
45	村東遺跡	1988	古墳：住居跡・溝跡、奈良・平安：住居跡、中世：堀跡
46	熊野谷遺跡	1988	縄文：住居跡、平安：住居跡・溝跡
47	熊野谷II・III遺跡	1989	平安：住居跡
48	元総社寺田遺跡Ⅰ～III（事業団）	1988～91	古墳：水田跡・溝跡、奈良・平安：住居跡・溝跡・人形・斎串・墨書土器、中世：溝跡
49	弥勒遺跡・II遺跡	1989，95	古墳：住居跡、平安：住居跡
50	大屋敷遺跡Ⅰ～VI	1992～2000	縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、中世：掘立柱建物跡・地下式土坑・溝跡
51	元総社稲葉遺跡	1993	縄文：土坑、平安：住居跡・瓦塔
52	上野国分寺参道遺跡	1996	古墳：住居跡、平安：住居跡
53	大友宅地添遺跡	1998	平安：水田跡
54	総社閑泉明神北遺跡	1999	古墳：畠跡・水田跡・溝跡、中世：溝跡
55	元総社宅地遺跡１～23トレンチ	2000	古墳：住居跡、平安：住居跡・掘立柱建物跡・鍛冶場跡・溝跡・道路状遺構、中世：溝跡、近世：住居跡・五輪塔・椀類
56	元総社小見遺跡	2000	縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・掘立柱建物跡・溝跡・道路状遺構
57	元総社西川遺跡（事業団）	2000	古墳：住居跡・畠跡、奈良・平安：住居跡・溝跡
58	総社閑泉明神北II遺跡	2001	古墳：住居跡・溝跡、平安：住居跡・溝跡
59	総社甲稲荷塚大道西遺跡	2001	奈良・平安：住居跡・溝跡、中世：畠跡、近世：溝跡
60	総社甲稲荷塚大道西II遺跡	2001	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・溝跡、近世：溝跡
61	元総社小見内III遺跡	2001	古墳：住居跡・溝跡、奈良・平安：住居跡・掘立柱建物跡・溝跡、中世：掘立柱建物跡、溝跡
62	総社甲稲荷塚大道西III遺跡	2002	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・畠跡・溝跡
63	総社閑泉明神北III遺跡	2002	縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡
64	元総社小見II遺跡	2002	縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・掘立柱建物跡、中世：溝跡・道路状遺構
65	元総社小見III遺跡	2002	縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・溝跡、中世：溝跡・道路状遺構
66	元総社草作Ⅴ遺跡	2002	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、中世：溝跡
67	元総社小見内IV遺跡	2002	奈良・平安：住居跡・掘立柱建物跡・溝跡、中世：土壙墓・掘立柱建物跡・溝跡
68	元総社北川遺跡（事業団）	2002～04	古墳：水田跡、奈良・平安：住居跡・畠跡、中・近世：掘立柱建物跡・水田跡・火葬墓
69	稲荷塚道東遺跡（事業団）	2003	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・溝跡・竈構築材採掘痕・井戸跡
70	元総社小見IV遺跡	2003	縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、中世：溝跡
71	元総社小見Ⅴ遺跡	2003	縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、中世：掘立柱建物跡
72	元総社小見内VI遺跡	2003	奈良・平安：住居跡・溝跡、中世：井戸跡
73	元総社小見内VII遺跡	2003	縄文：住居跡、奈良・平安：住居跡・掘立柱建物跡、中世：畠跡、溝跡
74	元総社小見内VIII遺跡	2003	奈良・平安：住居跡・溝跡、中世：竪穴状遺構
75	総社甲稲荷塚大道西IV遺跡	2003	古墳：畠跡、中世：畠跡
76	元総社小見VII遺跡	2004	縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡
77	元総社小見内IX遺跡	2004	奈良・平安：住居跡、中世：溝跡
78	元総社小見内Ⅹ遺跡	2004	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・工房跡・粘土採掘坑・金片・金粒、中世：溝跡・土壙墓
79	総社閑泉明神北Ⅴ遺跡	2004	古墳：水田跡、奈良・平安：住居跡

＊調査年度の欄の（　）は調査開始年度を表す。
＊遺跡名の欄の（事業団）は㈶群馬県埋蔵文化財調査事業団を表す。

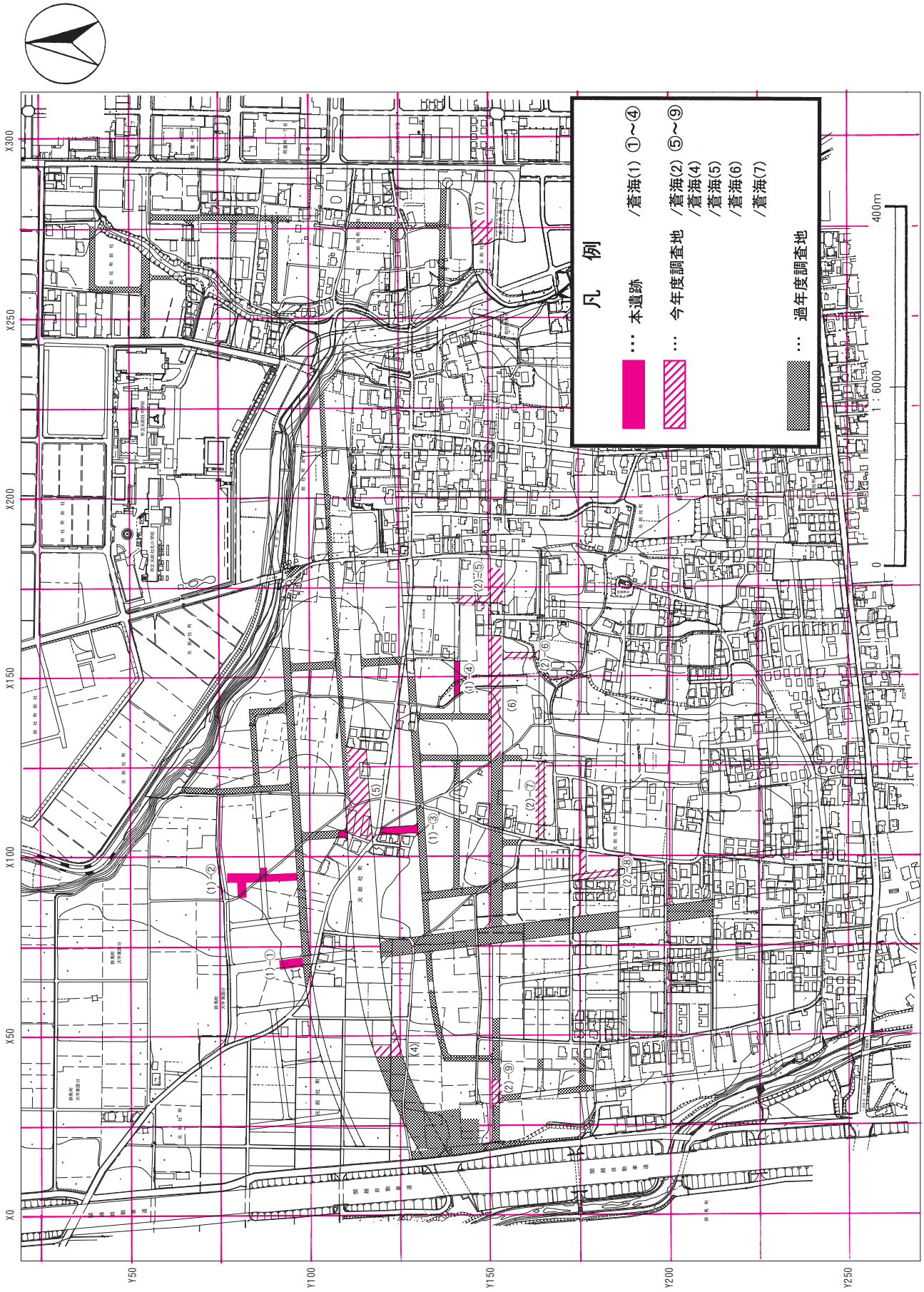


Fig. 3　元総社蒼海遺跡群（1）位置図とグリッド設定図

Ⅲ　調査の方針と経過

1　調査方針

委託調査箇所は、前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業の道路予定地で、調査面積は１トレンチ約249㎡、２トレンチ約494㎡、３トレンチ約295㎡、４トレンチ約225㎡の合計約1,263㎡である。グリッド座標については、2000年の上野国分尼寺寺域確認調査から用いている４ｍピッチのものを継続して使用し、西から東へＸ69、Ｘ70、Ｘ71…、北から南へＹ91、Ｙ92、Ｙ93…となる。グリッドの呼称は北西杭の名称を使用した。

公共座標については、以下のとおりである。

・元総社蒼海遺跡群（１）　１トレンチ　測点　Ｘ71・Ｙ95
　旧日本測地系　Ｘ＝＋43620.000　Ｙ＝－71796.000
　世界測地系　Ｘ＝＋43974.905　Ｙ＝－72207.753
・元総社蒼海遺跡群（１）　２トレンチ　測点　Ｘ94・Ｙ85
　旧日本測地系　Ｘ＝＋43660.000　Ｙ＝－71824.000
　世界測地系　Ｘ＝＋44014.903　Ｙ＝－72115.754
・元総社蒼海遺跡群（１）　３トレンチ　測点　Ｘ107・Ｙ125
　旧日本測地系　Ｘ＝＋43500.000　Ｙ＝－71772.000
　世界測地系　Ｘ＝＋43854.907　Ｙ＝－72063.756
・元総社蒼海遺跡群（１）　４トレンチ　測点　Ｘ150・Ｙ141
　旧日本測地系　Ｘ＝＋43436.000　Ｙ＝－71600.000
　世界測地系　Ｘ＝＋43790.907　Ｙ＝－71891.759

検出が予想される主な遺構は奈良・平安期の集落および中世の溝等であり、調査は、表土掘削・遺構確認・方眼杭等設置・遺構掘り下げ・遺構精査・測量・全景写真撮影の順で行うこととした。このうちの遺構確認につては、基本的にAs-Ｃ・Hr-FP軽石とAs-Ｂ軽石が混入する土層を手がかりにした。

図面作成は、平板・簡易遣り方測量を用い、遺構平面図は原則として１/20、住居跡カマドは１/10の縮尺で作成した。遺物については平面分布図を作成し、遺物台帳に各種記録をしながら収納した。包含層の遺物はグリッド単位で収納し、重要遺物については分布図・遺物台帳の記載を行い収納した。

2　調査経過

本遺跡の発掘調査は、平成17年４月28日に委託業務契約を締結、５月16日より現地調査を開始した。調査は、原則的に１トレンチ、２トレンチ、３トレンチ、４トレンチの順に行うこととしたが、日程の都合上、２つのトレンチ調査を平行して行ったところもあった。

１トレンチの調査は、５月16日・17日に表土掘削を行い、それと平行して遺構確認を行った。５月23日に杭打ちを行い、遺構の掘り下げ・精査に入った。その結果、竪穴住居跡１軒、掘立柱建物跡１棟、溝跡２条、道路状遺構２条、土坑４基を検出した。６月８日に調査区全体写真を撮影し、１トレンチの調査は終了した。埋め戻しは、７月21日・22日に行った。

２トレンチの調査は、５月17日から19日にかけて表土掘削を行い、平行して鋤簾による遺構確認を行った。５月23日に杭打ちを行い、６月９日より遺構の掘り下げ・精査に入った。その結果、竪穴住居跡31軒、掘立柱建物

跡１棟、溝跡10条、道路状遺構２条、土坑13基、ピット18基を検出した。９月13日に高所作業車による調査区全景写真を撮影し、10月３日に２トレンチの調査が終了した。埋め戻しについては、10月６日・７日に行った。

３トレンチの調査は、９月２日から表土掘削を行った。なお、９月５日・６日も表土掘削継続の予定であったが、台風による風雨が強く、安全管理のため９月７日・８日に延期した。９月８日から鋤簾による遺構確認を行い、その後、遺構の掘り下げ・精査に入った。その結果、竪穴住居跡２軒、溝跡３条、土坑１基を検出した。10月11日に調査区全景写真を撮影し、10月14日に記録作業を終え、10月18日・19日に埋め戻しを行った。

４トレンチの調査は、５月23日・24日に表土掘削を行い、６月15日に杭打ちを行った。７月29日に拡張掘削を行い、８月３日から遺構確認に入った。その後、遺構の掘り下げ・精査を行い、その結果、竪穴住居２軒、溝跡３条を検出した。10月26日に調査区全景写真を撮影し、同日をもって４トレンチの調査は終了となった。

10月27日からは現場事務所において土器洗いや図面整理などを行った。

12月20日より文化財保護課に戻り、出土遺物・図面・写真等の整理作業および報告書作成にあたり、翌年３月23日までにすべての作業を終了した。

Ⅳ　基本層序

本遺跡地内の基本土層の堆積状況を下図に示した。比較し易いように１トレンチから４トレンチの土層柱状図を、概ね西北西から東南東に揃うよう図の左側から並べて示した。なお、レベルは古墳～奈良・平安時代の生活面と考えられるⅢａ層の上面で合わせたが、同層が欠落している箇所はⅢｂ層上面で合わせてある。

各トレンチの土層を比較し、テフラー、遺物包含状況、上下層位等の対比によりⅠ～Ⅶ層の基本層位に比定したが、各層はトレンチ毎あるいは地点毎に様相を異にしている。基本的な土層堆積状況は以下のとおりである。

Ⅰ層：表土層。基本的には現耕作土層で、As-B を含みやや砂質。耕作土が失われた撹乱土層もⅠ層とした。

Ⅱ層：As-B を主体とする砂質土層。台地上では耕作土に鋤き込まれほとんど認められない。

Ⅲ層：As-C を主体的に含む層を一括したが、含有物、土質により２層に分けられ、上位からａ、ｂ層とした。

Ⅲａ層は As-C 粒の他、Hr-FP、Hr-FA 粒が混在するが、攪拌されプライマリーな堆積は認められない。古墳

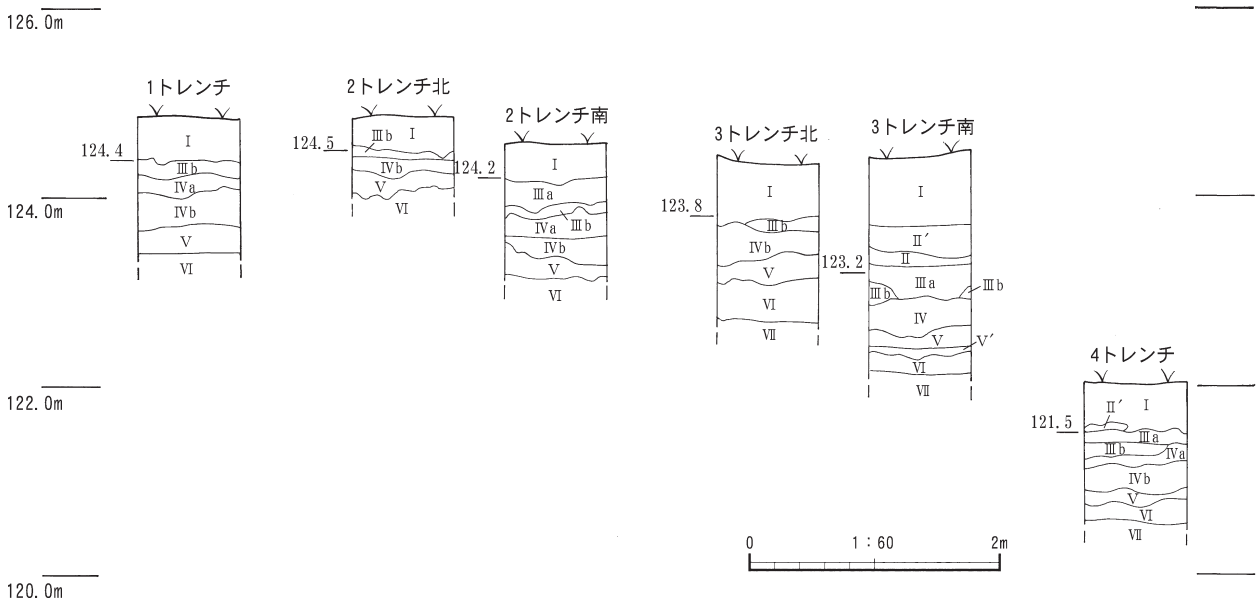


Fig. 4　元総社蒼海遺跡群（１）基本層序

～奈良・平安時代の遺物を含み、層中に該期の生活面が形成されたと考えられる。

Ⅲｂ層はいわゆるＣ混じり黒で、As-C粒を20～30％含む。古墳～奈良・平安時代の遺構は、Ⅲａ層中に構築されたと考えられるが、同層中でのプラン確認は困難であり、Ⅲｂ層が遺構確認面となる。

Ⅳ層：黒ボク土層。色調により上下に２分でき、上位からａ、ｂ層とした。

Ⅳａ層は色調が明るく褐色味を帯びる。縄文時代前期以降の遺物を包含する。

Ⅳｂ層は色調が暗い。縄文時代の遺物を包含するが時代は不明瞭である。

Ⅴ層：Ⅳ層黒ボク土とⅥ層総社砂層上層との漸移変化層。

Ⅵ層：総社砂層上層の黄褐色砂質土層。５～15㎜の小礫を多量に含む。

Ⅶ層：総社砂層上層の硬質砂層。非常に堅くしまる。

各トレンチの土層堆積状況を見てみると。１トレンチは北から南へ地形が下がって行くにつれ、土層の堆積が厚くなる。土層柱状図には現れていないが調査区南側にはⅡ層の堆積も認められる。南側ではⅢ層以下が粘性を帯び、凹地状の微地形における表流水の影響下の堆積と考えられる。

２トレンチ北側調査区では台地状の微地形における堆積と考えられ、Ⅲｂ層から認められる。各層の層厚は薄くⅣａ層は認められない。南側調査区北半では各層は粘性を帯び、堆積も厚くなり、凹地状の微地形を埋没させている。この凹地は現等高線に沿って西南西方向、１トレンチ南側に向かって延びていると予想される。

３トレンチ北側調査区は２トレンチ北側調査区と同様な堆積を示す。南側調査区は１トレンチと同様南に下がる地形であり、等高線間隔は１トレンチより狭く傾斜は強い。それに伴って各層は厚く粘性が強い。Ⅱ′層は現耕作土に似たにぶい色調を呈し２次堆積と考えられる。Ⅴ′層は黒色の腐植質土でやはり水の影響下の堆積と考えられる。Ⅶ層は非常に硬質で殆ど砂岩に近い様相を示す。なお、１号住居はⅦ層上面を床面としている。

４トレンチは台地上の堆積を示すが、他の調査区に比べ、５～15㎜大の地山の小礫を多く含む。４トレンチ検出の蒼海城の堀跡と考えられる３号溝側壁での観察によると、Ⅶ層以下の総社砂層上半部は、粒径の細かい砂・シルト・粘土が互層をなしている。

Ⅴ　遺構と遺物

１　１トレンチの遺構と遺物

⑴　竪穴住居跡

Ｈ－１号住居跡（Fig.７・30、PL.１・15）

位置　Ｘ71・72、Ｙ97・98グリッド　**主軸方向**　不明。　**規模**　東西0.94m、南北2.00m、壁現高11.50㎝。　**面積**　(1.01)㎡　**床面**　全体的に平坦な床面。　**カマド**　不明。　**周溝**　不明。　**重複**　なし。　**出土遺物**　総数11点。そのうち土師坏１点、須恵椀１点を図示。　**時期**　埋土や出土遺物から８世紀初頭～前半と考えられる。

⑵　掘立柱建物跡

Ｂ－１号掘立柱建物跡（Fig.７、PL.１）

位置　Ｘ69、Ｙ92～94グリッド　**主軸方向**　Ｎ－６°－Ｅ　**規模**　東西　不明、南北5.80m。　**面積**　不明。　**柱穴**　４基検出した。P_1：長径21㎝、短径18㎝、深さ11㎝の円形。P_2：長径47㎝、短径33㎝、深さ39㎝の楕円形。P_3：長径30㎝、短径27㎝、深さ25㎝の円形。P_4：長径45㎝、短径30㎝、深さ49㎝の楕円形。柱間寸法は南北：P_1－P_2で1.92m、P_2－P_3で1.98m、P_3－P_4で1.92mである。　**出土遺物**　なし。

⑶　溝跡・硬化面

Ｗ－１号溝跡（Fig. 8 ・30、PL. 1 ）

位置　X69～71、Y95グリッド　**主軸方向**　N－87°－E　**長さ**　9.00m　**最大幅**　上幅1.21m、下幅0.66m　**深さ**　32.0㎝　**形状等**　U字形　**出土遺物**　総数８点。そのうち須恵蓋１点を図示。

Ｗ－２号溝跡（Fig. 8 、PL. 2 ）

位置　X69～71、Y92・93グリッド　**主軸方向**　N－110°－E　**長さ**　10.40m　**最大幅**　上幅1.12m、下幅0.34m　**深さ**　45.0㎝　**形状等**　U字形　**出土遺物**　なし。

Ａ－１号硬化面（Fig. 8 ・30、PL. 2 ・15）

位置　X69～72、Y96・97グリッド　**主軸方向**　N－88°－E　**長さ**　9.84m　**最大幅**　5.80m　**出土遺物**　総数402点。そのうち軒平瓦１点、軒丸瓦１点、平瓦１点、釘１点を図示。

Ａ－２号硬化面（Fig. 8 ・30、PL. 2 ・15）

位置　X69～71、Y91・96グリッド　**主軸方向**　N－162°－E　**長さ**　22.40m　**最大幅**　4.80m　**出土遺物**　総数298点。そのうち軒丸瓦１点を図示。

⑷　土　　坑

土坑については Tab.4、１トレンチ土坑計測表（p.19）を参照のこと。

Ｄ－１号土坑は覆土中に柱痕が認められるため、調査区外に掘立柱建物跡が存在する可能性がある。

⑸　グリッド等出土遺物

総数385点を検出した。そのうち平瓦１点、軒丸瓦２点を図示。

2　２トレンチの遺構と遺物

⑴　竪穴住居跡

Ｈ－２号住居跡（Fig. 9 ・30、PL. 4 ・15）

位置　X93・94、Y83・84グリッド　**主軸方向**　N－93°－E　**規模**　東西［3.98］m、南北4.30m、壁現高29.0㎝。　**面積**　［15.67］㎡　**床面**　重複しているＨ－６の方向に傾斜が認められる。　**カマド**　南東端に位置する。主軸方向Ｎ－128°－Ｅ。全長74㎝、最大幅69㎝、焚口部幅16㎝。　**周溝**　不明。　**ピット**　P_6：長径58㎝、短径52㎝、深さ20㎝の円形。　**重複**　Ｈ－６・Ｈ－16・Ｈ－18・Ｈ－25・Ｄ－１・Ｄ－11と重複し、新旧関係はＤ－１→本遺構→Ｈ－６→Ｈ－16→Ｈ－18→Ｈ－25→Ｄ－11の順である。　**出土遺物**　総数1,109点。そのうち土師坏１点、須恵坏２点、須恵椀２点、土師甕１点を図示。　**時期**　９世紀後半～10世紀初頭と考えられる。

Ｈ－３号住居跡（Fig. 9 ・31・37・44、PL. 4 ・15・21・25）

位置　X93・94、Y81・82グリッド　**主軸方向**　N－101°－E　**規模**　東西4.18m、南北4.85m、壁現高43.5㎝。　**面積**　19.15㎡　**床面**　全体的に平坦な床面。カマド中心に堅緻面が認められる。　**カマド**　東壁南寄りに位置する。　**主軸方向**　N－97°－E。全長123㎝、最大幅56㎝、焚口部幅22㎝。　**周溝**　北壁・西壁・南壁の一部を除き、全周する。　**貯蔵穴**　長径87㎝、短径66㎝、深さ21.5㎝の楕円形。　**床下土坑**　長径112㎝、短径111㎝、深さ５㎝の隅丸方形。　**重複**　Ｈ－４・Ｈ－16・Ｈ－17・Ｈ－19・Ｈ－25・Ｈ－26と重複し、新旧関係はＨ－４→Ｈ－16→Ｈ－17→Ｈ－19→Ｈ－25→Ｈ－26→本遺構の順である。　**出土遺物**　総数1,895点。そのうち須恵坏２点、須恵椀３点、土師甕１点、平瓦１点、刀子１点、鉄鏃１点を図示。　**時期**　９世紀後葉と考えられる。

Ｈ－４号住居跡（Fig.10、PL.４）

位置　X92・93、Y82グリッド　**主軸方向**　不明。　**規模**　東西（0.94）m、南北（1.31）m、壁現高23.5㎝。　**面積**　（1.07）㎡　**床面**　全体的に平坦な床面。　**カマド**　不明。　**周溝**　不明。　**重複**　Ｈ－３・Ｈ－16と重複し、新旧関係は本遺構→Ｈ－３→Ｈ－16の順である。　**出土遺物**　総数135点。　**時期**　不明。

Ｈ－５号住居跡（Fig.10・31・44、PL.３・４・15・16・25）

位置　X93・94、Y78・79グリッド　**主軸方向**　Ｎ－83°－Ｅ　**規模**　東西（2.32）m、南北5.25m、壁現高45.0㎝。　**面積**　（11.79）㎡　**床面**　全体的に平坦な床面。　**カマド**　不明。　**周溝**　北壁・西壁・南壁を巡る。　**ピット**　P_7：長径72㎝、短径56㎝、深さ26㎝の円形。　**重複**　Ａ－１・Ｂ－１と重複し、新旧関係はＡ－１→本遺構→Ｂ－１の順である。　**出土遺物**　総数1,120点。そのうち須恵坏２点、須恵椀１点、須恵皿１点、土師甕１点、刀子１点を図示。　**時期**　９世紀後半と考えられる。

Ｈ－６号住居跡（Fig.10・31・32・44、PL.４・16・25）

位置　X94、Y83・84グリッド　**主軸方向**　Ｎ－82°－Ｅ　**規模**　東西（3.20）m、南北4.68m、壁現高66.5㎝。　**面積**　（13.56）㎡　**床面**　全体的に平坦な床面。　**カマド**　不明。　**周溝**　北壁・西壁・南壁を巡る。　**重複**　Ｈ－２・Ｈ－７・Ｈ－15・Ｈ－18・Ｄ－１・Ｄ－２と重複し、新旧関係はＨ－15→本遺構→Ｈ－２→Ｈ－７→Ｈ－18→Ｄ－１→Ｄ－２の順である。　**出土遺物**　総数383点。そのうち土師坏７点、須恵椀４点、刀子１点を図示。　**時期**　８世紀初頭～前半と考えられる。

Ｈ－７号住居跡（Fig.11・32・37・38・39・40・41・44、PL.４・５・16・17・21・22・23・25）

位置　X94、Y84・85グリッド　**主軸方向**　Ｎ－92°－Ｅ　**規模**　東西［2.82］m、南北3.42m、壁現高25.5㎝。　**面積**　［9.07］㎡　**床面**　全体的に平坦な床面。カマド中心に硬化面が認められる。　**カマド**　東壁南寄りに位置する。　**主軸方向**　Ｎ－106°－Ｅ。全長（108）㎝、最大幅110㎝、焚口部幅50㎝。　**周溝**　不明。　**貯蔵穴**　長径128㎝、短径80㎝、深さ13.5㎝の楕円形。　**重複**　Ｈ－６・Ｈ－13・Ｈ－14・Ｈ－15・Ｗ－２・Ｄ－２・Ｄ－３・Ｄ－６と重複し、新旧関係はＨ－15→Ｈ－６→Ｈ－13→Ｈ－14→本遺構→Ｄ－２→Ｄ－３→Ｄ－６→Ｗ－２の順である。　**出土遺物**　総数817点。そのうち土師坏１点、須恵椀１点、灰釉陶器椀２点、土師甕２点、土師質土器小型甕１点、軒平瓦２点、丸瓦５点、平瓦11点、鉄鏃１点を図示。　**時期**　９世紀中葉と考えられる。

Ｈ－８号住居跡（Fig.10・32・42、PL.５・17・24）

位置　X95・96、Y86・87グリッド　**主軸方向**　Ｎ－92°－Ｅ　**規模**　東西（2.72）m、南北（3.22）m、壁現高35.5㎝。　**面積**　（6.77）㎡　**床面**　全体的に平坦な床面。　**カマド**　東壁南寄りに位置する。　**主軸方向**　Ｎ－92°－Ｅ。全長84㎝、最大幅78㎝、焚口部幅45㎝。　**周溝**　不明。　**貯蔵穴**　長径74㎝、短径61㎝、深さ15.5㎝の楕円形。　**重複**　Ｗ－２と重複し、新旧関係は本遺構→Ｗ－２の順である。　**出土遺物**　総数183点。そのうち須恵椀２点、土師甕１点、丸瓦１点、平瓦１点を図示。　**時期**　９世紀後半～末と考えられる。

Ｈ－10号住居跡（Fig.12・32・33・42、PL.５・17・24）

位置　X93、Y79・80グリッド　**主軸方向**　Ｎ－85°－Ｅ　**規模**　東西（1.14）m、南北（3.85）m、壁現高18.5㎝。　**面積**　（3.85）㎡　**床面**　全体的に平坦な床面。　**カマド**　２つカマドで東壁に位置する。北カマドの主軸方向　Ｎ－83°－Ｅ。全長42㎝、最大幅54㎝、焚口部幅24㎝。南カマドの主軸方向　Ｎ－96°－Ｅ。全長70㎝、最大幅64㎝、焚口部幅37㎝。　**周溝**　不明。　**重複**　Ａ－１・Ｗ－３・Ｗ－４と重複し、新旧関係は本遺構→Ａ－１→Ｗ－３→Ｗ－４の順である。　**出土遺物**　総数523点。そのうち土師坏２点、須恵椀３点、須恵坏３点、須恵皿１点、土師甕２点、土師台付甕１点、平瓦１点を図示。　**時期**　９世紀中～後葉と考えられる。

Ｈ－11号住居跡（Fig.12・33・34・43・44、PL.５・６・17・18・25）

位置　X93・94、Y76・77グリッド　**主軸方向**　Ｎ－87°－Ｅ　**規模**　東西5.44m、南北（5.16）m、壁現高62.5㎝。　**面積**　（24.71）㎡　**床面**　全体的に平坦な床面。　**カマド**　東壁南寄りに位置する。　**主軸方向**　Ｎ－89°－

E。全長216cm、最大幅146cm、焚口部幅50cm。　**周溝**　西壁・南壁・東壁を巡る。　**柱穴**　4基検出した。P_1：長径60cm、短径40cm、深さ58cmの楕円形。P_2：長径66cm、短径55cm、深さ61.5cmの円形。P_3：長径58cm、短径54cm、深さ69cmの円形。P_4：長径59cm、短径48cm、深さ58cmの楕円形。　**重複**　W－5と接するが、新旧関係は不明である。　**出土遺物**　総数1,772点。そのうち土師坏11点、須恵蓋1点、土師甕2点、軒丸瓦1点、錐1点、分銅1点を図示。　**時期**　8世紀初頭～前葉と考えられる。

H－12号住居跡（Fig.14・34、PL.6・18）

位置　X91、Y81・82グリッド　**主軸方向**　N－90°－E　**規模**　東西（2.46）m、南北（2.60）m、壁現高49.0cm。　**面積**　(3.73)㎡　**床面**　全体的に平坦な床面。　**カマド**　東壁に位置する。　**主軸方向**　N－90°－E。全長　80cm、最大幅85cm、焚口部幅51cm。　**周溝**　不明。　**重複**　W－2と重複し、新旧関係は本遺構→W－2の順である。　**出土遺物**　総数239点。そのうち須恵坏1点を図示。　**時期**　9世紀前半と考えられる。

H－13号住居跡（Fig.14・34、PL.4）

位置　X93・94、Y84・85グリッド　**主軸方向**　N－85°－E　**規模**　東西［2.44］m、南北［3.24］m、壁現高13.0cm。　**面積**　[5.94]㎡　**床面**　全体的に平坦な床面。　**カマド**　不明。　**周溝**　不明。　**床下土坑**　長径118cm短径96cm、深さ9.5cmの楕円形。　**重複**　H－7・W－2・A－2・D－3・D－6と重複し、新旧関係はA－2→本遺構→H－7→D－3→D－6→W－2の順である。　**出土遺物**　総数1点。須恵椀1点を図示。　**時期**　9世紀中葉と考えられる。

H－14号住居跡（Fig.14・34・44、PL.6・25）

位置　X94、Y84・85グリッド　**主軸方向**　N－92°－E　**規模**　東西（0.92）m、南北（2.90）m、壁現高34.5cm。　**面積**　(2.75)㎡　**床面**　全体的に平坦な床面。　**カマド**　不明。　**周溝**　不明。　**重複**　H－7・A－2・D－2と重複し、新旧関係はA－2→本遺構→H－7→D－2の順である。　**出土遺物**　総数101点。そのうち土師坏2点、須恵椀1点、丸鞆1点を図示。　**時期**　不明。　**備考**　覆土中の遺物から8世紀前葉と推定される。

H－15号住居跡（Fig.－、PL.4）

位置　X94、Y84グリッド　**主軸方向**　不明。　**規模**　東西（1.00）m、南北（0.34）m、壁現高9.0cm。　**面積**　（0.26）㎡　**床面**　全体的に平坦な床面。　**カマド**　不明。　**周溝**　不明。　**重複**　H－6・H－7・D－2と重複し、新旧関係は本遺構→H－7→H－6→D－2の順である。　**出土遺物**　なし。　**時期**　不明。

H－16号住居跡（Fig.14・34・43、PL.6・18・25）

位置　X93・94、Y82グリッド　**主軸方向**　N－107°－E　**規模**　東西［3.74］m、南北［2.52］m、壁現高14.0cm。　**面積**　[6.77]㎡　**床面**　全体的に平坦な床面。　**カマド**　東壁に位置する。　**主軸方向**　N－110°－E。全長94cm、最大幅64cm、焚口部幅46cm。　**周溝**　不明。　**貯蔵穴**　長径60cm、短径54cm、深さ14.5cmの円形。　**重複**　H－2・H－3・H－4・H－25・H－26と重複し、新旧関係はH－4→H－25→H－26→本遺構→H－2→H－3の順である。　**出土遺物**　総数93点。そのうち須恵坏1点、軒丸瓦1点を図示。　**時期**　9世紀前葉～中葉。

H－17号住居跡（Fig.15・34・43・44、PL.6・18・24・25）

位置　X93・94、Y80・81グリッド　**主軸方向**　N－102°－E　**規模**　東西［3.74］m、南北［5.34］m、壁現高37.5cm。　**面積**　[13.85]㎡　**床面**　全体的に平坦な床面。　**カマド**　不明。　**周溝**　不明。　**ピット**　P_7：長径67cm、短径28cm、深さ14cmの円形。　**重複**　H－3・H－19・H－24・H－26・W－3と重複し、新旧関係はH－19→H－24→H－26→本遺構→H－3→W－3の順である。　**出土遺物**　総数1,395点。そのうち土師坏1点、灰釉陶器皿1点、平瓦1点、砥石1点を図示。　**時期**　出土遺物は覆土中出土の小破片であるため時期不詳。

H－18号住居跡（Fig.15・34・42、PL.4・6・18・24・25）

位置　X93・94、Y83グリッド　**主軸方向**　N－98°－E　**規模**　東西2.72m、南北3.24m、壁現高5.5cm。　**面積**

8.50㎡　**床面**　全体的に平坦な床面。　**カマド**　東壁南寄りに位置する。　**主軸方向**　N－104°－E。全長74㎝、最大幅52㎝、焚口部幅37㎝。　**周溝**　北壁・西壁・南壁を巡る。　**重複**　H－2・H－6と重複し、新旧関係はH－6→本遺構→H－2の順である。　**出土遺物**　総数128点。そのうち土師甕1点、土師台付甕1点、平瓦4点を図示。　**時期**　9世紀中葉～後葉と考えられる。

H－19号住居跡（Fig.15・34、PL.7・18）

位置　X94、Y81・82グリッド　**主軸方向**　N－83°－E　**規模**　東西（2.60）m、南北（3.62）m、壁現高25.0㎝。　**面積**　(7.44)㎡　**床面**　全体的に平坦な床面。　**カマド**　不明。　**周溝**　不明。　**貯蔵穴**　長径(90)㎝、短径（38）㎝、深さ20㎝の円形。　**重複**　H－3・H－17・H－26・D－12と重複し、新旧関係はH－26→D－12→本遺構→H－3→H－17の順である。　**出土遺物**　総数688点。そのうち須恵坏1点、土師甕1点を図示。　**時期**　9世紀前葉と考えられる。

H－20号住居跡（Fig.15・34、PL.7）

位置　X95、Y76グリッド　**主軸方向**　不明。　**規模**　東西（1.50）m、南北（0.68）m、壁現高25.0㎝。　**面積**　(0.93)㎡　**床面**　全体的に平坦な床面。　**カマド**　不明。　**周溝**　不明。　**重複**　H－21と重複し、新旧関係は不明瞭である。　**出土遺物**　総数81点。そのうち土師坏1点を図示。　**時期**　不明。　**備考**　覆土中の遺物は8世紀中葉～後葉と考えられる。

H－21号住居跡（Fig.15・34、PL.7・18・19）

位置　X95、Y75・76グリッド　**主軸方向**　N－76°－E　**規模**　東西（1.32）m、南北（2.36）m、壁現高56.5㎝。　**面積**　(2.75)㎡　**床面**　全体的に平坦な床面。　**カマド**　不明。　**周溝**　不明。　**重複**　H－20重複し、新旧関係は不明瞭である。　**出土遺物**　総数165点。そのうち土師坏1点、須恵蓋1点を図示。　**時期**　8世紀初頭～前葉と考えられる。

H－22号住居跡（Fig.16・34、PL.7・19）

位置　X96・97、Y86グリッド　**主軸方向**　N－67°－E　**規模**　東西（2.92）m、南北（1.74）m、壁現高14.5㎝。　**面積**　(3.33)㎡　**床面**　全体的に平坦な床面。　**カマド**　不明。　**周溝**　不明。　**重複**　なし。　**出土遺物**　総数69点。そのうち土師坏1点、土師甕1点を図示。　**時期**　8世紀初頭～前葉と考えられる。

H－23号住居跡（Fig.16・35、PL.7・19）

位置　X96・97、Y86・87グリッド　**主軸方向**　N－82°－E　**規模**　東西4.24m、南北（3.16）m、壁現高50.5㎝。　**面積**　(2.44)㎡　**床面**　全体的に平坦な床面。　**カマド**　東壁に位置する。主軸方向（N－78°－E）。最大幅（36）㎝。　**周溝**　西壁・北壁・東壁を巡る。　**柱穴**　2基検出した。P_1：長径41㎝、短径39㎝、深さ44㎝の円形。P_4：長径50㎝、短径44㎝、深さ31.5㎝の円形。　**重複**　H－27・D－9と重複し、新旧関係はH－27→D－9→本遺構の順である。　**出土遺物**　総数1,053点。そのうち土師坏7点、須恵坏2点、須恵蓋1点、土師甕2点、須恵転用硯1点を図示。　**時期**　8世紀初頭～前葉と考えられる。

H－24号住居跡（Fig.16・35、PL.7・32）

位置　X94、Y80グリッド　**主軸方向**　N－85°－E　**規模**　東西（2.04）m、南北2.62m、壁現高44.5㎝。　**面積**　(4.64)㎡　**床面**　全体的に平坦な床面。　**カマド**　不明。　**周溝**　不明。　**重複**　H－17・W－3と重複し、新旧関係は本遺構→H－17→W－3の順である。　**出土遺物**　総数16点。そのうち土師坏1点、須恵小型鉢1点、須恵大甕1点を図示。　**時期**　不明。

H－25号住居跡（Fig.14・35、PL.7・19）

位置　X93・94、Y82グリッド　**主軸方向**　N－88°－E　**規模**　東西3.70m、南北2.10m、壁現高24.0㎝。　**面積**　4.08㎡　**床面**　全体的に平坦な床面。　**カマド**　東壁に位置する。　**主軸方向**　N－111°－E。全長68㎝、最大幅52㎝。　**周溝**　不明。　**貯蔵穴**　長径87㎝、短径74㎝、深さ9.5㎝の円形。　**重複**　H－2・H－3・H－16

と重複し、新旧関係は本遺構→H－２→H－３→H－16の順である。　**出土遺物**　総数20点。そのうち須恵蓋１点を図示。　**時期**　遺物は覆土中出土の小破片のため時期不詳。

H－26号住居跡（Fig.17・18、PL.７）

位置　X94、Y81・82グリッド　**主軸方向**　N－84°－E　**規模**　東西［1.69］m、南北［3.76］m、壁現高28.5㎝。　**面積**　［6.01］㎡　**床面**　全体的に平坦な床面。　**カマド**　不明。　**周溝**　不明。　**重複**　H－２・H－３・H－16・H－17・H－19・D－12と重複し、新旧関係はD－12→本遺構→H－２→H－３→H－17→H－16→H－19の順である。　**出土遺物**　総数24点。　**時期**　不明。

H－27号住居跡（Fig.16、PL.７）

位置　X97・98、Y86・87グリッド　**主軸方向**　N－88°－E　**規模**　東西（0.60）m、南北（2.96）m、壁現高30.0㎝。　**面積**　（1.04）㎡　**床面**　全体的に平坦な床面。　**カマド**　不明。　**周溝**　不明。　**重複**　H－23・D－16と重複し、新旧関係は本遺構→H－23→D－16の順である。　**出土遺物**　なし。　**時期**　不明。

H－28号住居跡（Fig.19・35、PL.８・19）

位置　X94・95、Y92・93グリッド　**主軸方向**　N－72°－E　**規模**　東西（3.40）m、南北（3.80）m、壁現高50.5㎝。　**面積**　（10.75）㎡　**床面**　全体的に平坦な床面。　**カマド**　東壁に位置する。　**主軸方向**　N－67°－E。全長199㎝、最大幅100㎝。　**周溝**　北壁・東壁を巡る。　**貯蔵穴**　長径60㎝、短径45㎝、深さ40㎝の楕円形。　**重複**　W－６と重複し、新旧関係は本遺構→W－６の順である。　**出土遺物**　総数74点。そのうち土師甕３点を図示。　**時期**　埋土や出土遺物から６世紀後半～７世紀初頭と考えられる。

H－29号住居跡（Fig.17・18・35・44、PL.８・19・25）

位置　X94・95、Y94・95グリッド　**主軸方向**　N－109°－W　**規模**　東西4.28m、南北5.10m、壁現高52.5㎝。　**面積**　19.61㎡　**床面**　全体的に平坦な床面。　**カマド**　西壁に位置する。　**主軸方向**　N－105°－W。全長134㎝、最大幅146㎝。　**周溝**　西壁から北壁を巡り、東壁・南壁では一部のみ検出された。　**貯蔵穴**　長径64㎝、短径60㎝、深さ40.5㎝の円形。　**重複**　W－１・W－７と重複し、新旧関係はW－７→本遺構→W－１の順である。　**出土遺物**　総数266点。そのうち土師坏３点、臼玉１点を図示。　**時期**　７世紀前葉と考えられる。

H－31号住居跡（Fig.17・18・36、PL.８・20）

位置　X94、Y91・92グリッド　**主軸方向**　N－86°－E　**規模**　東西（2.14）m、南北（4.58）m、壁現高70.5㎝。　**面積**　（7.95）㎡　**床面**　全体的に平坦な床面。カマド中心に硬化面が認められる。　**カマド**　東壁に位置する。　**主軸方向**　N－89°－E。全長130㎝、最大幅142.5㎝、焚口部幅30㎝。　**周溝**　北壁から東壁、南壁を巡る。　**柱穴**　２基検出した。P_3：長径48㎝、短径40㎝、深さ59.5㎝の円形。P_4：長径46㎝、短径42㎝、深さ36㎝の円形。　**貯蔵穴**　長径84㎝、短径74㎝、深さ82㎝の長方形。　**ピット**　P_7：長径30㎝、短径18㎝、深さ19.5㎝の円形。　**重複**　なし。　**出土遺物**　総数344点。そのうち土師坏５点、土師甕２点を図示。　**時期**　７世紀前葉と考えられる。

H－32号住居跡（Fig.20・36・43、PL.８・20・24・25）

位置　X93・94、Y88・89グリッド　**主軸方向**　N－100°－E　**規模**　東西［2.62］m、南北［4.76］m、壁現高56.0㎝。　**面積**　［6.15］㎡　**床面**　全体的に平坦な床面。粘質土中の床面が硬化面化している。　**カマド**　東壁南寄りに位置する。　**主軸方向**　N－94°－E。全長106㎝、最大幅112㎝、焚口部幅52㎝。　**周溝**　不明。　**貯蔵穴**　長径68㎝、短径52㎝、深さ31.5㎝の楕円形。　**重複**　H－33・D－15と重複し、新旧関係はD－15→本遺構→H－33の順である。　**出土遺物**　総数310点。そのうち土師坏１点、須恵坏１点、土師甕２点、平瓦１点を図示。　**時期**　９世紀中葉～後葉と考えられる。

H－33号住居跡（Fig.20・36、PL.９・20）

位置　X94、Y88グリッド　**主軸方向**　N－99°－E　**規模**　東西3.10m、南北3.78m、壁現高62.5㎝。　**面積**　（7.

27）㎡　**床面**　全体的に平坦な床面。　**カマド**　東壁南寄りに位置する。　**主軸方向**　不明。　**周溝**　南壁・西壁を巡る。　**貯蔵穴**　長径90㎝、短径78㎝、深さ13㎝の円形。　**重複**　Ｈ－32と重複し、新旧関係はＨ－32→本遺構の順である。　**出土遺物**　総数173点。そのうち須恵坏２点、須恵椀４点、灰釉陶器椀１点、土師甕１点を図示。　**時期**　９世紀後葉～10世紀初頭と考えられる。

Ｈ－34号住居跡（Fig.21・37、PL.９・20・21）

位置　Ｘ94・95、Ｙ89・90グリッド　**主軸方向**　Ｎ－68°－Ｅ　**規模**　東西（2.94）ｍ、南北2.97ｍ、壁現高42.0㎝。　**面積**　(7.46)㎡　**床面**　全体的に平坦な床面。　**カマド**　不明。　**周溝**　不明。　**重複**　Ｗ－９と重複し、新旧関係はＷ－９→本遺構の順である。　**出土遺物**　総数171点。そのうち土師坏５点、土師小型甕１点、須恵小型鉢１点を図示。　**時期**　７世紀後半～８世紀初頭と考えられる。

⑵　掘立柱建物跡

Ｂ－１号掘立柱建物跡（Fig.21・37、PL.９・21）

位置　Ｘ93、Ｙ78・79グリッド　**主軸方向**　Ｎ－13°－Ｅ　**規模**　東西（2.13）ｍ、南北3.35ｍ。　**面積**　不明。　**柱穴**　４基検出した。P_1：長径88㎝、短径77㎝、深さ44.5㎝の円形。P_2：長径85㎝、短径74㎝、深さ36㎝の円形。P_3：長径（86）㎝、短径（52）㎝、深さ37㎝の（円形）。P_4：長径97㎝、短径76㎝、深さ41.5㎝の楕円形。柱間寸法は東西：P_3－P_4で1.70ｍ、南北：P_1－P_2で1.10ｍ、P_2－P_3で1.75ｍである。　**出土遺物**　総数　48点。そのうち須恵坏１点を図示。

⑶　溝跡・硬化面

Ｗ－１号溝跡（Fig.21、PL.９）

位置　Ｘ94・95、Ｙ94・95グリッド　**主軸方向**　Ｎ－55°－Ｗ　**長さ**　7.30ｍ　**最大幅**　上幅0.66ｍ、下幅0.34ｍ　**深さ**　43.0㎝　**形状等**　Ｕ字形　**重複**　Ｈ－29・Ｗ－６と重複し、新旧関係はＨ－29→Ｗ－６→本遺構の順である。　**出土遺物**　総数47点。　**時期**　埋土から中世と考えられる。

Ｗ－２号溝跡（Fig.22・37、PL.９・21）

位置　Ｘ90・96、Ｙ81・82・84～87グリッド　**主軸方向**　Ｎ－140°－Ｅ　長さ（31.70）ｍ　**最大幅**　上幅（2.50）ｍ、下幅（1.30）ｍ　**深さ**　170.0㎝　**形状等**　逆台形　**重複**　Ｈ－７・Ｈ－８・Ｈ－12・Ｈ－13・Ａ－２と重複し、新旧関係はＨ－７→Ｈ－８→Ｈ－12→Ｈ－13→Ａ－２→本遺構の順である。　**出土遺物**　総数196点。そのうち須恵椀２点を図示。　**時期**　埋土から中世と考えられる。

Ｗ－３号溝跡（Fig.21、PL.９）

位置　Ｘ93・94、Ｙ80グリッド　**主軸方向**　Ｎ－87°－Ｅ　**長さ**　5.20ｍ　**最大幅**　上幅0.58ｍ、下幅0.20ｍ　**深さ**　41.0㎝　**形状等**　Ｕ字形　**重複**　Ｈ－10・Ｈ－17・Ｈ－24と重複し、新旧関係はＨ－10→Ｈ－17→Ｈ－24→本遺構の順である。　**出土遺物**　総数126点。　**時期**　埋土から中世と考えられる。

Ｗ－４号溝跡（Fig.21、PL.９）

位置　Ｘ93・94、Ｙ79グリッド　**主軸方向**　Ｎ－95°－Ｅ　**長さ**　5.44ｍ　**最大幅**　上幅0.49ｍ、下幅0.22ｍ　**深さ**　11.0㎝　**形状等**　Ｕ字形　**重複**　Ａ－１・Ｄ－５と重複し、新旧関係はＡ－１→Ｄ－５→本遺構の順である。　**出土遺物**　総数440点。　**時期**　埋土から中世～近世と考えられる。

Ｗ－５号溝跡（Fig.23・37・44、PL.10・21・25）

位置　Ｘ93・94、Ｙ77グリッド　**主軸方向**　Ｎ－89°－Ｗ　**長さ**　5.18ｍ　**最大幅**　上幅1.86ｍ、下幅1.46ｍ　**深さ**　40.5㎝　**形状等**　逆台形　**重複**　Ｈ－11と重複し、新旧関係は不明瞭である。　**出土遺物**　総数295点。そのうち須恵鉢１点、砥石１点を図示。　**時期**　埋土から古代と考えられる。

Ｗ－６号溝跡（Fig.23・37、PL.10・21）

位置　X94・95、Y93・94グリッド　**主軸方向**　N－84°－E　**長さ**　5.30m　**最大幅**　上幅1.92m、下幅0.82m　**深さ**　67.5㎝　**形状等**　逆台形　**重複**　H－28と重複し、新旧関係はH－28→本遺構の順である。　**出土遺物**　総数303点。覆土上面から緑釉陶器椀の小破片２点が出土。図上復元不可。　**時期**　埋土から古代と考えられる。

Ｗ－７号溝跡（Fig.23、PL.10）

位置　X94・95、Y95グリッド　**主軸方向**　N－91°－E　**長さ**　4.15m　**最大幅**　上幅1.28m、下幅0.47m　**深さ**　63.0㎝　**形状等**　U字形　**重複**　H－29と重複し、新旧関係は本遺構→H－29の順である。　**出土遺物**　総数88点。　**時期**　重複関係から古墳時代以前と考えられる。

Ｗ－８号溝跡（Fig.23、PL.10）

位置　X94・95、Y90・91グリッド　**主軸方向**　N－40°－E　**長さ**　6.26m　**最大幅**　上幅0.80m、下幅0.58m　**深さ**　19.5㎝　**形状等**　逆台形　**重複**　W－９・W－10と重複し、新旧関係はW－９→W－10→本遺構の順である。　**出土遺物**　総数７点。　**時期**　埋土から古代と考えられる。

Ｗ－９号溝跡（Fig.24、PL.10）

位置　X94・95、Y88～90グリッド　**主軸方向**　北側　N－141°－W、南側　N－135°－E　**長さ**　8.60m　**最大幅**　上幅0.65m、下幅0.45m　**深さ**　17.0㎝　**形状等**　U字形　**重複**　H－34・W－９と重複し、新旧関係は本遺構→H－34→W－９の順である。　**出土遺物**　総数14点。　**時期**　埋土から古代と考えられる。

Ｗ－10号溝跡（Fig.23、PL.10）

位置　X94、Y90・91グリッド　**主軸方向**　北側　N－179°－E、南側　N－208°－E　**長さ**　3.90m　**最大幅**　上幅0.54m、下幅0.30m　**深さ**　15.0㎝　**形状等**　逆台形　**重複**　W－８・D－14と重複し、新旧関係は本遺構→W－８→D－14の順である。　**出土遺物**　なし。　**時期**　埋土から古代と考えられる。

Ａ－１号硬化面（Fig.24、PL.－）

位置　X93・94、Y79グリッド　**主軸方向**　N－91°－E　**長さ**　5.55m　**最大幅**　3.10m　**出土遺物**　総数37点。

Ａ－２号硬化面（Fig.24、PL.21）

位置　X94、Y85グリッド　**主軸方向**　N－81°－E　**長さ**　3.08m　**最大幅**　1.95m　**出土遺物**　総数148点。そのうち須恵短頸壺１点を図示。　**備考**　道路状遺構。

⑷　土坑・ピット

土坑については Tab.8　２トレンチ土坑・ピット計測表（p.20）を参照のこと。

Ｄ－１・２・３号土坑は、覆土中にロームブロックを多く含んでおり、他の古代の遺構覆土と様相が異なる。As-B を含まないため、中世以前と考えられるが、他の奈良・平安時代の遺構より新しい時期と考えられる。

Ｄ－６号土坑からは瓦が出土しているが、Ｈ－７号住居を掘り込んで構築されているため、その部分にあったＨ－７号住居内の瓦が混入したものと考えられる。

⑸　グリッド等出土遺物

総数4,607点を検出した。そのうち縄文土器深鉢１点、鋲１点、巡方１点、臼玉２点を図示。

3　3トレンチの遺構と遺物

⑴　竪穴住居跡

Ｈ－１号住居跡（Fig.26・44、PL.12・26）

位置　X106、Y127･128グリッド　**主軸方向**　N－61°－E　**規模**　東西（1.84）m、南北（3.94）m、壁現高84.0cm。　**面積**　(3.34) m²　**床面**　全体的に平坦な床面。　**カマド**　東壁に位置する。　**主軸方向**　N－73°－E。全長112cm、最大幅60cm。　**周溝**　南東角の一部を除き、東壁･南壁を巡る。　**貯蔵穴**　長径56cm、短径44cm、深さ70cmの長方形。　**ピット**　P_7：長径28cm、短径22cm、深さ14cmの円形。　**重複**　なし。　**出土遺物**　総数56点。そのうち土師坏２点、須恵蓋１点、土師甕２点を図示。　**時期**　７世紀前半と考えられる。

Ｈ－２号住居跡（Fig.27・44、PL.12・26）

位置　X105・106、Y109・110グリッド　**主軸方向**　N－75°－E　**規模**　東西（2.64）m、南北（3.32）m、壁現高(21.5)cm。　**面積**　(7.05)m²　**床面**　全体的に平坦な床面。　**カマド**　東壁に位置する。　**主軸方向**　N－72°－E。全長112cm、最大幅118cm。　**周溝**　北壁・東壁を巡る。　**貯蔵穴**　長径67cm、短径（43）cm、深さ27cmの長方形。　**重複**　なし。　**出土遺物**　総数98点。そのうち土師坏１点、須恵坏１点、須恵蓋１点、土師甕１点、土師台付甕１点を図示。　**時期**　９世紀後葉と考えられる。

⑵　溝　　跡

Ｗ－１号溝跡（Fig.27、PL.12）

位置　X106～108、Y122･123グリッド　**主軸方向**　N－119°－E　**長さ**　6.58m　**最大幅**　上幅0.90m、下幅0.50m　**深さ**　19.0cm　**形状等**　U字形　**重複**　なし。　**出土遺物**　総数３点。　**時期**　埋土から中世以降と考えられる。

Ｗ－２号溝跡（Fig.27、PL.12）

位置　X106～108、Y128・129グリッド　**主軸方向**　N－83°－W　**長さ**　7.60m　**最大幅**　上幅（2.18）m、下幅（1.48）m　**深さ**　53.0cm　**形状等**　U字形　**重複**　なし。　**出土遺物**　総数249点。　**時期**　埋土から中世以降と考えられる。

Ｗ－３号溝跡（Fig.27、PL.12）

位置　X106～108、Y124･125グリッド　**主軸方向**　N－118°－E　**長さ**　8.72m　**最大幅**　上幅0.78m、下幅0.44m　**深さ**　25.0cm　**形状等**　U字形　**重複**　なし。　**出土遺物**　なし。　**時期**　埋土から古代と考えられる。

⑶　土　　坑

Ｄ－１号土坑（Fig.27、PL.12）

位置　X107、Y121・122グリッド　**規模**　長径112.0cm、短径（92.0）cm、深さ14.5cm。　**形状等**　楕円形　**重複**　なし。　**出土遺物**　なし。　**時期**　埋土から中世以降と考えられる。　**備考**　As-B を多く含んでいる。

⑷　グリッド等出土遺物

総数222点を検出した。そのうち土師坏１点、須恵坏１点、須恵羽釜１点、土師手捏１点、釘２点、鉄鏃１点を図示。

4　4トレンチの遺構と遺物

⑴　竪穴住居跡

Ｈ－１号住居跡（Fig.28・45、PL.14・26）

位置　X152・153、Y140・141グリッド　**主軸方向**　N－89°－E　**規模**　東西3.06m、南北4.06m、壁現高34.0㎝。　**面積**　11.53㎡　**床面**　全体的に平坦な床面。　**カマド**　東壁南寄りに位置する。　**主軸方向**　N－100°－E。全長78㎝、最大幅（86）㎝、煙道部長（22）㎝、煙道部幅（30）㎝、燃焼部幅（42）㎝、焚口部幅（56）㎝。　**周溝**　西壁・北壁・東壁を巡る。　**ピット**　P_7：長径57㎝、短径（49）㎝、深さ53㎝の円形。　**重複**　なし。　**出土遺物**　総数111点。そのうち須恵坏３点、灰釉陶器椀２点、釘２点を図示。　**時期**　11世紀前半と考えられる。

Ｈ－２号住居跡（Fig.28・45、PL.14・26）

位置　X153、Y140・141グリッド　**主軸方向**　N－98°－E　**規模**　東西2.40m、南北4.42m、壁現高36.5㎝。　**面積**　9.37㎡　**床面**　全体的に平坦な床面。　**カマド**　不明。　**周溝**　不明。　**重複**　なし。　**出土遺物**　総数77点。そのうち須恵坏１点を図示。　**時期**　10世紀中葉と考えられる。

⑵　溝　　跡

Ｗ－１号溝跡（Fig.28・45、PL.13・14・26）

位置　X149・150、Y140・141グリッド　**主軸方向**　N－190°－E　**長さ**　5.92m　**最大幅**　上幅4.15m、下幅0.94m　**深さ**　136.0㎝　**形状等**　逆台形　**重複**　W－２と重複し、新旧関係はW－２→本遺構の順である。　**出土遺物**　総数227点。そのうち土師坏２点、須恵椀２点、灰釉陶器皿１点を図示。　**時期**　埋土から古墳～奈良・平安時代と考えられる。

Ｗ－２号溝跡（Fig.28、PL.13・14）

位置　X149・150、Y140・141グリッド　**主軸方向**　N－194°－E　**長さ**　5.18m　**最大幅**　上幅1.36m、下幅0.64m　**深さ**　124.0㎝　**形状等**　U字形　**重複**　W－１と重複し、新旧関係は本遺構→W－１の順である。　**時期**　埋土から古墳～奈良・平安時代と考えられる。

Ｗ－３号溝跡（Fig.29、PL.13・14）

位置　X144～148、Y140～142グリッド　**主軸方向**　N－141°－E　**長さ**　（16.00）m　**最大幅**　上幅13.00m、下幅3.80m　**深さ**　450.0㎝　**形状等**　逆台形　**重複**　なし。　**出土遺物**　総数64点。　**時期**　埋土から中世と考えられる。　**備考**　蒼海城に関わる堀跡と想定できる。

⑶　グリッド等出土遺物

総数142点を検出した。

Tab. 2　元総社蒼海遺跡群（1）1トレンチ 竪穴住居跡・掘立柱建物跡計測表

遺構名	位　置 グリッド	主軸方向	規模（m）		壁現高 (cm)	面積 (m²)	カマド位置	主な出土遺物		
			東西	南北				土師器	須恵器	その他
H－1	X71・72、Y97・98	不明	0.94	2.00	11.50	1.01	—	坏	椀・蓋	
B－1	X69、Y92～94	N－6°－E	不明	5.80	—	—	—			

Tab. 3　元総社蒼海遺跡群（1）1トレンチ 溝跡・硬化面計測表

遺構名	位　置 グリッド	主軸方向	長さ (m)	最大幅（m）		深さ (cm)	断面形
				上幅	下幅		
W－1	X69～71、Y95	N－87°－E	9.00	1.21	0.66	32.0	U字形
W－2	X69～71、Y92・93	N－110°－E	10.40	1.12	0.34	45.0	U字形
A－1	X69～72、Y96・97	N－88°－E	9.84	5.80			Ⅲ状
A－2	X69～71、Y91・96	N－162°－E	22.40	4.80			Ⅲ状

Tab. 4　元総社蒼海遺跡群（1）1トレンチ 土坑計測表

遺構名	位　置 グリッド	規模（cm）			形　状	遺物数量	出土遺物
		長軸	短軸	深さ			
D－1	X71、Y94	(76.0)	(30.0)	(52.0)	(円形)		
D－3	X70、Y92	106.0	90.0	32.5	円形		
D－4	X70、Y93・94	112.0	92.0	45.0	楕円形		
D－5	X70、Y93	66.0	46.0	33.5	円形		

Tab. 5　元総社蒼海遺跡群（1）2トレンチ 竪穴住居跡・掘立柱建物跡計測表

遺構名	位　置 グリッド	主軸方向	規模（m）		壁現高 (cm)	面積 (m²)	カマド位置	周溝	主な出土遺物		
			東西	南北					土師器	須恵器	その他
H－2	X93・94、Y83・84	N－93°－E	[3.98]	4.30	29.0	[15.67]	南東隅	—	坏・甕	坏・椀	
H－3	X93・94、Y81・82	N－100°－E	4.18	4.85	43.5	19.15	東壁南寄り	有	甕	坏・椀	瓦・刀子・鉄鏃
H－4	X92・93、Y82	不明	(0.94)	(1.31)	23.5	(1.07)	—	—			
H－5	X93・94、Y78・79	N－83°－E	(2.32)	5.25	45.0	(11.79)	—	有	甕	坏・椀・皿	刀子
H－6	X94、Y83・84	N－82°－E	(3.20)	4.68	66.5	(13.56)	—	有	坏	椀	刀子
H－7	X94、Y84・85	N－92°－E	[2.82]	3.42	25.5	[9.07]	東壁南寄り	—	坏・甕	椀	灰釉椀・瓦・鉄鏃
H－8	X95・96、Y86・87	N－92°－E	(2.72)	(3.22)	35.5	(6.77)	東壁南寄り	—	甕	椀	瓦
H－10	X93、Y79・80	N－91°－E	(1.14)	(3.85)	18.5	(3.85)	2つカマド 東壁	—	坏・甕	坏・椀・皿	瓦
H－11	X93・94、Y76・77	N－87°－E	5.44	(5.16)	62.5	(24.71)	東壁南寄り	有	坏・甕	蓋	瓦・錐・分銅
H－12	X91、Y81・82	N－90°－E	(2.46)	(2.60)	49.0	(3.73)	東壁	—		坏	
H－13	X93・94、Y84・85	N－88°－E	[2.44]	[3.24]	13.0	[5.94]	—	—		椀	
H－14	X94、Y84・85	N－90°－E	(0.92)	(2.90)	34.5	(2.75)	—	—	坏	椀	丸鞆
H－15	X94、Y84	不明	(1.00)	(0.34)	9.0	(0.26)	—	—			
H－16	X93・94、Y82	N－107°－E	[3.74]	[2.52]	14.0	[6.77]	東壁	—		坏	瓦
H－17	X93・94、Y80・81	N－102°－E	[3.74]	[5.34]	37.5	[13.85]	—	—	坏		灰釉皿・瓦・砥石
H－18	X93・94、Y83	N－98°－E	2.72	3.24	5.5	8.50	東壁南寄り	有	甕		瓦
H－19	X94、Y81・82	N－83°－E	(2.60)	(3.62)	25.0	(7.44)	—	—	甕	坏	
H－20	X95、Y76	不明	(1.50)	(0.68)	25.0	(0.93)	—	—	坏		
H－21	X95、Y75・76	N－80°－E	(1.32)	(2.36)	56.5	(2.75)	—	—	坏	盤	
H－22	X96・97、Y86	N－67°－E	(2.92)	(1.74)	14.5	(3.33)	—	—	坏・甕		
H－23	X96・97、Y86・87	N－82°－E	4.24	(3.16)	50.5	(2.44)	東壁	有	坏・甕	坏・蓋・転用硯	
H－24	X94、Y80	N－85°－E	(2.04)	2.62	44.5	(4.64)	—	—	坏	小型鉢・大甕	
H－25	X93・94、Y82	N－88°－E	3.70	2.10	24.0	(4.08)	東壁	—		蓋	
H－26	X94、Y81・82	N－84°－E	[1.69]	[3.76]	28.5	[6.01]	—	—			
H－27	X97・98、Y86・87	N－88°－E	(0.60)	(2.96)	30.0	(1.04)	—	—			
H－28	X94・95、Y92・93	N－65°－E	(3.40)	(3.80)	50.5	(10.75)	東壁	有	甕		
H－29	X94・95、Y94・95	N－111°－W	4.28	5.10	52.5	(19.61)	西壁	有	坏		臼玉
H－31	X94、Y91・92	N－78°－E	(2.14)	(4.58)	70.5	(7.95)	東壁	有	坏・甕		
H－32	X93・94、Y88・89	N－100°－E	[2.62]	[4.76]	56.0	[6.15]	東壁南寄り	—	坏・甕	坏	瓦
H－33	X94、Y88	N－99°－E	3.10	3.78	62.5	(7.27)	東壁南寄り	有	甕	坏・椀	灰釉椀
H－34	X94・95、Y89・90	N－68°－E	(2.94)	2.97	42.0	(7.46)	—	—	坏・小型甕	小型鉢	
B－1	X93、Y78・79	N－13°－E	(2.13)	3.35						坏	

Tab. 6　元総社蒼海遺跡群（1）2トレンチ 住居カマド計測表

遺構名	主軸方向	全長 (cm)	最大幅 (cm)	煙道部長 (cm)	煙道部幅 (cm)	燃焼部幅 (cm)	焚き口部幅 (cm)	煙道部立上り角 (°)	構　築　材
H－2	N－128°－E	74	69				16		粘土
H－3	N－97°－E	123	56				22		粘土
H－7	N－106°－E	(108)	110	(40)	52	23	50	37	瓦・粘土・凝灰質砂岩
H－8	N－92°－E	84	78				45		粘土
H－10　北	N－83°－E	42	54				24		粘土
H－10　南	N－96°－E	70	64				37		粘土・凝灰質砂岩
H－11	N－89°－E	216	146	92	28	62	50	40	凝灰岩質砂岩・粘土・石
H－12	N－90°－E	80	85				51		粘土
H－16	N－110°－E	94	64				46		粘土
H－18	N－104°－E	74	52				37		粘土・瓦
H－23	(N－78°－E)	—	(36)				—		粘土
H－25	N－111°－E	68	52						粘土
H－28	N－67°－E	199	100						粘土・土師器甕
H－29	N－105°－W	134	146						粘土
H－31	N－89°－E	130	142.5	48	44	44	30	55	凝灰岩質砂岩・粘土
H－32	N－94°－E	106	112	—	—	59	52	27	凝灰岩質砂岩・粘土・瓦
H－33	—	—	—				—		粘土

Tab. 7　元総社蒼海遺跡群（1）2トレンチ 溝跡・硬化面計測表

遺構名	位　置 グリッド	主軸方向	長さ (m)	最大幅（m）		深さ (cm)	断面形
				上幅	下幅		
W－1	X94・95、Y94・95	N－55°－W	7.30	0.66	0.34	43.0	U字形
W－2	X90・96、 Y81・82・84～87	N－140°－E	(31.70)	(2.50)	(1.30)	170.0	逆台形
W－3	X93・94、Y80	N－87°－E	5.20	0.58	0.20	41.0	U字形
W－4	X93・94、Y79	N－95°－E	5.44	0.49	0.22	11.0	U字形
W－5	X93・94、Y77	N－89°－W	5.18	1.86	1.46	40.5	逆台形
W－6	X94・95、Y93・94	N－84°－E	5.30	1.92	0.82	67.5	逆台形
W－7	X94・95、Y95	N－91°－E	4.15	1.28	0.47	63.0	U字形
W－8	X94・95、Y90・91	N－40°－E	6.26	0.80	0.58	19.5	逆台形
W－9	X94・95、Y88～90	北側　N－141°－W 南側　N－135°－E	8.60	0.65	0.45	17.0	U字形
W－10	X94、Y90・91	北側　N－179°－E 南側　N－208°－E	3.90	0.54	0.30	15.0	逆台形
A－1	X93・94、Y79	N－91°－E	5.55	3.10			皿状
A－2	X94、Y85	N－81°－E	3.08	1.95			皿状

Tab. 8　元総社蒼海遺跡群（1）2トレンチ 土坑・ピット計測表

遺構名	位　置 グリッド	規模（cm）			形　状	遺物数量	出土遺物
		長軸	短軸	深さ			
D－1	X94、Y84	(170.0)	90.0	(43.5)	(楕円形)	12	
D－2	X94、Y84	(180.0)	110.0	(24.5)	(長方形)	12	
D－3	X94、Y84	[236.0]	(130.0)	(46.5)	(楕円形)	67	
D－5	X94、Y79	(192.0)	(63.0)	(40.0)	(楕円形)	3	
D－6	X94、Y85	112.0	86.0	26.0	楕円形	4	須恵椀・瓦
D－7	X94、Y81	66.0	(26.0)	(16.0)	(円形)	2	
D－9	X96、Y87	126.0	(82.0)	30.5	(楕円形)	18	
D－10	X93、Y84	65.0	(40.0)	(8.0)	(円形)		
D－11	X93、Y83・84	68.0	(52.0)	(10.5)	(楕円形)		
D－12	X94、Y82	97.0	62.0	(23.5)	(楕円形)		
D－13	X93、Y84	(76.0)	54.0	21.5	楕円形	6	
D－14	X94、Y90	130.0	118.0	36.0	円形	1	
D－15	X94、Y89	82.0	(70.0)	48.0	(円形)	19	
P－1	X93、Y77	38.0	(26.0)	34.5	(円形)		
P－2	X93、Y77	60.0	(42.0)	48.0	(円形)		
P－3	X93、Y77・78	68.0	40.0	43.0	不定形		
P－4	X93、Y77・78	46.0	46.0	30.5	円形		
P－5	X93、Y78	36.0	32.0	10.0	円形		
P－6	X93、Y78	56.0	50.0	27.5	円形		

P－7	X93、Y78	50.0	46.0	50.5	円形		
P－8	X93、Y78	40.0	35.0	33.5	円形		
P－9	X93、Y79	56.0	50.0	24.0	円形	4	
P－10	X93、Y79	46.0	40.0	16.5	円形		
P－11	X93、Y79	36.0	32.0	33.0	円形		
P－12	X93、Y79	76.0	68.0	44.5	円形	5	
P－13	X93、Y79	40.0	40.0	19.0	円形		
P－14	X93、Y80	62.0	(41.0)	36.5	(円形)	1	
P－15	X93、Y80・81	52.0	44.0	37.0	円形	1	
P－16	X93、Y81	56.0	38.0	33.0	楕円形		
P－17	X94、Y82	70.0	(40.0)	28.0	(円形)		
P－18	X94、Y83	45.0	36.0	18.0	円形		

Tab. 9　元総社蒼海遺跡群（1）3トレンチ 竪穴住居跡計測表

遺構名	位　置 グリッド	主軸方向	規模（m）		壁現高 (cm)	面積 (m²)	カマド位置	周溝	主な出土遺物		
			東西	南北					土師器	須恵器	その他
H－1	X106、Y127・128	N－61°－E	(1.84)	(3.94)	84.0	(3.34)	東壁	有	坏・甕	蓋	
H－2	X105・106、Y109・110	N－75°－E	(2.64)	(3.32)	(21.5)	(7.05)	東壁	有	坏・甕	坏・蓋	

Tab.10　元総社蒼海遺跡群（1）3トレンチ 住居カマド計測表

遺構名	主軸方向	全長 (cm)	最大幅 (cm)	煙道部長 (cm)	煙道部幅 (cm)	燃焼部幅 (cm)	焚き口部幅 (cm)	煙道部立上り角 (°)	構　築　材
H－1	N－73°－E	112	60						粘土
H－2	N－72°－E	112	118						粘土・凝灰質砂岩

Tab.11　元総社蒼海遺跡群（1）3トレンチ 溝跡計測表

遺構名	位　置 グリッド	主軸方向	長さ (m)	最大幅（m）		深さ (cm)	断面形
				上幅	下幅		
W－1	X106～108、Y122・123	N－119°－E	6.58	0.90	0.50	19.0	U字形
W－2	X106～108、Y128・129	N－83°－W	7.60	(2.18)	(1.48)	53.0	U字形
W－3	X106～108、Y124・125	N－118°－E	8.72	0.78	0.44	25.0	U字形

Tab.12　元総社蒼海遺跡群（1）3トレンチ 土坑計測表

遺構名	位　置 グリッド	規模（cm）			形　状	遺物数量	出土遺物
		長軸	短軸	深さ			
D－1	X107、Y121・122	112.0	(92.0)	14.5	楕円形		

Tab.13　元総社蒼海遺跡群（1）4トレンチ 竪穴住居跡計測表

遺構名	位　置 グリッド	主軸方向	規模（m）		壁現高 (cm)	面積 (m²)	カマド位置	周溝	主な出土遺物		
			東西	南北					土師器	須恵器	その他
H－1	X152・153、Y140・141	N－89°－E	3.06	(4.06)	34.0	(11.53)	東壁南寄り	有		坏	灰釉椀・釘
H－2	X153、Y140・141	N－98°－E	(2.40)	(4.42)	36.5	(9.37)	―	―		坏	

Tab.14　元総社蒼海遺跡群（1）4トレンチ 住居カマド計測表

遺構名	主軸方向	全長 (cm)	最大幅 (cm)	煙道部長 (cm)	煙道部幅 (cm)	燃焼部幅 (cm)	焚き口部幅 (cm)	煙道部立上り角 (°)	構　築　材
H－1	N－100°－E	78	(86)	(22)	(30)	(42)	(56)	―	粘土

Tab.15　元総社蒼海遺跡群（1）4トレンチ 溝跡計測表

遺構名	位　置 グリッド	主軸方向	長さ (m)	最大幅（m）		深さ (cm)	断面形
				上幅	下幅		
W－1	X149・150、Y140・141	N－190°－E	5.92	4.15	0.94	136.0	逆台形
W－2	X149・150、Y140・141	N－194°－E	5.18	1.36	0.64	124.0	逆台形
W－3	X144～148、Y140～142	N－141°－E	(16.00)	13.00	3.80	450.0	逆台形

Tab.16　元総社蒼海遺跡群（1）1トレンチ 出土土器観察表

番号	器種名	出土遺構 ／層位	①口径②器高	①胎土②焼成 ③色調④遺存度	器種の特徴・整形・調整技術	備　考
1	土師器 坏	H－1 床	①12.8　②4.2	①細粒。少量の砂を含む。②良好 ③7.5YR5/3 ④口縁一部欠損	口縁：短くやや内傾する。外面：口縁横ナデ。体部篦削り。内面：口縁横ナデ。体部ナデ	H-1-2
2	須恵器 椀	H－1 床	①17.6　②4.3	①細粒。僅かに小礫を含む。②良好。還元焔。③10YR7/1 ④1/2	口縁：やや外反し直線的に立ち上がる。外面・内面：ロクロ整形。底部：ロクロ整形後篦ナデ。高台：短く台形	H-1-1
3	須恵器 蓋	W－1 覆土	①[10.2] ②(1.9)	①やや砂を含む細粒。②良好。還元焔。③2.5Y5/1 ④破片	天井部：ゆるやかに彎曲する。口縁：天井部からゆるやかに屈曲して開き、短い三角形状のかえりが付く。外面・内面：ロクロ整形。	H-1-覆土一括

Tab.17　元総社蒼海遺跡群（1）1トレンチ 出土瓦観察表

番号	器種名	出土遺構／層位	①長さ ②幅	①胎土②焼成 ③色調④遺存度	器種の特徴・整形・調整技術	備　考
1	軒平瓦	A－1 底面	①(9.5) ②26.5	①細粒。白色粒子多めに含む。②良好。還元焔。③10YR6/2 ④1/6	瓦当面：流水文。一枚作り。	A-1-61
2	軒丸瓦	A－1 底面	①(1.5) ②(6.0)	①細粒。②良好。還元焔。③5Y7/2 ④瓦当面の約1/8	瓦当面：文様不明。一本作り。	A-1-13
3	平瓦	A－1 底面	①(13.5)②(15.2)	①細粒。白色粒子少量含む。②良好。還元焔。③7.5Y6/1 ④1/8	桶巻き作り。凸面：狭端部寄りに箆書き文字。判読不能。凹面：布合わせ目痕あり。	A-1-110
4	軒丸瓦	A－2 底面	①(1.6) ②(8.4)	①細粒。白色粒子多めに含む。②良好。還元焔。③ N6/0 ④瓦当面の1/5	瓦当面：単弁五葉か。一本作り。	A-2-100
5	平瓦	X-69，Y-91 IIIa層	①(7.6) ②(5.0)	①細粒。白色粒子少量含む。②やや不良。還元焔。③2.5Y5/2 ④側縁部破片	凹面側縁寄りに刻印。金型「方」か。	金型
6	軒丸瓦	表土	①(1.5) ②(8.2)	①細粒。白色粒子少量含む。②良好。還元焔。③10Y6/1 ④瓦当面破片	瓦当面：文様不明。	表土
7	軒丸瓦	表土	①(1.4) ②(9.0)	①細粒。白色粒子少量含む。②良好。還元焔。③ ④瓦当面破片	瓦当面：文様不明。凸面：縦位箆削り。	表土

Tab.18　元総社蒼海遺跡群（1）1トレンチ 出土鉄器観察表

番号	器種名	出土遺構／層位	最大長	最大幅	最大厚	重さ	材質	遺存度	備　考
1	釘	A－1 覆土	6.5	0.5	0.4	14.6	鉄	不明	A-1　X-70，Y-95

Tab.19　元総社蒼海遺跡群（1）　2トレンチ 出土土器観察表

番号	器種名	出土遺構／層位	①口径②器高 ③底径	①胎土②焼成 ③色調④遺存度	器種の特徴・整形・調整技術	備　考
1	土師器 坏	H－2 覆土	①[13.0] ②3.8	①細粒。わずかに砂を含む。②良好。③5YR5/6 ④口縁部破片	口縁：短く直立気味。外面：口縁横ナデ。体部箆削り。内面：ナデ	H-2-183
2	須恵器 坏	H－2 覆土	①[13.0] ②3.0 ③ [8.0]	①細粒。僅かに小礫を含む。②良好。還元焔。③ Hue5Y6/1 ④1/5	口縁：外反気味でゆるやかに立ち上がる。外面・内面：ロクロ整形。底部：回転糸切り後外周箆ナデ。	H-2-128
3	須恵器 坏	H－2 覆土	①14.0　②4.9 ③ 6.4	①少量の砂を含む。②良好。酸化焔。③10YR6/4 ④5/5	底部～口縁：外反気味でゆるやかに立ち上がる。外面・内面：ロクロ整形。底部：回転糸切り後外周ナデ	H-2-197
4	須恵器 椀	H－2 カマド袖	①[15.7] ②5.1 ③　8.1	①細粒。②良好。還元焔。③10YR8/2 ④3/5	底部～口縁：外反気味に立ち上がる。外面・内面：ロクロ整形。底部：回転糸切り後、台形状の短い高台を付ける	H-2-カマド袖
5	須恵器 椀	H－2 覆土	①[18.0] ②6.1 ③ (9.0)	①細粒。②良好。酸化焔。③7.5YR6/4 ④底部～口縁破片	底部～口縁：ゆるやかに内彎する。外面・内面：ロクロ整形。底部：回転糸切り後、高台を付ける。高台剝落。内面黒色処理。	H-2-25
6	土師器 甕	H－2 覆土	①[17.0] ② (9.8)	①細粒。少量の砂を含む。②良好。③7.5YR4/2 ④口縁破片	口縁：崩れたコの字状。外面：口縁横ナデ。口縁下横位箆削り。胴部横、斜位箆削り。内面：横ナデ。	H-2-覆土一括
7	須恵器 坏	H－3 覆土	①13.6　②4.1 ③ 5.1	①細粒。少量の砂を含む。②良好。酸化焔。③7.5YR5/3 ④完形	口縁：外反して開く。外面・内面：ロクロ整形。口縁ロクロナデ。底部：回転糸切り。土師質。	H-3-75
8	須恵器 椀	H－3 床	①[15.0] ②4.9 ③ [6.8]	①細粒。僅か砂を含む。②やや良好。酸化焔。③7.5YR7/4 ④1/3	体部～口縁：内彎気味で開く。外面・内面：ロクロ整形。底部：短い台形状の高台を付付けた後、ナデ。	H-3-68
9	須恵器 椀	H－3 カマド	①15.2　②5.3 ③ 7.5	①細粒。少量砂を含む。②やや良好。還元焔。③2.5Y7/2 ④2/3	体部～口縁：内彎気味でハの字に開く。外面・内面：ロクロ整形。底部：回転糸切り後、短い台形状の高台を付す。	H-3-272
10	須恵器 椀	H－3 覆土	①14.4　②5.2 ③ 6.6	①細粒。少量の砂を含む。②良好。酸化焔。③7.5YR7/2 ④3/4	体部～口縁：内彎気味でハの字に開く。外面・内面：ロクロ整形。底部：回転糸切り後、短い台形状の高台を付け、回転箆削りで糸切り痕を消す。	H-3-69
11	須恵器 坏	H－3 覆土	①[17.4] ②(4.3)	①細粒。僅か砂を含む。②良好。酸化焔。③7.5YR5/3 ④1/5底部欠損	体部～口縁：直線的にハの字状に開く。外面・内面：ロクロ整形。	H-3-147
12	土師器 甕	H－3 カマド	①[18.4] ②(9.1)	①細粒。砂を含む。②やや良好。③5YR5/6 ④口縁～頸部破片。	口頸部：崩れたコの字状。外面：口縁横ナデ。口縁下横位箆削り。内面：横ナデ	H-3-94
13	須恵器 坏	H－5 床	①13.8　②3.6 ③ 7.3	①細粒。僅か砂を含む。②やや不良。酸化焔気味。③2.5Y7/2 ④2/3	体部～口縁：やや内彎して開く。外面・内面：ロクロ整形。底部：回転糸切り	H-5-219
14	須恵器 坏	H－5 床	①[12.8] ②2.9 ③ [7.2]	①細粒。②良好。還元焔。③ N7/0 ④1/3底部欠損	体部～口縁：短く直線的に開く。外面・内面：ロクロ整形。底部：回転糸切り	H-5-81
15	須恵器 椀	H－5 覆土	①[15.4] ②6.2 ③　8.2	①細粒。僅かに砂を含む。②良好。還元焔。③2.5GY6/1 ④1/3	体部～口縁：内彎して開く。外面・内面：ロクロ整形。底部：回転糸切り後、高台を付し、ロクロナデ	H-5-217
16	須恵器 皿	H－5 床	①[13.2] ②2.4 ③　7.4	①細粒。②良好。還元焔。③2.5GY6/1 ④1/3	皿部：僅かに内彎。外面・内面：ロクロ整形。底部：回転糸切り後、短く内側に三日月状に内彎する高台を付した後、ロクロナデにより糸切り痕を消す。	H-5-113
17	土師器 甕	H－5 床	①[19.6] ②(9.0)	①細粒。細砂を含む。②良好。③5YR5/4 ④口縁～頸部の1/3	口頸部：ややコの字状を呈す。外面：口縁横ナデ。口縁下横、斜位箆削り。内面：口頸部横ナデ。胴部ナデ	H-5-275
18	土師器 坏	H－6 床	①11.9　②3.3	①砂粒を少量含む。②良好。③5YR6/6 ④完形	体部：丸底気味。口縁：やや内彎して短く立ち上る。外面：口縁横ナデ。体部箆削り。内面：横ナデ	H-6-94
19	土師器 坏	H－6 床	①11.2　②3.5	①雲母含む砂粒を少量含む。②良好。③5YR5/6 ④完形	体部：丸底気味。口縁：短く直線的に立ち上る。外面：口縁横ナデ。体部箆削り。内面：横ナデ。一部磨き。	H-6-81
20	土師器 坏	H－6 床	①14.4　②4.8	①砂粒を多めに含む。②良好。③5YR6/6 ④1/2	体部：平底気味。口縁：やや内彎して短く立ち上る。外面：口縁横ナデ。体部箆削り。内面：横ナデ。	H-6-90
21	土師器 坏	H－6 床	①[12.2] ②3.5	①砂粒を僅かに含む。②良好。③5YR5/4 ④1/3	体部：丸底気味。口縁：やや内彎して短く立ち上る。外面：口縁横ナデ。体部箆削り。内面：ナデ	H-6-113
22	土師器 坏	H－6 覆土	①12.2　②3.8	①砂粒を少量含む。②良好。③7.5YR6/6 ④1/3	体部：平底気味。口縁：やや内彎して立ち上る。外面：口縁横ナデ。体部箆削り。内面：口縁横ナデ。体部ナデ	H-6-98
23	土師器 坏	H－6 覆土	①[16.8] ②4.3	①砂粒を少量含む。②良好。③2.5YR5/6 ④1/3	体部：ゆるやかな丸底。弱い稜線で体部と口縁部を画する。口縁：やや外反して開く。外面：体部箆削りの後、口縁横ナデ。内面：横ナデ	H-6-129
24	土師器 坏	H－6 床	①9.2　②3.4	①細砂を少量含む。②良好。③7.5YR5/3 ④ほぼ完形。	体部～口縁：ゆるやかな丸底から内彎して立ち上る。外面：口縁部ナデ整形の後、体部箆削り。内面：横ナデ。箆端部の圧痕残る。	H-6-103
25	須恵器 椀	H－6 覆土	①[13.6] ②5.4 ③　5.8	①細粒僅かに砂を含む。②良好。酸化焔。③7.5YR6/2 ④1/2	体部:やや内彎気味に立ち上る。口縁：僅かに外反して開く外面・内面：体部ロクロ整形ナデ。底部低い高台を付けた後、指頭によるナデ。	H-6-1

26	須恵器 椀	H－6 覆土	①[12.8] ②5.0 ③ [7.2]	①細粒。②良好。酸化焰。 ③7.5YR6/3 ④1/3	体部～口縁部:やや内彎気味であるが直線的に立ち上る。外面：ロクロ整形ナデ。内面：黒色処理。底部低い三角形状の高台を付けた後、指頭によるナデ。	H-6-53
27	須恵器 椀	H－6 覆土	①[14.4] ②5.9 ③ 7.6	①砂粒を少量含む。②やや良好。還元焰。③10YR7/2 ④1/2	体部:やや内彎する。口縁：ゆるやかに外反する。外面・内面：ロクロ整形ナデ。底部：回転糸切りの後、低い台形状の高台を付け、糸切りの外周を指頭によりナデ整形。	H-6-2
28	須恵器 椀	H－6 覆土	①15.0 ②5.7 ③ 7.2	①砂粒を多く含む。②良好。還元焰。③5Y6/1 ④ほぼ完形。	体部～口縁部:直線的に立ち上がり、口縁わずかに外反する。外面・内面：ロクロ整形ナデ。底部：糸切りの後、低い台形状の高台を付け、糸切り外周をナデ整形。	H-6-15
29	土師器 坏	H－7 覆土	①[12.7] ②3.6	①砂粒を少量含む。②良好。 ③5YR6/6 ④1/3	体部：平底気味。外面：口縁横ナデの後、体部篦削り。内面：横ナデ。	H-7-27
30	須恵器 椀	H－7 覆土	①[15.7] ②5.7 ③ [7.4]	①粗めの砂粒を少量含む。 ②良好。酸化焰焼成気味。 ③10YR7/2 ④1/4	体部～口縁：直線的に立ち上る。外面・内面：ロクロ成形ナデ。底部：回転糸切りの後、低い四角形状の高台を付す。	H-7-73
31	灰釉陶器 椀	H－7 覆土	① — ②(2.9) ③9.0	①緻密。②良好。③2.5Y7/1 ④底部の約1/2	体部：やや内彎するか。外面・内面：ロクロ成形ナデ。底部：三日月状に内彎する高台を付した後、ロクロにより整形。釉薬漬けがけ。	H-7-168
32	灰釉陶器 椀	H－7 覆土	①[16.4] ②5.8 ③ [8.0]	①緻密。②良好。③2.5Y7/2 ④1/4	体部：やや内彎して立ち上る。口縁部：短く外反して開く。外面・内面：ロクロ成形ナデ。底部：低い四角形状の高台を付した後、ロクロにより整形。釉薬漬けがけ。	H-7-142
33	土師器 甕	H－7 床	①18.8 ②(19.0)	①細粒。わずかに砂を含む。 ②良好。③5YR6/4 ④上半約2/3	口頸部：コの字を呈す。外面：口縁横ナデ。胴上部横位篦削り。胴下半部斜め方向篦削り。内面：口縁～胴上半部横ナデ。胴下半部横・斜位篦ナデ。	H-7-122
34	土師器 甕	H－7 カマド内	①19.2 ②24.7	①細粒。少量の砂を含む。 ②良好。③7.5YR5/4 ④3/5	口頸部：コの字を呈す。胴部：球胴気味。外面：口頸部横ナデ。頸部下横位篦削り。胴上半部斜め方向篦削り。胴下半部縦位篦削り。内面：口頸部横ナデ。胴上半部横位篦ナデ。胴下半部縦位篦ナデ。	H-7-カマド
35	土師質土器 小型甕	H－7 覆土	①(11.8) ②(13.0)	①細粒。少量の砂を含む。②良好。酸化焰。③7.5YR6/4 ④3/4	胴中位に最大径があり、口縁は短く屈曲して開く。外面・内面：ロクロ成形ナデ。底部回転糸切り後、外周篦削り。	H-7-32
36	須恵器 椀	H－8 床	①不明 ②不明 ③[6.0]	①細粒。わずかに砂を含む。 ②良好。還元焰。③7.5Y7/1 ④底部破片	底部：回転糸切り後、三角～台形状の高台を付す。	H-8-覆土一括
37	須恵器 椀か	H－8 覆土	①[14.2] ②不明 ③不明	①少量の砂を含む。②やや不良。 酸化焰。③10YR7/3 ④口縁部破片	体部：やや内彎。口縁部：外反気味に開く。外面・内面：ロクロ成形ナデ。	H-8-22
38	土師器 甕	H－8 床	①[18.4] ②不明	①少量の砂を含む。②良好。 ③7.5YR6/4 ④口縁～胴上部破片	口頸部：乱れたコの字を呈す。外面：口頸部横ナデ。胴上半部横位篦削り。内面：口頸部横ナデ。胴上半部横位篦ナデ。	H-8-13
39	土師器 坏	H－10 床	①12.0 ②3.3	①砂粒を含む。②やや良好。 ③7.5YR6/4 ④完形	体部～口縁部：平底気味の底部から直線的に立ち上る。外面：体部篦削りの後、口唇下幅狭に横ナデ。内面：ナデ。	H-10-36
40	土師器 坏	H－10 覆土	①11.6 ②3.3	①砂粒を含む。②やや良好。 ③7.5YR6/4 ④ほぼ完形	体部～口縁部：平底気味の底部からやや外反して立ち上る。外面：底部篦削りの後、口縁部横ナデ。指頭の圧痕が残る。内面：ナデ。	H-10-25
41	須恵器 椀	H－10 覆土	①[21.8] ②(8.1) ③(11.5)	①細粒。少量の砂粒を含む。 ②良好。酸化焰。③7.5YR6/4 ④1/3	体部～口縁部：体部やや内彎して立ち上り、口縁外反気味に開く。外面：ロクロ成形ナデ。内面：黒色処理。放射状の暗文。底部：回転糸切りの後、高台を付すが、高台剝落。	H-10-7
42	須恵器 坏	H－10 覆土	①12.0 ②3.6 ③ 5.3	①細粒わずかに砂粒を含む。 ②やや良好。還元焰。 ③2.5Y8/2 ④ほぼ完形	体部～口縁部：やや内彎して立ち上がり、口縁は外反気味に開く。外面・内面：ロクロ成形ナデ。底部：回転糸切り	H-10-55
43	須恵器 坏	H－10 覆土	①13.0 ②4.4 ③ 6.0	①やや多く砂粒を含む。②良好。 還元焰。③5Y6/1 ④ほぼ完形	体部～口縁部：直線的にハの字状に開いて立ち上がる。外面・内面：ロクロ成形ナデ。底部：回転糸切り後、外周を雑にナデる。	H-10-52
44	須恵器 坏	H－10 覆土	①13.6 ②3.4 ③ 7.6	①細粒。わずかに砂粒を含む。 ②良好。還元焰。③10YR8/1 ④ほぼ完形	体部～口縁部：内彎気味にハの字状に開いて立ち上がる。外面・内面：ロクロ成形ナデ。底部：回転糸切り。	H-10-53
45	須恵器 椀	H－10 床	①[14.6] ②5.5 ③ [8.0]	①細粒。②良好。還元焰。 ③10Y7/1 ④3/5	体部～口縁部：やや内彎してゆるやかに立ち上がる。外面・内面：ロクロ成形ナデ。底部：回転糸切り後、低い三角～台形状の高台を付す。	H-10-80
46	須恵器 椀	H－10 床	①不明 ②(2.4) ③6.6	①細粒。わずかに砂を含む。 ②良好。酸化焰。③10Y7/3 ④底部破片	体部：やや内彎して立ち上がる。外面・内面：ロクロ成形ナデ。底部：回転糸切り後、低い三角～台形状の高台を付す。高台の内外はロクロ整形。	H-10-64
47	須恵器 皿	H－10 床	①13.4 ②2.9 ③ 7.0	①細粒。黒色粒子多く含む。 ②良好。還元焰。③ N7/0 ④完形	皿部～口縁部：体部やや内彎し、口縁は外反して水平に開く。外面・内面：ロクロ成形ナデ。底部：回転糸切り後、低く薄手の高台を付す。高台の内外はナデで糸切り痕残す。	H-10-34
48	土師器 甕	H－10 カマド内	①19.8 ②(21.0)	①少量の砂を含む。②良好。 ③5YR6/6 ④1/2	口頸部：コの字を呈す。外面：口縁横ナデ。胴上部横位篦削り。胴下半部斜位篦削り。内面：口縁～胴上半部横ナデ。胴下半部横・斜位篦ナデ。	H-10-カマド覆土
49	土師器 甕	H－10 覆土	①13.8 ②(9.8)	①少量の砂を含む。②良好。 ③5YR4/6 ④1/5	口頸部：コの字を呈す。外面：口縁横ナデ。胴上部横位篦削り。内面：口頸部横ナデ。胴上半部横・斜め方向ナデ。	H-10-32
50	土師器 台付甕	H－10 床上覆土	①12.2 ②14.8 ③ 8.8	①やや多く砂粒を含む。 ②良好。③7.5YR5/4 ④2/3	口頸部：コの字を呈す。外面：口縁横ナデ。胴上～中部横位篦削り。脚部横ナデ。内面：口頸部横ナデ。胴上半部横位篦ナデ。胴下半部斜めのナデ。脚部横ナデ。	H-10-71
51	土師器 坏	H－11 床	①11.8 ②3.4	①やや粗い。白色粒子、雲母を含む。②良好。③2.5YR6/6 ④完形	体部～口縁：丸底からゆるやかに彎曲して立ち上がり、口縁は短く内彎する。外面：体部篦削りの後、口縁幅狭く横ナデ。内面：横ナデ。	H-11-240
52	土師器 坏	H－11 床	①[13.4] ②4.7	①細粒。少量の砂を含む。 ②良好。③5YR6/6 ④2/3	体部～口縁：丸底からゆるやかに彎曲して立ち上がり、口縁は短く内彎する。外面：体部篦削りの後、口縁幅狭く横ナデ。内面：横ナデ。	H-11-116
53	土師器 坏	H－11 床	①[19.0] ②6.5	①細粒。少量の砂、黒色粒子を含む。②良好。③5YR6/6 ④1/2	体部～口縁：丸底の底部から口縁までゆるやかに彎曲する。大型の坏。外面：体部篦削りの後、口縁横ナデ。内面：上半横位・斜位の篦ナデ。	H-11-131
54	土師器 坏	H－11 床	①15.7 ②4.2	①細粒。少量の砂を含む。 ②良好。③5YR6/6 ④完形	体部～口縁部：丸底からゆるやかに内彎し、口縁部とは稜線で画される。口縁はゆるやかに外彎して開く。外面：体部篦削りの後、口縁横ナデ。内面：上半横ナデ。	H-11-121
55	土師器 坏	H－11 床	①[17.6] ②(4.3)	①細粒。少量の砂を含む。 ②良好。③7.5YR5/6 ④1/5	体部～口縁部：丸底からゆるやかに内彎し、口縁部とは稜線で画される。口縁はゆるやかに外彎して開く。外面：体部篦削りの後、口縁横ナデ。内面：口縁横ナデ。	H-11-122
56	土師器 坏	H－11 カマド	①11.1 ②3.6	①やや粗い。黒・白色粒子、雲母を含む。②良好。③5YR6/4 ④完形	体部～口縁：丸底からゆるやかに彎曲して立ち上がり、口縁は短く内彎する。外面：体部篦削りの後、口縁幅狭く横ナデ。内面：横ナデ。	H-11-239
57	土師器 坏	H－11 カマド袖	①[12.2] ②3.6	①少量の砂を含む。②やや良好。 ③7.5YR6/4 ④1/2	体部～口縁：平底の底部から直線的にハの字に開く。外面：体部篦削りの後、口縁横ナデ。内面：体部横ナデ。底部ナデ。	H-11-カマド左袖

58	土師器 坏	H－11 覆土	①10.6　②3.4	①砂をやや多く含む。②良好。 ③5YR6/6 ④2/3	体部～口縁：丸底からゆるやかに彎曲して立ち上がり、口縁は直線的に短く内傾する。外面：体部篦削りの後、口縁横ナデ。内面：横ナデ。	H-11-130
59	土師器 坏	H－11 覆土	①10.6　②3.1	①砂をやや多く含む。②良好。 ③7.5YR4/6 ④2/3	体部～口縁：丸底からゆるやかに彎曲して立ち上がり、口縁は短く内彎する。外面：体部篦削りの後、口縁幅狭く横ナデ。内面：横ナデ。	H-11-156
60	土師器 坏	H－11 覆土	①[13.7] ②3.6	①細粒。少量の砂を含む。 ②良好。③5YR6/6 ④3/5	体部～口縁：丸底からゆるやかに彎曲して立ち上がり、口縁は短く内彎する。外面：体部篦削りの後、口縁横ナデ。内面：横ナデ。	H-11-258
61	土師器 坏	H－11 覆土	①[18.0] ②4.5	①細粒。少量の砂を含む。 ②良好。③5YR6/6 ④1/5	体部～口縁部：丸底からゆるやかに内彎し、口縁部とは稜線で画される。口縁はゆるやかに外彎して開く。外面：体部篦削りの後、口縁横ナデ。内面：横ナデ。	H-11-285
62	須恵器 蓋	H－11 P.2 覆土	①[12.4] ②(2.1)	①細粒。少量の砂を含む。 ②良好。還元焔。③ N6/0 ④1/5	天井部～口縁部：水平な天井部からゆるやかに彎曲し、口縁はわずかに外反して開く。内側に短いかえりが付く。外面：回転篦削り、口縁ロクロ整形ナデ。内面：ロクロ整形ナデ。	H-11-P2
63	土師器 甕	H－11 カマド	①22.5　②32.5	①少量の砂を含む。②やや良好。 ③5YR7/6 ④ほぼ完形。	口縁部：外反して開く。胴部：上半がゆるやかに膨れる。外面：胴部斜位の篦削り後、口縁横ナデ。内面：口縁横ナデ。胴上半横位篦ナデ。胴下半ナデ。	H-11-237
64	土師器 甕	H－11 カマド	①不明　②(17.5)	①わずかに砂を含み緻密。②良好。③10YR7/4 ④胴下半部のみ。	胴部：上半が膨れる。やや器壁厚い。外面：端部柾目の篦状工具による縦位の削り及びナデ。内面：同工具による横位のナデ。	H-11-246
65	須恵器 坏	H－12 床	①12.4　②3.8	①細粒。②良好。還元焔。 ③10YR7/1 ④4/5	体部～口縁部：直線的にハの字状に開き、口縁わずかに外反する。外面･内面：ロクロ成形ナデ。底部：回転糸切り。	H-12-14
66	須恵器 椀？	H－13 床	①[14.8] ②(3.4)	①少量の砂を含む。②やや良好。 還元焔。③5Y6/1 ④1/5	体部～口縁部：内彎気味に立ち上り、口縁わずかに外反して開く。外面・内面：ロクロ成形ナデ。	H-13- 1
67	土師器 坏	H－14 覆土	①[12.0] ②(3.5)	①わずかに砂を含み緻密。 ②良好。③5YR6/6 ④1/6	体部～口縁部：丸底気味の底部からゆるやかに内彎し、口縁は短く直立する。外面：体部篦削り。口縁横ナデ。内面：横ナデ。	H-14-覆土一括
68	土師器 坏	H－14 覆土	①[12.0] ②(2.3)	①わずかに砂を含む。②良好。 ③5YR6/6 ④口縁部破片。	口縁部：内彎する。外面：体部篦削り。口縁幅狭の横ナデ。内面：横ナデ。	H-14- 6
69	須恵器 椀？	H－14 覆土	①[11.8] ②(4.2)	①少量の砂を含む。②やや良好。 酸化焔気味。③2.5Y7/2 ④口縁部破片。	体部～口縁部：内彎気味に立ち上り、口縁わずかに外反して開く。外面・内面：ロクロ成形ナデ。	H-14-覆土一括
70	須恵器 坏	H－16 覆土	①[12.6] ②4.0 ③　6.5	①わずかに砂を含む。②やや不良。還元焔。③2.5GY7/1 ④2/3	体部～口縁部：外彎気味に立ち上る。口縁の一部が片口状に張り出す。外面：ロクロ成形後、ナデによりロクロ痕を消す。内面：ナデ。底部：回転糸切り後、外周をナデ。	H-16-13
71	土師器 坏	H－17 覆土	①[13.0] ②3.8	①わずかに砂を含む。②良好。 ③5YR5/4 ④1/3	体部～口縁部：丸底気味の底部がゆるやかに内彎し、口縁は直線的に立ち上る。外面：体部篦削り。口縁横ナデ。内面：横ナデ。	H-17- 5
72	灰釉陶器 皿	H－17 覆土	①[13.8] ②3.5 ③ [7.1]	①細粒。緻密。②良好。 ③2.5Y7/1 ④1/4	皿部～口縁部：ゆるやかに彎曲し、口縁はわずかに外反する。外面・内面：ロクロ整形ナデ。底部：低い台形状の高台を付した後、底部ロクロ整形ナデ。	H-17-144
73	土師器 甕	H－18 カマド覆土	①[22.0] ②(5.3)	①わずかに砂を含む。②良好。 ③7.5YR5/2 ④口縁部破片。	口頸部：コの字を呈す。外面：口縁横ナデ。胴上部横位篦削り。内面：口頸部横ナデ。	H-18- 4
74	土師器 台付甕	H－18 カマド覆土	①不明　②(5.0) ③6.4	①わずかに砂を含む。②良好。 ③7.5YR4/3 ④脚部破片。	外面：胴下半部縦位・横位の篦削り。脚部横ナデ。内面：胴下半部縦位篦ナデ。脚部横ナデ。	H-18-62
75	須恵器 坏	H－19 覆土	①[12.0] ②4.2 ③ [8.4]	①少量の砂を含む。②良好。還元焔。③2.5Y6/1 ④1/3	体部～口縁部：体部わずかに内彎し、口縁はわずかに外反する。外面・内面：ロクロ整形ナデ。底部：丁寧なナデにより切断痕を消す。	H-19-119
76	土師器 甕	H－19 床	①[21.0] ②(20.0)	①砂粒をやや多く含む。 ②良好。③5YR6/6 ④1/4	口頸部：ややコの字状を呈す。外面：口縁横ナデ。胴上部横位篦削り。胴下半部斜位の篦削り。内面：口頸部横ナデ。胴部横位・斜位の篦ナデ	H-19-128
77	土師器 坏	H－20 覆土	①[12.0] ②(2.8)	①わずかに砂を含む。②良好。 ③5YR6/4 ④口縁部破片。	体部～口縁部：平底気味の底部からゆるやか彎曲し、口縁は直線的に立ち上る。外面：体部篦削り。口縁横ナデ。指頭圧痕残る。内面：横ナデ。	H-20- 2
78	土師器 坏	H－21 床	①11.2　②3.6	①やや多く砂粒、黒色粒子少量含む。②良好。③5YR6/6 ④完形。	体部～口縁：丸底きみの底部からゆるやかに彎曲し、口縁は短く内傾する。外面：体部篦削りの後、口縁横ナデ。内面：横ナデ。	H-21-19
79	須恵器 盤	H－21 床	①25.0　②3.1 ③18.3	①少量の砂粒を含み緻密。 ②良好。還元焔。③2.5Y7/1 ④完形。	体部～口縁：平底から屈曲して外椀気味に口縁が立ち上る。外面：回転篦削り。内面：ロクロ整形ナデ。底部：L字状の高台を付し、ロクロ整形ナデ。	H-21-18
80	土師器 坏	H－22 床	①[16.0] ②4.2	①少量の砂を含む。②良好。 ③5YR5/6 ④1/5	体部～口縁部：丸底からゆるやかに内彎し、口縁部とは弱い稜線で画される。口縁はゆるやかに外彎して開く。外面：体部篦削りの後、口縁横ナデ。内面：口縁横ナデ。体部ナデ。	H-22- 1
81	土師器 甕	H－22 床	①[24.0] ②(7.0)	①少量の砂を含む。②良好。 ③5YR7/6 ④口縁部破片。	口縁部：胴部から屈曲し外彎して開く。外面：口頸部横ナデ。胴上部横位篦削り。内面：口頸部横ナデ。胴上部ナデ。	H-22- 5
82	土師器 坏	H－23 床	①[12.2] ②(3.6)	①少量の砂を含む。②やや良好。 ③7.5YR5/4 ④1/3	体部～口縁部：丸底の底部からゆるやか内彎し、口縁は直立気味に立ち上る。外面：体部篦削りの後、口縁横ナデ。内面：ナデ。	H-23-235
83	土師器 坏	H－23 覆土	①[13.6] ②4.0	①少量の砂を含む。②良好。 ③7.5YR6/4 ④1/2	体部～口縁部：丸底気味の底部からゆるやか彎曲し、口縁は直立気味に立ち上る。外面：体部篦削りの後、口縁横ナデ。口縁下に指頭圧痕残る。内面：ナデ。	H-23-328
84	土師器 坏	H－23 覆土	①[13.2] ②(3.2)	①少量の砂を含む。②良好。 ③7.5YR6/3 ④1/3	体部～口縁部：丸底気味の底部からゆるやか彎曲し、口縁は内傾気味に立ち上る。外面：体部篦削りの後、口縁横ナデ。内面：ナデ。	H-23-359
85	土師器 坏	H－23 覆土	①[14.4] ②(3.7)	①少量の砂を含む。②やや良好。 ③5YR6/4 ④1/4	体部～口縁部：丸底の底部からゆるやか彎曲して立ち上がり、口縁はわずかに内彎する。外面：体部篦削りの後、口縁幅狭の横ナデ。内面：横ナデ。	H-23-121
86	土師器 坏	H－23 覆土	①[12.6] ②(4.6)	①わずかに砂を含む。②良好。 ③7.5YR6/4 ④1/4	体部～口縁部：丸底の底部からゆるやか彎曲して立ち上がり、口縁は短く内彎する。外面：体部篦削りの後、口縁幅狭の横ナデ。内面：横ナデ。	H-23-209
87	土師器 坏	H－23 覆土	①[16.4] ②(3.5)	①少量の砂を含む。②良好。 ③7.5YR6/6 ④1/5	体部～口縁部：丸底からゆるやかに彎曲して立ち上り、口縁外反して開く。外面：体部篦削りの後、口縁横ナデ。内面：横位篦ナデ。	H-23-279
88	土師器 坏	H－23 覆土	①[15.6] ②(3.4)	①少量の砂を含む。②良好。 ③5YR5/4 ④1/5	体部～口縁部：丸底からゆるやかに内彎し、口縁部とは弱い稜線で画される。口縁はゆるやかに外彎して開く。外面：体部篦削りの後、口縁横ナデ。内面：口縁横ナデ。体部ナデ。	H-23-137
89	須恵器 坏	H－23 覆土	①[12.0] ②3.5 ③ [8.6]	①わずかに砂を含む。②良好。 還元焔。③10YR6/1 ④1/4	体部～口縁部：直線的に立ち上りハの字気味に開く。外面：ロクロ整形ナデ。内面：ナデ。底部：篦切りか？。丁寧なナデにより切断痕を消す。	H-23-343
90	須恵器 坏	H－23 覆土	①[12.6] ②3.3 ③ [9.0]	①やや多く砂粒を含む。②良好。 還元焔。③2.5Y5/1 ④1/3	体部～口縁部：内彎気味の体部がハの字状に開いて立ち上り、口縁わずかに外反する。外面･内面：ロクロ整形ナデ。底部：篦切りか？。丁寧なナデにより切断痕を消す。	H-23-379

91	須恵器 蓋	H－23 覆土	①[15.4] ②(2.1)	①少量の砂を含む。②やや良好。 還元焔。③ N7/0 ④1/3	天井部～口縁部：水平な天井部からゆるやかに彎曲し、口縁はわずかに開く。内側に短いかえりが付く。外面：斜位・横位の篦削り、口縁横ナデ。内面：ロクロ整形ナデ。	H-23-382
92	土師器 甕	H－23 覆土	①[22.0] ②(6.0)	①少量の砂を含む。②良好。 ③5YR6/6 ④口縁部約1/3	口縁部：胴部から屈曲し直線的に外反して開く。胴部：球胴形か。外面：口縁部横ナデ。胴上部横位篦削り。内面：口縁部横ナデ。胴上部横ナデ。	H-23-290
93	土師器 甕	H－23 覆土	①[18.0] ②(7.0)	①砂粒を多く含む。②良好。 ③10YR5/4 ④口縁部約1/4	口縁部：胴部から屈曲し、短く外彎する。胴部：球胴形か。外面：口縁部横ナデ。指頭圧痕残す。胴上部斜位篦削り。内面：口縁部横ナデ。胴上部ナデ。	H-23-125
94	須恵器 転用硯	H－23 床上覆土	①不明　②不明 ③[14.6]	①細粒。②良好。還元焔。 ③10Y6/1 ④底部約1/4	底部：削り出し高台状を呈す。底部外面：回転篦削りと考えられるが、硯面使用のため、摩滅している。	H-23-332
95	土師器 坏	H－24 床	①[12.0] ②(3.3)	①わずかに砂を含む。②良好。 ③5YR5/4 ④口縁部破片。	体部～口縁部：丸底の底部からゆるやか彎曲して立ち上がる。口縁は短く直線的で口唇がわずかに内屈する。外面：体部篦削りの後、口縁横ナデ。内面：横ナデ。	H-24-10
96	須恵器 小型鉢	H－24 床	①[14.0] ②(3.5)	①細粒。②良好。還元焔。 ③5Y6/1 ④口縁部破片。	体部～口縁部：体部と口縁は凹線により区画される。口縁は直線的に内傾する。外面・内面：ロクロ整形ナデ。	H-24- 1
97	須恵器 大甕	H－24 覆土	①[24.0] ②不明	①砂をやや多く、白色粒子少量含む。②良好。還元焔。 ③10YR5/1 ④口縁部破片。	口縁部：ゆるやかに外彎して開く。外面：口縁ロクロ整形ナデ。内面：口縁ロクロ整形ナデ。	H-24- 5
98	須恵器 蓋	H－25 床	①不明　②不明 つまみ径4.4	①細粒。わずかに砂含む。 ② 良 好。還 元 焔。③2.5GY6/1 ④つまみ部破片。	天井部：ほぼ水平か。やや大きいボタン状のつまみが付く。外面・内面：ロクロ整形ナデ。	H-25- 1
99	土師器 甕	H－28 床	①不明　②不明 ③不明	①少量の砂粒を含む。②良好。 ③7.5YR5/4 ④胴部約1/5	胴部：球胴状を呈する。外面：胴部斜位の篦削り。内面：胴部ナデ。	H-28- 5
100	土師器 甕	H－28 床、カマド	①18.4　②27.7 ③ 6.6	①砂粒を多く含み粗い。 ②良好。③5YR6/6 ④1/3	口縁部：胴部から屈曲し外反して開く。胴部：胴中位が膨らむ。外面：口縁横ナデ。胴上半縦位の篦削り。胴下半斜位篦削り。内面：口縁横ナデ。胴部横位篦ナデ。	H-28- 8
101	土師器 甕	H－28 覆土	①不明　②(17.8) ③[4.3]	①砂粒を多く含み、やや粗い。 ②良好。③5YR3/2 ④胴下半約2/3	胴部：上半がやや膨らむ。外面：胴下半斜位の篦削り。内面：横位篦ナデ。	H-28- 3
102	土師器 坏	H－29 床	①[14.0] ②4.3	①わずかに白色粒子を含む。緻密。②良好。③5YR5/6 ④1/3	体部～口縁部：丸底からゆるやかに彎曲して、凹線により作出した稜線により口縁と画される。口縁は弱い段を有し外反して開く。外面：体部篦削りの後、口縁横ナデ。内面：横ナデ。	H-29-71
103	土師器 坏	H－29 床、覆土	①[12.6] ②(3.1)	①細粒で緻密。②良好。 ③5YR5/4 ④口縁部破片。	体部～口縁部：浅めの丸底がゆるやかに彎曲する。丸みを帯びた稜線で口縁と画される。口縁は短くやや内傾する。外面：体部篦削りの後、口縁横ナデ。内面：横ナデ。	H-29-34
104	土師器 坏	H－29 覆土	①[12.4] ②(4.0)	①細粒で緻密。②やや不良。 ③7.5YR7/6 ④口縁部破片。	体部～口縁部：丸底がゆるやかに彎曲する。弱い稜線で口縁と画される。口縁は外彎気味に開く。外面：体部篦削りの。口縁横ナデ。内面：ナデ。	H-29-57
105	土師器 坏	H－31 床	①12.6　②4.9	①細粒で緻密。②良好。 ③10YR3/2 ④完形	体部～口縁部：丸底からゆるやかに彎曲して、丸みのある稜線により口縁と画される。口縁は弱い段を有し外反して開く。外面：体部篦削りの後、稜線を作り、口縁横ナデ。内面：横ナデ。	H-31-77
106	土師器 坏	H－31 床	①12.4　②4.7	①少量の砂を含む。緻密。 ②良好。③5YR6/6 ④4/5	体部～口縁部：深めの丸底からゆるやかに彎曲し、丸みのある稜線により口縁と画される。口縁は外反して開く。外面：体部篦削りの後、口縁横ナデ。内面：口縁横ナデ。体部篦ナデ。	H-31-49
107	土師器 坏	H－31 覆土	①13.7　②5.4	①細粒で緻密。②良好。 ③7.5YR6/1 ④2/3	体部～口縁部：丸底からゆるやかに彎曲し、丸みのある稜線により口縁と画される。口縁は凹線で３段となり、内彎気味に立ち上る。外面：体部篦削りの後、口縁横ナデ。内面：横ナデ。粗い放射状の暗文。	H-31-72
108	土師器 坏	H－31 覆土	①17.9　②7.6	①細粒で緻密。②良好。 ③7.5YR6/4 ④1/2	体部～口縁部：深めの丸底からゆるやかに彎曲し、鋭角の稜線により口縁と画される。口縁はやや内傾し直線的に立ち上る。外面：体部篦削りの後、口縁横ナデにより稜線を作出する。内面：口縁～体部上半横ナデ。体部下半篦ナデの後、粗い放射状の暗文。	H-31-80
109	土師器 坏	H－31 覆土	①16.0　②8.6	①わずかに砂を含む。②やや良好。③5YR6/8 ④完形	体部～口縁部：深い丸底からゆるやかに彎曲し、弱い稜線により口縁と画される。外彎気味に直立する。外面：体部篦削りの後、口縁横ナデにより稜線を作出。内面：口縁～体部上半横ナデ。体部下半ナデ。	H-31-50
110	土師器 甕	H－31 床	①20.5　②(5.9)	①わずかに砂を含む。②やや良好。③5YR6/6 ④口縁～胴上部約1/5	口縁部：胴部からゆるやかに外彎して開く。胴部：球胴形を呈す。外面：口縁部横ナデ。胴上部斜位篦削り。内面：口縁～胴上部横ナデ。	H-31-70
111	土師器 甕	H－31 床	①22.0　②(18.0)	①砂を多めに含む。②やや良好。 ③7.5YR6/4 ④口縁～胴上部約1/2	口縁部：ゆるやかに外彎して開く。胴部：膨らみがなく直線的。外面：胴部縦位の篦削りの後、口縁部横ナデ。一部指頭圧痕が残る。内面：口縁～胴上部横ナデ。	H-31-57
112	土師器 坏	H－32 覆土	①12.0　②3.4	①少量の砂を含む。②やや良好。 ③7.5YR6/6 ④4/5	体部～口縁：平底から屈曲して内彎気味の口縁が立ち上る。外面：体部篦削りの後、口縁横ナデ。内面：横ナデ。	H-32-88
113	須恵器 坏	H－32 覆土	①[12.8] ②4.7 ③ [7.0]	①わずかに砂を含む。②やや良好。還元焔。③2.5Y6/1 ④1/3	体部～口縁：直線気味にハの字に開いて立ち上る。外面・内面：ロクロ整形ナデ。底部：回転糸切り。周辺篦削り。	H-32-82
114	土師器 甕	H－32 床	①[19.0] ②(6.5)	①少量の砂を含む。②良好。 ③7.5YR6/3 ④口縁部の約1/3	口頸部：やや崩れたコの字状を呈す。外面：口頸部横ナデ。指頭圧痕が残る。頸部下横位篦削り。内面：横ナデ。	H-32-87
115	土師器 甕	H－32 覆土	①[20.0] ②(8.5)	①砂粒をやや多く含む。 ②良好。③5YR6/3 ④口縁～胴上部破片	口縁部：短めの口縁がゆるやかに外彎する。胴部：胴上位に最大径。器壁やや厚い。外面：口頸部横ナデ。胴上部斜位の篦削り。内面：横ナデ	H-32- 5
116	須恵器 坏	H－33 床	①[13.7] ②4.1 ③　6.9	①少量の砂を含む。②やや良好。 還元焔。③2.5Y6/1 ④1/3	体部～口縁：体部ゆるやかに内彎し口縁は外反する。外面・内面：ロクロ整形ナデ。底部：回転糸切り未調整。	H-33-30
117	須恵器 坏	H－33 床	①[14.6] ②4.6 ③ [6.9]	①わずかに砂を含む。②やや良好。還元焔。③2.5Y6/1 ④1/4	体部～口縁：体部は直線的に開き、口縁はわずかに外反する。外面・内面：ロクロ整形ナデ。底部：回転糸切り。周辺部ナデ。	H-33-46
118	須恵器 椀	H－33 床	①14.0　②6.7 ③ 5.7	①黒色・白色粒子を多く含む。 ②やや良好。酸化焔。 ③2.5Y2/6 ④完形	体部～口縁：やや深めの体部が内彎気味に開く。外面・内面：ロクロ整形ナデ。底部：回転糸切り後、低い台形状の高台を雑に付す。	H-33-28
119	須恵器 椀	H－33 床	①[14.8] ②6.0 ③　7.0	①細粒。緻密。②やや良好。酸化焔。③10YR7/2 ④1/3	体部～口縁：体部内彎気味に開き、口縁わずかに外反する。外面・内面：ロクロ整形ナデ。底部：回転糸切り後、低い台形～三角形状の高台を付し、高台の内外をロクロ整形。	H-33-33
120	須恵器 椀	H－33 床	①[15.0] ②4.8 ③ [7.1]	①細粒。②やや良好。酸化焔。 ③7.5YR7/8 ④1/4	体部～口縁：体部内彎気味に開き、口縁わずかに外反する。外面・内面：ロクロ整形ナデ。底部：回転糸切り後、低い台形～四角形状の高台を雑に付す。	H-33-31
121	灰釉陶器 椀	H－33 床上覆土	①[13.8] ②3.4 ③　6.8	①細粒。緻密。②良好。 ③10YR7/1 ④1/2	体部～口縁：体部丸みをもって、口縁わずかに外反する。外面・内面：ロクロ整形ナデ。底部：回転篦削り後、三角～内彎する三日月状の高台を付す。高台の内外はロクロ整形。	H-33-29

122	須恵器 椀	H－33 覆土	①[13.8] ②3.4 ③　6.0	①わずかに砂を含む。②やや良好。還元焰。③ N6/0 ④1/4	体部～口縁：内彎気味の体部から口縁わずかに外反して開く。外面・内面：ロクロ整形ナデ。底部：回転糸切り後、低い台形状の高台を雑に付す。	H-33-55
123	土師器 甕	H－33 覆土	①[25.0] ②(6.0)	①少量の砂含む。②良好。 ③7.5YR5/4 ④口縁部破片	口頸部：崩れたコの字状を呈す。外面：口頸部横位の篦ナデ。頸部下横位篦削り。内面：口頸部横ナデ。胴上部横位篦ナデ。	H-33-52
124	土師器 坏	H－34 覆土	①10.8 ②3.2	①砂粒を多く含む。②やや良好。 ③5YR6/6 ④完形	体部～口縁部：浅い丸底からゆるやかに彎曲し、口縁は短く内傾する。外面：体部篦削りの後、口縁幅狭の横ナデ。内面：横ナデ。	H-34-57
125	土師器 坏	H－34 覆土	①10.8 ②3.5	①わずかに砂粒を含む。 ②良好。③7.5YR6/6 ④3/4	体部～口縁部：丸底からゆるやかに彎曲し、口縁は短く内傾する。外面：体部篦削りの後、口縁幅狭の横ナデ。内面：横ナデ。	H-34-17
126	土師器 坏	H－34 覆土	①11.4　②3.3	①わずかに雲母片、石英を含む。 ②やや良好。③5YR6/6 ④2/3	体部～口縁部：浅い丸底からゆるやかに彎曲し、口縁は短く外反気味に直立する。外面：体部篦削りの後、口縁横ナデ。内面：口縁横ナデ。体部ナデ。	H-34-50
127	土師器 坏	H－34 覆土	①10.8　②3.4	①わずかに砂粒を含む。②やや良好。③5YR6/6 ④2/3	体部～口縁部：丸底からゆるやかに彎曲し、口縁は短く直立する。外面：体部篦削りの後、口縁幅狭の横ナデ。内面：口縁横ナデ。体部ナデ。	H-34-51
128	土師器 坏	H－34 覆土	①10.6　②(3.3)	①少量の砂を含む。②良好。 ③5YR6/6 ④1/2	体部～口縁部：丸底からゆるやかに内彎し、口縁部とは弱い稜線で画される。口縁はわずかに外反して開く。外面：体部篦削りの後、口縁横ナデ。内面：口縁横ナデ。体部ナデ。	H-34-52
129	土師器 小型甕	H－34 床	①15.0　②12.7	①多量の砂を含む。②やや不良。 ③7.5YR6/4 ④3/4	丸底から内彎して立ち上り、胴下部がわずかに膨らむ。頸部～口縁はわずかに外彎する。外面：体部篦削りの後、口縁横ナデ。胴部篦削り。調整痕不明瞭。内面：口頸部横ナデ。胴部横位篦ナデ。	H-34-49
130	須恵器 小型鉢	H－34 覆土	①[10.6]　②6.8 ③　5.0	①砂粒を多く含む。②やや不良。 酸化焰気味。③10YR6/4 ④1/2	平底の底部からわずかに内彎して立ち上り、口縁とは弱い稜線で画される。口縁は外反気味に直立する。外面：口縁横ナデ。胴部横位・斜位の篦削り。調整痕不明瞭。内面：ナデ。底部：葉脈状の刻線。	H-34-14
131	須恵器 坏	B－1 P1 覆土	①12.0　②3.1 ③ 8.3	①少量の砂を含む。②良好。還元焰。③2.5Y6/1 ④ほぼ完形	平底の底部から直線的に開く。体部下位の凹線により、底部を台状につくり出す。外面・内面：ロクロ整形ナデ。底部：回転糸切りの後、手持ち篦削り。	B-1-P1
132	須恵器 椀	W－2 覆土	①不明　②(2.7) ③6.2	①細粒で緻密。②良好。酸化焰。 ③7.5YR6/3 ④底部のみ	体部：やや内彎する。外面・内面：ロクロ成形ナデ。底部：回転糸切りの後、低い台形状の高台を付す。	W-2-5
133	須恵器 椀	W－2 覆土	①不明　②(1.3) ③6.8	①やや細粒。②やや不良。酸化焰。③2.5Y7/3 ④底部のみ	外面・内面：ロクロ成形ナデ。底部：回転糸切りの後、低い台形状の高台を付す。	W-2-4
134	須恵器 鉢	W－5 覆土	①不明　②(6.5) ③[10.2]	①少量の砂を含む。②良好。内面酸化焰。③5Y7/1 ④底部破片	底部張り出す。外面・内面：ロクロ整形ナデ。底部：回転篦削り。底面に剣尖状のもので刺突した跡あり。	W-5-46
135	緑釉陶器 椀か	W－6 覆土	①不明　②不明 ③不明	①緻密。②良好。③7.5Y6/1 ④体部破片	胎土は緻密で硬質。内・外面ともロクロ痕残して、施釉される。	W-6-11，14
136	須恵器 短頸壺	A－2 覆土	①[12.6] ②3.6 ③[11.0]	①細粒。②良好。還元焰。 ③7.5Y5/1 ④1/6	器高低く扁平。肩部が張り、頸部はごく短く直立する。外面・内面：ロクロ成形ナデ。底部：回転篦削りの後、低いＬ字型の高台を付す。	A-2-覆土一括
137	須恵器 椀	D－6 底面	①15.0　②5.5 ③ 8.8	①少量の砂を含む。②良好。還元焰。③5Y5/1 ④1/2	体部：内彎気味で直線的に開く。外面・内面：ロクロ成形ナデ。底部：回転糸切りの後、高台を付し、高台内外をロクロ整形。	D-6-4
138	縄文土器 深鉢	X-94，Y-90 Ⅳ層	①不明　②不明 ③不明	①細かな砂粒を含む。②やや良好。③10YR6/4 ④口縁～頸部破片	器壁薄い。半截竹管状工具により平行線文、肋骨文等を施文。諸磯ａ式	X-94，Y-90．Ⅳ

Tab.20　元総社蒼海遺跡群（1）２トレンチ 出土瓦観察表

番号	器種名	出土遺構 ／層位	①長さ②幅	①胎土②焼成 ③色調④遺存度	器種の特徴・整形・調整技術	備　考
1	平瓦	H－3 床	①(20.5)②(14.0)	①細粒。白色粒子少量含む。②良好。還元焰。③10YR6/2 ④1/6	凸面：広端部寄りに篦書き文字。「十」数字か記号。縦位篦削り。凹面：布目。	H-3-91
2	軒平瓦	H－7 カマド	①(30.0)②(16.0)	①細粒。小礫少量含む。②良好。還元焰。③2.5Y7/3 ④1/4	瓦当面：重廓文。凸面：縦位篦削り。凹面：縦位篦削り。瓦当面寄りは横位篦削り後ナデ。	H-7-129
3	丸瓦	H－7 カマド	①38.0　②20.0	①細粒。②良好。酸化焰。 ③2.5Y6/3 ④ほぼ完形。	行基葺式。桶巻き作り。凸面：横ナデ。凹面：布合わせ目痕あり。	H-7-139
4	平瓦	H－7 カマド	①39.0　②28.0	①細粒。白色粒子少量含む。 ②良好。酸化焰気味。 ③10YR6/2 ④完形。	一枚作り。葺足70%。凸面：広端部寄りに「ｔ」字状の篦書き。縦位篦削り。凹面：布目。	H-7-138
5	軒平瓦か	H－7 カマド	①(21.0) ②28.0	①中粒。白色粒子多く含む。 ②良好。還元焰。③7.5YR6/3 ④完形。	一枚作り。狭端部側が厚くなり、軒平瓦の可能性がある。凸面：側縁寄りに篦書き文字。判読不能。縦位篦削り後ナデ。凹面：布目。	H-7-134
6	平瓦	H－7 カマド	①(27.0) ②28.0	①中粒。白色粒子多く含む。 ②良好。還元焰。③5PB4/1 ④完形。	一枚作り。凸面：側縁寄りに「田」の篦書き。平行線叩き目をナデにより消す。自然釉。凹面：布目。	H-7-135
7	平瓦	H－7 カマド	①(26.0)②(27.0)	①細粒。②良好。還元焰。 ③10Y5/1 ④1/3	一枚作り。凸面：斜格子叩き目を擦り消す。凹面：布目。	H-7-124
8	丸瓦	H－7 貯穴上面	①43.0　②20.0	①細粒。白色粒子少量含む。 ②良好。還元焰。③2.5Y6/2 ④ほぼ完形。	行基葺式。凸面：丁寧なナデ。凹面：布目。	H-7-119
9	平瓦	H－7 貯穴上面	①37.0　②30.0	①細粒。白色粒子少量含む。 ②良好。還元焰。③5Y7/2 ④ほぼ完形。	桶巻作り。葺足70%。凸面：平行縄目叩き目を丁寧に擦り消す。凹面：布目。粘土板糸切り痕。	H-7-103
10	丸瓦	H－7 貯穴上面	①45.0　②(15.0)	①細粒。白色粒子少量含む。 ②良好。酸化焰。③2.5Y6/2 ④ほぼ完形。	行基葺式。桶巻作り。凸面：縄目叩き目を丁寧に擦り消す。凹面：布合わせ目痕。	H-7-120
11	平瓦	H－7 貯穴上面	①39.0　②(14.0)	①細粒。白色粒子少量含む。 ②良好。酸化焰。③2.5Y6/3 ④ほぼ完形。	凸面：平行縄目叩き目。単位幅5.8㎝。凹面：布目。一部擦り消す。	H-7-115
12	丸瓦	H－7 貯穴上面	①(36.0)②(11.0)	①細粒。②良好。還元焰。 ③10Y7/1 ④1/3	桶巻作り。凸面：縦位篦削り。凹面：布合わせ目痕あり。	H-7-121
13	平瓦	H－7 貯穴上面	①(22.5)②(14.0)	①細粒。②良好。酸化焰。 ③5YR6/6 ④1/3	凸面：平行縄目叩き目。凹面：布目。	H-7-104
14	平瓦	H－7 貯穴上面	①(22.0) ②27.0	①細粒。白色粒子少量含む。 ②良好。還元焰。③2.5Y6/2 ④3/4。	一枚作り。凸面：側縁寄りに刻印。金型「當」。「井」字状の篦書き。縦位篦削り。凹面：布目。広端部横位篦削り。	H-7-114
15	平瓦	H－7 貯穴上面	①(21.0) ②9.5	①細粒。わずかに白色粒子含む。 ②良好。酸化焰。③2.5Y7/3 ④破片。	凸面：篦書き文字か。判読不能。縦位篦削り。凹面：布目。	H-7-113

16	丸瓦	H－7 貯穴上面	①(30.0)②(16.0)	①細粒。②良好。酸化焔。 ③2.5Y5/2 ④1/3	凸面：篦削りの後、ナデ。凹面：刻線あり。傷か。布目。	H-7-117
17	平瓦	H－7 覆土	①(12.7)②(13.0)	①細粒。わずかに白色粒子含む。 ②良好。酸化焔気味。 ③2.5Y6/2 ④破片。	凸面：狭端部寄りに「勢」の刻印。縦位篦削り。凹面：布目。粘土板糸切り痕。	H-7-37
18	平瓦	H－7 床	①(16.0)②(17.5)	①中粒。白色粒子多量に含む。 ②良好。還元焔。③5Y5/1 ④1/5	凸面：斜格子紋叩き目。7.2×6.0cm単位。縦位篦削り。凹面：縦位篦削り。広端部削りにより面取り。	H-7-97
19	平瓦	H－7 床	①(25.5)②(21.5)	①中粒。白色粒子多量に含む。 ②良好。還元焔。③ N5/0 ④1/3	一枚作り。凸面：平行縄目叩き目を擦り消す。凹面：横位斜位篦ナデ・カキ目。粘土板糸切り痕。	H-7-95
20	丸瓦	H－8 覆土	①(18.0)②(14.0)	①細粒。②良好。還元焔。 ③2.5Y5/2 ④1/5	行基葺式か。凸面：丁寧なナデ。凹面：布目。	H-7-18
21	平瓦	H－8 床	①(22.0)②(19.0)	①細粒。少量白色粒子含む。②良好。還元焔。③2.5Y6/2 ④1/4	桶巻作り。凸面：平行縄目叩き目。単位幅3.5cm。凹面：粘土板の接合帯。片方に糸切り痕。布目。広端部面取り。	H-8-27
22	平瓦	H－10 カマド	①(20.0)②(16.0)	①細粒。少量白色粒子含む。②良好。還元焔。③10YR6/2 ④1/5	凸面：斜格子紋叩き目。叩き目脇に文字か。判読不能。凹面：横位篦削り、篦ナデにより布目を消す。	H-10-71
23	軒丸瓦	H－11 覆土	①(20.0)②(16.0)	①中粒。白色粒子多量に含む。 ②良好。還元焔。③ N5/0 ④1/6	接合式。瓦当面：単弁八葉か。凸面：縦位篦削り。接合部は横位篦削り後、ナデ。凹面：縦位篦削り。瓦当面裏から接合部ナデ。	H-11-364
24	軒丸瓦	H－16 カマド	①不明　②(17.5)	①中粒。白色粒子やや多く含む。 ②良好。還元焔。③ N5/0 ④瓦当面のみ。	接合式。瓦当面：単弁五葉。国分寺創建瓦に近い。裏面：布目を撫でて消す。	H-16-カマド一括
25	平瓦	H－17 床上覆土	①(5.0) ②(6.5)	①細粒。白色粒子やや多く含む。 ②良好。酸化焔。③7.5YR6/4 ④破片	凸面：篦書き文字。判読不能。凹面：布目。	H-17-139
26	平瓦	H－18 カマド	①(32.0)②(17.0)	①細粒。②良好。還元焔。 ③5YR6/1 ④1/4	凸面：丁寧な縦位篦ナデ。凹面：布目。	H-18-52
27	平瓦	H－18 カマド	①(32.0)②(16.5)	①中粒。白色粒子やや多く含む。 ②良好。酸化焔。③5YR6/4 ④1/3	一枚作り。凸面：丁寧な縦位篦ナデ。凹面：布目。	H-18-49
28	平瓦	H－18 カマド脇上面	①(46.0)②(18.0)	①細粒。白色粒子わずかに含む。 ②良好。還元焔。③2.5Y6/3 ④1/2	凸面：側縁寄りに刻印。金型「當」。篦の傷跡多い。凹面：布目。葺足70%。	H-18-63
29	平瓦	H－18 カマド脇上面	①(23.0)②(17.0)	①細粒。②良好。酸化焔。 ③2.5Y6/2 ④1/6	凸面：側縁寄りに篦書き文字。「万呂」の略字か。丁寧な縦位篦ナデ。凹面：布目。広端部面取り。	H-18-58
30	平瓦	H－32 カマド	①41.0　②28.0	①細粒。白色粒子少量含む。 ②良好。酸化焔。③10YR7/4 ④完形。	凸面：平行縄目叩き目を擦り消す。凹面：布目。粘土板糸切り痕。広端部面取り。葺足65%。	H-32-94
31	平瓦	D－6 底面	①39.0　②30.0	①細粒。白色粒子多く含む。②良好。還元焔。③ N6/0 ④完形。	凸面：側縁寄りに「田」篦書き。凹面：布目。葺足60%。	D-6-2

Tab.21　元総社蒼海遺跡群（1）2トレンチ 出土石製品観察表

番号	器種名	出土遺構／層位	最大長	最大幅	最大厚	重さ	石材	遺存度	備　　考
1	砥石	H－17 覆土	(5.1)	3.3	1.4	47.4	凝灰岩	不明	H-17-覆土一括
2	砥石	W－5 底面上覆土	(5.3)	3.6	3.4	48	角閃石 安山岩	不明	W-5-61

Tab.22　元総社蒼海遺跡群（1）2トレンチ 出土鉄器観察表

番号	器種名	出土遺構／層位	最大長	最大幅	最大厚	重さ	材質	遺存度	備　　考
1	刀子	H－3 床	(9.5)	1.0	0.4	8.8	鉄	2/3	H-3-241
2	鉄鏃	H－3 覆土	(10.0)	3.1	0.5	24.6	鉄	茎先端欠損	H-3-142
3	刀子	H－5 覆土	(8.6)	1.4	0.4	27	鉄	2/3	H-5-82
4	刀子	H－6 床上覆土	(7.6)	1.2	0.4	12.2	鉄	3/4	H-6-82
5	鉄鏃	H－7 覆土	(6.9)	(3.0)	0.4	8.9	鉄	茎先端欠損	H-7-覆土一括
6	錐か	H－11 床	(13.3)	0.5	0.5	11.6	鉄	不明	H-11-95
7	鋲	X-93，Y-79	2.6	1.7	0.6	9.0	鉄	ほぼ完形	飾り金具か。 X-93，Y-79

Tab.23　元総社蒼海遺跡群（1）2トレンチ 出土特殊遺物観察表

番号	器種名	出土遺構／層位	最大長	最大幅	最大厚	重さ	材質	遺存度	備　　考
1	丸鞆	H－14 覆土	1.8	2.7	0.5	3.1	銅	ほぼ完形	鋳造。大孔式。 H-14-1
2	巡方か鉈尾	表採	(1.3)	(1.3)	0.5	1.8	蛇紋岩	1/3	やや薄手。裏面に石鋸痕。潜孔内に金（銅）糸の残滓。表土
3	分銅か	H－11 床上覆土	3.1	1.3	1.0	15.8	鉛か	完形	垂飾か H-11-321
4	臼玉	H－29 覆土	1.5	孔径0.3	1.0	3.3	滑石	ほぼ完形	H-29-9
5	臼玉	X-94，Y-95 表土	1.3	孔径0.3	0.4	0.7	滑石	完形	X-94，Y-95
6	臼玉	表採	1.7	2.4 孔径0.7	2.1	7.9	滑石	2/3	表土

Tab.24　元総社蒼海遺跡群（１）３トレンチ 出土土器観察表

番号	器種名	出土遺構／層位	①口径②器高	①胎土②焼成③色調④遺存度	器種の特徴・整形・調整技術	備　考
1	土師器坏	H－１覆土	①[13.6] ②(4.7)	①黒色粒子を含む。②良好。③5YR6/6 ④1/2	体部～口縁：深めの丸底からゆるやかに彎曲し、口縁は短く内屈する。外面：体部篦削りの後、口唇部横ナデ。内面：横ナデ。	H-１-13
2	土師器坏	H－１覆土	①[14.8] ②(4.8)	①少量の砂を含む。②良好。③5YR6/6 ④1/4	体部～口縁：深めの丸底からゆるやかに彎曲し、口縁は小さく内彎する。外面：体部篦削りの後、口縁横ナデ。内面：横ナデ。	H-１-14
3	須恵器蓋	H－１覆土	①[8.0] ②3.5	①砂粒をやや多く含む。②良好。還元焔③10YR6/1 ④1/3	小型。水平気味の天井部から、口縁がやや開く。肩部丸い。外面・内面：ロクロ整形ナデ。天井部：回転篦削り。	H-１-６
4	土師器甕	H－１覆土	①[21.0]②(18.5)	①砂粒を多く含み粗い。②良好。③7.5YR6/4 ④上半部1/4	口縁部：ゆるやかに外彎して開く。胴部：膨らみがなく直線的。外面：胴部縦位の篦削りの後、口縁部横ナデ。内面：口縁～胴上部横位篦ナデ。	H-１-16
5	土師器甕	H－１覆土	①[22.0] ②(8.3)	①砂粒をやや多く含む。②良好。③7.5YR6/6 ④上半部1/5	口縁部：胴部からゆるやかに外彎して開く。胴部：外面：口縁横ナデ。胴上半斜位の篦削り。内面：横ナデ。	H-１-21
6	土師器坏	H－２覆土	①[14.0] ②(3.5)	①少量の砂を含む。②やや良好。③7.5YR5/3 ④口縁部破片	口縁部：わずかに外反して開く。平底気味の底部となるか。外面：口縁横ナデ。口縁下に一部指頭痕がある。体部篦削り。内面：横ナデ。	H-２-32
7	須恵器坏	H－２覆土	①[12.4] ②3.2 ③　5.7	①砂粒をやや多く含む。②良好。還元焔。③5Y4/1 ④1/3	体部～口縁：体部わずかに内彎し、口縁は外反して開く。外面・内面：ロクロ整形ナデ。底部：回転糸切り未調整。	H-２-31
8	須恵器蓋	H－２床	①[13.2] ②2.3	①細粒。②やや良好。酸化焔。③10YR7/3 ④口縁部破片。	水平気味の天井部から、ゆるやかに彎曲し、口縁は外反気味に開く。口唇は短く屈曲する。外面・内面：ロクロ整形ナデ。	H-２-29
9	土師器甕	H－２床、カマド	①[19.8] ②(5.6)	①わずかに砂を含む。②良好。③5YR5/4 ④口頸部の約1/2	口頸部：コの字を呈す。外面：口縁横ナデ。胴上部横位篦削り。内面：口頸部横ナデ。	H-２-１
10	土師器台付甕	H－２床	①不明　②(5.5) ③8.5	①わずかに砂を含む。②良好。③5YR4/3 ④脚部破片。	脚部：外彎して大きく開く。外面：胴下部斜位篦削り。脚部：横ナデ。内面：胴下部ナデ。脚部横ナデ。	H-２-14
11	土師器坏	３トレ北一括 IIIa層	①[11.4] ②(3.2)	①細粒。②良好。③5YR6/6 ④口縁部破片。	体部～口縁部：丸底からゆるやかに内彎し、口縁部とは稜線で画される。口縁は外彎して開く。外面：体部篦削りの後、口縁横ナデ。内面：横ナデ。	３トレ北一括
12	須恵器坏	X-106，Y-128 IIIa層	①[12.6] ②(3.4)	①細粒。②良好。還元焔。③5Y6/1 ④口縁部破片。	体部はゆるやかに彎曲する。口縁の受けは断面三角で短く立ち上る。外面・内面ロクロ整形ナデ。	X-106，Y-128 III
13	須恵器羽釜	X-106，Y-128 IIIa層	①[20.9] ②(7.0)	①細粒。わずかに砂粒を含む。②良好。酸化焔。③7.5YR6/2 ④口縁部破片。	断面台形状の鍔から内傾して口縁に至る。口唇は水平。外面・内面ロクロ整形ナデ。	X-106，Y-128 III
14	土師器手捏ね	X-107，Y-127 IIIa層	①不明　②(3.1)	①わずかに砂粒を含む。②やや良好。③10YR7/3 ④1/5	台状の底部から内彎して立ち上る。外面・内面：指頭によるナデ、圧痕。	X-107，Y-127-IIIa

Tab.25　元総社蒼海遺跡群（１）３トレンチ 出土鉄器観察表

番号	器種名	出土遺構／層位	最大長	最大幅	最大厚	重さ	材質	遺存度	備　　考
1	釘	３トレ北表土	(7.3)	0.8	0.6	14.6	鉄	不明	３トレ北一括
2	釘	X-107，Y-124表土	(8.2)	2.1	0.9	14.8	鉄	完形	X-107，Y-124

Tab.26　元総社蒼海遺跡群（１）４トレンチ 出土土器観察表

番号	器種名	出土遺構／層位	①口径②器高	①胎土②焼成③色調④遺存度	器種の特徴・整形・調整技術	備　考
1	須恵器坏	H－１床	①9.4　②2.2 ③4.8	①少量の砂を含む。②良好。酸化焔。③10YR7/4 ④4/5	体部～口縁：浅い体部からわずかに口縁が外反する。外面・内面：ロクロ整形ナデ。底部：回転糸切り未調整。	H-１-27
2	須恵器坏	H－１床	①9.0　②2.2 ③4.8	①少量の砂を含む。②良好。酸化焔。③10YR8/3 ④4/5	体部～口縁：浅い体部からわずかに口縁が外反する。外面・内面：ロクロ整形ナデ。底部：回転糸切り未調整。	H-１-６
3	須恵器坏	H－１床	①9.0　②2.3 ③5.2	①少量の砂を含む。②良好。酸化焔。③10YR7/3 ④1/2	体部～口縁：浅い体部から口縁が外反する。外面・内面：ロクロ整形ナデ。底部：回転糸切り未調整。	H-１-28
4	灰釉陶器椀	H－１床	①[17.8] ②6.4 ③ [9.0]	①緻密。②良好。③10Y8/1 ④1/7	体部～口縁：やや内彎して口縁に至る。外面・内面：ロクロ成形ナデ。体部下部回転篦削り。底部：断面四角形で端部が内側に内屈する低い高台を付し、高台内外をロクロにより整形。釉薬刷毛塗り。	H-１-15
5	灰釉陶器椀	H－１床上覆土	①[16.8] ②6.8 ③ [7.4]	①細粒。②良好。③10YR7/1 ④1/5	体部：わずかに内彎して立ち上がり口縁に至る。外面・内面：ロクロ成形ナデ。体部下部回転篦削り。底部：回転篦削り後、断面四角形で低い高台を付し、高台内外をロクロにより整形。釉薬刷毛塗り。	H-１-13
6	須恵器坏	H－２覆土	①[14.0] ②[5.0] ③ [7.2]	①砂粒をやや多く含む。②やや良好。酸化焔。③10YR7/4 ④1/5	体部～口縁：やや内彎して口縁に至る。外面・内面：ロクロ成形ナデ。底部：回転糸切り未調整。	H-２-27
7	土師器坏	W－１覆土	①[10.4] ②(2.7)	①少量の砂を含む。②良好。③5YR6/6 ④1/5	体部～口縁：浅い丸底からゆるやかに彎曲し、口縁は短く直立する。外面：体部篦削りの後、口縁幅狭の横ナデ。内面：横ナデ。	W-１-31
8	土師器坏	W－１覆土	①[11.6] ②4.2	①細粒で緻密。②良好。③5YR6/8 ④1/4。	体部～口縁部：浅めの丸底がゆるやかに彎曲する。丸みを帯びた稜線で口縁と画される。口縁はわずかに外反して開く。外面：体部篦削りの後、口縁横ナデ。内面：ナデ。	W-１-４
9	須恵器椀	W－１覆土	①[14.0] ②(4.6) ③　6.6	①細粒。わずかに砂を含む。②良好。③2.5Y6/4 ④1/3	体部：わずかに内彎して立ち上がり、口縁わずかに外反する。外面・内面：ロクロ成形ナデ。底部：回転糸切り後、低い三角～台形状の高台を付す。高台の内外はロクロ整形。	W-１-26
10	須恵器椀	W－１覆土	①不明　②(2.5) ③6.6	①細粒。②良好。③10Y5/1 ④底部破片。	体部：内彎して立ち上がる。外面•内面：ロクロ成形ナデ。底部：回転糸切り後、低い台形状の高台を雑に付す。	W-１-34
11	灰釉陶器皿	W－１覆土	①[15.2] ②3.1 ③　7.6	①緻密。②良好。③10YR7/1 ④1/2	体部～口縁：やや内彎して口縁に至る。外面・内面：ロクロ成形ナデ。底部：断面四角～三日月状に内屈する低い高台を付し、高台内外はロクロ整形。釉薬刷毛塗り。	W-１-７

Tab.27　元総社蒼海遺跡群（１）４トレンチ 出土鉄器観察表

番号	器種名	出土遺構／層位	最大長	最大幅	最大厚	重さ	材質	遺存度	備　　考
1	釘	H－１床	(4.7)	1.5	1.1	8.7	鉄	不明	H-１-21
2	釘	H－１P.７ 覆土	(5.8)	2.2	0.8	9.3	鉄	ほぼ完形	H-１-26

注　①層位は床面出土遺物を床、床面堆積層直上から出土したものを床上覆土、それより上層出土のものを覆土とした。なお、出土状態から当該遺構に帰属すると判断できるものについては、床とした。
②大きさの単位はcmであり、重さの単位はｇである。現存値を（　）、復元値を［　］で示した。
③胎土は、細粒（１㎜未満）、中粒（１㎜以上，２㎜未満）、粗粒（２㎜以上）とし、特徴的な鉱物が入る場合には鉱物名等を記載した。
④色調は外面で観察し、色名は新版標準土色帳によった。
⑤備考には、各遺物に注記してある発掘調査時の遺物取り上げ№を示した。また、特記事項等があれば記載した。

Ⅵ　ま　と　め

今回の調査によって得られた所見について、以下にまとめて述べる。なお、時期区分については従来の元総社蒼海遺跡群の時期区分、Ⅰ期（～７世紀前半：律令期以前）、Ⅱ期（７世紀後半～10世紀初頭：律令期）、Ⅲ期（10世紀初頭～：律令期以後）に従う。

１　竪穴住居について

元総社蒼海遺跡群（１）の調査では、１トレンチで８世紀前半と考えられる住居が１軒、２トレンチで６世紀後葉から９世紀後半まで計31軒、３トレンチで７世紀前半と９世紀後半の住居が各１軒、４トレンチで10世紀中葉と11世紀前半の住居各１軒が検出された。

このうち、２トレンチ検出の住居についてみてみると、Ｈ－２とＨ－33号住居が10世紀初頭まで降る可能性があるが明瞭でなく、概ねⅠ期からⅡ期にあたる。時期が推定できる住居について時期別の住居数の推移をみると、６世紀後葉はＨ－28号住居１軒のみ。７世紀前半はＨ－29・31号住居の２軒。７世紀後半はＨ－34号住居１軒のみ。８世紀前半はＨ－６・11・21・22・23号住居の５軒のほか、Ｈ－14号住居は覆土中からこの時期の土器の小破片が出土しており、また覆土上層から出土した腰帯具の銅製丸鞆は垂孔が大きいタイプで８世紀前半まで遡る可能性がある[1]。８世紀後半では住居は認められない。９世紀前半はＨ－12•19号住居の２軒。９世紀中葉から後半はＨ－２・３・５・７・８・10・18・32・33号住居の９軒のほか、Ｈ－16号住居のカマド内から国分寺創建瓦と考えられる軒丸瓦が出土しているため９世紀中葉以降の時期が考えられる。概括すると、６世紀末～７世紀前半に居住が始まり、７世紀後半は住居数が減少する。８世紀になると比較的多く住居が営まれるが、続く８世紀後半には住居が認められない。９世紀前半に再び居住が始まり、９世紀中葉から後半に著しい住居数の増加をみると言えよう。

調査区内での住居分布は、６・７世紀の住居は南側調査区南半に他の住居と重複せずに分布する。８・９世紀の住居は北側調査区と南側調査区の北端部に分布する。このうち８世紀の住居は満遍なくあまり重複せずに分布するが、９世紀の住居は中央寄りに密集し重複も著しい。各時期において占地傾向の違いが看てとれる。

また各時期の住居の方向については、６世紀後葉から７世紀後半では東方向から12°～25°北へ偏する[2]。

８世紀前半ではＨ－22号住居が23°と振れ幅が大きいが、０°から10°とわずかに北に偏する程度である。ところが９世紀中葉以降になるとＨ－５号住居がやや北に偏するものの、２°～10°の範囲で南に偏するようになる。

なお、９世紀前半の住居は遺構の重複により方向が明らかでないが、概ね前代の傾向を踏襲するようである。時期が明らかでない住居についても、ある程度まで住居方向により時期を特定できそうであり、それは住居の重複関係ともほぼ矛盾していない。しかし仮にそうしたとしても８世紀前半と９世紀中葉以降の住居軒数が按分して増えるだけで、時期別住居数の推移や占地傾向に大きな変化は無いと考えられる。

時期別の住居数の推移、占地傾向の違い、住居の方向からみると、２トレンチでは７世紀後半から８世紀前半にかけて、および８世紀後半とに２つの画期が認められる。この画期が何を反映するものかと考えるに、住居の向きの変化は地割り変更の現れであろう。１つ目の画期はⅠ期とⅡ期の境目で、７世紀後葉と推定される国府造営の時期にあたる[3]。また、２つ目の画期は、８世紀後半の国分僧寺・尼寺の建立の時期にあたる。

６・７世紀の住居の方向は国府造営以前の地割りを示し、８世紀前半の住居の向きは国府造営以降、国分二寺建立までの地割りであろう。８世紀後半段階は国分二寺建立期にあたり、国分尼寺周辺の２トレンチでは居住規制があったのか該期の住居は認められず、また９世紀前半になってもあまり住居軒数は多くない。ところが９世紀中葉以降、爆発的に住居数が増加し固執したように同じ所に繰り返し住居を構築する。この意味で９世紀前半から中葉にかけて小画期を設けられる可能性が考えられる。

9世紀中葉以降住居内のカマド構築材に瓦が利用されるようになる。9世紀中葉のH－7号住居ではカマド構築材として瓦が用いられるだけでなく、カマド脇の貯蔵穴上面に笥の子状に敷き並べられた状態で検出された。これらの瓦は国分僧寺や国分尼寺から持ち込まれたと考えられ、この時期に両寺の大掛かりな修築があったことが想定できる(4)。それにしても、これだけ大量の瓦が流出し住居内で使用されるということは、相対的に国分二寺（言い換えると国家権力あるいは律令体制）の権威の衰退が覗える。

2トレンチでの住居の様相を、元総社蒼海遺跡群（1）で調査を実施した他のトレンチと比較すると、1トレンチでは、国分尼寺の直ぐ南であるためか住居密度が低く8世紀後半以降の住居が認められない点で2トレンチの傾向と合致する。ただし、8世紀前半のH－1号住居の向きは異なる。3トレンチも住居密度が低く、7世紀前半のH－1号住居の方向は2トレンチの傾向と合致するが、9世紀後半のH－2号住居の方向は異なる。4トレンチでは10•11世紀の住居が各1軒検出されたが、住居の方向は9世紀中葉以降の方向を踏襲するのであろうか。

2トレンチ南側に接する元総社小見内Ⅶ遺跡では、国府造営以前の7世紀中葉以前と、2トレンチで密度濃く検出された9世紀中葉以降の住居が認められない。7世紀後半から8世紀中葉までの住居が主体で、Ⅱ期の国分尼寺造営以前にあたる。住居の方向は8世紀前半とされたH－20号住居がやや南に偏するが、それ以外は北にわずかに偏し、2トレンチ8世紀前半の住居と同様である。

もちろん、2トレンチで確認できた時期別の住居の様相は、国府周辺域全般の傾向とすることはできない。しかし、作業仮説としてⅡ期における居住傾向の変化を提示しておきたい。律令期にあっても国庁内の権力構造は各時期で変化しているだろうし、それが何らかの形で周辺域の居住形態に反映する可能性もあろう。また、国府周辺の土地利用においても当然いろいろな形があったことも考えられる。現時点でそれらの把握はできていないが、今後の調査の進捗により明らかにしていきたいと考える。

2　古代の溝について

元総社蒼海遺跡群（1）の各調査区から検出された古代と考えられる溝跡は、1トレンチW－1号溝、2トレンチW－5～10号溝、3トレンチ3号溝、4トレンチ1・2号溝である。構築時期については他の遺構との重複関係等から推定し性格について考えてみたい。なお、いずれもの溝も水流の痕跡は無く、土地あるいは建物の区画溝かと考えられる。そこには、住居の項で述べた地割りによる規制も働くものと考え、時期推定にあたっては可能な範囲内で補助材料として用いたい。

1トレンチ1号溝は、元総社小見内Ⅶ遺跡W－1号溝、同小見内Ⅲ遺跡W－1号溝、上野国分僧寺・尼寺中間地域A区第2号溝状遺構を南側側溝とする東西方向に伸びる道路の北側側溝の可能性がある。また、2トレンチW－6号溝も形状・規模がやや異なるが、位置および方向からみて1トレンチW－1号溝の続きと考えられる。これらの溝の方向は国分尼寺の南辺と合致し、8世紀前半の地割りに沿うものである。小見内Ⅶ遺跡発掘調査報告書の指摘どおりと考えたい。

2トレンチW－5・7号溝は上記の各溝と方向をほぼ同じくする。しかし、W－7号溝は7世紀前半のH－29号住居に切られておりⅠ期以前と考えられる。W－5号溝については一応国分二寺造営期としておきたい。

3トレンチW－3号溝は、国府造営以前の地割りに沿っており、Ⅰ期の可能性がある。

4トレンチW－1・2号溝は、元総社小見内Ⅵ遺跡A区W－4・5号溝、同小見内Ⅲ遺跡3区W－3・4号溝、同遺跡12区W－3号溝のつづきと考えられ、さらに、4トレンチ南方で今年度調査を実施した元総社蒼海遺跡群（6）の調査区からも検出されている。小見内Ⅵ遺跡と小見内Ⅲ遺跡では覆土中に硬化面が認められ通路利用が考えられるが、4トレンチの調査ではそのような所見は得られなかった。溝の方向は2トレンチにおける想定からすると9世紀中葉遺構の地割りに沿うようであるが、小見内Ⅲ遺跡3区で9世紀後半のH－10号住居に切られている。掘り込みの深さや総延長を考えると国府に関わる堀跡とも考えられる。しかし、推定国府や国分尼寺と

は明らかに軸線が異なるため、国府造営以前のⅠ期段階の可能性も否定できない。

1トレンチA－1・2号硬化面、2トレンチA－1号硬化面は、人為的な溝とは考え難い。3者とも瓦をはじめとする遺物を多量に包含しているが、鉄分沈着層があることから表流水により運ばれてきたものであろう。なお、元総社小見内Ⅲ遺跡19区A－3号道路状遺構とされたものは、鉄分の沈着も見られ、2トレンチA－1号硬化面のつづきと考えられる。2トレンチA－2号硬化面は通路の可能性があるが、せいぜい馬入れ程度の通路であろう。

3　蒼海城堀跡について

4トレンチ検出の蒼海城関連と考えられる中世堀跡は、調査前から現況で窪地として確認でき、山崎 一氏作製の縄張り図にも城域北西端部の堀跡として描かれている。同縄張り図によればこの堀の南延長には沼があるが、現在は宅地および畑地となっており痕跡は認められない。調査によってもこの堀跡が水路であった痕跡は認められず、常時水を湛える沼であったかは疑問である。この堀跡は、国府軸線南北にほぼ平行するが、4トレンチ調査区付近で屈曲し北西方向に向かって伸びる。現況の窪みは調査区北西で埋没し平坦な畑地に均されているが、堀跡の延長は元総社小見内Ⅷ遺跡B区の調査で確認されている。さらに同遺跡の発掘調査報告書では、溝の形状および覆土の類似から元総社小見内Ⅳ遺跡A区W－3号溝、同W－1・2号溝へと続き、そして小見内Ⅷ遺跡A区W－1号溝につながる可能性があるとした。また、蒼海城は国府を改変して築城されたものであるから、これら溝跡は国府西縁から国分尼寺南東端へS字状に屈曲して繋がる古代の通路の名残である可能性も指摘している。

小見内Ⅷ遺跡A区W－1号溝は、小見内Ⅲ遺跡15区W－2号溝と同じ溝で、さらに2トレンチW－2号溝に続いている。これらの溝は国分尼寺南東端から南東方向に伸びる現道に沿っており、その西半分は現道下のため未調査で状況不明瞭であるが、通路として利用されながら埋没していく過程は小見内Ⅶ遺跡B区および小見内Ⅳ遺跡A区の調査所見と同様である。

4トレンチW－3号溝がS字に屈曲して2トレンチW－2号溝に続くかは今後の調査に期すこととして、中世城館の堀跡が通路としても利用されることは多くある。4トレンチW－3号溝の断面形状は逆台形の底辺の中央がさらに逆凸字状に掘り窪められており、そこには地山のシルト質粘土や砂質粘土ブロックが充塡され、一旦は深く掘り込んだが、埋め戻して平底堀の形状を整えたと考えられる。南側の元総社蒼海遺跡群（6）調査区では同堀跡の底面に逆凸字状の掘り込みは無く、4トレンチは堀の方向が北西に屈曲した部分であるため、堀の開削にあたり工区分けがあったものと考えられる。W－3号溝の通路利用を示す硬化面は、この埋め戻しのブロック主体層上面から認められる。すなわち、構築あるいは改修の直後から通路としての利用が認められ、堀の開削は通路を目的としていたと考えられる。この堀跡南にあった沼が水を湛え蒼海城の名前の由来となった程には、この堀は水を通してはいなかった。ただ、堀開削の目的のひとつには降雨時の雨水や悪水の排水路も兼ねていたであろう[(5)]。

また、W－3号溝の東側は西側に比べて一段低くなっているが、蒼海城築城に伴う造成か後代の削平によるのか明らかではない。今回の調査で、この一段低い東側の堀上場のW－3号溝とW－1号溝との間に、穴熊の巣穴と考えられる網目状に掘り込まれたトンネルを検出した。このトンネルは水平方向に拡がるもので、W－1号溝の覆土中にもトンネルが続いていたことが確認されている。穴熊の営巣は土手等に横穴を掘り、地表下約1.3mに通路として網目状にトンネルをつくる。今回このトンネルは現地表面下約70cmで確認されているが、このトンネルが造られた時点では現地表より約60cm程高かったことが想定できる。W－3号溝東側の肩の部分ではⅢb層以下の基本土層の堆積が認められ、Ⅲa層以上が削平されて失われている。60cmという数値は自然堆積のⅢa層とⅡ層の層厚＋αであり、この＋αについては、W－3号溝東側に土居等の人為的堆積層があった可能性を指摘しておきたい。

〈註〉

⑴　田中広明氏のご教示による。

⑵　西カマドの住居もあるが、東カマドの住居が大勢を占めるため、ここでは住居の主軸に捉われず、比較しやすいように東方向を基準にして、★°北へあるいは★°南へと表記する。

⑶　木津博明氏は『上野国分僧寺・尼寺中間地域（３）』の中で、７世紀第４四半期頃に国府造営に伴う地割の変更があったことを指摘している。

⑷　弘仁九年（818）上野地域を襲った巨大地震はその要因のひとつと考えられよう。

⑸　木津博明氏のご教示による。また、小林　修氏からは長井坂城に於ける同様の事例の紹介を賜った。

〈引用参考文献〉

山崎　一　『群馬県古城塁址の研究　上』　群馬県文化事業振興会　1971年

坂口　一　「奈良・平安時代の土器の編年」　群馬県史編さん委員会編『群馬県史研究24』　1986年

群馬県埋蔵文化財調査事業団編　『上野国分僧寺・尼寺中間地域１～８』　㈶群馬県埋蔵文化財調査事業団　1986年～

群馬県埋蔵文化財調査事業団編　『上野国分寺』　㈶群馬県埋蔵文化財調査事業団　1988年

東京都埋蔵文化財センター　『資料目録６』　㈶東京都教育文化財団東京都埋蔵文化財センター　1991年

群馬県埋蔵文化財調査事業団編　『出土した古代の土器　最新情報展 展示レポート』　㈶群馬県埋蔵文化財調査事業団　1997年

真塩明男・飯田祐二編　『上野国分尼寺寺域確認調査』　前橋市埋蔵文化財発掘調査団　2000年

鈴木雅浩・高橋一彦編　『元総社宅地遺跡・上野国分尼寺寺域確認調査Ⅱ』　前橋市埋蔵文化財発掘調査団　2000年

山武考古学研究所編　『元総社蒼海遺跡群　元総社小見内Ⅲ遺跡』　前橋市埋蔵文化財発掘調査団　2001年

齊木一敏・近藤雅順編　『元総社蒼海遺跡群　総社甲稲荷塚大道西遺跡・総社閑泉明神北Ⅱ遺跡・総社甲稲荷塚大道西Ⅱ遺跡』　前橋市埋蔵文化財発掘調査団　2001年

齊木一敏・高坂麻子編　『元総社蒼海遺跡群　元総社小見内Ⅳ遺跡』　前橋市埋蔵文化財発掘調査団　2002年

高橋一彦・近藤薫編　『元総社蒼海遺跡群　総社甲稲荷塚大道西Ⅲ遺跡・総社閑泉明神北Ⅲ遺跡』　前橋市埋蔵文化財発掘調査団　2002年

山武考古学研究所編　『元総社蒼海遺跡群　元総社小見Ⅱ遺跡』　前橋市埋蔵文化財発掘調査団　2002年

山武考古学研究所編　『元総社蒼海遺跡群　元総社小見Ⅲ遺跡・元総社草作Ⅴ遺跡』　前橋市埋蔵文化財発掘調査団　2002年

田中広明　『地方の豪族と古代の官人』　柏書房　2003年

高橋一彦・高坂麻子編　『元総社蒼海遺跡群　元総社小見Ⅴ遺跡・元総社小見内Ⅵ遺跡』　前橋市埋蔵文化財発掘調査団　2003年

高橋一彦・高坂麻子編　『元総社蒼海遺跡群　元総社小見Ⅳ遺跡』　前橋市埋蔵文化財発掘調査団　2003年

近藤雅順・稲垣慎太郎編　『元総社蒼海遺跡群　元総社小見内Ⅶ遺跡』　前橋市埋蔵文化財発掘調査団　2003年

近藤雅順・稲垣慎太郎編　『元総社蒼海遺跡群　元総社小見内Ⅷ遺跡・総社甲稲荷塚大道西Ⅳ遺跡』　前橋市埋蔵文化財発掘調査団　2003年

群馬県埋蔵文化財調査事業団編　『稲荷塚道東遺跡』　㈶群馬県埋蔵文化財調査事業団　2003年

岩崎琢郎・高坂麻子編　『元総社蒼海遺跡群　元総社小見内Ⅸ遺跡・総社閑泉明神北Ⅴ遺跡』　前橋市埋蔵文化財発掘調査団　2005年

山武考古学研究所編　『元総社蒼海遺跡群　元総社小見内Ⅹ遺跡』　前橋市埋蔵文化財発掘調査団　2005年

スナガ環境測設株式会社編　『元総社蒼海遺跡群（３）　元総社小見Ⅶ遺跡』　前橋市埋蔵文化財発掘調査団　2005年

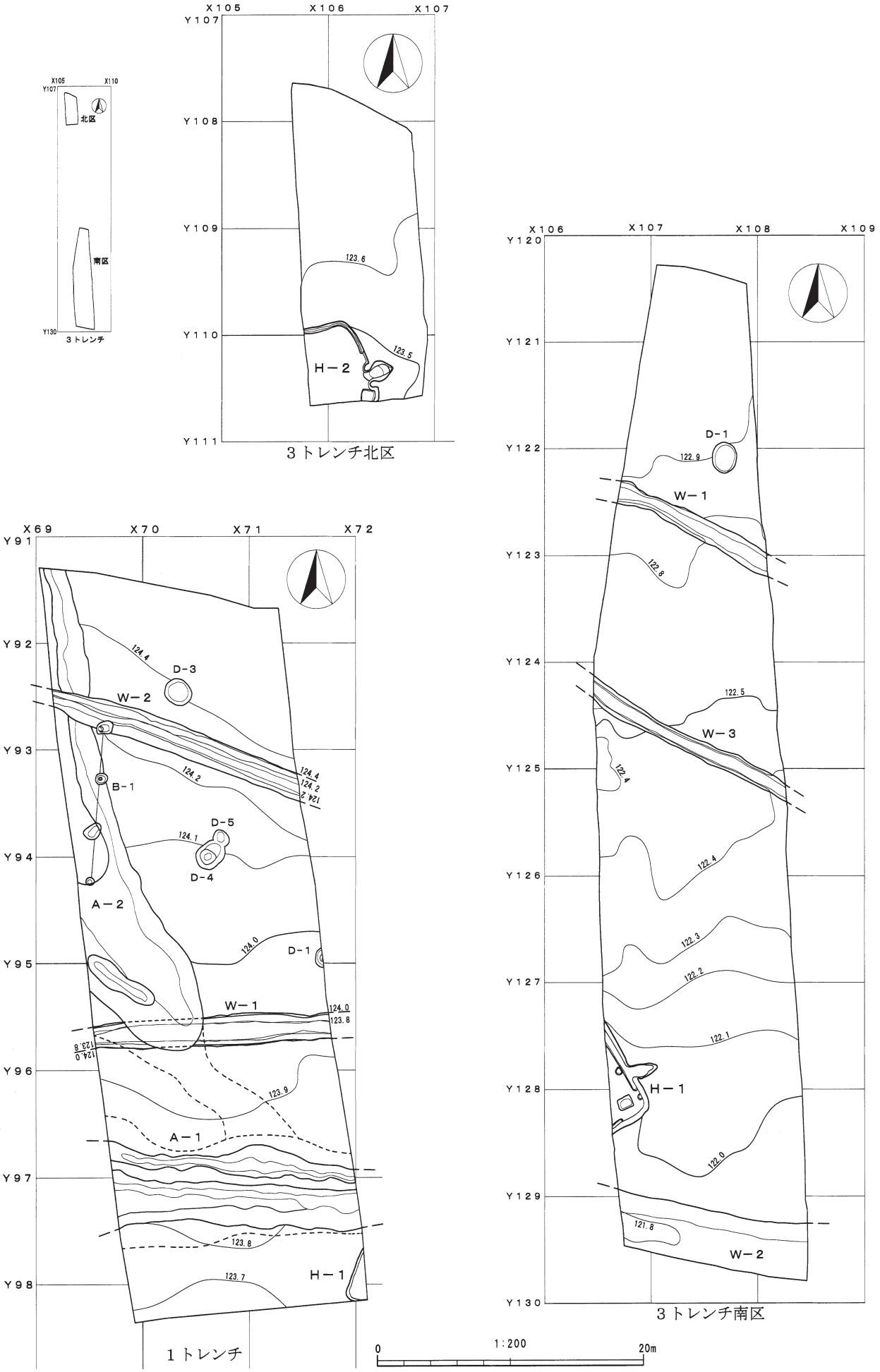
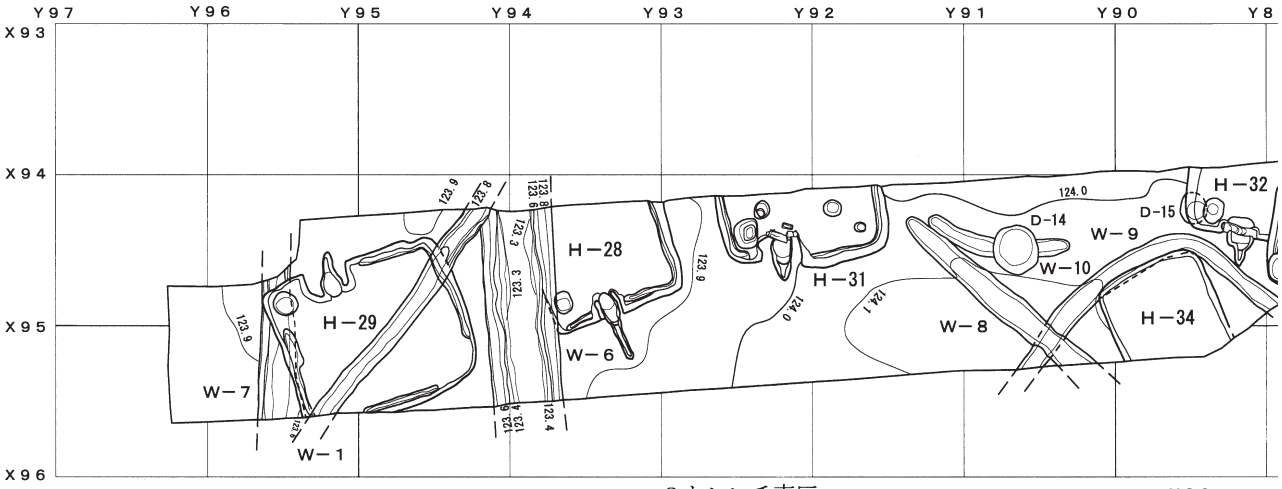
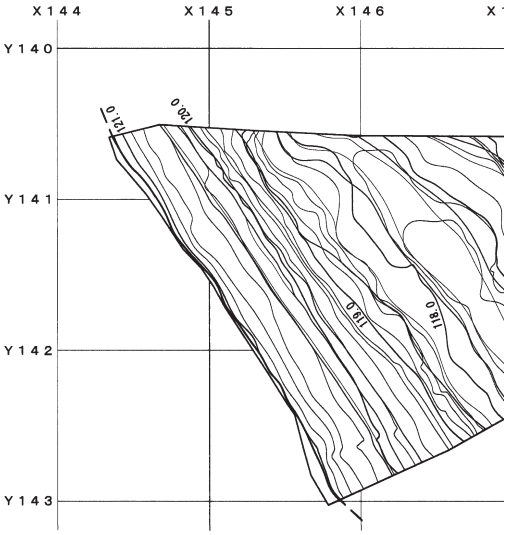


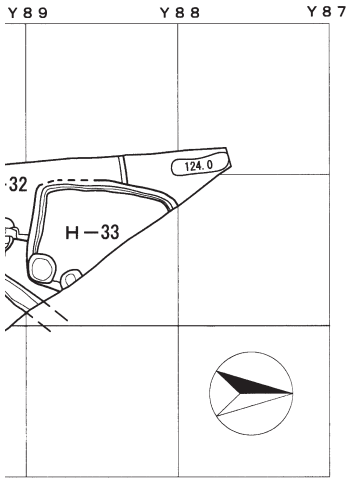
Fig. 5　元総社蒼海遺跡群（1）1・3トレンチ全体図

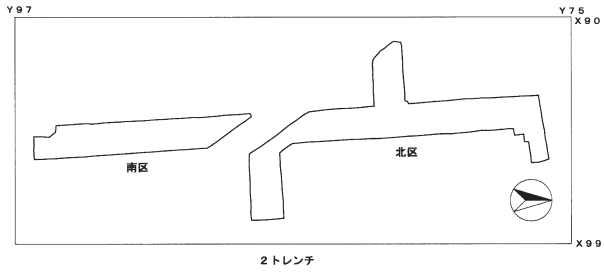


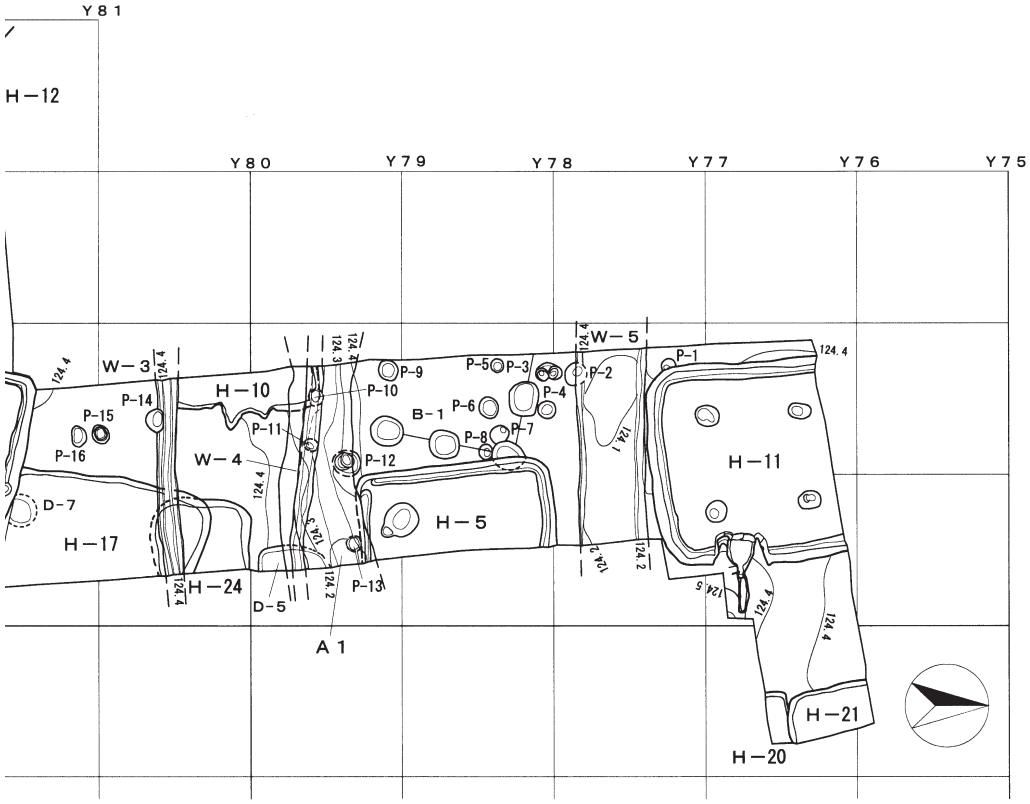
2トレンチ南区

2トレン

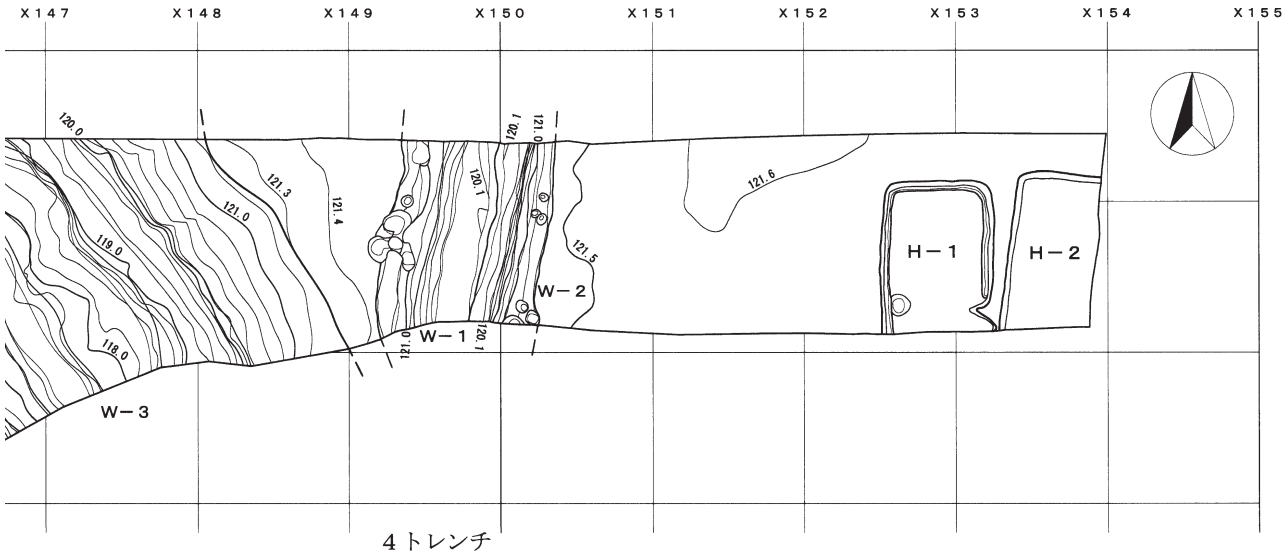






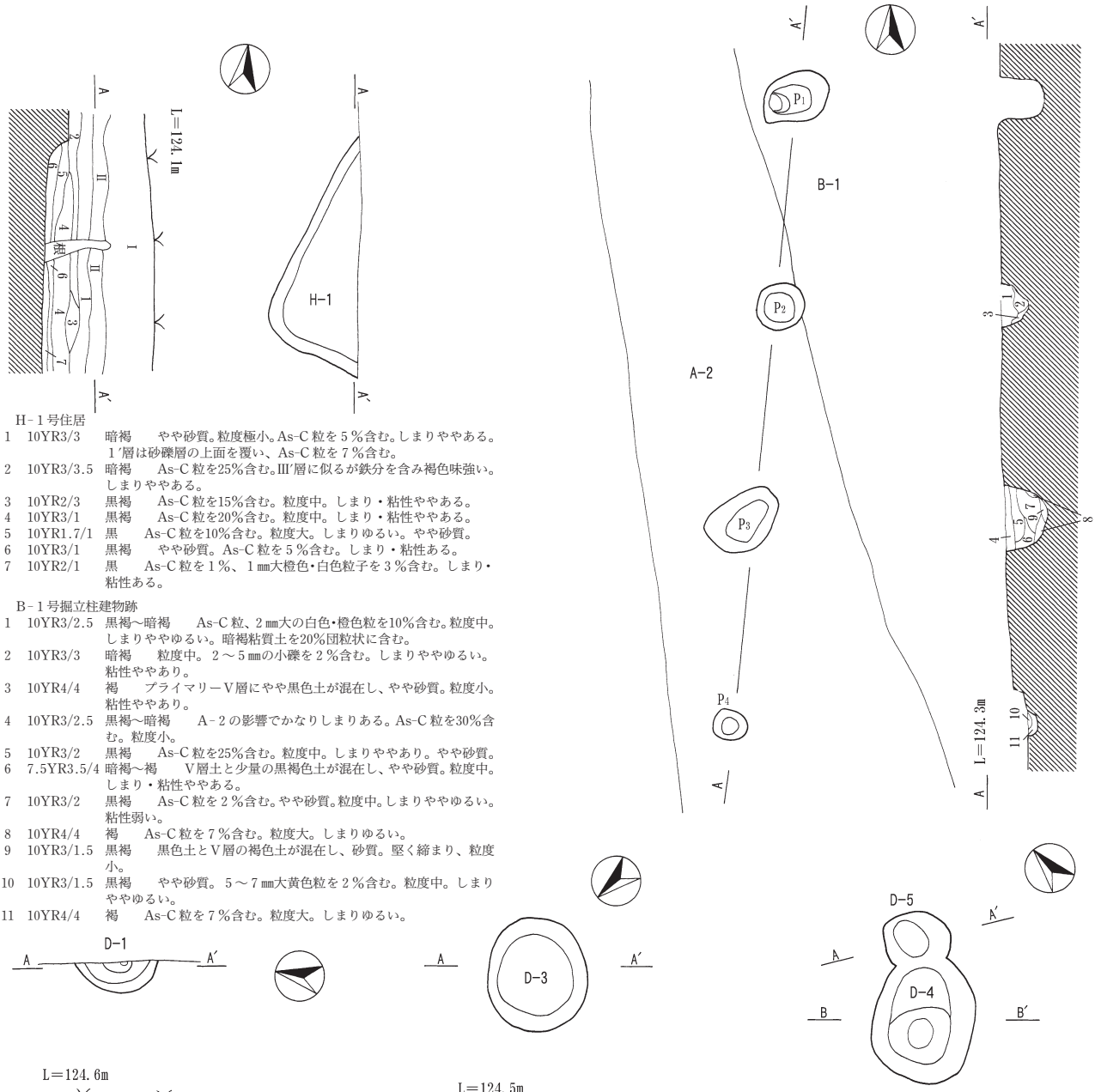


ンチ北区



4トレンチ

Fig. 6　元総社蒼海遺跡群（1）2・4トレンチ全体図



H－１号住居

1　10YR3/3　暗褐　やや砂質。粒度極小。As-C 粒を５％含む。しまりややある。１′層は砂礫層の上面を覆い、As-C 粒を７％含む。
2　10YR3/3.5　暗褐　As-C 粒を25％含む。Ⅲ′層に似るが鉄分を含み褐色味強い。しまりややある。
3　10YR2/3　黒褐　As-C 粒を15％含む。粒度中。しまり・粘性ややある。
4　10YR3/1　黒褐　As-C 粒を20％含む。粒度中。しまり・粘性ややある。
5　10YR1.7/1　黒　As-C 粒を10％含む。粒度大。しまりゆるい。やや砂質。
6　10YR3/1　黒褐　やや砂質。As-C 粒を５％含む。しまり・粘性ある。
7　10YR2/1　黒　As-C 粒を１％、１㎜大橙色・白色粒子を３％含む。しまり・粘性ある。

B－１号掘立柱建物跡

1　10YR3/2.5　黒褐～暗褐　As-C 粒、２㎜大の白色・橙色粒を10％含む。粒度中。しまりややゆるい。暗褐粘質土を20％団粒状に含む。
2　10YR3/3　暗褐　粒度中。２～５㎜の小礫を２％含む。しまりややゆるい。粘性ややあり。
3　10YR4/4　褐　プライマリーＶ層にやや黒色土が混在し、やや砂質。粒度小。粘性ややあり。
4　10YR3/2.5　黒褐～暗褐　A－２の影響でかなりしまりある。As-C 粒を30％含む。粒度小。
5　10YR3/2　黒褐　As-C 粒を25％含む。粒度中。しまりややあり。やや砂質。
6　7.5YR3.5/4　暗褐～褐　Ｖ層土と少量の黒褐色土が混在し、やや砂質。粒度中。しまり・粘性ややある。
7　10YR3/2　黒褐　As-C 粒を２％含む。やや砂質。粒度中。しまりややゆるい。粘性弱い。
8　10YR4/4　褐　As-C 粒を７％含む。粒度大。しまりゆるい。
9　10YR3/1.5　黒褐　黒色土とＶ層の褐色土が混在し、砂質。堅く締まり、粒度小。
10　10YR3/1.5　黒褐　やや砂質。５～７㎜大黄色粒を２％含む。粒度中。しまりややゆるい。
11　10YR4/4　褐　As-C 粒を７％含む。粒度大。しまりゆるい。

D－１号土坑

1　10YR2.5/2　黒褐　As-C 粒30％含む。粒度中。しまりややある。
2　10YR3/1･5　黒褐　As-C 粒20％含む。やや砂質。粒度小。しまりやや弱い。
3　10YR2.5/1　黒～黒褐　As-C 粒５％含む。１㎜大の白色・橙色粒子を２％含む。５㎜大の小礫を１％含む。粒度小。しまりややゆるい。
4　10YR3.5/3　暗褐～にぶい黄褐　暗褐粘質土の20㎜大ブロックを２％含む。粒度かなり細かく細砂質であるがしまりなく柔らかい。
5　10YR3/1･5　黒褐　As-C 粒20％含む。粒度中。２層よりもやや色調明るく、しまりある。
6　10YR3/2　黒褐　黒褐色土中にＶ層土が30％、20～30㎜大のブロック状ないし版築状に混在。As-C 粒20％含む。しまりある。
7　10YR3/2　黒褐　黒褐色土中にＶ層土が５％、しみ状に混在。As-C 粒20％含む。粒度小。ブロック状にしまった塊状の層。
8　10YR3/1　黒褐　黒褐色土中にＶ層土が20～30㎜大のブロック状に20％含む。As-C 粒５％含む。粒度中。しまりある。

D－３号土坑

1　10YR3.5/3　暗褐～にぶい黄褐　１㎜以下の黄色・白色粒子を１％含む。粒度中。しまりややゆるい。
2　2.5Y3/1　黒褐　５～７㎜大暗黄褐色の小粒を２％、１～２㎜大の黄色・橙色粒子を1.5％含む。粒度中。しまりややゆるい。
3　10YR3/1.5　黒褐　２層に似るが色調やや暗い。
4　10YR3/1.5　黒褐　３層とほぼ同じであるが、２～３㎝大の硬化ブロックを含む。
5　10YR3/2.5　黒褐～暗褐　Ｖ層土に黒褐色土が40％混在。粒度やや粗い。しまりややある。
6　10YR2.5/1　黒～黒褐　１～２㎜の白色・黄色・橙色粒子を２％含む。粒度小。やや砂質で堅くしまる。

D－４号土坑

1　10YR2/1　黒　１～２㎜大の橙色・白色粒子を３％含む。粒度中。しまりややある。
2　2.5Y3/1　黒褐　１～２㎜大の橙色・白色粒子を２％含む。粒度中。しまりある。
3　10YR3/1.5　黒褐　１～３㎜大の橙色粒子を１％含む。粒度中～大。しまりややある。
4　10YR3/1.5　黒褐　３層よりやや色調明るい。部分的に硬化ブロックを含む。
5　10YR3/2.5　黒褐～暗褐　やや砂質で硬くしまる。
6　10YR2.5/3　黒褐～暗褐　Ｖ層土と黒褐色土のしみ状混在。粒度小。しまり・粘性ややある。３㎜大の橙色粒子を１％含む。

Fig. 7　１トレンチ　Ｈ－１号住居・Ｂ－１号掘立柱建物・Ｄ－１、３～５号土坑

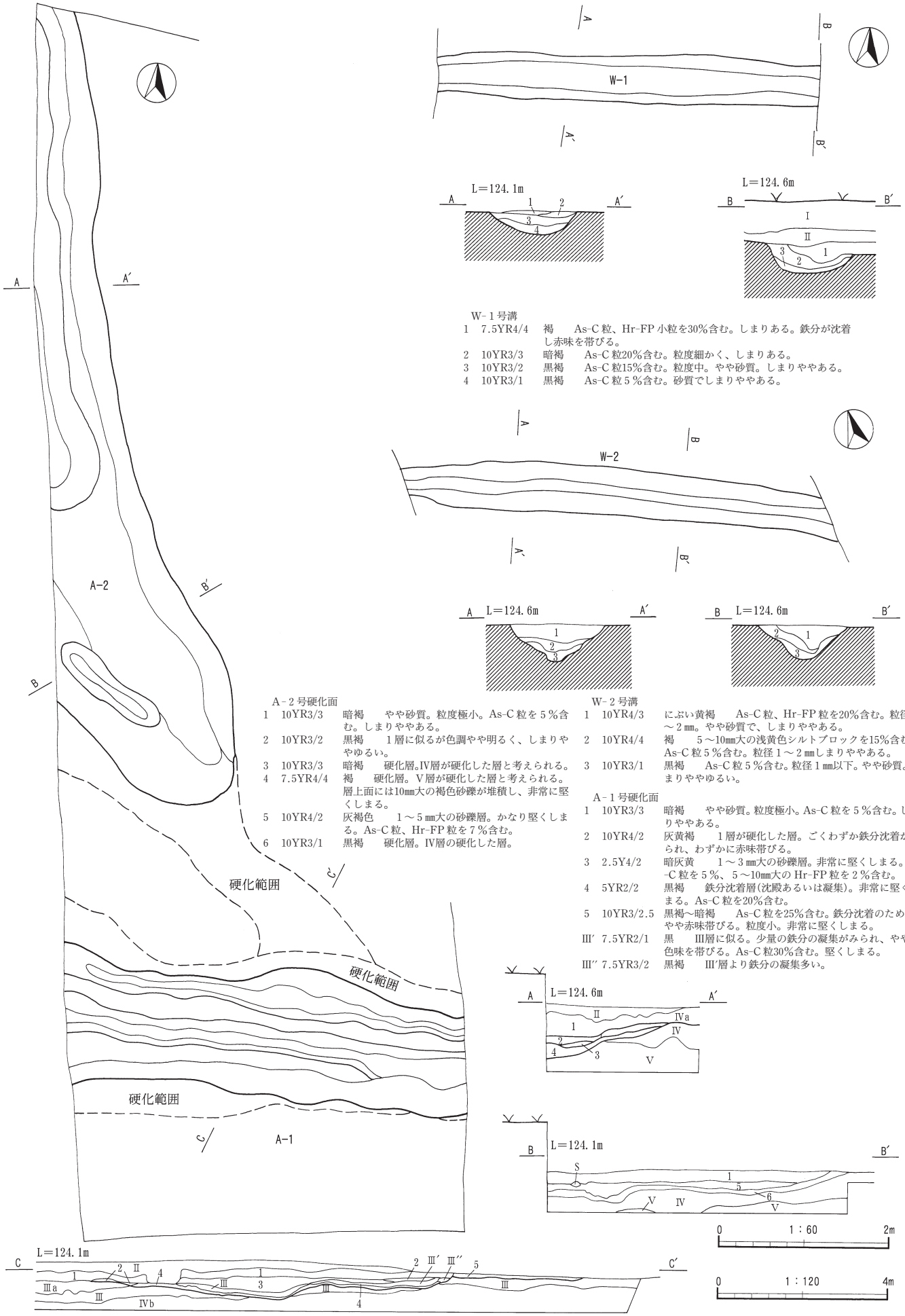
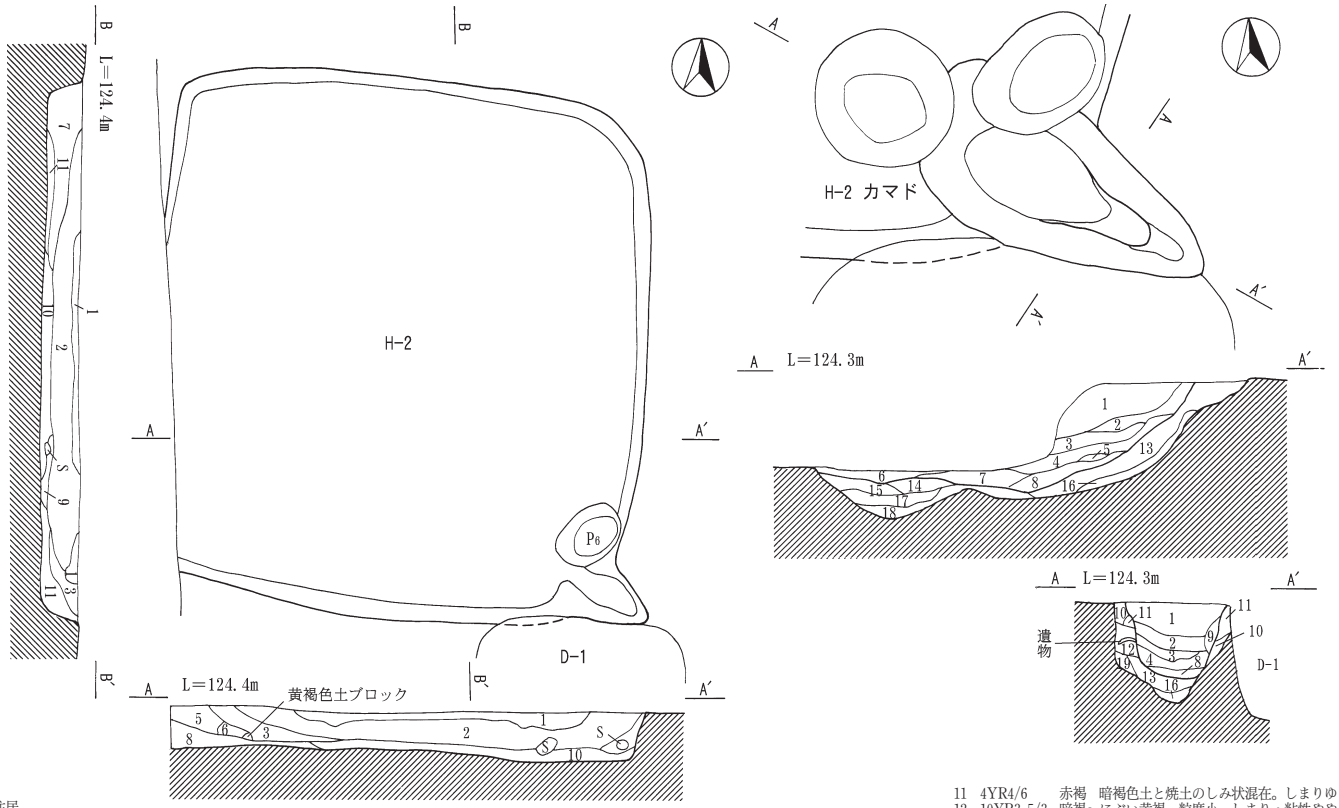
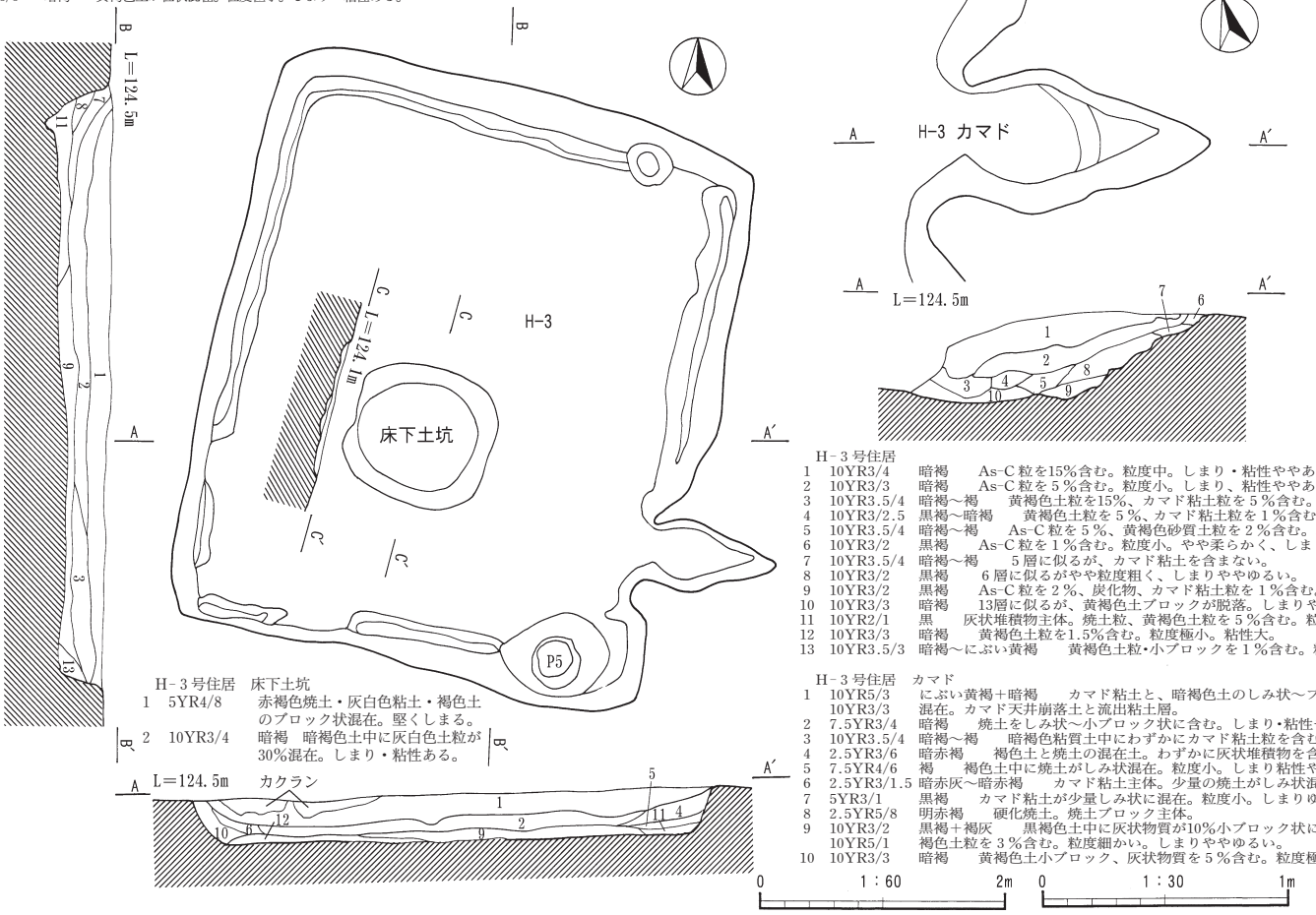


Fig. 8　1トレンチ　W－1、2号溝・A－1、2号硬化面



H－2号住居
1　10YR4/2.5　灰黄褐～にぶい黄褐　As-B主体。純層に近い堆積。
2　10YR4/3　にぶい黄褐　As-Cを15%含む。粒度中。しまり粘性ややある。
3　10YR3/4　暗褐　As-Cを10%含む。粒度小～中。しまり粘性ややある。
4　10YR4/4　褐　灰白色粘土が10%しみ状に混在。しまり粘性ややある。
5　10YR3/3　暗褐　As-C粒を20%含む。粒度中。しまり・粘性ややある。
6　10YR3/3　暗褐　黄褐色土小ブロックを10%含む。しまり粘性ややある。
7　10YR4/3.5　にぶい黄褐～褐　As-Cを20%含む。粒度中。しまり粘性ややある。
8　10YR3/2　黒褐　白色粒・黄褐色土粒を３%含む。しまり粘性ややある。
9　10YR4/4　褐　As-Cを２%、５mm大炭化物を１%含む。しまり粘性ある。
10　10YR3/2　黒褐　As-Cを１%、黄褐色土粒を３%含む。しまり・粘性ある。
11　10YR3/3　暗褐　黄褐色土が粒状混在。粒度極小。しまり・粘性ある。

H－2号住居　カマド
1　10YR4/3　にぶい黄褐　少量の黄褐色砂質土粒を含む。しまりゆるめ。
2　7.5Y4/4　褐　暗褐色土中に焼土がしみ状混在。粒度小。しまりゆるめ。
3　10YR3.5/3　暗褐～にぶい黄褐　粒度中。しまりゆるめ。粘性ややある。
4　7.5Y3/3　暗褐　焼土小ブロック少量混在。しまりゆるめ。粘性ややある。
5　7.5Y3/2　黒褐　暗褐色土中に焼土、灰がしみ状に混在。しまりゆるめ。
6　10YR1.7/1　5YR5/6　黒＋明赤褐　灰状の黒色堆積土中に明赤褐の軟質焼土が少量しみ状に混在。粒度極小。しまりややゆるい。粘性ややある。
7　7.5YR4/5　褐　焼土、暗褐色土のしみ状混在土。粒度小。しまり粘性ある。
8　10YR3/3　暗褐　焼土粒を２%含む。サラッとして柔らかく、しまりゆるめ。
9　7.5Y3/3　暗褐　暗褐色土に少量の焼土がしみ状に混在。しまり粘性ある。
10　10YR4/2　灰黄褐　粒度極小の粘質土。カマド構築粘土。
11　4YR4/6　赤褐　暗褐色土と焼土のしみ状混在。しまりゆるめ。粘性ある。
12　10YR3.5/3　暗褐～にぶい黄褐　粒度小。しまり・粘性ややある。
13　10YR3.5/3　暗褐～にぶい黄褐　粒度極小。８層とほぼ同。焼土粒含まず。
14　10YR4/3　にぶい黄褐　暗褐色土に灰状堆積物がしみ状に混在。粘性ある。
15　10YR6/4　にぶい黄橙　カマド粘土と黄褐色土ブロックの混在土。粒度小。
16　10YR3/3.5　暗褐　13層中に５～８mm大黄褐色土粒が15%混在。しまりゆるい。
17　10YR3/2　黒褐＋明黄褐　黒褐色土中に３～４cm大黄褐色砂質土ブロックが40%混在。粒度中。しまり・粘性ややある。
18　10YR3.5/3　暗褐～にぶい黄褐　暗褐色土中に黄褐色土小ブロックが10%混在。
19　10YR3.5/3　暗褐～にぶい黄褐　粒度小。サラッとしてしまりややゆるい。



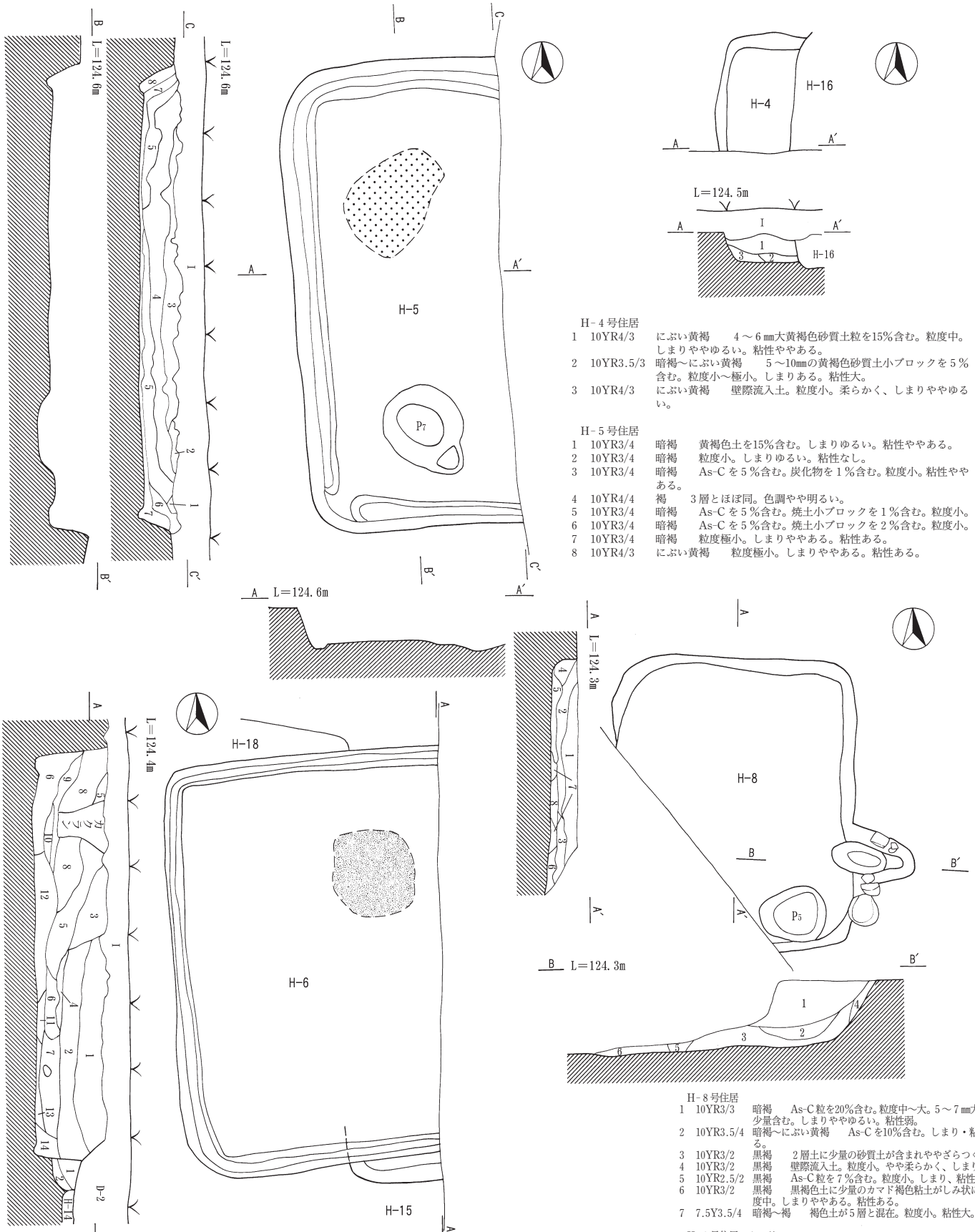
H－3号住居
1　10YR3/4　暗褐　As-C粒を15%含む。粒度中。しまり・粘性ややある。
2　10YR3/3　暗褐　As-C粒を５%含む。粒度小。しまり、粘性ややある。
3　10YR3.5/4　暗褐～褐　黄褐色土粒を15%、カマド粘土粒を５%含む。粒度小。
4　10YR3/2.5　黒褐～暗褐　黄褐色土粒を５%、カマド粘土粒を１%含む。粒度中。
5　10YR3.5/4　暗褐～褐　As-C粒を５%、黄褐色砂質土粒を２%含む。粒度小。
6　10YR3/2　黒褐　As-C粒を１%含む。粒度小。やや柔らかく、しまりゆるめ。
7　10YR3.5/4　暗褐～褐　５層に似るが、カマド粘土を含まない。
8　10YR3/2　黒褐　６層に似るがやや粒度粗く、しまりややゆるい。
9　10YR3/2　黒褐　As-C粒を２%、炭化物、カマド粘土粒を１%含む。粒度小。
10　10YR3/3　暗褐　13層に似るが、黄褐色土ブロックが脱落。しまりややある。
11　10YR2/1　黒　灰状堆積物主体。焼土粒、黄褐色土粒を５%含む。粒度極小。
12　10YR3/3　暗褐　黄褐色土粒を1.5%含む。粒度極小。粘性大。
13　10YR3.5/3　暗褐～にぶい黄褐　黄褐色土粒・小ブロックを１%含む。粒度極小。

H－3号住居　床下土坑
1　5YR4/8　赤褐色焼土・灰白色粘土・褐色土のブロック状混在。堅くしまる。
2　10YR3/4　暗褐　暗褐色土中に灰白色土粒が30%混在。しまり・粘性ある。

H－3号住居　カマド
1　10YR5/3　にぶい黄褐＋暗褐　カマド粘土と、暗褐色土のしみ状～ブロック状混在。カマド天井崩落土と流出粘土層。
2　7.5YR3/4　暗褐　焼土をしみ状～小ブロック状に含む。しまり・粘性ややある。
3　10YR3.5/4　暗褐～褐　暗褐色粘質土中にわずかにカマド粘土粒を含む。粒度小。
4　2.5YR3/6　暗赤褐　褐色土と焼土の混在土。わずかに灰状堆積物を含む。
5　7.5YR4/6　褐　褐色土中に焼土がしみ状混在。粒度小。しまり粘性ややある。
6　2.5YR3/1.5　暗赤灰～暗赤褐　カマド粘土主体。少量の焼土がしみ状混在。
7　5YR3/1　黒褐　カマド粘土が少量しみ状に混在。粒度小。しまりゆるめ。
8　2.5YR5/8　明赤褐　硬化焼土。焼土ブロック主体。
9　10YR3/2　10YR5/1　黒褐＋褐灰　黒褐色土中に灰状物質が10%小ブロック状に混在。黄褐色土粒を３%含む。粒度細かい。しまりややゆるい。
10　10YR3/3　暗褐　黄褐色土小ブロック、灰状物質を５%含む。粒度極小。

0　1：60　2m　0　1：30　1m

Fig. 9　２トレンチ　H－２、３号住居



H－4号住居

1　10YR4/3　にぶい黄褐　4～6㎜大黄褐色砂質土粒を15%含む。粒度中。しまりややゆるい。粘性ややある。
2　10YR3.5/3　暗褐～にぶい黄褐　5～10㎜の黄褐色砂質土小ブロックを5%含む。粒度小～極小。しまりある。粘性大。
3　10YR4/3　にぶい黄褐　壁際流入土。粒度小。柔らかく、しまりややゆるい。

H－5号住居

1　10YR3/4　暗褐　黄褐色土を15%含む。しまりゆるい。粘性ややある。
2　10YR3/4　暗褐　粒度小。しまりゆるい。粘性なし。
3　10YR3/4　暗褐　As-Cを5%含む。炭化物を1%含む。粒度小。粘性ややある。
4　10YR4/4　褐　3層とほぼ同。色調やや明るい。
5　10YR3/4　暗褐　As-Cを5%含む。焼土小ブロックを1%含む。粒度小。
6　10YR3/4　暗褐　As-Cを5%含む。焼土小ブロックを2%含む。粒度小。
7　10YR3/4　暗褐　粒度極小。しまりややある。粘性ある。
8　10YR4/3　にぶい黄褐　粒度極小。しまりややある。粘性ある。

H－8号住居

1　10YR3/3　暗褐　As-C粒を20%含む。粒度中～大。5～7㎜の小礫を少量含む。しまりややゆるい。粘性弱。
2　10YR3.5/4　暗褐～にぶい黄褐　As-Cを10%含む。しまり・粘性ややある。
3　10YR3/2　黒褐　2層土に少量の砂質土が含まれややざらつく。
4　10YR3/2　黒褐　壁際流入土。粒度小。やや柔らかく、しまりゆるい。
5　10YR2.5/2　黒褐　As-C粒を7%含む。粒度小。しまり、粘性ややある。
6　10YR3/2　黒褐　黒褐色土に少量のカマド褐色粘土がしみ状に混在。粒度中。しまりややある。粘性ある。
7　7.5Y3.5/4　暗褐～褐　褐色土が5層と混在。粒度小。粘性大。

H－8号住居　カマド

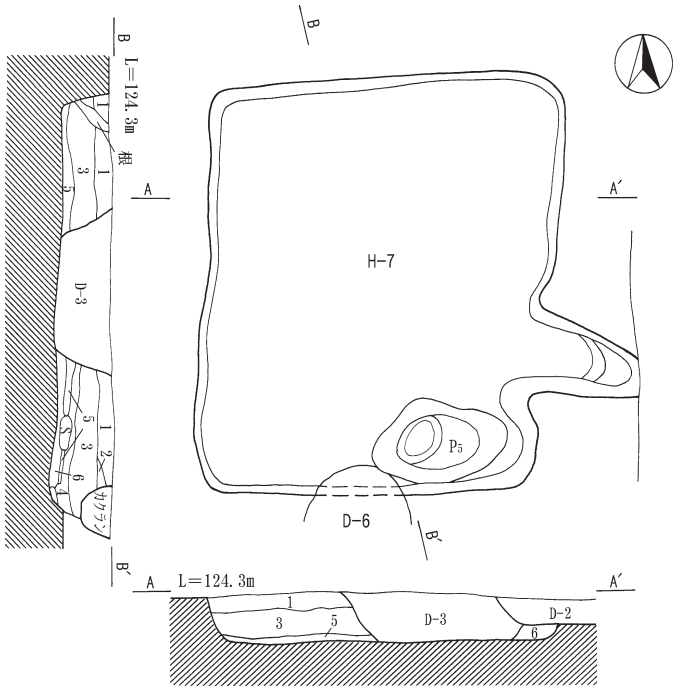
1　10YR2/2.5　黒褐　褐色土が20%混在。As-Cを30%、焼土粒を1%含む。
2　7.5YR2/2.5　黒褐～極暗褐　軟質焼土が15%しみ状に混在。粒度中～小。しまりややゆるく柔らかい。粘性ある。
3　7.5YR3/2.5　黒褐～暗褐　軟質焼土が40%しみ状に混在。焼土粒を10%含む。粒度中～小。しまりややゆるく粘性ある。
4　10YR2.5/3　黒褐～暗褐　黒褐色土と褐色粘質土のしみ状～団粒状混在。As-C粒を15%含む。粒度小～中。しまりある。粘性ややある。
5　10YR2/3　黒褐　As-C粒5%混在。粒度小。しまり普通。粘性ややある。
6　10YR3/2　黒褐　暗褐色土中に黄褐色土がしみ状混在。軟質焼土が1%しみ状に混在。粒度小。しまりややある。粘性ある。

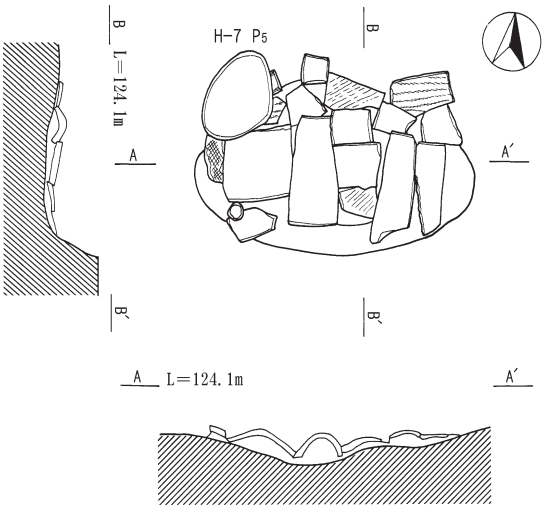
H－6号住居

1　10YR3/2　黒褐　As-Cを30%含む。焼土粒1%含む。しまり粘性ややある。
2　10YR3/3　暗褐　As-C粒15%、3～30㎜大黄褐色土小ブロック5%含む。
3　10YR3/3　暗褐　5～15㎜大黄褐色砂質土小ブロックが20%混在。As-C粒30%含む。粒度小。しまりある。粘性ややある。
4　10YR2.5/2　黒褐　灰状堆積物が30%混在。大黄褐色土小ブロックが3%混在。As-Cを5%含む。粒度小。しまりゆるい。粘性ややある。
5　10YR3/4　暗褐　5～40㎜大黄褐色砂質土ブロックが40%混在。As-C粒25%含む。粒度中。しまり・粘性ややある。
6　10YR3/3　暗褐　5～30㎜大の黄褐色砂質土粒・小ブロックが30%混在。粒度中～大。しまりある。粘性ややある。
7　10YR3/3.5　暗褐　暗褐色土中に黄褐色砂質土が30%しみ状に混在。黄褐色土小ブロックを10%含む。粒度中。しまり普通。粘性ややある。
8　10YR3/2　黒褐＋黄褐　暗褐色土中に黄褐色土が斑状～ブロック状に50%混在。As-Cを5%含む。粒度中。しまり・粘性ややある。
9　10YR3/4　暗褐　暗褐色土中に黄褐色土粒が30%粒状に混在。粒度中。
10　10YR2/2　黒褐　灰状物質が20%しみ状に混在。As-C粒3%含む。
11　10YR2/3　黒褐　焼土が25%しみ状に混在。黄褐色土小ブロックが10%混在。灰状物質が10%しみ状に混在。しまりゆるい。粘性ややある。
12　10YR3/2　黒褐　As-C粒5%、黄褐色土粒3%含む。一部30㎜大の黄褐色砂質土ブロックが混在。粒度小。しまりある。粘性ややある。
13　10YR3/2.5　黒褐～暗褐　褐色土が20%しみ状に混在。As-C粒10%、5㎜大黄褐色砂質土粒3%含む。粒度小。しまり普通。粘性ややある。
14　10YR3/2.5　黒褐～暗褐　黄褐色砂質土粒25%混在土中に30㎜大の黄褐色砂質土小ブロックが20%混在。粒度中。しまり・粘性ややある。

0　1：60　2m　0　1：30　1m

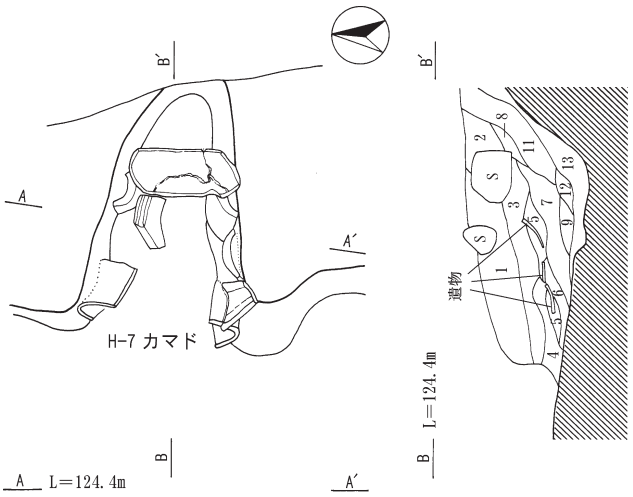
Fig.10　2トレンチ　H－4～6、8号住居

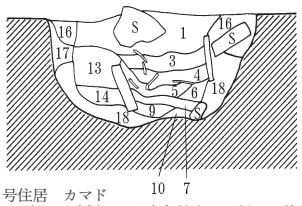


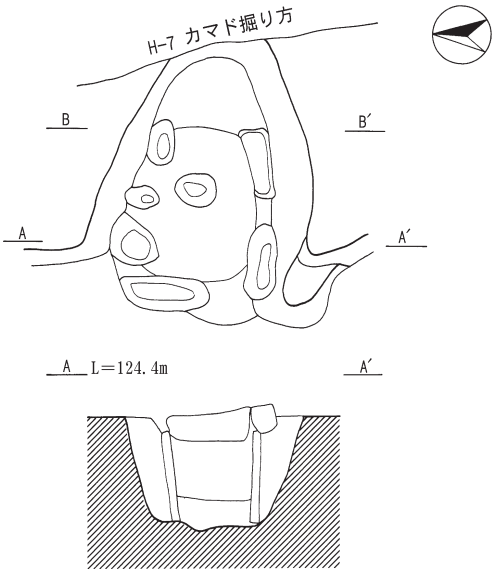


H－7号住居

1　10YR3.5/4　暗褐～褐　As-C粒を20%含む。黄褐色土小ブロックを10%含む。
2　10YR3.5/4　暗褐～褐＋黒　暗褐色土中に黒色灰状堆積物が混在。粒
　10YR2/1　度極小。しまりややゆるい。粘性ややある。
3　10YR3.5/4　暗褐～褐　黄褐色土小ブロックが30%混在。しまりややゆるい。
4　10YR3/3　暗褐　黄褐色土粒を３%含む。粒度中。しまり粘性ややある。
5　10YR3/4　暗褐　As-Cを20%・黄褐色土粒を15%含む。わずかに炭化物を含む。粒度小～極小。かなりしまる。粘性ややある。
6　10YR3/3　暗褐　黄褐色土粒を３%含む。粒度極小。しまり強い。





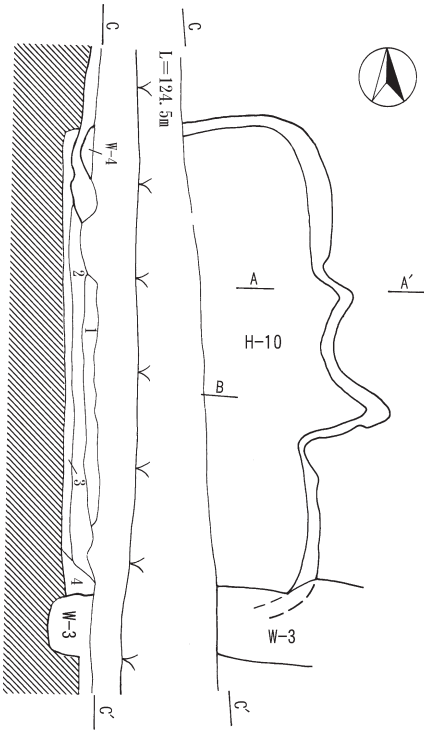


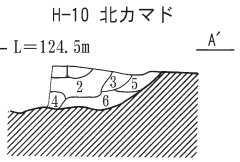
H－7号住居　カマド

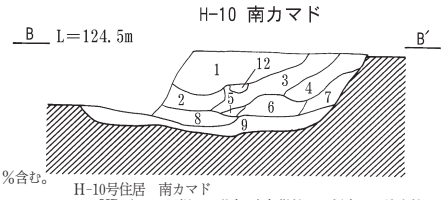
1　10YR3/3　暗褐　灰白色粘土が５%しみ状に混在。As-Cを１%含む。
2　10YR5/4　にぶい黄褐　カマド粘土主体で、少量の暗褐色土が混在。粒度小。しまり・粘性ある。
3　10YR3/1.5　黒褐　少量のカマド粘土がしみ状に混在。１cm大黄褐色砂質土小ブロックを２%含む。粒度小。しまりややゆるく、粘性ある。
4　10YR3/1　黒褐　黒色灰状堆積物、カマド灰白色粘土、暗褐色土のしみ状混在。粒度小。しまりゆるく、粘性弱。
5　10YR6/2　灰黄褐　カマド粘土主体。粒度小。しまり・粘性ややある。
6　10YR2/1　黒　黒色灰状堆積物主体。わずかにカマド粘土がしみ状に混在。粒度極小。しまり・粘性弱。
7　7.5YR3/1.5　黒褐　黒色灰状堆積物と暗赤褐色焼土のしみ状混在土。粒度極小。しまり・粘性弱。少量の焼土粒を含む。
8　10YR4/3　にぶい黄褐　７層中にカマド粘土が少量混在。しまりゆるい。
9　10YR2/2　黒＋明赤褐　灰状堆積物主体で、軟質焼土がしみ状～ブロック状に混在。
　5YR5/6　粒度極小。柔らかくしまりない。粘性ややある。
10　5YR5/6　明赤褐　軟質焼土。粒度極小。柔らかく、しまりややゆるい。
11　10YR4/2　灰黄褐　焼土粒を３%含む。粒度極小。サラッとしてやや柔らかく、しまりややゆるい。粘性ややある。
12　5YR4/5　にぶい赤褐～赤褐　軟質焼土主体。粒度極小。しまりゆるい。
13　10YR3/3　暗褐　暗褐色土にカマド粘土が５%混在。粒度小。しまりゆるい。
14　10YR2/2　黒褐　黒褐色土中にごくわずかカマド粘土、焼土粒が混在。
15　10YR5/3　にぶい黄褐　カマド粘土のみ。
16　10YR4/3　にぶい黄褐　暗褐色土に少量のカマド粘土がしみ状混在。粒度小。しまりややゆるい。粘性ややある。
17　10YR2.5/3　黒褐～暗褐　粒度小。しまりややゆるく、やや柔らかい。粘性ややある。
18　10YR3/4　暗褐　わずかに焼土がしみ状混在。黄褐色土小ブロックを５%含む。しまりややゆるい。粘性ややある。

0　1：60　2m　　0　1：30　1m

Fig.11　２トレンチ　Ｈ－７号住居







H-10号住居　北カマド

1　10YR3/2　黒褐　少量のカマド粘土がしみ状に混在。As-C粒を３％含む。粒度小。しまり・粘性ややある。
2　7.5YR3/2　黒褐　暗褐色土中に焼土・カマド粘土が混在。炭化物を15%含む。粒度小。しまり・粘性ある。
3　10YR3/2.5　黒褐～暗褐　ごくわずかAs-C粒・カマド粘土粒を含む。粒度小。
4　10YR2/2　黒褐　少量のカマド粘土、わずかに炭化物を含む。粒度小。しまり・粘性ある。
5　10YR3/2.5　黒褐～暗褐　As-C粒、焼土粒を１％含む。一部１cm大黄褐色土ブロックを含む。地山褐色土主体。
6　10YR3/3　暗褐　粒度極小。サラッとしてしまりゆるい。

H-10号住居

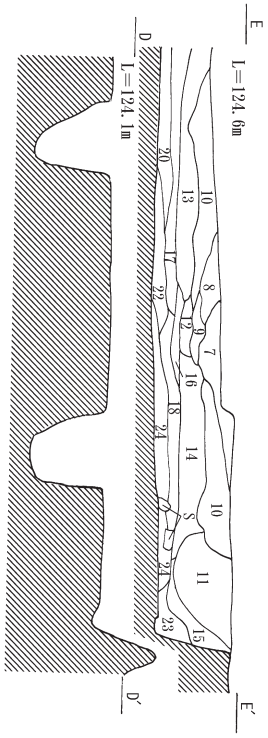
1　10YR2.5/2　黒褐　As-C粒25%含む。炭化物１％含む。粒度中。
2　10YR2/1.5　黒～黒褐　As-C粒５%、焼土粒３%、炭化物１％含む。粒度小。
3　10YR3/2　黒褐　黒褐色土と褐色土のしみ状混在土中に黄褐色土小ブロックが10%混在。粒度小～極小。しまり・粘性ある。
4　10YR2/2.5　黒褐　褐色土が10%しみ状混在。As-C ２%、焼土粒１％含む。粒度小。しまり・粘性ややある。

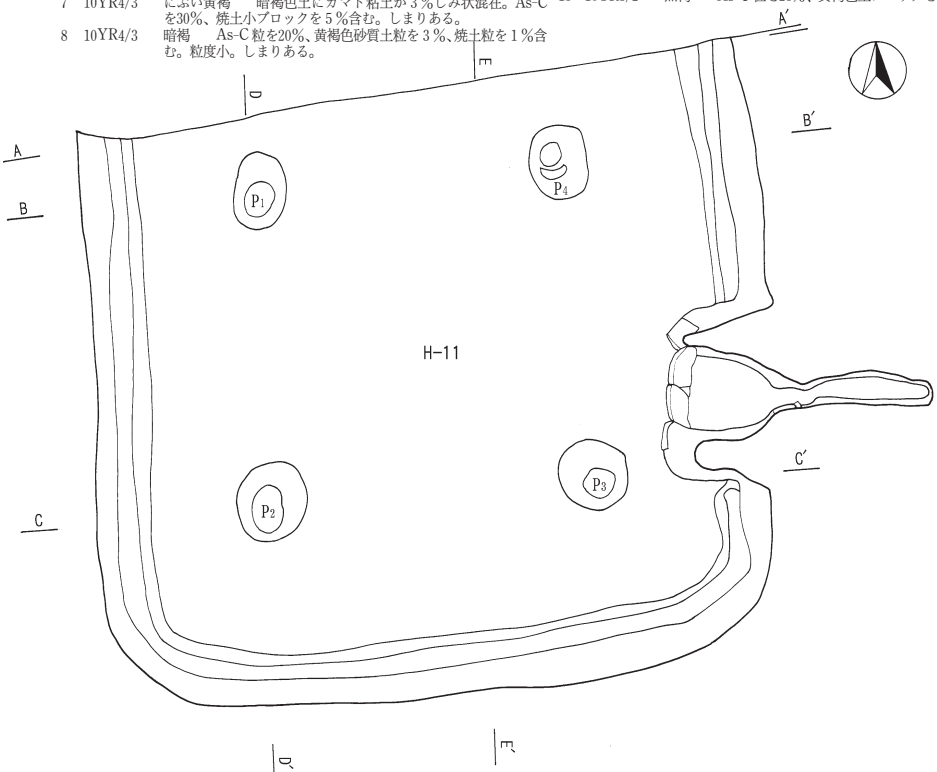
H-11号住居

1　10YR3/3　暗褐　As-C粒を25%、黄褐色土粒を１％含む。粒度中。
2　10YR3.5/3　暗褐～にぶい黄褐　As-C粒を30%含む。しまり粘性ややある。
3　10YR3.5/4　暗褐～褐　暗褐色土中に少量の褐色土がしみ状に混在。As-C粒を15%含む。黄褐色土小ブロックを３％含む。粒度中～小。
4　10YR3.5/3　暗褐～褐　暗褐色土中に少量の暗赤褐色粘土がしみ状混在。黄褐色硬質砂質土小ブロックと焼土ブロックをわずかに含む。粒度小。
5　10YR3/3　暗褐　As-Cを５%、黄褐色土小ブロックを７％含む。しまりやゆるい。
6　10YR3/2　黒褐　As-Cを２％含む。粒度小。しまりややゆるい。
7　10YR4/3　にぶい黄褐　暗褐色土にカマド粘土が３％しみ状混在。As-Cを30%、焼土小ブロックを５％含む。しまりある。
8　10YR4/3　暗褐　As-C粒を20%、黄褐色砂質土粒を３％、焼土粒を１％含む。粒度小。しまりある。

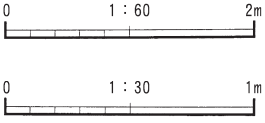
H-10号住居　南カマド

1　10YR3/2　黒褐　黄色・白色微粒を１％含む。焼土粒を１％含む。粒度小。しまりややゆるい。
2　10YR3/1.5　黒褐　黒褐色土中に少量の褐色土・灰状物質がしみ状～ブロック状に混在。焼土粒・炭化物を５％含む。粒度小。しまりゆるい。
3　10YR3/1.5　黒褐　暗褐色土中に少量の灰状堆積物がしみ状に混在。焼土粒を10%、炭化物を２％含む。粒度小。しまりゆるい。
4　10YR3/3　暗褐　３層とほぼ同じ。色調やや暗い。
5　2.5YR4/6　赤褐＋黒褐～暗褐　暗褐色土と焼土のしみ状～ブロック状混在。灰白色粘土が５％混在。粒度小。しまりゆるく、柔らかい。
10YR2.5/3
6　7.5YR3/1　黒褐　黒褐色土中に少量の焼土がしみ状混在。焼土小ブロックを３％含む。粒度小。やや柔らかく、しまりゆるい。
7　10YR3/3　暗褐　暗褐色土中に黒褐色土が５％しみ状に混在。粒度小。やや柔らかく、しまりややゆるい。
8　10YR3.5/3　暗褐～にぶい黄褐　暗褐色土中に焼土が３％しみ状に混在。粒度極小。しまりややゆるい。粘性ある。
9　10YR4/3　にぶい黄褐　粒度極小で緻密。やや柔らかく、粘性ある。





9　10YR4/3　にぶい黄褐　暗褐色土にカマド粘土が40%しみ状に混在。As-Cを15%、カマド粘土粒を10%含む。炭化物を５％含む。粘性ある。
10　10YR3/2　黒褐　As-Cを10%、黄褐色土小ブロックを２％含む。粒度中～小。しまりややゆるい。
11　10YR4/3　にぶい黄褐　As-Cを25%、黄褐色土小ブロックを25%含む。
12　10YR3/2.5　黒褐～暗褐　As-C粒を２％、焼土粒を１％含む。粒度小。しまりややゆるい。
13　10YR4/2　灰黄褐　As-C粒を５％、黄褐色土粒・小ブロックを８％含む。しまりややゆるい。
14　10YR3.5/3　暗褐～にぶい黄褐　As-Cを20%、黄褐色土小ブロックを20%含む。
15　10YR3/2　黒褐　As-C粒を25%、黄褐色土ブロックを５％含む。粒度小。
16　10YR3/3　暗褐　As-C粒を２％含む。しまり・粘性ややある。
17　10YR3/2　黒褐　As-C粒を10%含む。しまりややゆるい。粘性ややある。
18　10YR3.5/4　暗褐～褐　暗褐色土中に少量のカマド粘土がしみ状に混在。As-Cを10%、黄褐色土小ブロックを10%、焼土粒を３％、カマド粘土小ブロックを５％含む。粒度小～中。粘性ある。
19　10YR2.5/1　黒～黒褐　炭化物を２％含む。粒度小～中。しまりややゆるい。
20　10YR3/4　暗褐　カマド粘土粒を２％、炭化物を１％含む。粒度小。しまりややゆるい。粘性ある。
21　10YR3/4　暗褐　As-Cを５％、炭化物を２％含む。粒度小。しまりゆるめ。
22　10YR3.5/4　暗褐～褐　暗褐色土中に少量の褐色土がしみ状混在。As-Cを３％含む。粒度小。しまりゆるい。
23　10YR3/1　黒褐　As-Cを20%含む。炭化物を１％含む。
24　10YR3.5/2　黒褐～灰黄褐　As-Cを10%、黄褐色土小ブロックを５％含む。粒度極小。しまり・粘性ある。
25　10YR3/3　暗褐　As-Cを２％含む。粒度小～極小。しまりややゆるい。



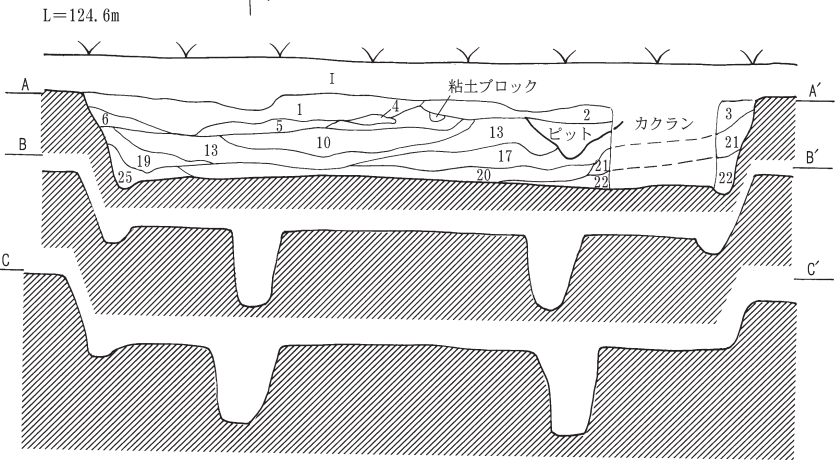
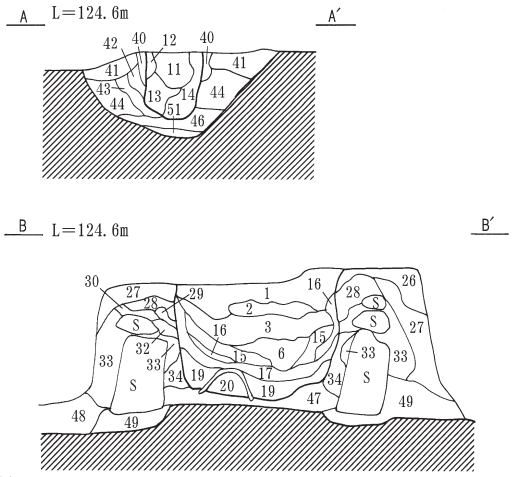
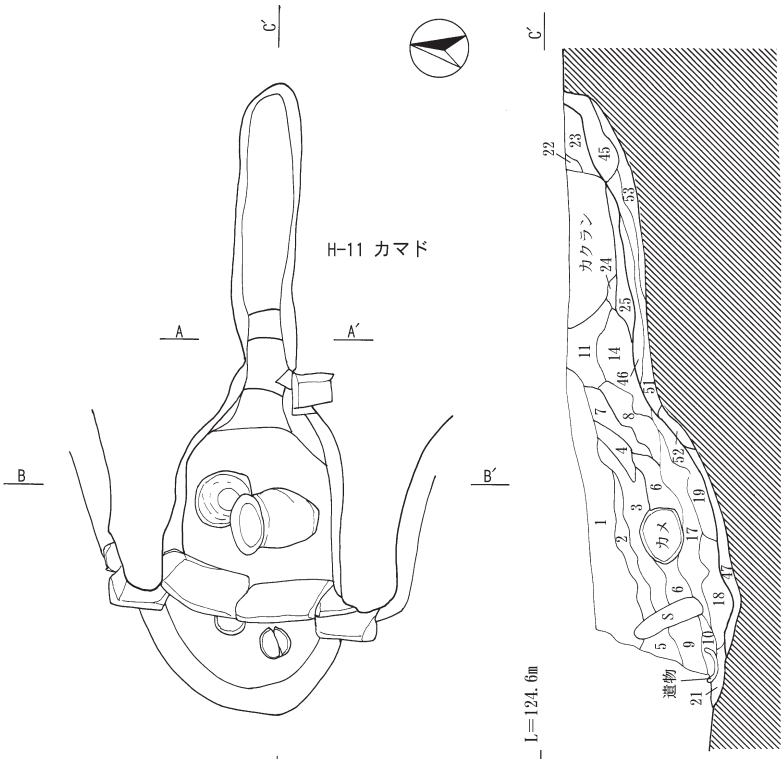


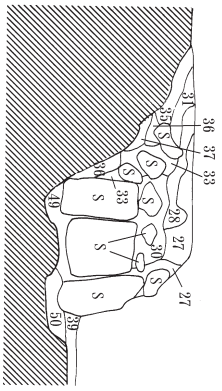
Fig.12　２トレンチ　H－10、11号住居





H-11号住居　カマド

1　10YR4/3　にぶい黄褐　暗褐色土にカマド粘土が30%しみ状混在。焼土粒・黄褐色土粒を10%含む。粒度小。しまりある。
2　10YR6/3　にぶい黄橙　カマド灰白色粘土と暗褐色土の混在。粒度小。しまり・粘性ややある。天井流出粘土と考えられる。
3　10YR3.5/2　黒褐～灰黄褐　暗褐色土とカマド粘土、黒色灰状堆積物の混在土。粒度小～極小。しまりゆるい。粘性弱。
4　10YR4/3　にぶい黄褐　暗褐色土中にカマド粘土がしみ状～小ブロック状に混在。焼土粒20%含む。粒度小。
5　10YR4/1　褐灰　暗褐色土中に少量のカマド粘土がしみ状に混在。粒度中。しまりない。粘性弱。
6　10YR4.5/2　灰黄褐　カマド粘土と暗褐色土のしみ状混在。粒度小。しまりややゆるい。
7　10YR5.5/3　にぶい黄褐～にぶい黄橙　カマド粘土主体で少量の粘土焼土がしみ状に混在。粒度小。粘性大。
8　5YR5/6　明赤褐　硬化焼土ブロック主体。12層とともに天井崩落土。
9　10YR6/3　にぶい黄橙　粒度の粗い粘土。補強材の凝灰質砂岩が風化。
10　10YR3/1　黒褐　灰状物質と９層粘土がしみ状混在。しまり・粘性弱。
11　10YR3/3　暗褐　As-C を５%含む。カマド粘土が３%しみ状混在。焼土粒を１%含む。粒度小。しまりある。
12　10YR5.5/3　にぶい黄褐～にぶい黄橙　カマド粘土主体で少量の粘土焼土がしみ状混在。粒度小。粘性大。
13　10YR4/2　灰黄褐　暗褐色土に焼土粒が15%混在。カマド粘土が３%しみ状混在。粒度小～中。
14　10YR3/3　暗褐　As-C・焼土粒を５%含む。粒度小。しまりややゆるい。
15　10YR6/3　にぶい黄橙　カマド粘土主体。焼土粒２%を含む。粒度小。しまり・粘性ある。
16　5YR5/6　明赤褐　カマド粘土の軟質焼土。粒度小～極小。
17　5YR4/6　赤褐　硬質焼土ブロック主体。焼土中にスサが入る。ボロボロしてしまりない。
18　10YR4/3　にぶい黄褐　凝灰質砂岩が風化しカマド前面に流出した層。
19　10YR2/1　黒　灰状堆積物。粒度極小。しまりなく柔らかい。粘性弱。
20　10YR6.5/1　褐灰～灰白　灰白色灰状物質主体。焼土ブロック５%含む。
21　10YR2/2　黒褐　やや砂質。粒度極小。しまり弱く、やや柔らかい。
22　10YR3/4　暗褐　カマド粘土焼土が５%しみ状に混在。焼土粒を３%含む。粒度小～極小。しまりある。
23　5YR4/4　にぶい赤褐　軟質粘土主体で暗褐色土が５%、カマド粘土焼土が２%しみ状に混在。焼土粒を10%含む。粒度小～極小。
24　5YR4.5/8　赤褐～明赤褐　硬質焼土ブロック・焼土粒主体層。粒度中～大。硬いがしまりややゆるい。粘性弱。
25　10YR3/3　暗褐　暗褐色土に軟質焼土が30%、カマド粘土が20%しみ状に混在。粒度小。しまりややゆるい。
26　10YR2.5/2　黒褐　やや砂質の黒灰褐色土にカマド粘土が10%しみ状に混在。粒度小。しまりややゆるい。
27　10YR3.5/2　黒褐～灰黄褐　黒褐色土にカマド粘土が40%しみ状混在。粒度小。しまりややゆるい。27′層は粒度小～中。しまりゆるい。
28　10YR4.5/2　灰黄褐　灰白色粘土主体。粒度小～極小。しまり・粘性ある。
29　10YR5/5　にぶい黄褐～黄褐　風化した凝灰質砂岩。しまりない。
30　7.5YR4/4　褐　28層の粘土が被熱により赤化。
31　10YR3/2.5　黒褐～暗褐　黒褐色土にカマド粘土が10%しみ状混在。As-C・粘土粒を15%含む。粒度小。
32　5YR4/6　赤褐　硬質焼土ブロック主体。焼土中にスサが入る。ボロボロしてしまりない。
33　10YR3/3　暗褐　褐色粘土。粒度小～極小。しまりある。粘性大。28層の内側で袖の石組みを被覆する粘土。28層よりしまりある。
34　10YR4.5/2　灰黄褐　灰白色粘土主体。粒度小～極小。しまりある。粘性ある。
35　10YR3/2　黒褐　暗褐色土に As-C、粘土粒を１%含む。やや砂質。粒度小。しまりややゆるい。
36　10YR3/3　暗褐　33層褐色土と黒褐色土のしみ状混在。２㎜大の粘土粒を５%含む。粒度小。しまりややゆるい。



37　10YR3/2　黒褐　黒褐色土に黄褐色土が15%しみ状混在。焼土粒３%含む。粒度小。しまりややゆるい。
38　10YR3/3　暗褐　カマド流出粘土を主とし、しまりある。粒度極小。
39　10YR3/4　暗褐　カマド粘土と黒灰色粘質土のしみ状混在。粒度極小。しまり・粘性ある。
40　5YR4/6　赤褐　硬質焼土ブロック主体層。焼土中にスサが入る。ボロボロしてしまりない。
41　10YR2.5/2　黒褐　黒褐色土にカマド粘土が15%しみ状～粒状に混在。As-C3%、焼土粒を１%含む。粒度小。しまり・粘性ややある。
42　7.5YR5/6　明褐　被熱硬化粘土焼土。
43　10YR3.5/3　暗褐～にぶい黄褐　灰白色粘土。被熱し一部がしみ状に赤化。粒度小～極小。しまり・粘性ある。
44　10YR3/3　暗褐　黒褐色土に灰白色粘土が20%しみ状混在。粒度小～極小。しまり・粘性ある。
45　10YR2/2.5　黒褐　暗褐色土中に40%焼土がしみ状混在。灰白色粘土粒を10%含む。粒度小。しまりややゆるい。
46　10YR3/2.5　黒褐～暗褐　暗褐色土に暗灰褐色粘土が40%しみ状混在。焼土粒を20%含む。粒度小～極小。しまり・粘性ある。
47　10YR3/2　黒褐　褐色土と灰状物質と灰白色粘土粒の混在。焼土が５%しみ状に混在。粒度小。しまりゆるめ。
48　10YR3/3　暗褐　黒褐色土に黄褐色土が５%しみ状混在。粒度小～極小。
49　10YR3/4　暗褐　黒褐色土に黄褐色土が30%しみ状混在。粒度小。しまりややゆるい。
50　10YR3/2.5　暗褐～黒褐　黒褐色土、カマド粘土、黄褐色土の混在土。粒度小～極小。しまり・粘性ある。
51　10YR2.5/3　黒褐～暗褐　黒褐色土に黄褐色土が20%しみ状混在。灰状物質が５%しみ状混在。焼土粒を５%含む。粒度小。
52　10YR4/3　にぶい黄褐　黄褐色土に暗褐色土が10%、焼土が５%しみ状混在。粒度極小。しまりややゆるく、やや柔らかい。
53　10YR2/3　黒褐　やや砂質の暗褐色土。粒度小。しまり粘性ややある。

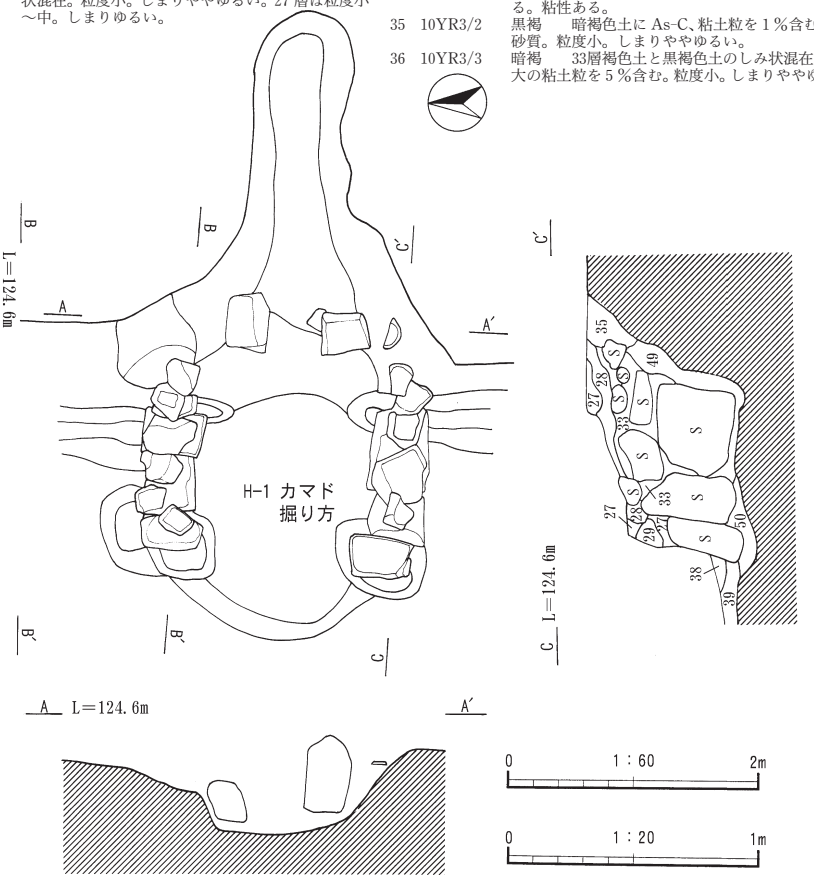
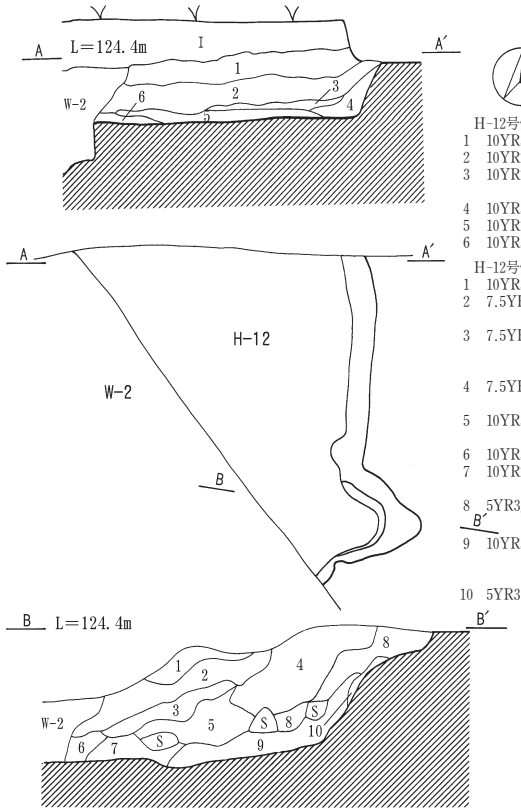


Fig.13　２トレンチ　H－11号住居カマド

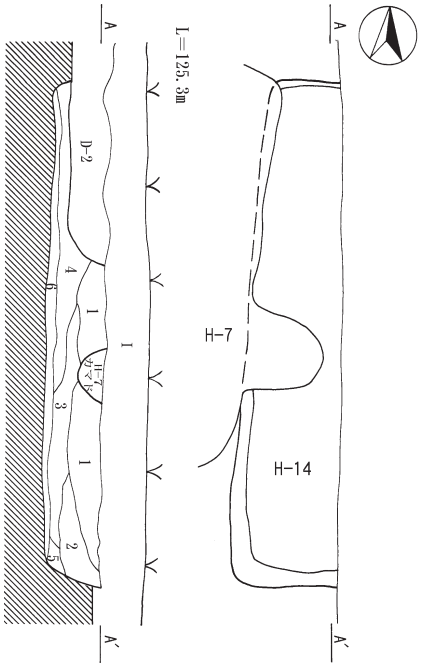


H-12号住居

1　10YR3/2　黒褐　As-C粒を20%含む。粒度中～小。しまりある。
2　10YR2.5/2　黒褐　As-C粒20%、黄褐色土粒３%、炭化物１%含む。
3　10YR2.5/3　黒褐～暗褐　黒褐色土に褐色土がしみ状混在。黄褐色土小ブロックを３%含む。As-C粒５%含む。粒度小。しまりある。
4　10YR3/2.5　黒褐～暗褐　褐色土が10%しみ状に混在。炭化物15%含む。
5　10YR2/1　黒　多量の炭化物を含む。粒度小。しまりゆるい。粘性弱。
6　10YR3/3　暗褐　黄褐色土小ブロックを25%含む。粒度小。

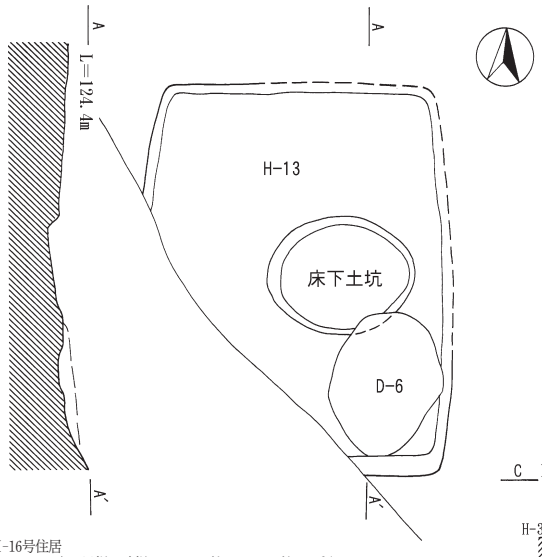
H-12号住居　カマド

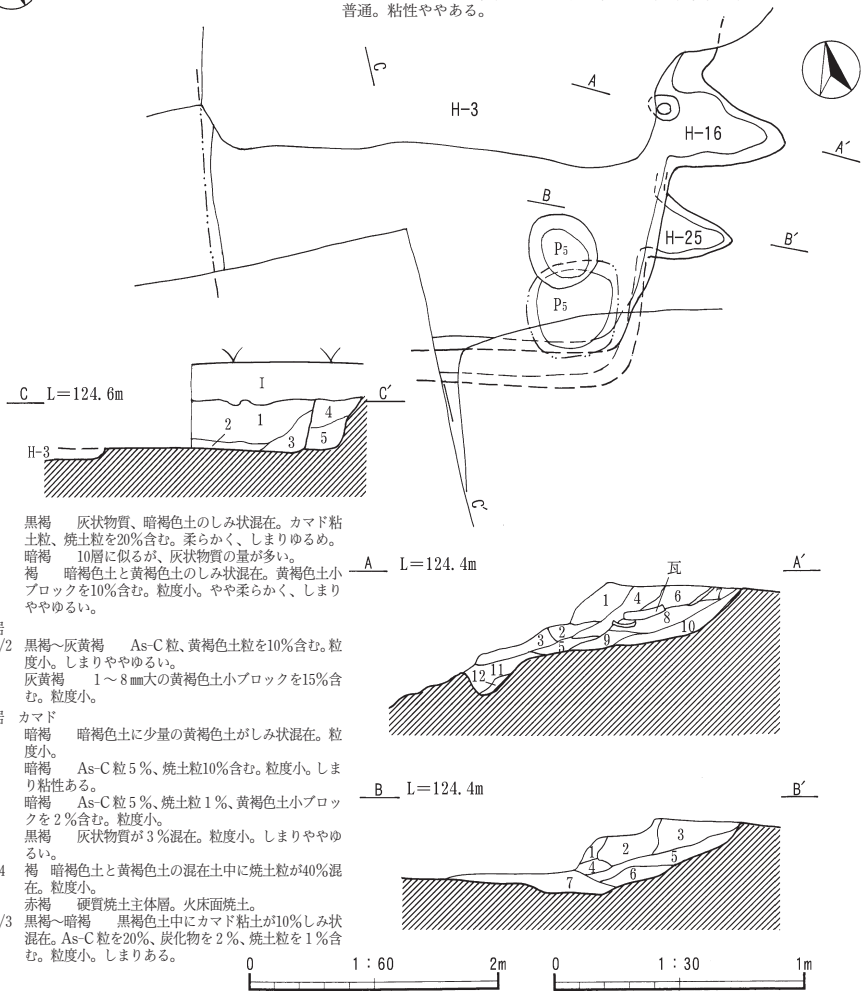
1　10YR3/2　黒褐　As-C粒を３%、炭化物を１%含む。
2　7.5YR3/2　黒褐　褐色粘質土主体で焼土が５%しみ状に混在。As-C粒を７%、焼土粒を３%含む。しまり・粘性ある。
3　7.5YR3/2.5　黒褐～暗褐　褐色粘質土主体で少量の焼土、灰白色粘土がしみ状に混在。硬化焼土小ブロックを少量含む。粒度中～小。粘性大。
4　7.5YR3/2　黒褐　２層よりやや色調暗い。褐色粘質土主体で少量の黒褐色土が混在。As-C粒と焼土粒を10%含む。しまり・粘性ある。
5　10YR3/4　暗褐　褐色粘質土、暗褐色土、灰状物質の混在土。焼土粒を２%、黄褐色土小ブロックを２%含む。粒度小。粘性ある。
6　10YR3/1　黒褐　灰状物質と暗褐色土が混在。焼土粒２%含む。粒度小。
7　10YR2/1　黒　灰状物質主体。３mm大の炭化物を15%含む。粒度小。しまりややゆるい。粘性ややある。
8　5YR3/1.5　黒褐～暗赤褐　暗褐色土、焼土、褐色土のしみ状混在。焼土は硬化焼土ブロックを含む。粒度中。しまり・粘性ややある。
9　10YR3/3　暗褐　暗灰褐色のサラッとした砂質粘土中にわずかに灰状物質と少量の焼土がしみ状に混在。２～３mm大炭化物を３%含む。粒度小～極小。しまりなく柔らかい。粘性弱い。
10　5YR3.5/4　暗赤褐～にぶい赤褐　粒子細かい軟質焼土層。



H-14号住居

1　10YR2.5/3　黒褐～暗褐　As-C粒５%・黄褐色土粒７%含む。また、10～30mm大の黄褐色土小ブロックをわずかに含む。粒度小～中。しまり普通。粘性ややある。
2　10YR2/3　黒褐　As-C粒10%10～20mm大の黄褐色土小ブロックをわずかに含む。粒度中～小。しまり普通。粘性ややある。
3　10YR2/3　黒褐　10～30mm大の黄褐色土小ブロックを30%含む。粒度中。しまり・粘性ややある。
4　10YR2/2.5　黒褐　As-C粒３%・３～６mm大の黄褐色土粒を５%含む。粒度中。しまり・粘性ややある。
5　10YR2.5/3　黒褐～暗褐　As-C粒10%・３mm大の黄褐色土粒３%含む。粒度小。しまり・粘性ややある。
6　10YR3/2.5　黒褐～暗褐　黄褐色土粒20%しみ状に混在。５～10mm大の黄褐色土小ブロック20%混在。５mm大の炭化物２%含む。粒度小。しまり普通。粘性ややある。





H-16号住居

1　10YR2.5/3　黒褐～暗褐　As-C粒・Hr-FP粒を15%、１～30mm大の黄褐色土小ブロックを30%含む。粒度中。しまり・粘性ややある。
2　10YR3/3　暗褐　As-C粒を５%、３～８mm大の黄褐色土小ブロックを10%含む。粒度小。しまり・粘性ある。
3　10YR3/3.5　暗褐　As-C粒を２%、１～20mm大の黄褐色土小ブロックを20%含む。粒度小。しまり・粘性ややある。

H-16号住居　カマド

1　10YR3/3　暗褐　２～５mm大の焼土粒を10%含む。粒度小。しまり・粘性ややある。
2　2.5Y3.5/4　暗赤褐～赤褐　硬質焼土ブロック主体。堅くしまる。
3　10YR2.5/1　黒～黒褐　灰状物質主体。粒度極小。柔らかく、しまりややゆるい。粘性弱。
4　5YR4/4　にぶい赤褐　暗褐色土中に少量の焼土がしみ状混在。わずかに灰白色粘土がしみ状混在。粒度小。しまり・粘性ややある。
5　5YR6/4　にぶい橙　カマド生焼け粘土と少量の暗褐色土、焼土のしみ状混在。粒度小～極小。しまりある。粘性ややある。
6　10YR3/2　黒褐　５mm大焼土粒を５%、10mm大カマド粘土焼土小ブロックを５%含む。粒度小。しまり・粘性ややある。
7　5YR3/1.5　黒褐～暗赤褐　暗褐色土中に少量の焼土、ごくわずかのカマド粘土がしみ状に混在。粒度小～極小。しまり・粘性ある。
8　10YR2/3　黒褐　５mm大の焼土粒、カマド粘土粒を10%含む。粒度極小。しまりややある。粘性ある。
9　10YR3/2　黒褐　黒褐色土中に少量の暗褐色土がしみ状に混在。ごくわずか焼土粒を含む。粒度極小。しまりややゆるい。粘性大。
10　10YR3/2　黒褐　灰状物質、暗褐色土のしみ状混在。カマド粘土粒、焼土粒を20%含む。柔らかく、しまりゆるめ。
11　10YR3/3　暗褐　10層に似るが、灰状物質の量が多い。
12　10YR4/4　褐　暗褐色土と黄褐色土のしみ状混在。黄褐色土小ブロックを10%含む。粒度小。やや柔らかく、しまりややゆるい。

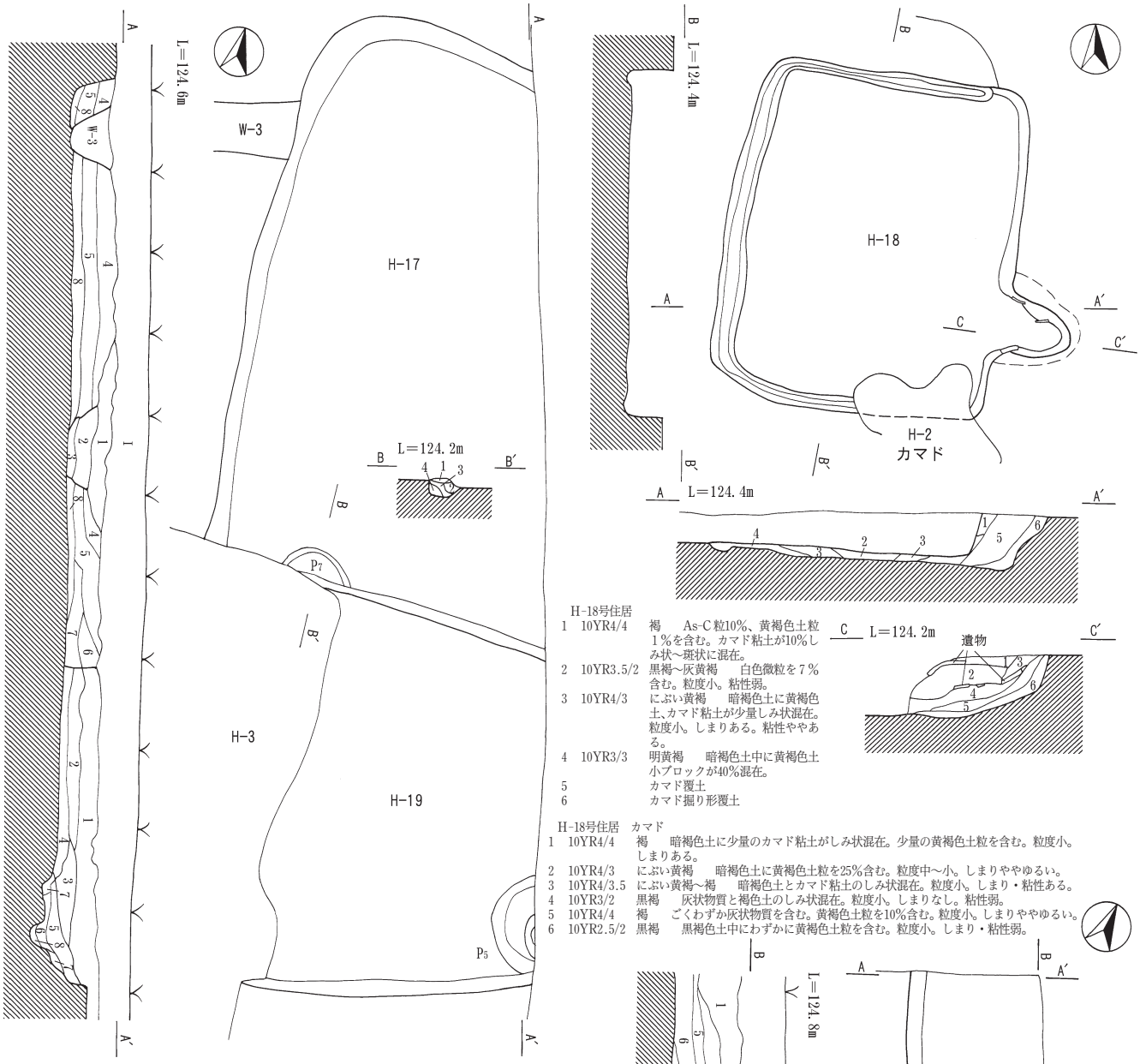
H-25号住居

4　10YR3.5/2　黒褐～灰黄褐　As-C粒、黄褐色土粒を10%含む。粒度小。しまりややゆるい。
5　10YR4/2　灰黄褐　１～８mm大の黄褐色土小ブロックを15%含む。粒度小。

H-25号住居　カマド

1　10YR3/4　暗褐　暗褐色土に少量の黄褐色土がしみ状混在。粒度小。
2　10YR3/3　暗褐　As-C粒５%、焼土粒10%含む。粒度小。しまり粘性ある。
3　10YR3/4　暗褐　As-C粒５%、焼土粒１%、黄褐色土小ブロックを２%含む。粒度小。
4　10YR2/3　黒褐　灰状物質が３%混在。粒度小。しまりややゆるい。
5　7.5YR4/4　褐　暗褐色土と黄褐色土の混在土中に焼土粒が40%混在。粒度小。
6　5YR4/8　赤褐　硬質焼土主体層。火床面焼土。
7　10YR2.5/3　黒褐～暗褐　黒褐色土中にカマド粘土が10%しみ状混在。As-C粒を20%、炭化物を２%、焼土粒を１%含む。粒度小。しまりある。

Fig.14　２トレンチ　H－12～14、16、25号住居



H-18号住居

1　10YR4/4　褐　As-C粒10%、黄褐色土粒1%を含む。カマド粘土が10%しみ状～斑状に混在。
2　10YR3.5/2　黒褐～灰黄褐　白色微粒を7%含む。粒度小。粘性弱。
3　10YR4/3　にぶい黄褐　暗褐色土に黄褐色土、カマド粘土が少量しみ状混在。粒度小。しまりある。粘性ややある。
4　10YR3/3　明黄褐　暗褐色土中に黄褐色土小ブロックが40%混在。
5　カマド覆土
6　カマド掘り形覆土

H-18号住居　カマド

1　10YR4/4　褐　暗褐色土に少量のカマド粘土がしみ状混在。少量の黄褐色土粒を含む。粒度小。しまりある。
2　10YR4/3　にぶい黄褐　暗褐色土に黄褐色土粒を25%含む。粒度中～小。しまりややゆるい。
3　10YR4/3.5　にぶい黄褐～褐　暗褐色土とカマド粘土のしみ状混在。粒度小。しまり・粘性ある。
4　10YR3/2　黒褐　灰状物質と褐色土のしみ状混在。粒度小。しまりなし。粘性弱。
5　10YR4/4　褐　ごくわずか灰状物質を含む。黄褐色土粒を10%含む。粒度小。しまりややゆるい。
6　10YR2.5/2　黒褐　黒褐色土中にわずかに黄褐色土粒を含む。粒度小。しまり・粘性弱。

H-17号住居

1　10YR3/3　暗褐　褐色土がわずかに混在。As-C粒30%、黄褐色土粒15%含む。
2　10YR3/3　暗褐　褐色土がわずかに混在。As-C粒10%、黄褐色土粒10%含む。
3　10YR3.5/4　暗褐～褐　褐色土が少量しみ状混在。粒度小～極小。As-C粒、黄褐色土粒、橙色微粒を15%含む。粘性ある。
4　10YR3.5/3　暗褐～にぶい黄褐　As-C粒・Hr-FP粒を30%含む。黄褐色土粒を2%含む。粒度小。
5　10YR3/4　暗褐　As-C粒、2㎜大の黄色粒子を5%含む。
6　10YR3.5/4　暗褐～褐　わずかに褐色土が混在。As-C粒を15%含む。粒度小。
7　10YR3/2　黒褐　As-C粒を10%、焼土粒を1%含む。
8　10YR3/3.5　暗褐　少量の褐色土が混在。As-C粒を5%含む。粒度小～極小。しまりある。

H-17号住居　P7

1　10YR3/4　暗褐　炭化物、焼土を含む。粒度極小。しまり・粘性ある。
2　10YR3/4　暗褐　As-C粒を1%含む。粒度極小。しまり・粘性ややある。
3　10YR3/4　暗褐　焼土粒・小ブロックを1%含む。粒度極小。しまりある。
4　10YR3/3　暗褐　焼土粒を2%含む。粒度極小。しまりある。

H-19号住居

1　7.5YR3.5/3　暗褐～褐　焼土粒を5%含む。灰黄褐色粒子を10%、炭化物を1%含む。やや砂質でざらつく。しまり粘性ある。
2　7.5YR3.5/2　黒褐～灰褐　焼土粒を10%含む。粒度小。粘性ある。
3　7.5YR3/4　暗褐　焼土粒を20%含む。粒度小。粘性ある。
4　7.5YR3/3　暗褐　暗褐色土にわずかに褐色土が混在。焼土粒5%、炭化物2%含む。黄褐色土小ブロックをわずかに含む。粒度小。
5　10YR3/2.5　黒褐～暗褐　As-C粒と黄褐色土粒を5%含む。粒度小。
6　10YR2.5/3　黒褐～暗褐　灰白色粘土が20%しみ状混在。黄褐色土小ブロックを10%含む。炭化物2%含む。粒度小～極小。かなり堅くしまる。
7　10YR3/3　暗褐　黄褐色土が20%混在。炭化物1%含む。粒度小。粘性大。
8　10YR2/3　黒褐　黄褐色土粒30%、焼土粒5%混在。灰状物質が10%混在。粒度中～小。しまりややゆるい。粘性大。

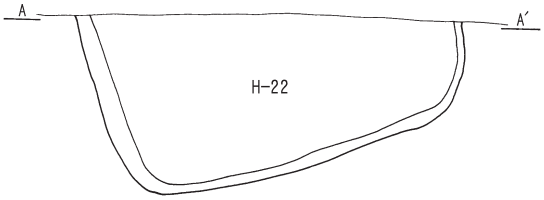
H-21号住居

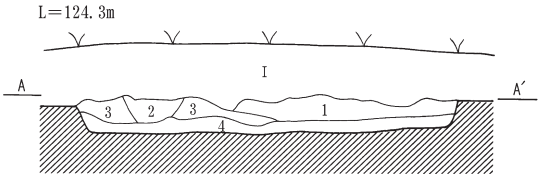
1　10YR3/3　暗褐　褐色土15%、カマド粘土3%がしみ状に混在。As-C粒・Hr-FP粒を20%、黄褐色土粒を10%含む。しまりややゆるい。
2　7.5YR3/2　黒褐　カマド粘土が10%しみ状混在。焼土小ブロックを10%含む。粒度小。しまりややゆるい。
3　10YR3.5/3　暗褐～にぶい黄褐　1層中に暗黄褐色土団粒が少量混在。
4　10YR3/1.5　黒褐　5層から炭化物が脱落。焼土粒もやや少ない。
5　10YR3/1.5　黒褐　暗褐色土が5%しみ状混在。炭化物を3%、焼土粒を10%含む。粒度小～中。しまりややゆるい。
6　10YR3/2.5　黒褐～暗褐　カマド粘土、焼土粒を5%、炭化物を1%含む。黄褐色土小ブロックを2%含む。粒度小。
7　10YR4/3　にぶい黄褐　黄褐色土ブロックが40%混在。粒度小～中。
8　10YR2/3　黒褐　黄褐色土小ブロックを5%含む。粒度小。しまりゆるめ。
9　10YR3/1　黒褐　As-Cを3%、黄褐色土小ブロックを2%含む。粒度小。
10　10YR3/2　黒褐　焼土粒を1%含む。粒度小。しまりゆるい。

H-20号住居

1　10YR3/2.5　黒褐～暗褐　As-C粒15%、焼土粒を1%含む。部分的に堅くしまる。粒度小～中。しまりある。
2　10YR3/3　暗褐　As-C粒を1%含む。緻密な層。粒度小。

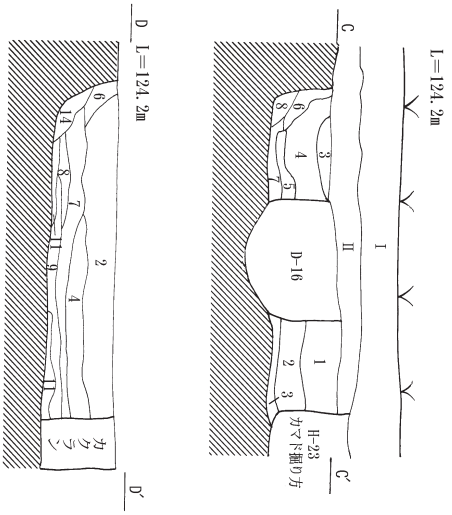
Fig.15　2トレンチ　H－17～21号住居

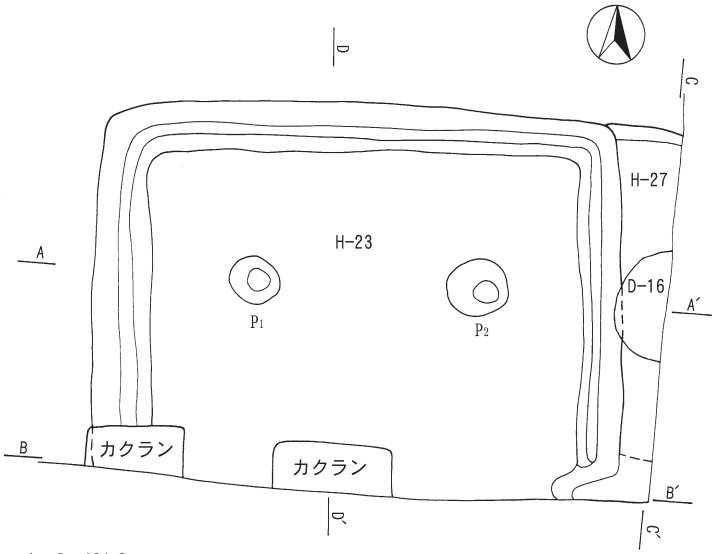




H-22号住居

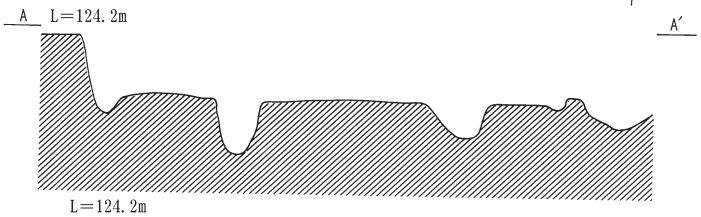
1　10YR3.5/2　黒褐～灰黄褐　As-C 粒を20％含む。粒度小。小礫を５％含む。
2　10YR3/2　黒褐　As-C 小粒を５％含む。やや砂質でざらつく。
3　10YR3/2.5　黒褐～暗褐　As-C 粒・Hr-FP 小粒を25％含む。粒度中～小。ごくわずか炭化物を含む。しまりある。
4　10YR3/3　暗褐　As-C 粒、焼土粒を２％含む。粒度小～極小。粘性ある。

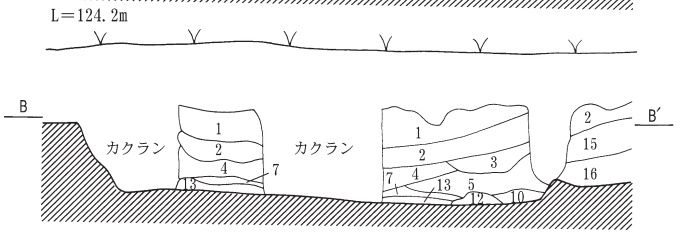




H-23号住居

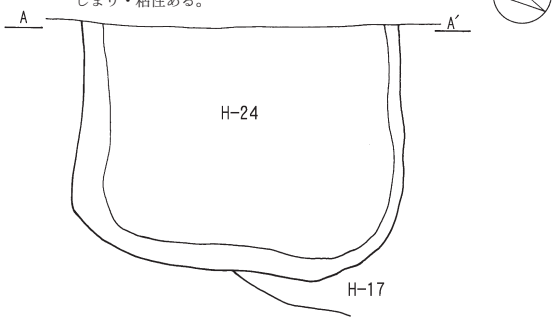
1　10YR2/3　黒褐　As-C 粒を30％、焼土粒を５％含む。
2　10YR2/2　黒褐　As-C 粒を25％、焼土粒を７％含む。小礫を５％含む。粒度中～大。
3　10YR2/3　黒褐　As-C 粒を20％、焼土粒を５％含む。粒度中～小
4　10YR3/2.5　黒褐～暗褐　黒褐色土中に黄褐色土の小ブロックが30％混在。粒度小。As-C 粒・Hr-FP 粒を10％含む。
5　10YR2/3　黒褐　As-C を５％含む。粒度小。やや砂質。しまりややゆるい。
6　10YR3/3　暗褐　黒褐色土と褐色土のしみ状混在。粒度小。As-C 粒を５％含む。しまりややゆるい。
7　10YR2/1.5　黒～黒褐　黒褐色土と灰状物質、部分部分に焼土が小ブロック状に混在。多量の炭化物を含む。粒度小～極小。しまりゆるめで柔らかい。
8　10YR2/3　黒褐　暗褐色土中に少量の炭化物がしみ状に混在。粒度小。粘性ある。
9　10YR2.5/3　黒褐～暗褐　黒褐色土と黄褐色土の混在層。カマド粘土が10％小ブロック～しみ状に混在。粒度小。砂質でざらつく。
10　10YR2/2.5　黒褐　暗褐色土と灰状物質の混在層。少量の黄褐色土と焼土小ブロックをわずかに含む。
11　10YR2/3　黒褐　13層より焼土が脱落。
12　10YR2/2　黒褐　13層より焼土が脱落。
13　7.5YR3/2　黒褐　黒灰褐色土中に少量の焼土がしみ状混在。粒度小～極小。粘性大。
14　10YR2/3　黒褐　As-C 粒を１％含む。あまり含有物はない。
15　10YR2/2　黒褐　As-C 粒を30％、焼土粒を10％含む。粒度中～大。しまりややゆるい。
16　10YR2/3　黒褐　As-C 粒を25％、焼土粒を15％含む。しまり・粘性ある。

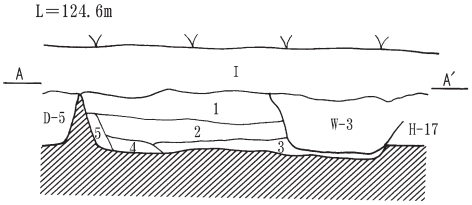




H-27号住居

1　10YR3/2.5　黒褐～暗褐　黄褐色土粒が２％粒状～しみ状混在。As-C25％含む。
2　10YR2.5/3　黒褐～暗褐　黄褐色土小ブロックが５％混在。As-C 粒10％含む。粒度小。
3　10YR3/3　暗褐　少量の黄褐色土がしみ状混在。As-C 粒15％、小礫を10％含む。粒度小。
4　10YR3/2.5　黒褐～暗褐　黄褐色土小ブロックが15％混在。As-C 粒15％、小礫を10％含む。
5　10YR3/2　黒褐　少量の黄褐色土がしみ状混在。黄褐色土小ブロックを３％含む。As-C 粒２％含む。しまりややゆるい。
6　10YR2/3　黒褐　ごくわずか黄褐色土がしみ状混在。As-C 粒20％含む。粒度小。
7　10YR2/2　黒褐　As-C 粒５％、炭化物１％含む。粒度小～極小。しまり・粘性ある。
8　10YR2/2.5　黒褐　わずかに黄褐色土がしみ状混在。As-C 粒３％含む。粒度小～極小。しまりややゆるい。

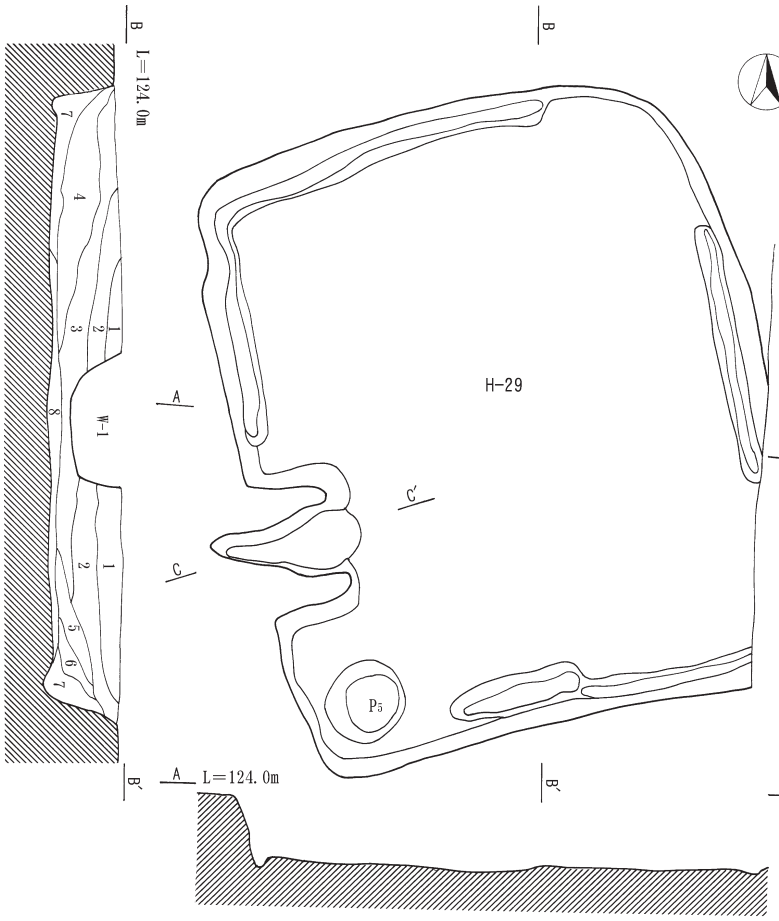


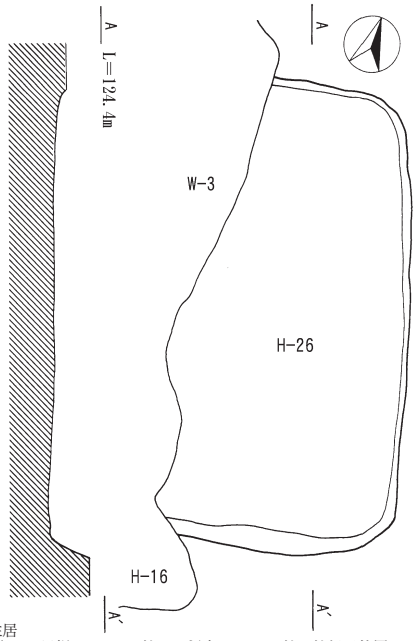


H-24号住居

1　10YR3/3　暗褐　As-C 粒を20％含む。しまりややゆるい。粘性ある。
2　10YR3/3.5　暗褐　As-C 粒を15％含む。黄褐色土小ブロックを５％、焼土粒を１％含む。
3　10YR3/4　暗褐　As-C 小粒～微粒を２％、黄褐色土小ブロックを１％含む。粒度小。粘性ある。
4　10YR3/2　黒褐　As-C 微粒を１％含む。粒度小。しまり・粘性ややある。
5　10YR3.5/3　暗褐～にぶい黄褐　炭化物を一部に含む。黄褐色土ブロックが１個混在。粒度小～極小。

Fig.16　２トレンチ　Ｈ－22～24、27号住居





H-29号住居

1　10YR2/3　黒褐　As-C 粒を30%含む。As-C 粒の粒径が他層よりやや大きく、はっきりしている。粒度中～小。

2　10YR2.5/3　黒褐～暗褐　黒褐色土に褐色砂質土が20%しみ状混在。As-C 粒を30%含む。

3　10YR2.5/3　黒褐～暗褐　黒褐色土に褐色砂質土が20～30%しみ状混在。黄褐色土小ブロックを５%含む。As-C 粒を10%含む。粒度小～中。

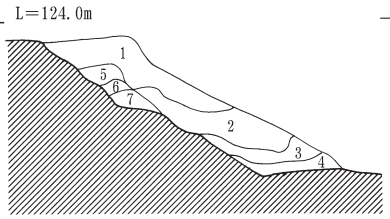
4　10YR3/4　10YR4/5　暗褐＋褐　黄褐色土と暗褐色土のしみ状～ブロック状～団粒状混在。As-C 粒を５%含む。粒度小。しまり・粘性ある。

5　10YR2/3　黒褐　黄褐色土とカマド粘土の小ブロックを15%含む。As-C 粒を10%含む。しまりやや弱い。

6　10YR3/3　暗褐　カマド粘土が30%しみ状混在。黄褐色土粒を５%、As-C 粒を３%含む。粒度小。しまり・粘性ある。

7　10YR2/2.5　黒褐　黒褐色土と暗褐色土のしみ状混在。As-C 粒・Hr-FP 粒を20%含む。カマド粘土小ブロックを一部に含む。粒度小。しまりややゆるい。

8　10YR3/3　暗褐　暗褐色土に黄褐色土が40%しみ状混在。黄褐色土小ブロックを10%含む。粒度小。粘性ある。



H-29号住居　カマド

1　10YR3/2.5　黒褐～暗褐　暗褐色土に灰白色粘土が10%しみ状に混在。As-C 粒を15%含む。粒度小～中。しまりややゆるい。

2　10YR4/2.5　灰黄褐～にぶい黄褐　暗灰褐色土にカマド粘土、焼土が40%ブロック～しみ状に混在。粒度小。

3　10YR3/3　暗褐　暗褐色砂質粘質土に粘土の軟質焼土が40%しみ状混在。粒度極小。しまりややゆるく、柔らかい。

4　7.5YR4/3.5 褐　暗褐色土と軟質焼土のしみ状混在。粒度極小。しまりややゆるい。粘性ある。

5　10YR4/3　にぶい黄褐　灰白色粘土と黒褐色土のしみ状～ブロック状混在。粒度小。

6　7.5YR4/3.5 褐　暗褐色土に30%軟質粘土焼土がしみ状に混在。一部に硬化焼土小ブロックを含む。粒度小～極小。粘性ある。

7　10YR3/3　暗褐　暗褐色土に灰白色粘土が５%しみ状混在。As-C 粒を２%含む。粒度小。

H-31号住居

1　10YR2.5/3　黒褐～暗褐　As-C 粒を35%含む。粒度中～小。しまりある。他層に比べ As-C 粒の粒径が大きい。

2　10YR3/2.5　黒褐～暗褐　黒褐色土にカマド粘土が10%しみ状混在。カマド粘土小ブロックを５%含む。As-C 粒を５%含む。粒度小～中。

2′　10YR4/2　灰黄褐　２層中に黄褐色土がブロック状に混在。

3　10YR3/2　黒褐　黒褐色土中にカマド粘土小ブロックを30%含む。As-C 粒を３%含む。しまりややゆるい。

4　10YR3/3　暗褐　カマド粘土を10%しみ状に混在。As-C 粒を３%含む。粒度小。しまりややゆるい。粘性ある。

5　10YR3/2　黒褐　黒褐色土に暗褐色土が30%しみ状混在。粒度小。しまりややゆるい。

H-31号住居　P_5

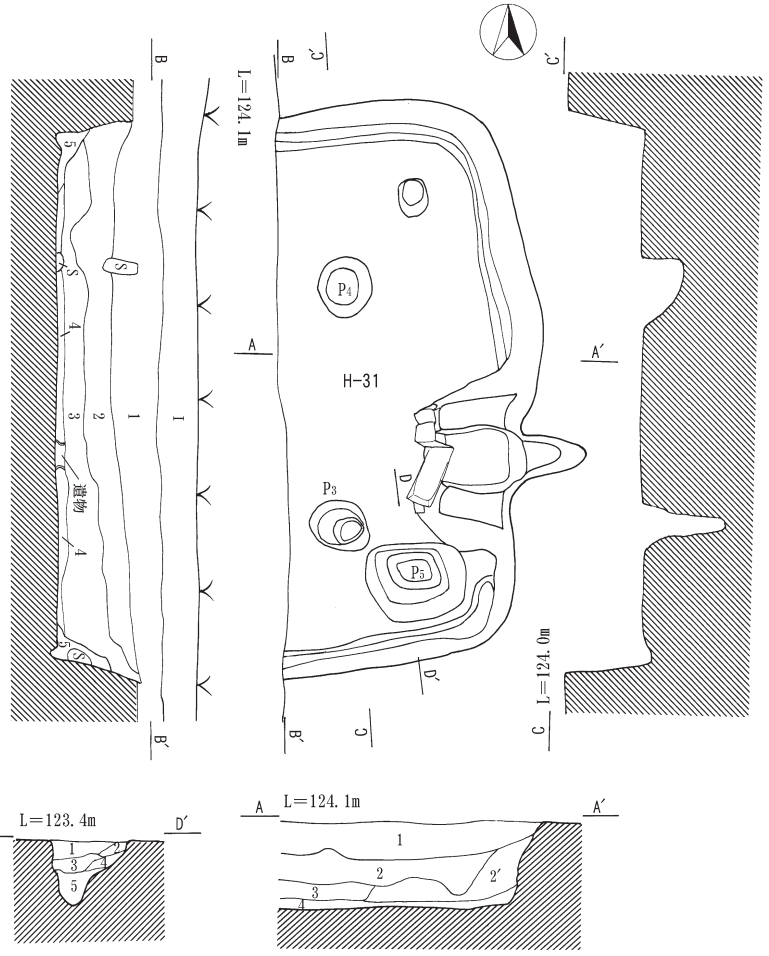
1　10YR3.5/3　暗褐～にぶい黄褐　やや砂質の暗褐色土にカマド粘土が少量混在。粒度小。しまりややゆるい。粘性弱い。

2　10YR4.5/3　にぶい黄褐　カマド粘土小ブロックと暗褐色土が混在。粒度小。

3　10YR4/2.5　灰黄褐～にぶい黄褐　やや砂質の暗褐色土主体。凝灰質砂岩小ブロックを一部に含む。粒度小。しまり・粘性ややゆるい。

4　10YR4/3　にぶい黄褐　黄褐色土にカマド粘土５%、暗褐色土10%が混在。粒度小。しまりゆるく柔らかい。粘性弱。

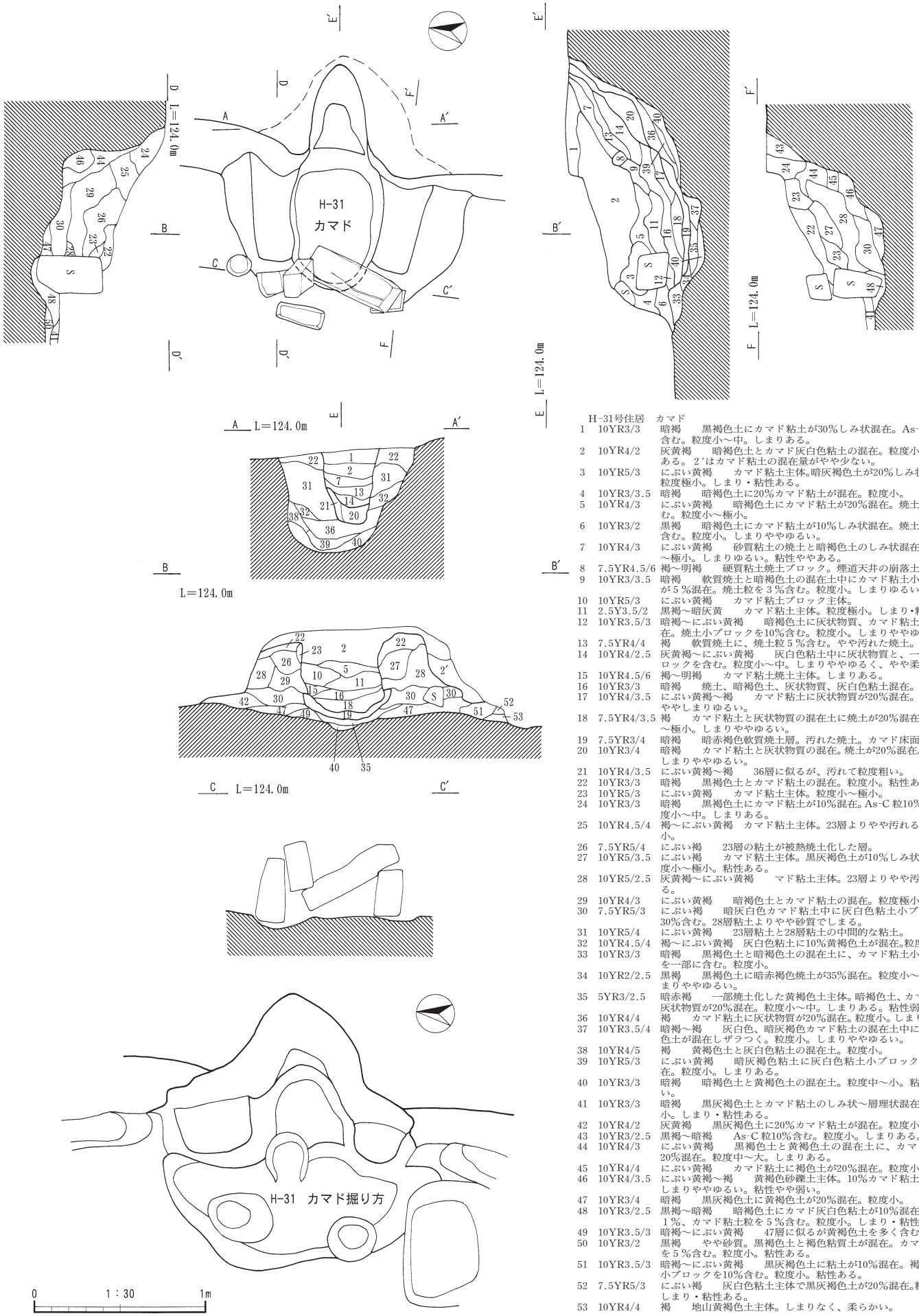
5　10YR4/2　灰黄褐　黄褐色土と暗褐色土が混在。粒度小～極小。しまりゆるく、柔らかい。粘性弱。



0　1：60　2m

0　1：30　1m

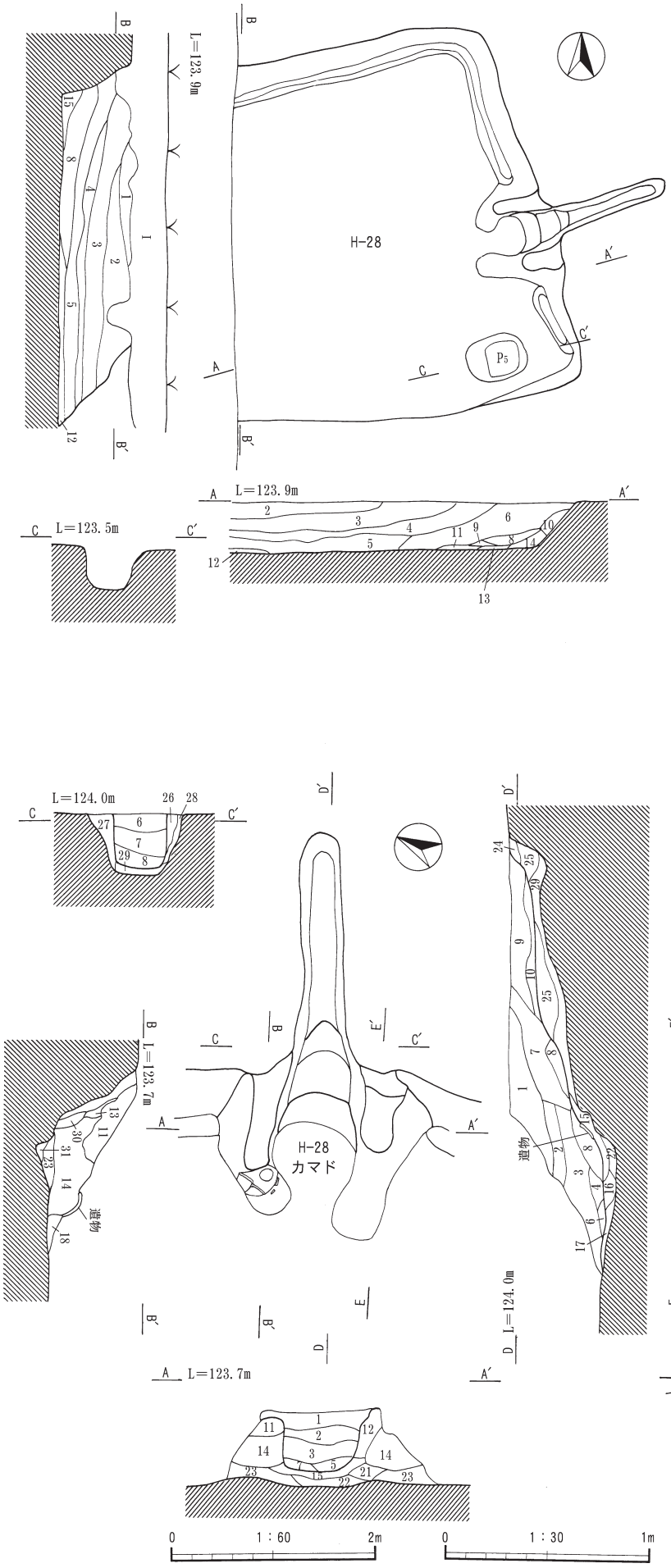
Fig.17　２トレンチ　H－26、29、31号住居



H-31号住居　カマド

1　10YR3/3　暗褐　黒褐色土にカマド粘土が30%しみ状混在。As-C粒５%含む。粒度小～中。しまりある。
2　10YR4/2　灰黄褐　暗褐色土とカマド灰白色粘土の混在。粒度小。しまりある。２′はカマド粘土の混在量がやや少ない。
3　10YR5/3　にぶい黄褐　カマド粘土主体。暗灰褐色土が20%しみ状に混在。粒度極小。しまり・粘性ある。
4　10YR3/3.5　暗褐　暗褐色土に20%カマド粘土が混在。粒度小。
5　10YR4/3　にぶい黄褐　暗褐色土にカマド粘土が20%混在。焼土粒５%含む。粒度小～極小。
6　10YR3/2　黒褐　暗褐色土にカマド粘土が10%しみ状混在。焼土粒を３%含む。粒度小。しまりややゆるい。
7　10YR4/3　にぶい黄褐　砂質粘土の焼土と暗褐色土のしみ状混在。粒度小～極小。しまりゆるい。粘性ややある。
8　7.5YR4.5/6　褐～明褐　硬質粘土焼土ブロック。煙道天井の崩落土。
9　10YR3/3.5　暗褐　軟質焼土と暗褐色土の混在土中にカマド粘土小ブロックが５%混在。焼土粒を３%含む。粒度小。しまりゆるい。
10　10YR5/3　にぶい黄褐　カマド粘土ブロック主体。
11　2.5Y3.5/2　黒褐～暗灰黄　カマド粘土主体。粒度極小。しまり・粘性ある。
12　10YR3.5/3　暗褐～にぶい黄褐　暗褐色土に灰状物質、カマド粘土が20%混在。焼土小ブロックを10%含む。粒度小。しまりややゆるい。
13　7.5YR4/4　褐　軟質焼土に、焼土粒５%含む。やや汚れた焼土。
14　10YR4/2.5　灰黄褐～にぶい黄褐　灰白色粘土中に灰状物質と、一部焼土ブロックを含む。粒度小～中。しまりややゆるく、やや柔らかい。
15　10YR4.5/6　褐～明褐　カマド粘土焼土主体。しまりある。
16　10YR3/3　暗褐　焼土、暗褐色土、灰状物質、灰白色粘土混在。粒度小。
17　10YR4/3.5　にぶい黄褐～褐　カマド粘土に灰状物質が20%混在。粒度小。ややしまりゆるい。
18　7.5YR4/3.5　褐　カマド粘土と灰状物質の混在土に焼土が20%混在。粒度小～極小。しまりややゆるい。
19　7.5YR3/4　暗褐　暗赤褐色軟質焼土層。汚れた焼土。カマド床面焼土。
20　10YR3/4　暗褐　カマド粘土と灰状物質の混在。焼土が20%混在。粒度小。しまりややゆるい。
21　10YR4/3.5　にぶい黄褐～褐　36層に似るが、汚れて粒度粗い。
22　10YR3/3　暗褐　黒褐色土とカマド粘土の混在。粒度小。粘性ある。
23　10YR5/3　にぶい黄褐　カマド粘土主体。粒度小～極小。
24　10YR3/3　暗褐　黒褐色土にカマド粘土が10%混在。As-C粒10%含む。粒度小～中。しまりある。
25　10YR4.5/4　褐～にぶい黄褐　カマド粘土主体。23層よりやや汚れる。粒度極小。
26　7.5YR5/4　にぶい褐　23層の粘土が被熱焼土化した層。
27　10YR5/3.5　にぶい褐　カマド粘土主体。黒灰褐色土が10%しみ状混在。粒度小～極小。粘性ある。
28　10YR5/2.5　灰黄褐～にぶい黄褐　マド粘土主体。23層よりやや汚れ、しまる。
29　10YR4/3　にぶい黄褐　暗褐色土とカマド粘土の混在。粒度極小。
30　7.5YR5/3　にぶい褐　暗灰白色カマド粘土中に灰白色粘土小ブロックを30%含む。28層粘土よりやや砂質でしまる。
31　10YR5/4　にぶい黄褐　23層粘土と28層粘土の中間的な粘土。
32　10YR4.5/4　褐～にぶい黄褐　灰白色粘土に10%黄褐色土が混在。粒度小～中。
33　10YR3/3　暗褐　黒褐色土と暗褐色土の混在土に、カマド粘土小ブロックを一部に含む。粒度小。
34　10YR2/2.5　黒褐　黒褐色土に暗赤褐色焼土が35%混在。粒度小～極小。しまりややゆるい。
35　5YR3/2.5　暗赤褐　一部焼土化した黄褐色土主体。暗褐色土、カマド粘土、灰状物質が20%混在。粒度小～中。しまりある。粘性弱い。
36　10YR4/4　褐　カマド粘土に灰状物質が20%混在。粒度小。しまりゆるめ。
37　10YR3.5/4　暗褐～褐　灰白色、暗灰褐色カマド粘土の混在土中に20%黄褐色土が混在しザラつく。粒度小。しまりややゆるい。
38　10YR4/5　褐　黄褐色土と灰白色粘土の混在土。粒度小。
39　10YR5/3　にぶい黄褐　暗灰褐色粘土に灰白色粘土小ブロックが30%混在。粒度小。しまりある。
40　10YR3/3　暗褐　暗褐色土と黄褐色土の混在土。粒度中～小。粘性やや弱い。
41　10YR3/3　暗褐　黒灰褐色土とカマド粘土のしみ状～層理状混在。粒度極小。しまり・粘性ある。
42　10YR4/2　灰黄褐　黒灰褐色土に20%カマド粘土が混在。粒度小。
43　10YR3/2.5　黒褐～暗褐　As-C粒10%含む。粒度小。しまりある。
44　10YR4/3　にぶい黄褐　黒褐色土と黄褐色土の混在土に、カマド粘土が20%混在。粒度中～大。しまりある。
45　10YR4/4　にぶい黄褐　カマド粘土に褐色土が20%混在。粒度小。
46　10YR4/3.5　にぶい黄褐～褐　黄褐色砂礫土主体。10%カマド粘土が混在。しまりややゆるい。粘性やや弱い。
47　10YR3/4　暗褐　黒灰褐色土に黄褐色土が20%混在。粒度小。
48　10YR3/2.5　黒褐～暗褐　暗褐色土にカマド灰白色粘土が10%混在。焼土粒１%、カマド粘土粒を５%含む。粒度小。しまり・粘性ある。
49　10YR3.5/3　暗褐～にぶい黄褐　47層に似るが黄褐色土を多く含む。
50　10YR3/2　黒褐　やや砂質。黒褐色土と褐色粘質土が混在。カマド粘土粒を５%含む。粒度小。粘性ある。
51　10YR3.5/3　暗褐～にぶい黄褐　黒灰褐色土に粘土が10%混在。褐色土粘土小ブロックを10%含む。粒度小。粘性ある。
52　7.5YR5/3　にぶい褐　灰白色粘土主体で黒灰褐色土が20%混在。粒度極小。しまり・粘性ある。
53　10YR4/4　褐　地山黄褐色土主体。しまりなく、柔らかい。

Fig.18　２トレンチ　H－31号住居カマド



H-28号住居

1	10YR3/3	暗褐	黄褐色土が20%しみ状混在。As-C粒を２%含む。粒度小。
2	10YR2/2.5	黒褐	As-C粒を５%、小礫を20%含む。粒度小。しまりややゆるい。Ⅲa層の流入土層。
3	10YR3/2	黒褐	砂質黄褐色土小ブロックを10%、カマ灰白色粘土小ブロックを５%含む。As-C粒を15%含む。
4	10YR2/2.5	黒褐	As-C粒を５%含む。暗い色調の土層が帯状に堆積。粒度小。しまりややゆるい。
5	10YR2.5/3	黒褐～暗褐	黄褐色土小ブロックを30%、灰白色粘土小ブロックを20%混在。As-C粒を15%含む。
6	10YR2.5/3	黒褐～暗褐	５層と似る。灰白色粘土ブロックを多く含む。
7	10YR2.5/3	黒褐～暗褐	暗褐色土に黄褐色土が40%しみ状～小ブロック状混在。炭化物を１%含む。粒度小～中。
8	10YR2.5/2	黒褐	暗褐色土中に黒色土小ブロックを30%、黄褐色土小ブロックを20%含む。また、10%カマド粘土をしみ状～小ブロック状に含む。
9	10YR2/2	黒褐	灰状物質と暗黄褐色土のしみ状混在。粒度極小。しまりゆるい。粘性やや弱い。
10	10YR3/2.5	黒褐～暗褐	暗褐色土と黄褐色土のしみ状～ブロック状混在土中に５%灰白色粘土がしみ状混在。粒度小。
11	10YR4.5/6	褐～黄褐	暗黄褐色土主体層。
12	10YR3/4	暗褐	暗褐色土中に黄褐色土が40%しみ状混在。黄褐色土小ブロックを５%含む。粒度小～極小。粘性ある。
13	10YR2/1.5	黒～黒褐	灰状物質主体。10%黄褐色土がしみ状混在。粒度極小。やや柔らかく、しまりゆるめ。粘性やや弱い。
14	10YR3.5/4	暗褐～褐	黄褐色土主体で暗褐色土が30%しみ状に混在。粒度極小。粘性ある。
15	10YR3.5/3	暗褐～にぶい黄褐	暗褐色土に黄褐色土が５%しみ状混在。粒度極小。しまりややゆるい。粘性ある。

H-28号住居　カマド

1	10YR3/3	暗褐	暗褐色土に黄褐色土が30%しみ状～小ブロック状に混在。粒度小。やや柔らかく、しまりゆるい。粘性弱。
2	10YR2.5/2	黒褐	黒灰褐色土中にカマド粘土が30%しみ状混在。粒度小。やや柔らかく、しまりややゆるい。粘性やや弱。
3	7.5YR4.5/4	褐～にぶい褐	カマド粘土主体。一部焼土化した粘土を含む。粒度小～極小。
4	5YR4/7	赤褐	カマド粘土焼土主体。天井部焼土の崩落土。
5	10YR3/3	暗褐	暗褐色土とカマド粘土のしみ状混在土。
6	10YR2/2.5	黒褐	黒灰色土主体。粒度極小。やや柔らかい。しまりやや弱。
7	10YR3/3	暗褐	暗褐色土にカマド粘土・焼土が粒状～小ブロック状に30%混在。粒度小。やや柔らかい。しまり・粘性ややある。
8	10YR3/2.5	黒褐～暗褐	暗褐色土にカマド粘土が小ブロック状に10%混在。粒度小。柔らかく、しまりゆるい。粘性弱。
9	10YR3/2.5	黒褐～暗褐	暗褐色土にカマド粘土・焼土が10%しみ状に混在。粒度極小。しまりややゆるい。粘性やや弱い。
10	10YR2/2	黒褐	粒度やや粗い黒褐色土。しまりゆるい。煙道堆積土。
11	10YR3/3	暗褐	暗褐色土にカマド粘土が20%しみ状に混在。粒度小。しまりゆるい。粘性弱い。
12	7.5YR4/4	褐	14層粘土中に30%焼土がしみ状混在。粒度極小。しまりややゆるい。
13	10YR4.5/3	にぶい黄褐	30層粘土中に10%黄褐色土がしみ状混在。粒度極小。しまりややある。
14	10YR4.5/4	褐～にぶい黄褐	灰白色砂質粘土。ピュアな粘土。粒度極小。しまりある。
15	10YR3/3	暗褐	やや砂質の暗褐色土。焼土が10%しみ状混在。粒度極小。しまりなく、サラッとして柔らかい。粘性弱。
16	10YR3/4	暗褐	15層中に少量の黄褐色土が混在。粒度極小。しまりややゆるく、柔らかい。粘性やや弱い。
17	10YR3.5/4	暗褐～褐	22層に似る。わずかに焼土・粘土がしみ状に混在。粒度極小。しまりゆるい。粘性やや弱い。
18	10YR4/3	にぶい黄褐	23層に似るが、粘土が多く、しまりある。
19	10YR3/3	暗褐	黄褐色土主体で20%灰状物質がしみ状混在。粒度極小。しまりややゆるい。粘性弱。
20	10YR4/3	にぶい黄褐	黄褐色土主体で５%カマド粘土が混在。２%焼土がしみ状混在。粒度極小。
21	10YR3/3.5	暗褐	14層粘土に少量の黄褐色土がしみ状混在。粒度小。
22	10YR4/4	褐	黄褐色土主体。粒度小。しまりない。粘性ややある。
23	10YR4/3.5	にぶい黄褐～褐	14層粘土と黄褐色土が混在。粒度小～極小。しまりややゆるい。
24	10YR4/4	褐	灰白色粘土主体で20%黒褐色土がしみ状～斑状に混在。粒度極小。
25	10YR3/3	暗褐	黒褐色土と黄褐色土のしみ状混在。カマド粘土が10%しみ状混在。粒度小。しまりややゆるい。
26	10YR3/3	暗褐	黒褐色土中に黄褐色土が40%しみ状混在。焼土が10%しみ状混在。砂粒を含み、粒度中。
27	10YR4/3.5	にぶい黄褐～褐	黄褐色土に黒褐色土が10%しみ状混在。焼土が５%混在。粒度小～中。
28	10YR4/3.5	にぶい黄褐～褐	27層から焼土が脱落。
29	10YR3/4	暗褐	黄褐色土中に20%暗褐色土がしみ状混在。粒度小～極小。しまりややゆるく柔らかい。粘性やや弱い。
30	10YR4.5/2	灰黄褐	かなり堅くしまる粘土。14層よりピュアでしまり強い。粘性ややある。
31	10YR2/2	黒褐	やや砂質の黒灰褐色土中に黄褐色土が30%しみ状混在。粒度小。しまり・粘性ややある。

Fig.19　２トレンチ　Ｈ－28号住居

H-32号住居

1　10YR2/2　黒褐　As-C 粒を35%含む。粒度小。しまり・粘性ある。
2　10YR2/2　黒褐　As-C 粒を30%、Hr-FP 粒を５%含む。他層に比べ、As-C 粒の粒径がやや大きい。しまり・粘性ある。
3　10YR2/1.5　黒～黒褐　黒色土中に10～20㎜大の灰褐色土が団粒～しみ状に混在。As-C 粒を30%含む。粘性ある。
4　10YR2/2.5　黒褐　やや砂質の粘質土。黒色土中に10%灰褐色土がしみ状混在。As-C 粒を５%含む。粒度中～小。粘性ある。
5　10YR2/2　黒褐　黒褐色粘質土層。As-C 粒を５%、１～２㎜大の焼土粒を１%以下で含む。粒度極小。しまりある。粘性大。
6　10YR2/1.5　黒～黒褐　黒褐色土中に灰褐色土が20%しみ状～団粒状に混在。As-C 粒を３%含む。粒度小。粘性ある。

H-33号住居

1　10YR2/2.5　黒褐　H-32　１層とほぼ同質。Ⅲａ層の流入層。
2　10YR2/2　黒褐　As-C 粒を30%、Hr-FP 粒を10%含む。２㎜大の焼土粒を１%含む。粒度小。しまり・粘性ある。
3　10YR2/2　黒褐＋暗褐　２層中に20～40㎜大の凝灰質砂岩ブロックが60%混在。粒度中。しまり・粘性ややある。
10YR3/4
4　10YR2/2　黒褐　黒褐色土中に10～20㎜大の灰褐色土が30%団粒状に混在。As-C 粒を25%、１～３㎜大の焼土粒を３%含む。粒度小～中。しまり・粘性ある。
5　10YR2/2.5　黒褐　暗褐色土中に20%灰褐色土がしみ状に混在。As-C 粒を５%含む。粒度小。しまり・粘性大。
6　10YR2/3　黒褐　10層中に焼土が10%しみ状に混在。As-C 粒を20%含む。粒度小～中。しまり・粘性大。
7　7.5YR3/2　黒褐　６層中に灰褐色粘質土と軟質焼土が30%しみ状に混在。
8　5YR3/1.5　黒褐～暗赤褐　褐色粘質土中に10%軟質焼土が混在。硬質焼土粒・小ブロックを40%含む。粒度中。しまりある。粘性大。
9　10YR3/1.5　黒褐　灰状物質が５%しみ状混在。５㎜大の焼土粒と炭化物を３%含む。粒度小。しまりややゆるい。粘性ある。
10　10YR2/1.5　黒～黒褐　暗褐色土中に灰褐色土が20%しみ状に混在。As-C 粒を10%含む。粒度中～小。しまり普通。粘性ある。

H-32号住居　P_5

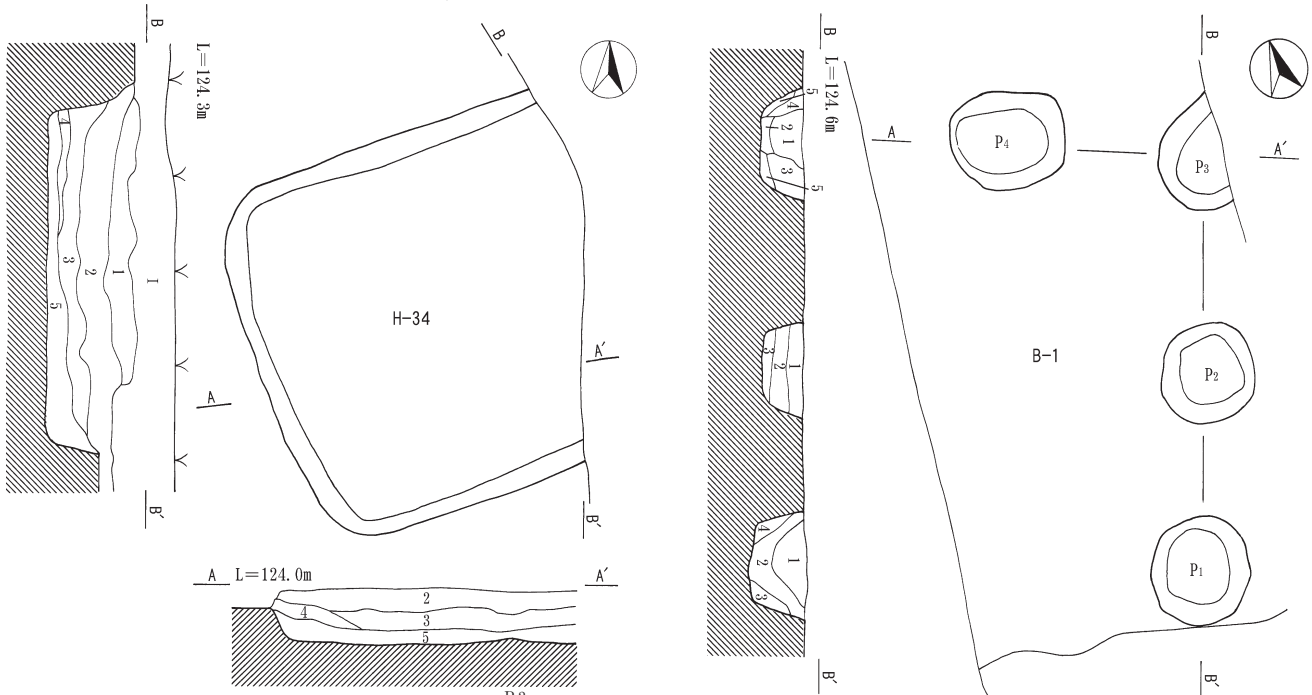
1　10YR2/2　黒褐　黒褐色土中に灰褐色粘質土が20%層理状に混在。１㎜大の焼土粒を５%含む。粒度小。しまりある。粘性大。
2　10YR2/2.5　黒褐　５～８㎜大の炭化物を２%含む。粒形がくずれた As-C 粒を３%含む。粒度小。しまりある。粘性大。
3　10YR3/2　黒褐　暗褐～黒褐色土中に褐色粘質土が30%しみ状～団粒状に混在。粒度小。しまりある。粘性大。
4　10YR2.5/3　黒褐～暗褐　暗褐色土中に褐色粘土が20%しみ状に混在。３～８㎜大の炭化物を１%含む。２㎜大の焼土粒を２%含む。粒度小～極小。しまりある。粘性大。

H-32号住居　カマド

1　10YR2/3　黒褐　黒色土中に10%生焼け粘質焼土がしみ状に10%混在。５㎜大焼土粒・As-C 粒を５%含む。粒度小。しまり・粘性大。
2　10YR2/2　黒褐　黒褐色土中にごくわずかカマド粘土がしみ状に混在。粒度小。しまり・粘性ある。５㎜大の炭化物を１%含む。
3　7.5YR2/2　黒褐　As-C 粒を10%、３㎜大の焼土粒を15%含む。粒度小。しまりある。粘性ややある。
4　7.5YR2/2　黒褐　暗褐色土と軟質焼土のしみ状混在。５㎜大の硬質焼土粒を20%含む。粒度小。しまりある。粘性ややある。
5　7.5YR2.5/2　黒褐　暗褐色粘土と軟質焼土のしみ状混在。粒度小。しまり・粘性ある。天井粘土の崩落土。
6　10YR2/2　黒褐　暗褐色粘質土中に20%カマド粘土がしみ状に混在。粒度小。しまり・粘性大。
7　7.5YR2/2　黒褐　暗褐色粘質土と黒褐色土の混在土中に焼土が20%しみ状に混在。炭化物を３%含む。粒度小。粘性大。
8　7.5YR2/2　黒褐　暗褐色粘質土中に30%軟質焼土がしみ状に混在。焼土粒を５%含む。粒度極小。しまり・粘性大。燃焼部堆積土。
9　7.5YR3/2　黒褐　地山黄褐色土と黒褐色粘質土の混在層。粘性ある。
10　5YR2/2　黒褐　粘土質軟質焼土主体。２～10㎜大の硬質焼土ブロックが30%混在。粒度小～中。しまりややゆるい。粘性ある。
11　5YR3/4　暗赤褐　焼土ブロック主体で、ブロック間に黒褐色粘質土が入り込む。粒度中～大。しまり・粘性ある。
12　10YR2/2　黒褐　暗褐色粘質土中に５%軟質焼土がしみ状に混在。粒度小～極小。しまりある。粘性大。
13　10YR2/2　黒褐　黒色灰状物質主体で５㎜大の硬質焼土粒を10%含む。粒度小。しまりややゆるい。粘性ある。
14　5YR2/2　黒褐　軟質焼土と褐色粘質土の混在土中に硬質焼土粒を30%含む。粒度小。しまり・粘性ある。火床面焼土。
15　7.5YR2.5/2　黒褐　暗褐色粘質土中に10%軟質粘土がしみ状に混在。As-C 粒を10%、硬質焼土粒を15%含む。粒度小。しまり・粘性大。
16　7.5YR2/2　黒褐　As-C 粒３%、焼土粒10%を含む。粒度小。しまり・粘性大。

17　10YR2/2.5　黒褐　混入物あまりない。粒度極小。しまりある。粘性ある。
18　10YR2/2　黒褐　暗褐色粘質土中に５%軟質焼土がしみ状に混在。５㎜大の焼土粒を３%含む。粒度極小。しまり・粘性ある。
19　10YR2/2　黒褐　黒褐色粘質土中に灰褐色粘質土が20%混在。焼土粒を３%、炭化物を１%含む。粒度極小。しまりある。粘性大。
20　7.5YR2.5/2　黒褐　黒褐色土と灰褐色粘質土の混在土に、灰状物質10%、焼土ブロック25%を含む。粒度小。しまりある。粘性大。

Fig.20　２トレンチ　H－32、33号住居



H-34号住居

1　10YR2/2.5　黒褐　As-C 粒30%含む。炭化物１%以下含む。しまり・粘性ある。
2　10YR2/2　黒褐　灰褐色土が20%しみ状～団粒状に混在。As-C 粒30%、Hr-FP 粒５%含む。粒度中～小。粘性ある。
3　10YR2.5/3　黒～黒褐　黒色土中に灰褐色土が10%団粒状に混在。As-C 粒30%含む。炭化物１%以下で含む。粒度小。しまり・粘性ある。
4　10YR2/1.5　黒～黒褐　黒色土と褐色粘質土のしみ状混在土中に炭化物が20%しみ状に混在。As-C 粒20%含む。粒度小。粘性強い。
5　10YR2/2　黒褐　黒色粘質土と褐色粘質土のしみ状混在土。As-C 粒15%含む。粒度小。しまりある。粘性強い。

B-１号掘立柱建物跡

P.1

1　10YR2/3　黒褐　As-C 粒20%含む。やや砂質。粒度小。
2　10YR3/2　黒褐　ごく少量の褐色土がしみ状混在。As-C 粒５%含む。粒度小。しまりある。粘性ややある。
3　10YR3/2　黒褐　褐色土が30%しみ状に混在。10mm大の黄褐色土小ブロック10%含む。しまり・粘性ややある。
4　10YR3/2　黒褐　少量の褐色土がしみ状混在。As-C 粒３%含む。

P.2

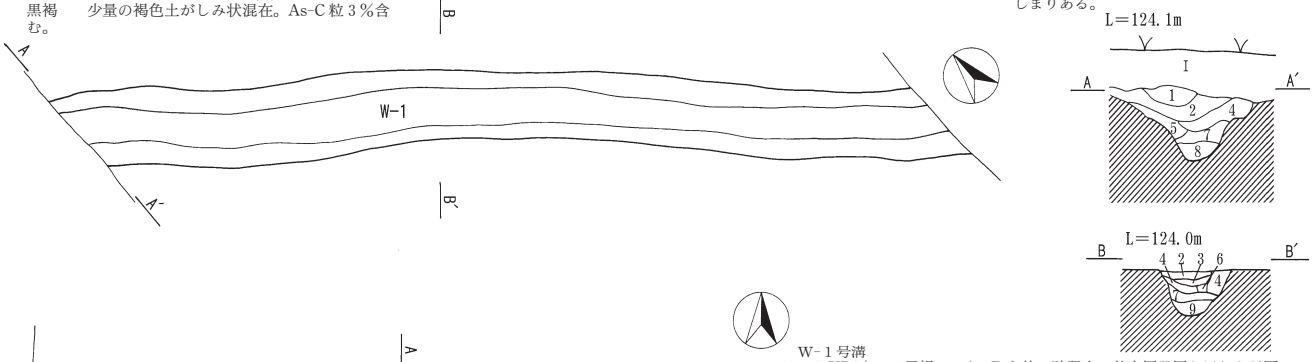
1　10YR2/2　黒褐　As-C 粒20%含む。やや砂質。粒度中～小。
2　10YR3/1.5　黒褐　黄褐色土が20%しみ状～団粒状に混在。As-C 粒５%含む。
3　10YR2/2　黒褐　地山褐色土が30%団粒状～小ブロック状に混在。As-C 粒１%含む。粒度小。しまり・粘性ややある。

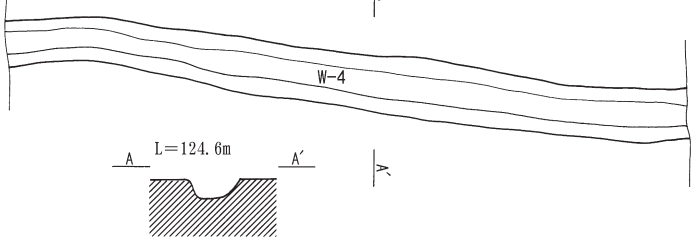
P.3

1　10YR3/1　黒褐　As-C 粒30%含む。粒度中。しまり・粘性ややある。
2　10YR3/1.5　黒褐　暗褐色土が30%しみ状混在。As-C 粒15%含む。粒度小。
3　10YR3/2　黒褐　黒色土と褐色土の混在土。As-C 粒15%含む。粘性ある。
4　10YR3/1.5　黒褐　As-C 粒15%含む。やや砂質。粒度小。しまりある。
5　10YR3/3　暗褐　暗褐色土と暗黄褐色土のしみ状～ブロック状混在。粒度小。しまりややある。粘性ある。

P.4

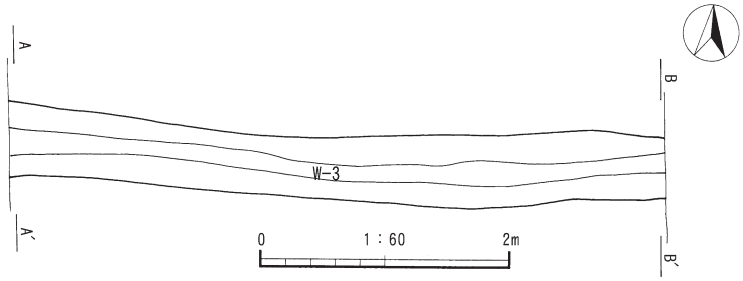
1　10YR3/1　黒褐　やや砂質。As-C 粒15%含む。粒度中～小。
2　10YR2/2　黒褐　褐色土が15%しみ状混在。黄褐色土小ブロックをごくわずか含む。粒度小。
3　10YR2.5/2　黒褐　褐色土が20%しみ状～団粒状に混在。粒度小。
4　10YR3/2.5　黒褐～暗褐　黄褐色土が10%しみ状に混在。粒度小～極小。しまりややゆるく、やや柔らかい。粘性ある。
5　10YR2/2　黒褐　As-C 粒１%含む。あまり含有物ない。粒度小。
6　10YR2/3　黒褐　褐色土、黄褐色土小ブロックが10%混在。粒度小。
7　10YR3/2.5　黒褐～暗褐　褐色土小ブロックが少量混在。粒度小。しまりある。

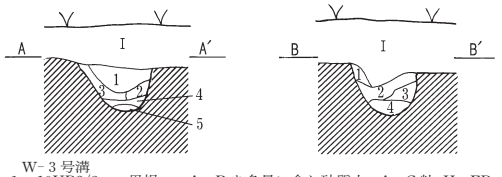




W-１号溝

1　10YR3/1.5　黒褐　As-B 主体の砂質土。基本層Ⅱ層とほとんど同。
2　10YR3/2　黒褐　As-B を多量に含む。As-B 混土。
3　10YR3/2　黒褐　２層に似るが、２層より As-B の含有量が少ない。
4　10YR3/2　黒褐　As-B 主体の混土。１層に比べ色調が明るく、２層・３層より As-B が多い。しまりややある。
5　10YR3.5/3　暗褐～にぶい黄褐　As-B を多く含む。As-C 粒が３%混在。粒度中。しまりある。
6　10YR3/3　暗褐　地山暗褐色細砂質土のブロック。
7　10YR3.5/2　黒褐～灰黄褐　暗褐色土中に As-B が混在。粒度中～小。しまりややある。As-C 粒３%混在。
8　10YR3/3　暗褐　少量の As-B を含む。粒度中で、しまりややゆるい。
9　10YR3/1　黒褐　As-B を多量に含む。ザラついて、しまりゆるい。

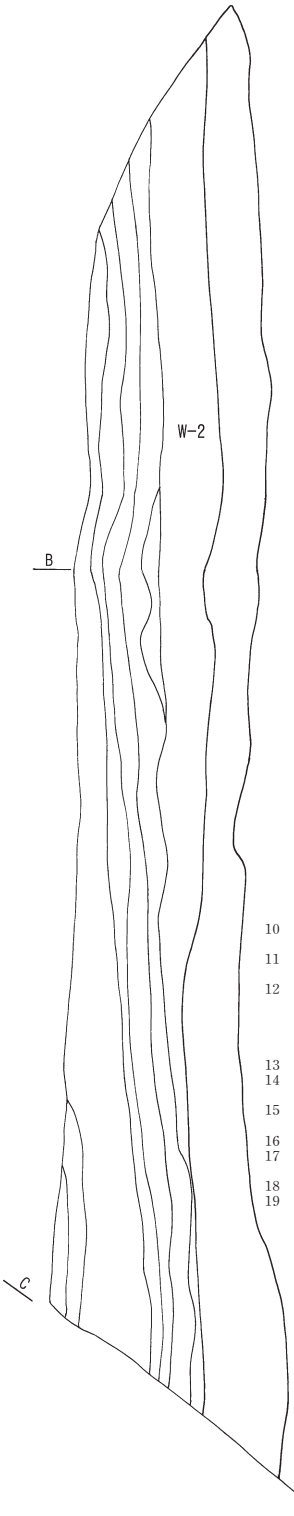


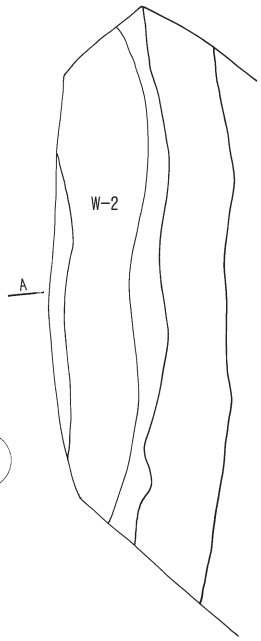


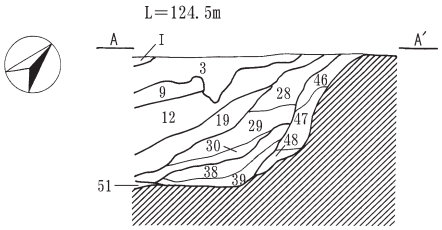
W-３号溝

1　10YR3/2　黒褐　As-B を多量に含む砂質土。As-C 粒・Hr-FP 小粒を１%含む。粒度中。粘性弱。しまりややある。
2　10YR3/3　暗褐　As-B を少量含む。やや砂質土。As-C 粒を３%含む。粒度中。粘性やや弱。しまりややある。
3　10YR3/2.5　黒褐～暗褐　As-B が少量小ブロック状に混在する暗褐色土。粒度小。しまり・粘性弱く、柔らかい。
4　10YR2.5/3　黒～黒褐　As-B をやや多く含み、ざらつく。粒度小。しまりゆるい。粘性弱。
5　10YR3/3　暗褐　わずかに As-B を含む。粒度細かく、しまりややゆるい。粘性ややある。

Fig.21　２トレンチ　Ｈ－34号住居・Ｂ－１号掘立柱建物・Ｗ－１、３、４号溝







W-2号溝

1層群　表土下。W-2号溝最上層覆土。As-Bを多量に含む。

1　2.5Y4.5/2　暗灰黄　暗灰色堆積土中にAs-Bが小ブロック～ラミナー状に混在。粒度小。しまりある。

2　2.5Y3.5/2　黒褐～暗灰黄　暗灰色土中にAs-Bを多量に含む。粒度小。しまりややある。

3　10YR4/1.5　褐灰～灰黄褐　As-Bを多量に含む砂質土。少量の灰黄褐色シルト小ブロックを含む。粒度小。しまりややある。粘性弱。

2層群　第1硬化層群。

4　2.5Y3.5/1　黒褐～黄灰　砂質土層主体。細砂質粘土がラミナー状に20%混在。ラミナー部分はしまりややある。

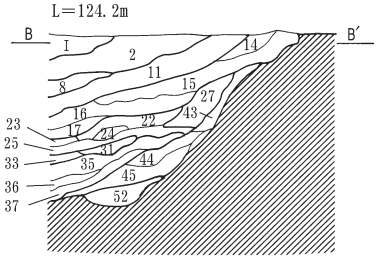
5　10YR4/3　にぶい黄褐　1～3㎜大の砂層と細砂質粘土のラミナー状～ブロック状混在。しまりある。

6　10YR4/2.5　灰黄褐～にぶい黄褐　細砂質～シルト質粘土中に少量の砂層が混在。しまりある。

7　2.5Y4.5/2　暗灰黄　細砂層主体。柔らかくしまりない。

8　10YR4/2.5　灰黄褐～にぶい黄褐　3層に似る。しまりある。

9　10YR4/2　灰黄褐　As-Bを含む砂質土。As-C粒・Hr-FP小粒を5%含む。粒度中。しまりややある。層上面が良くしまり、道路面と考えられる。



3層群　第1硬化層群と第2硬化層群の間層。上面にややしまる部分あり。2層群に不整合で接する。

10　10YR4/3　にぶい黄褐　細砂質粘土主体。粒度小。しまりややある。炭化物を1%含む。

11　10YR4/3　にぶい黄褐　細砂質粘土主体。粒土中。As-C粒を1.5%含む。上面が堅くしまる。

12　10YR4/2　灰黄褐　As-Bを含む砂質土。黄色・白色微粒を1.5%含む。粒度小。しまりある。上面が硬化し道路面と考えられる。

4層群　第2硬化層群。

13　10YR3.5/2　黒褐～灰黄褐　砂質粘土層。粒度小。しまりある。

14　10YR4/3　にぶい黄褐　As-Bを多量に含む砂質土。粒度中。しまる。

15　10YR4/2　灰黄褐　As-Bを含む砂質土。As-C粒を10%含む。粒度小。非常に堅くしまる。

16　10YR4/3　にぶい黄褐　砂質粘土。粒度小。しまりややゆるい。

17　10YR4/2　灰黄褐　細砂質粘土。しまりややゆるいが、溝中央部では非常に堅くしまる。

18　10YR4/2　灰黄褐　砂質で柔らかい。

19　10YR4/2　灰黄褐　細砂質土主体。粒度極小で、しまりある。通路痕跡の硬化面は認められない。

5層群　第3硬化層群。第2硬化層群が整合する。

20　10YR4/1.5　褐灰～灰黄褐　細砂質粘土。灰黄褐シルト質粘土が少量ラミナー状に混在。しまりある。

21　10YR5/3　にぶい黄褐　砂質土とシルト質粘土の層理状混在土。堅くしまる。

22　10YR4/2　灰黄褐　砂質土。粒度小。しまりややある。

23　10YR4/2　灰黄褐　細砂質土。少量の灰黄色シルト質粘土がラミナー状～小ブロック状に混在し、堅くしまる。

24　10YR3.5/3　暗褐～にぶい黄褐　細砂質粘土中に少量の砂が混在。粒度小。しまりある。

25　10YR4/2　灰黄褐　5-4層に似るが色調やや暗く、しまりややゆるい。

6層群　第3硬化層群と第4硬化層群の間層。4層群・5層群に不整合に切られる。

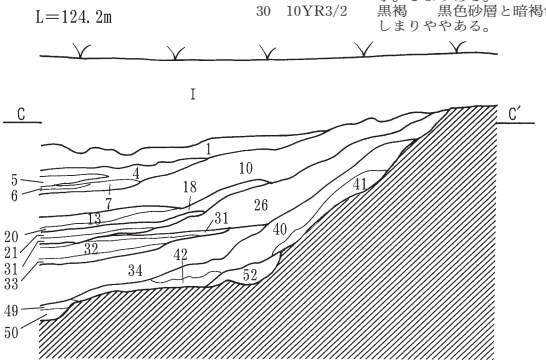
26　10YR4/3　にぶい黄褐　細砂質土層。しまりややあるが硬化面は認められない。

27　10YR3.5/3　暗褐～にぶい黄褐　細砂質土中にAs-Bと考えられる砂質土が少量混在。しまりややある。粒度小。

28　10YR3.5/3　暗褐～にぶい黄褐　As-Bと考えられる砂を多く含む。粒度中～小。橙色・白色微粒を1%含む。しまりある。

29　10YR3/3　暗褐　砂質粘土。径5～7㎜の炭化物を1%含む。粒度小。しまりある。

30　10YR3/2　黒褐　黒色砂層と暗褐色細砂質粘土の混在層。粒度小。しまりややある。



7層群　第4硬化層群。W-2号溝中最下層の硬化面。

31　10YR4.5/3　にぶい黄褐　砂層とシルト質粘土のラミナー状混在。溝中央部では非常に堅くしまる。

32　10YR3.5/2　黒褐～灰黄褐　砂質土層とわずかにシルト質粘土がごく薄いラミナー状に混在。堅くしまる。

33　10YR3.5/2　黒褐～灰黄褐　細砂質土。非常に堅くしまる。

8層群　溝底面覆土層。砂質主体で第1次埋没土層群。

34　2.5Y3/1　黒褐　1～4㎜の砂層中にわずかに細砂質粘土が小ブロック状～ラミナー状に混在。粒度中。しまりゆるい。

35　2.5Y3.5/1　黒褐～黄灰　細砂質粘土中に1㎜大の砂が少量小ブロック状に混在。しまりややある。粒度小。

36　5Y2/1　黒　1～2㎜大の砂層。しまりゆるい。

37　10YR3/2　黒褐　細砂質土主体。やや柔らかく、しまりない。

38　10YR3.5/2　黒褐～灰黄褐　暗褐色細砂質粘土中に黒褐色砂が30%程度小ブロック状～層理状に混在。粒度極小。しまりややあるが、やや柔らかい。5㎜大の炭化物を1%以下で含む。

39　10YR3/1　黒褐　砂質粘土。粒度小。しまりややゆるい。第1次埋没土。

9層群　壁際流入土群。

40　10YR4/3　にぶい黄褐　細砂質粘土主体。柔らかくしまりややゆるい。

41　10YR4/2　灰黄褐　細砂質粘土主体。柔らかく、しまりややゆるい。9-1層よりやや粒度粗い。

42　10YR4/3　にぶい黄褐　砂質粘質土。粒度中。しまりややゆるく、粘性ややあり。

43　10YR4/4　褐　地山Ⅳ層主体の流入土。

44　10YR3/3　暗褐　細砂質粘土。粒度極小。しまりややある。

45　10YR3/3　暗褐　9-5層よりさらに粒度細かく、しまりある。

46　10YR3/1.5　黒褐　As-Bを多量に含む。粒度中。しまりゆるい。

47　10YR3/2.5　黒褐～暗褐　H-8カマド粘土と焼土が少量しみ状に混在。白色微粒を1%以下で含む。粒度中。しまり・粘性ややある。

48　10YR2/1　黒　細砂質粘土中に、基盤砂層の1～2㎜大の砂粒が少量混在。粒度小。やや柔らかく、しまりややゆるい。

10層群　最深部覆土。

49　10YR4/3　にぶい黄褐＋褐灰　淡褐色シルト質粘土と褐灰色砂質土の層理状堆積層。
10YR5/1

50　10YR4/2　灰黄褐　砂質層。粒度中。しまりゆるい。粘性ややある。

51　10YR3.5/2　黒褐～灰黄褐　細砂質粘土。淡褐色シルト質粘土を1～2㎝大のブロック～団粒状に15%含む。粒土極小。しまりややゆるい。第1次埋没土。

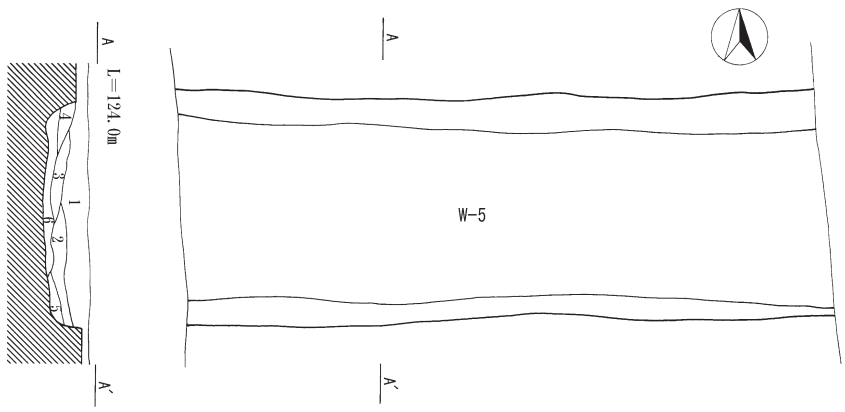
11層群　東立ち上がり際の浅い溝覆土。W-2以前の溝の可能性がある。

52　7.5Y4/3　褐　水性堆積かと思われる粘質土主体。粒度極小で、しまり・粘性大。

0　1：80　2m

0　1：60　2m

Fig.22　2トレンチ　W－2号溝

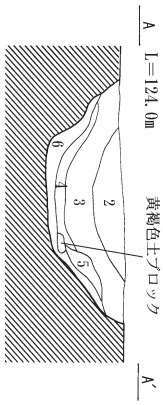


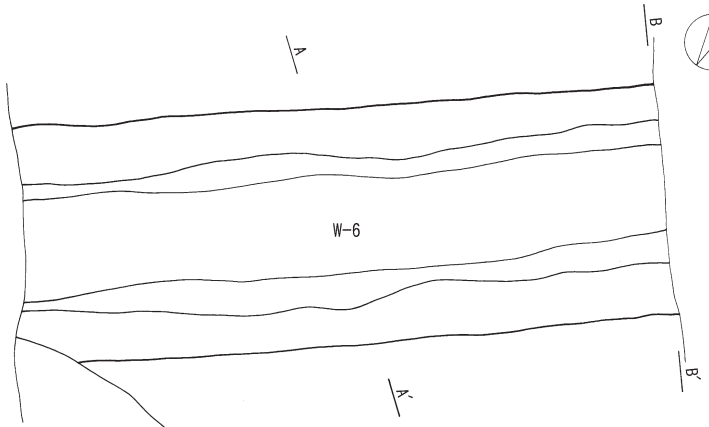
W-5号溝

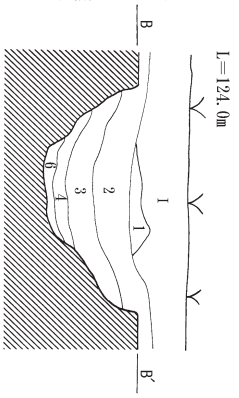
1　10YR3/3　暗褐　As-C粒・Hr-FP小粒を20%含む。粒度小。しまりややゆるい。粘性ややある。
2　10YR3/2　黒褐　As-C粒・Hr-FP小粒を15%含む。わずかに黄褐色土粒を含む。粒度中。しまり・粘性ややある。
3　10YR3/2　黒褐　As-C粒・Hr-FP小粒を15%含む。粒度中。しまり・粘性ややある。やや色調暗い。
4　10YR3/2　黒褐　As-C粒・Hr-FP小粒を15%含む。わずかに暗褐色土がしみ状に混在。粒度中。しまり・粘性ややある。
5　10YR3/3.5　暗褐　黒褐色土と褐色土のしみ状混在。粒度小。しまりややゆるく、粘性ややある。
6　10YR3/1.5　黒褐　黒褐色土中に少量の褐色土がしみ状混在。3～10mm大黄褐色土粒・小ブロックを15%含む。粒度小。しまりある。粘性ややある。

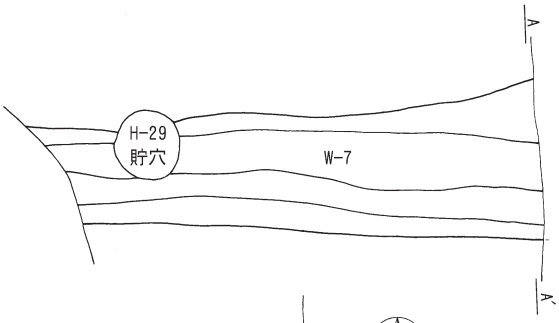
W-6号溝

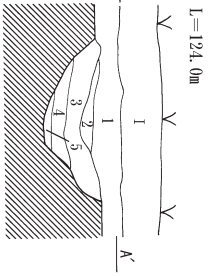
1　10YR3/2　黒褐　As-C粒10%含む。3～8mm大の小礫が少量混在。粒度小～中。しまり・粘性ややある。
2　10YR3/2.5　黒褐～暗褐　As-C粒30%含む。1～2mm大の橙色粒子を3%含む。粒度小～中。しまり・粘性ややある。
3　10YR3/2　黒褐　As-C粒20%含む。2層に比べAs-C粒の粒径がやや小さい。粒度小～中。しまり・粘性ややある。
4　10YR3/2.5　黒褐～暗褐　As-C粒5%、2～10mm大の地山砂質黄褐色土小ブロックを3%含む。粒度小。しまりある。粘性ややある。
5　10YR3/4　暗褐　暗褐色土中に黄褐色土が10%しみ状に混在。粒度小。しまり・粘性ややある。
6　10YR3/3　暗褐　暗褐色土中に黄褐色土砂質土が40%しみ状に混在。粒度小。しまりある。粘性ややある。





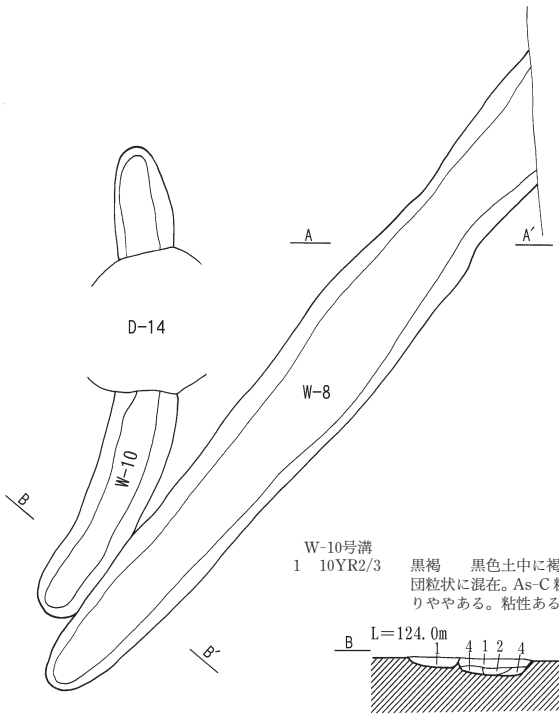


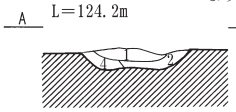




W-7号溝

1　10YR2/3　黒褐　As-C粒を30%、5mm大小礫を10%含む。しまり・粘性ややある。粒度中～小。Ⅲa層に似る。
2　10YR2/2　黒褐　黒褐色土中に黒色腐植質土がブロック状～団粒状に混在。As-C粒を20含む。粒度中。しまり・粘性ややある。
3　10YR3/3　暗褐　As-C粒を25%含む。粒度小。しまり・粘性ややある。
4　10YR3/4　暗褐　黒褐色～暗褐色土中に地山黄褐色土が20%しみ状混在。10mm大の黄褐色土小ブロックを10%含む。As-C粒を15%含む。粒度小。堅くしまる。粘性ややある。道路面か。
5　10YR3.5/4　暗褐～褐　地山黄褐色土と暗褐色土が互層をなして層理状に混在。しまりある。粘性ややある。粒度小。道路面。



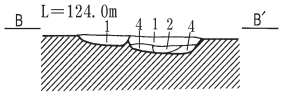


W-8号溝

1　10YR2/3　黒褐　As-C粒を30%含む。粒度小。しまりある。粘性大。
2　10YR2/2.5　黒褐　黒褐色土中に3mm大の小礫が40%混在。粒度中。しまりややゆるい。粘性ややある。
3　10YR2/2　黒褐　黒褐色土中に暗褐色土が40%しみ状に混在。As-C粒を3%含む。粒度小。しまりややある。粘性ある。
4　10YR2/2.5　黒褐　わずかに灰褐色土がしみ状に混在。As-C粒を5%含む。粒度小。しまりややゆるい。粘性ある。やや砂質。

W-10号溝

1　10YR2/3　黒褐　黒色土中に褐色土が30%、10～30mm大の団粒状に混在。As-C粒を5%含む。粒度小。しまりややある。粘性ある。



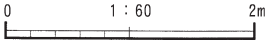
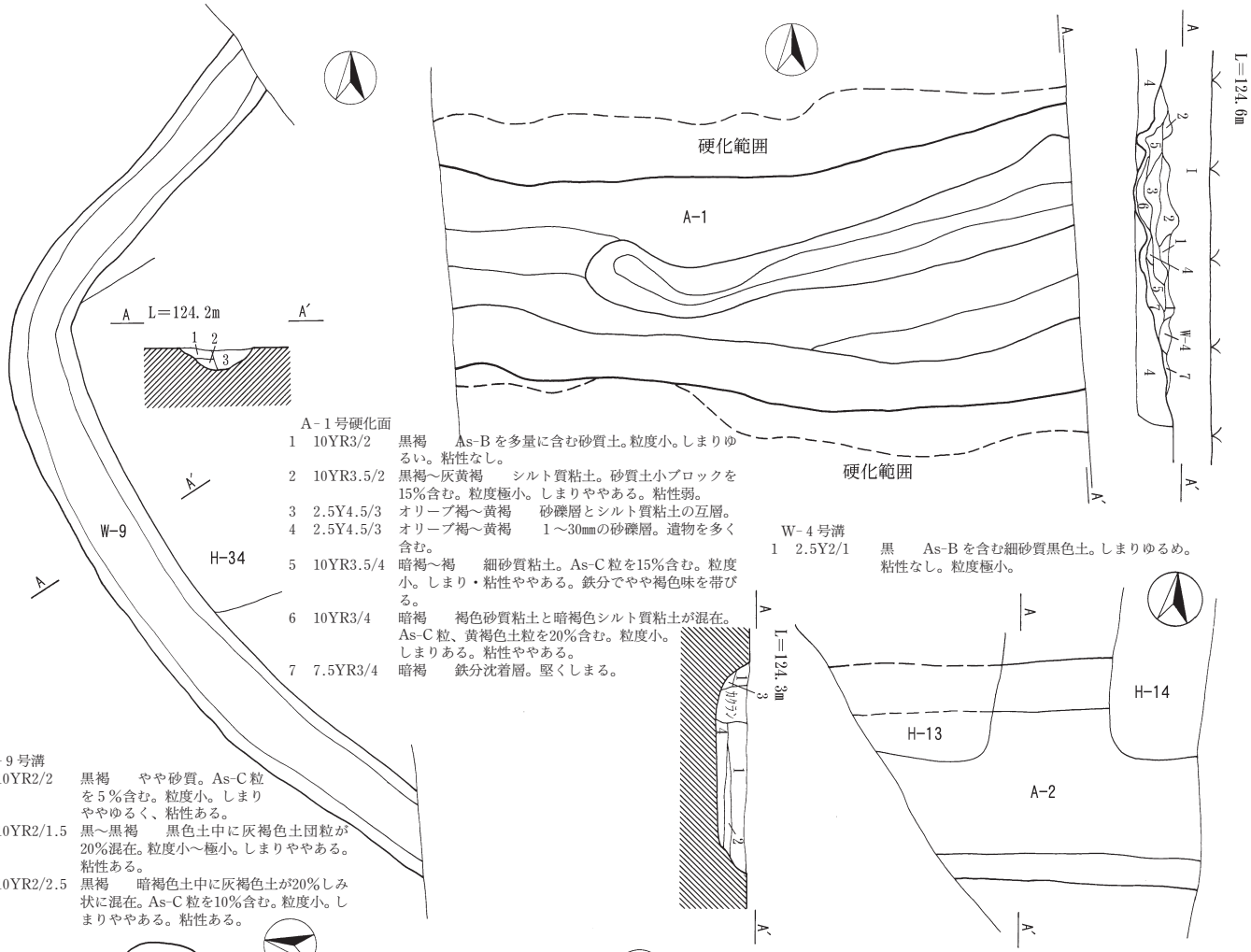


Fig.23　2トレンチ　W－5～8、10号溝



A－１号硬化面

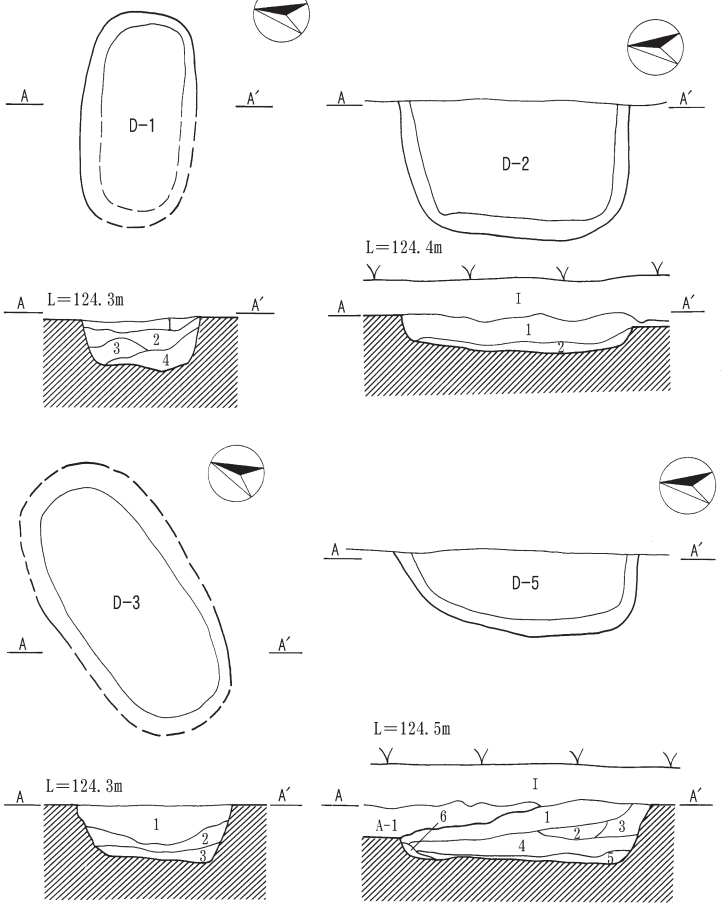
1　10YR3/2　黒褐　As-B を多量に含む砂質土。粒度小。しまりゆるい。粘性なし。
2　10YR3.5/2　黒褐～灰黄褐　シルト質粘土。砂質土小ブロックを15%含む。粒度極小。しまりややある。粘性弱。
3　2.5Y4.5/3　オリーブ褐～黄褐　砂礫層とシルト質粘土の互層。
4　2.5Y4.5/3　オリーブ褐～黄褐　１～30㎜の砂礫層。遺物を多く含む。
5　10YR3.5/4　暗褐～褐　細砂質粘土。As-C 粒を15%含む。粒度小。しまり・粘性ややある。鉄分でやや褐色味を帯びる。
6　10YR3/4　暗褐　褐色砂質粘土と暗褐色シルト質粘土が混在。As-C 粒、黄褐色土粒を20%含む。粒度小。しまりある。粘性ややある。
7　7.5YR3/4　暗褐　鉄分沈着層。堅くしまる。

W－４号溝

1　2.5Y2/1　黒　As-B を含む細砂質黒色土。しまりゆるめ。粘性なし。粒度極小。

W－９号溝

1　10YR2/2　黒褐　やや砂質。As-C 粒を５%含む。粒度小。しまりややゆるく、粘性ある。
2　10YR2/1.5　黒～黒褐　黒色土中に灰褐色土団粒が20%混在。粒度小～極小。しまりややある。粘性ある。
3　10YR2/2.5　黒褐　暗褐色土中に灰褐色土が20%しみ状に混在。As-C 粒を10%含む。粒度小。しまりややある。粘性ある。



A－２号硬化面

1　10YR3.5/4　暗褐～褐　As-C 粒・Hr-FP 小粒を20%含む。やや砂質。粒度小～極小。しまり・粘性ややある。
2　10YR3/3　暗褐　As-C 粒・Hr-FP 小粒を３%、黄褐色土粒を５%含む。やや砂質。粒度小～極小。強くしまる。粘性ややある。
3　10YR3/3　暗褐　２層とほぼ同じであるが、しまりややゆるい。
4　10YR3/3　暗褐　褐色土が40%しみ状～団粒状に混在。As-C 粒15%、２㎜大の橙色粒子３%含む。粒度小。堅くしまる。粘性ある。

D－１号土坑

1　10YR3/3　暗褐　５～30㎜大黄褐色土ブロックを20%含む。粒度小。Hr-FP 小粒を５%含む。粘性ややあり。しまりややゆるい。
2　10YR3/3　暗褐　10～50㎜大の黄褐色土ブロックを30%含む。Hr-FP 小粒を２%含む。粒度中。粘性あるが、しまりゆるい。
3　10YR4/3　にぶい黄褐　10～50㎜大の黄褐色土ブロックを40%含む。粒度中。しまりややゆるい。
4　10YR3/2　黒褐　10～15㎜大の黄褐色土ブロックを20%含む。１～２㎜大の黄色・橙色粒子を10%含む。粒度中。粘性ややあるが、しまりややゆるい。

D－２号土坑

1　10YR3/3　暗褐　As-C 粒を15%・黄褐色土粒を20%含む。20㎜大黄褐色土ブロックを15%含む。粒度中～大。しまりややゆるい。粘性やや弱い。
2　10YR2.5/3　黒褐～暗褐　10㎜大黄褐色土小ブロックを10%含む。粒度小。しまり・粘性ややある。

D－３号土坑

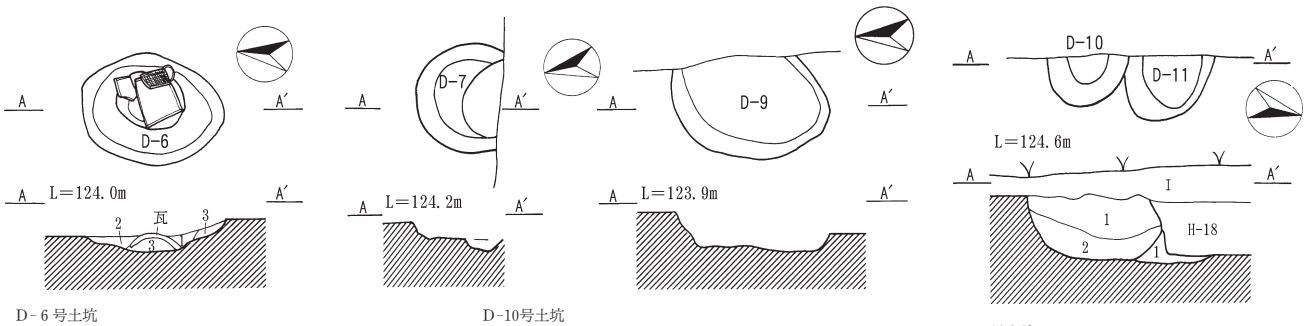
1　10YR3/3　暗褐　As-C 粒・Hr-FP 小粒を15%含む。７～８㎜大黄褐色土小ブロックを１%以下で含む。粒度中。しまり・粘性ややある。
2　10YR3/2　黒褐　As-C 粒・黄褐色土粒を３%含む。粒度中。しまり・粘性ややある。
3　10YR3/2　黒褐　As-C 粒を２%含む。粒度小。しまり・粘性ややある。

D－５号土坑

1　10YR4/3　にぶい黄褐　As-C 粒30%含む。粒度中。しまりある。粘性ややある。
2　10YR3/3　暗褐　As-C 粒15%、黄褐色土粒５%含む。粒度中。しまりややゆるい。粘性ややある。
3　10YR3/2.5　黒褐～暗褐　少量の黄褐色土がしみ状混在。As-C 粒20%、黄褐色土粒を５%含む。粒度小。しまり・粘性ややある。
4　10YR3/1.5　黒褐　As-C 粒10%、黄褐色土粒10%含む。わずかに20㎜大黄褐色土小ブロックを１%以下で含む。30～50㎜大の黒色粘質土ブロックが部分的に混在。しまりある。粘性ややある。
5　10YR4/3　にぶい黄褐　As-C 粒３%、３～８㎜大黄褐色土小ブロック５%含む。しまり・粘性ある。
6　10YR4/4　褐　暗褐色土と褐色土のしみ状混在。粒度小。やや柔らかく、しまりややゆるい。

0　1：60　2m

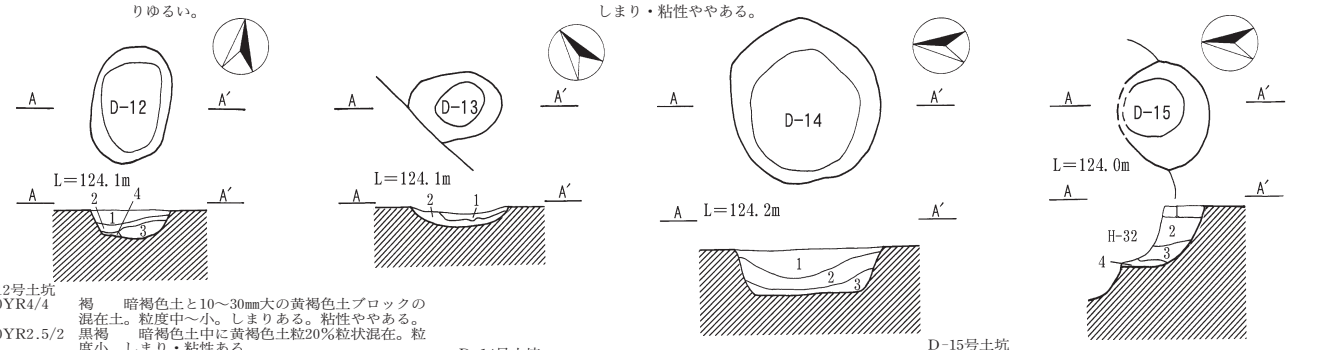
Fig.24　２トレンチ　W－９号溝・A－１、２号硬化面・D－１～３、５号土坑



D-6号土坑
1　10YR3/3　暗褐　1～5㎜大の黄褐色土粒10%含む。粒度小。しまり・粘性ややある。
2　10YR3/2　黒褐　暗褐色土と黒色灰状物質のしみ状混在。ごくわずか焼土粒含む。
3　10YR4/4　褐　ごくわずか黄色微粒含む。粒度小。しまりゆるい。

D-10号土坑
1　10YR3/2.5　黒褐～暗褐　As-C粒２％・５～10㎜大黄褐色土粒・小ブロック５％混在。粒度小。しまり普通。粘性ややある。
2　10YR3/2　黒褐　褐色土が10%しみ状混在。黄褐色土粒20%含む。２～５㎜大の炭化物１％含む。粒度小。しまり・粘性ややある。

D-11号土坑
1　10YR3/3　暗褐　黄褐色土20%しみ状混在。５～15㎜大の黄褐色土粒・小ブロックを20%含む。しまりやや弱い。粘性普通。

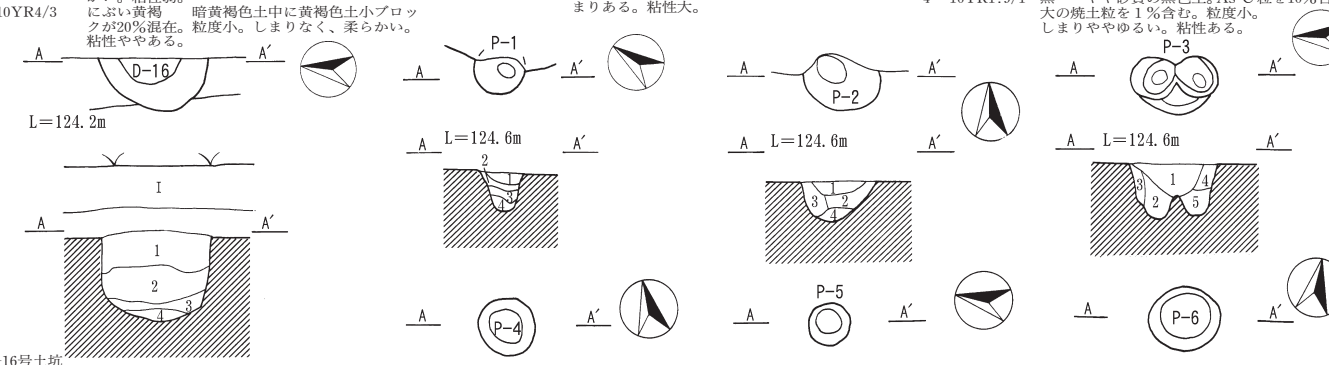


D-12号土坑
1　10YR4/4　褐　暗褐色土と10～30㎜大の黄褐色土ブロックの混在土。粒度中～小。しまりある。粘性ややある。
2　10YR2.5/2　黒褐　暗褐色土中に黄褐色土粒20%粒状混在。粒度小。しまり・粘性ある。
3　10YR3/2　黒褐　暗褐色土中に黄褐色土粒40%粒状混在。また黄褐色土小ブロック10%混在。粒度小。しまり・粘性ある。
4　10YR2/1.5　黒褐　黄褐色土粒５％含む。粒度小。しまりややゆるい。粘性ある。

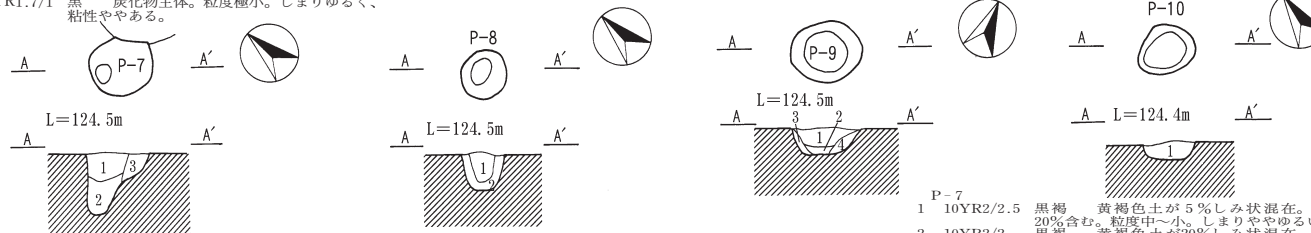
D-13号土坑
1　10YR3/3　暗褐　暗褐色土中に10～15㎜大の黄褐色土小ブロックが10%混在。粒度小。しまりゆるく、柔らかい。粘性弱。
2　10YR4/3　にぶい黄褐　暗黄褐色土中に黄褐色土小ブロックが20%混在。粒度小。しまりなく、柔らかい。粘性ややある。

D-14号土坑
1　10YR2/1.5　黒～黒褐　黒色土中に15～20㎜大の灰褐色粘質土小ブロックが、しみ状～団粒状に５％混在。As-C粒を10%含む。粒度小。しまりある。粘性大。
2　10YR2/1.5　黒～黒褐　黒色土中に15㎜大の灰褐色粘土小ブロックが２％混在。As-C粒を１％、５㎜大炭化物を１％以下で含む。粒度小。しまり・粘性強い。
3　10YR1.7/1　黒　やや砂質で、ざらつく。As-C粒を１％以下で含み、含有物はあまりない。粒度小～極小。しまりある。粘性大。

D-15号土坑
1　10YR2/2　黒褐　As-C粒を30%含む。１～２㎜大の焼土粒を１％以下で含む。粒度小～中。しまり・粘性ある。
2　10YR2/1.5　黒～黒褐　黒色土中に10～20㎜大の褐色土が団粒～小ブロック状に20%混在。As-C粒を20%含む。２㎜大焼土粒を２％含む。粒度小。しまり・粘性ある。
3　10YR2/2　黒褐　黒色土中に20%褐色土がしみ状に混在。As-C粒を５％含む。粒度小～極小。しまりある。粘性大。
4　10YR1.9/1　黒　やや砂質の黒色土。As-C粒を10%含む。１㎜大の焼土粒を１％含む。粒度小。しまりややゆるい。粘性ある。



D-16号土坑
1　10YR2/3　黒褐　As-C粒30%、10㎜大黄褐色土小ブロックを１％含む。粒度小～中。しまり・粘性ややある。
2　10YR3/2.5　黒褐～暗褐　少量の黄褐色土がしみ状混在。黄褐色土小ブロックを20%含む。As-C粒15%含む。粒度小。粘性ある。
3　10YR2/2　黒褐　黄褐色土が５％混在。炭化物を５％含む。粒度小～極小。しまりややゆるい。粘性やや弱い。
4　10YR1.7/1　黒　炭化物主体。粒度極小。しまりゆるく、粘性ややある。



P-1
1　10YR2/2　黒褐　As-C粒10%・１㎜大の黄色粒子３％含む。粒度小。
2　10YR3/3.5　暗褐　黒褐色土中に黄褐色土が40%しみ状混在。粒度小。
3　10YR2/5.5　黒褐～暗褐　黒褐色土に黄褐色土が20%混在。粒度小。
4　10YR3/4　暗褐　黒褐色土と黄褐色土の混在土。しまり・粘性やや弱い。

P-2
1　10YR2/2　黒褐　As-C粒５％含む。粒度小。しまり・粘性ややある。
2　10YR2/2.5　黒褐　黒褐色土に黄褐色土が10%しみ状混在。As-C粒３％含む。
3　10YR3/3.5　暗褐　黒褐色土に黄褐色土が40%混在。粒度小。
4　10YR3/2　黒褐　黒褐色土に黄褐色土が15%しみ状混在。粒度小。

P-3
1　10YR2/2.5　黒褐　As-C粒10%・黄色粒子３％含む。粒度小。しまりある。
2　10YR3/2　黒褐　黄褐色土が10%しみ状混在。As-C粒３％含む。粒度小。
3　10YR3/2　黒褐　白色・橙色粒を１％含む。粒度極小。しまりややゆるい。
4　10YR3/2.5　黒褐～暗褐　As-C粒・黄色・白色微粒を１％含む。しまりある。
5　10YR2.5/3　黒褐～暗褐　黄褐色土が５％混在。黄色・白色粒を１％以下含む。

P-4
1　10YR2/2.5　黒褐　As-C粒10%含む。粒度小。しまり・粘性ややある。
2　10YR2/2　黒褐　白色微粒を１％以下含む。粒度小。しまりある。
3　10YR3/2.5　黒褐～暗褐　橙色・白色微粒を１％含む。粒度小～極小。しまり・粘性ある。

P-5
1　10YR2/2　黒褐　ほとんど含有物がない。粒度小。しまりややゆるい。

P-6
1　10YR3/2　黒褐　As-C粒20%含む。しまり・粘性ややある。
2　10YR3/3　暗褐　黒褐色土に褐色土が40%しみ状～団粒状混在。橙色・白色粒を１％以下含む。粒度小。
3　10YR3/4　暗褐　黒褐色土と暗黄褐色土混在土。白色粒を１％以下含む。粒度小～極小。粘性ある。

P-7
1　10YR2/2.5　黒褐　黄褐色土が５％しみ状混在。As-C粒20%含む。粒度中～小。しまりややゆるい。
2　10YR2/2　黒褐　黄褐色土が20%しみ状混在。As-C粒５％含む。粒度小。しまりややゆるい。
3　10YR3/2　黒褐　黄褐色土が10%しみ状混在。As-C粒15%含む。粒度小。

P-8
1　10YR3/2　黒褐　As-C粒５％、黄褐色土粒を２％含む。粒度小～中。しまりややゆるい。
2　10YR2/2　黒褐　黄褐色土が５％しみ状混在。黄色・白色粒を１％以下含む。粒度小。しまりややゆるい。

P-9
1　10YR3/2.5　黒褐～暗褐　As-C粒小粒、白色・橙色粒を３％含む。粒度小。しまりある。
2　10YR3/3　暗褐　As-C粒小粒、白色粒を１％含む。粒度小。しまりある。
3　10YR3/2.5　黒褐～暗褐　As-C粒２％含む。粒度小～極小。
4　10YR3/3　暗褐　橙色・白色粒を１％以下含む。粒度小～極小。

P-10
1　10YR3/3＋10YR4/5　暗褐＋褐　黄褐色土粒・小ブロックを40%含む。As-C粒２％、焼土粒を１％以下含む。粒度小～中。しまりある。

0　1：60　2m

Fig.25　２トレンチ　Ｄ－６、７、９～16号土坑・Ｐ－１～10

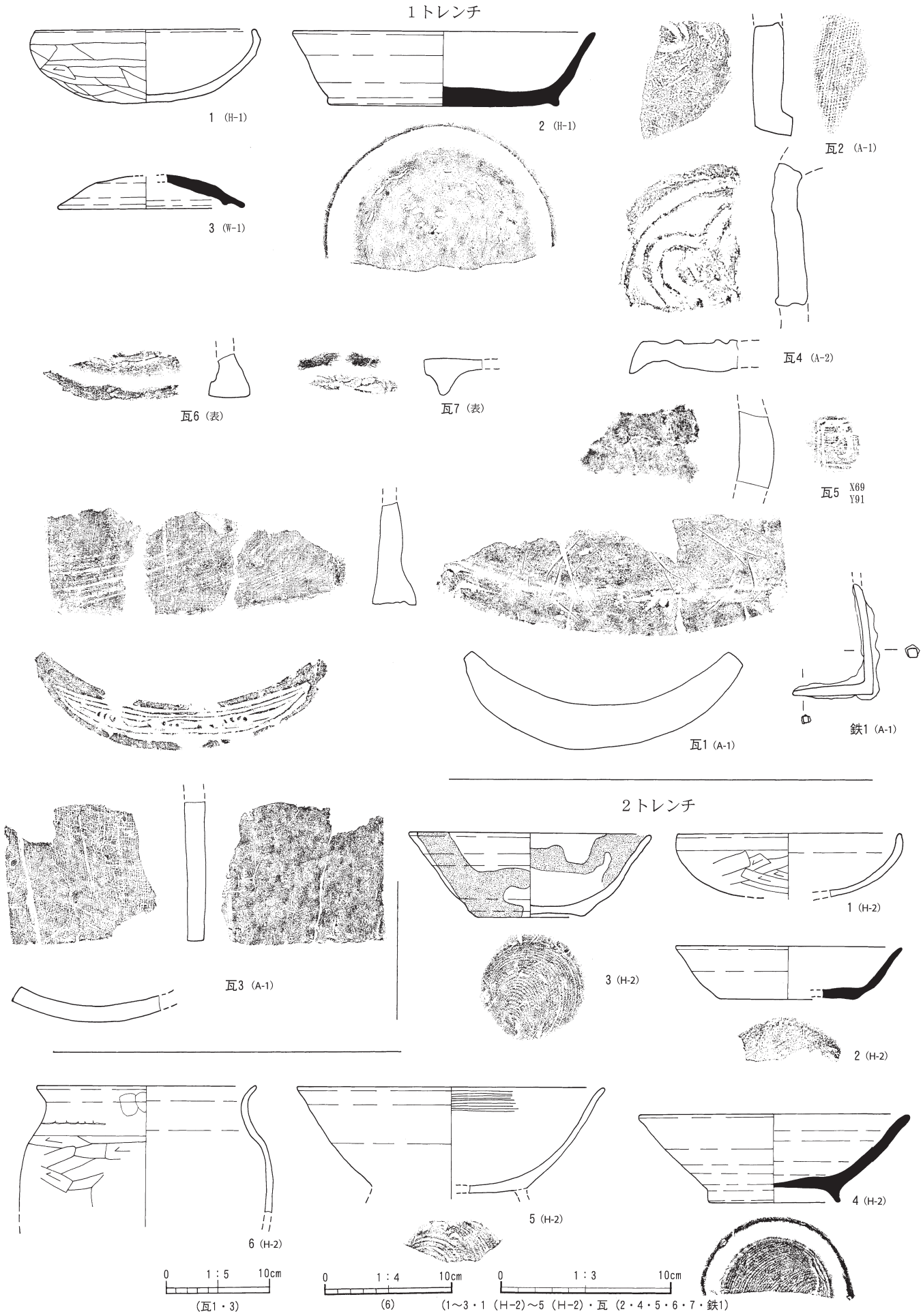


Fig.30　1トレンチ出土の土器・瓦・鉄器および2トレンチH－2号住居出土の土器

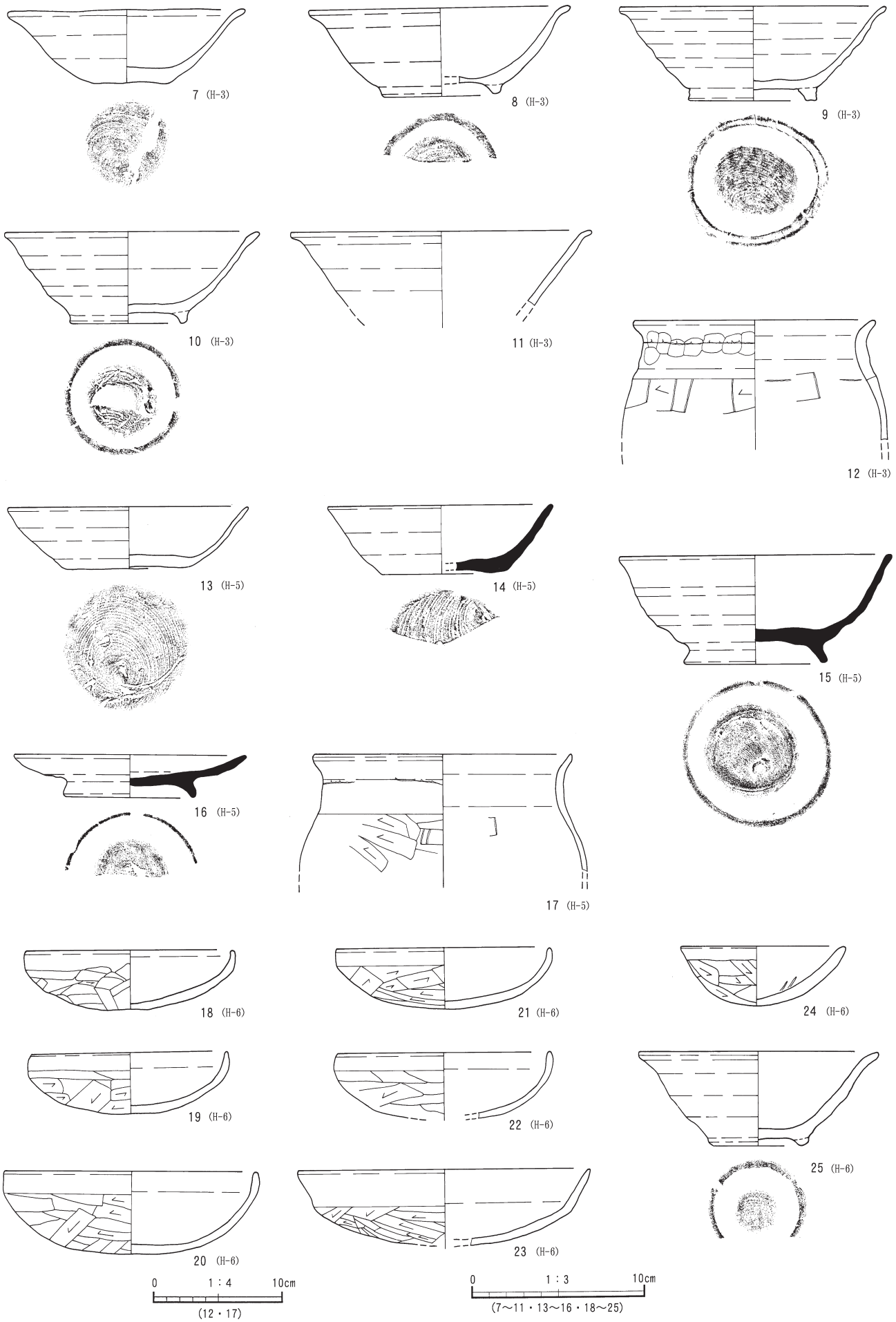


Fig.31　2トレンチH－3、5～6号住居出土の土器

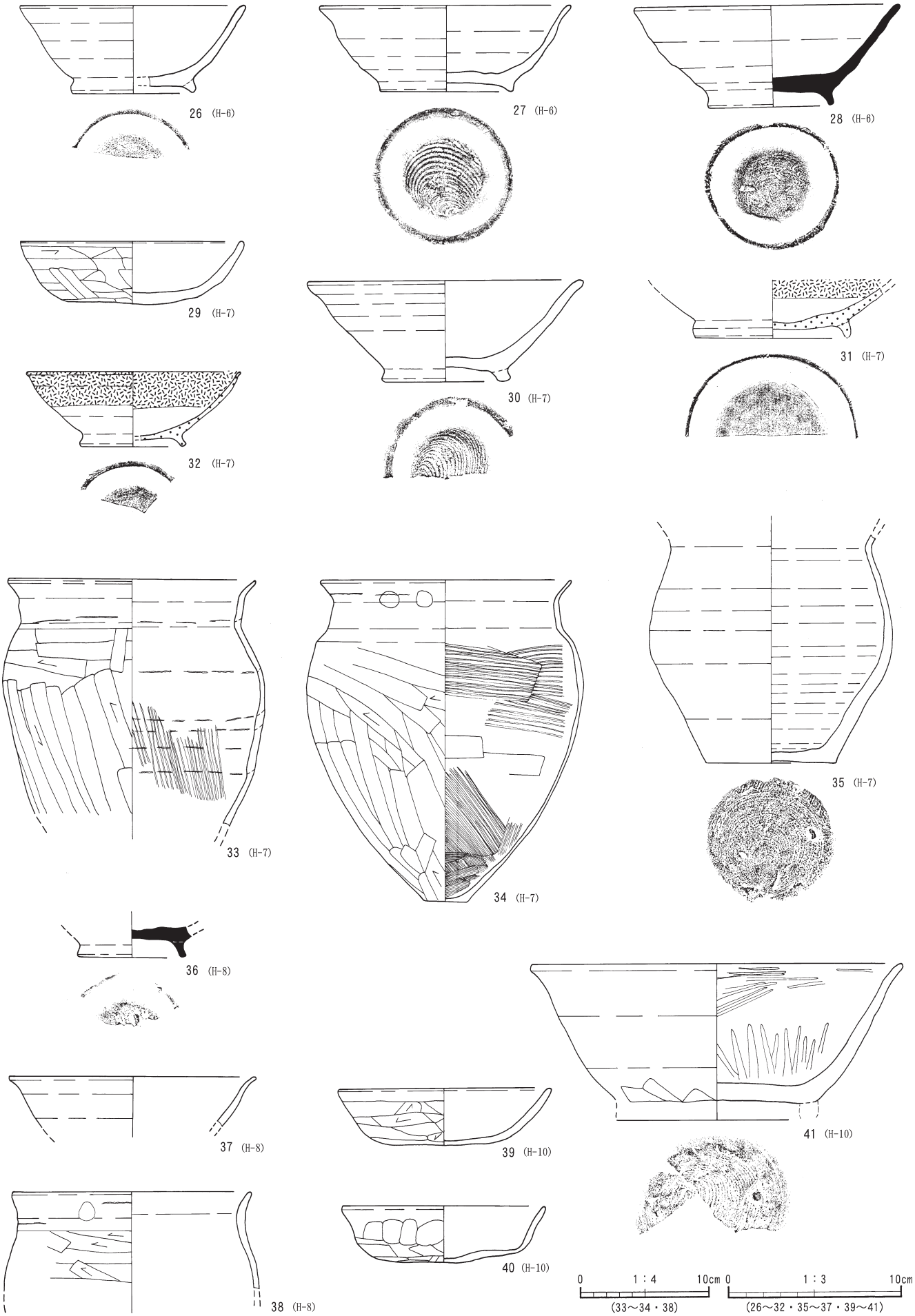


Fig.32　2トレンチH－6～8、10号住居出土の土器

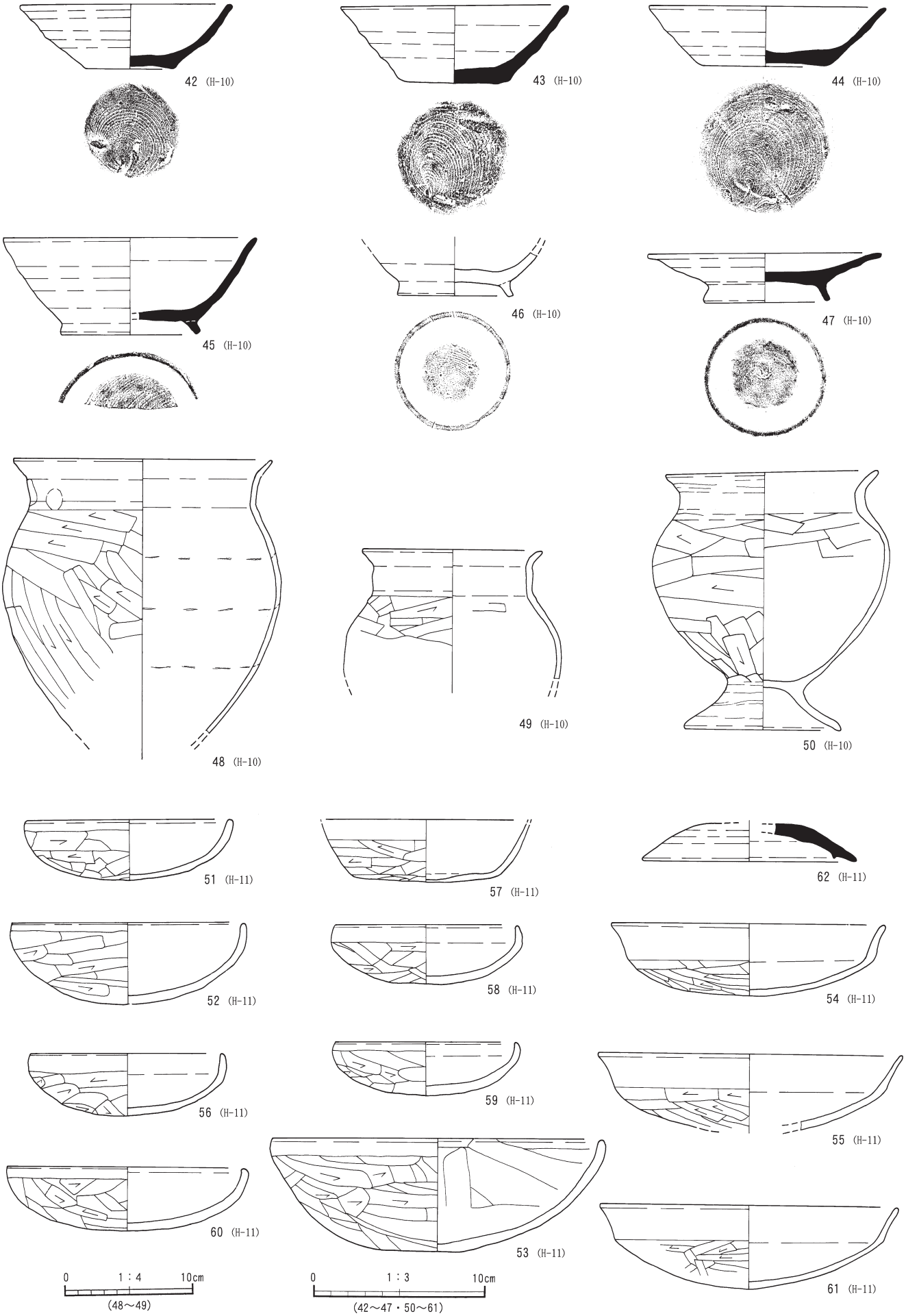


Fig.33　2トレンチH－10、11号住居出土の土器

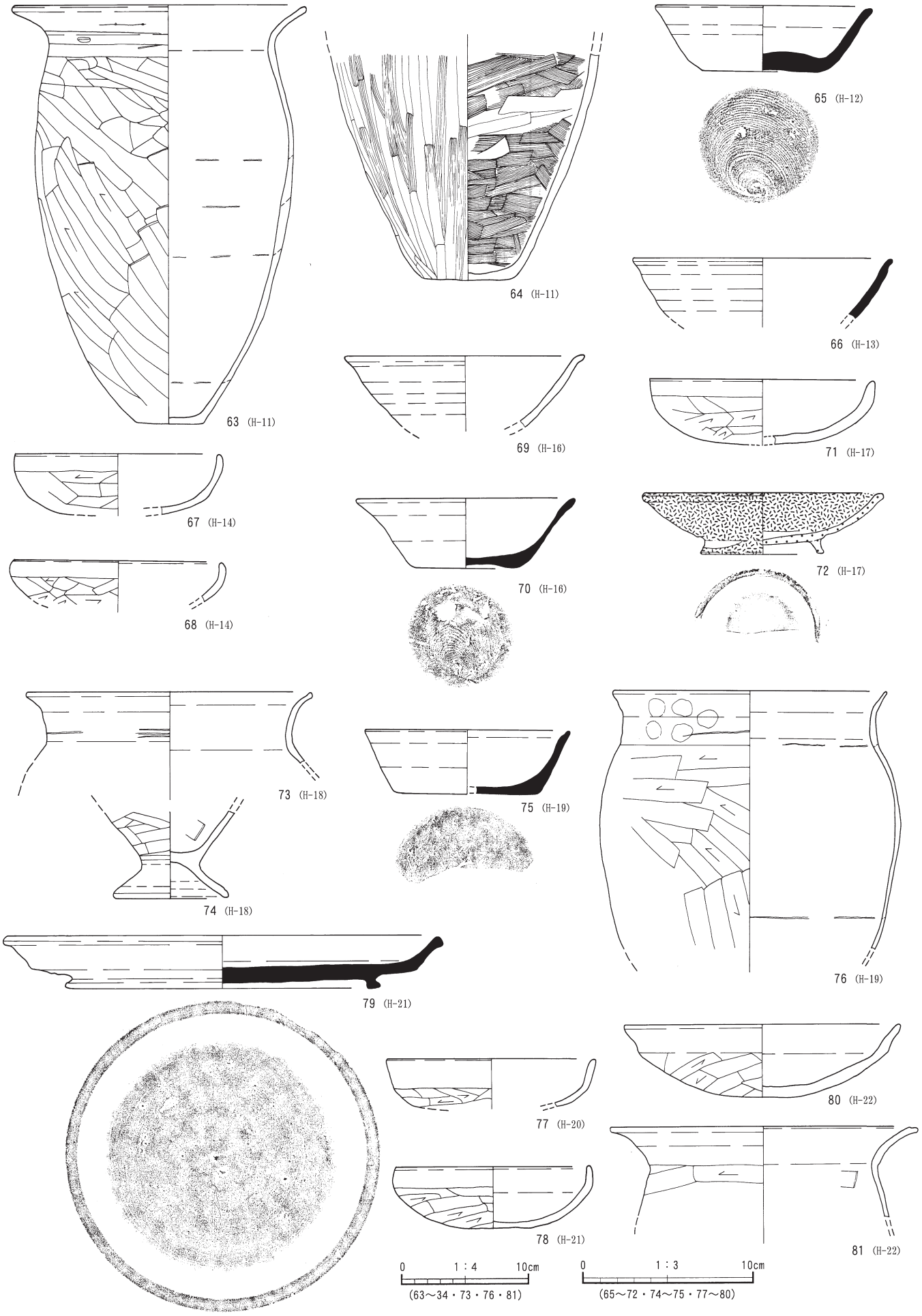


Fig.34　2トレンチH－11～14、16～22号住居出土の土器

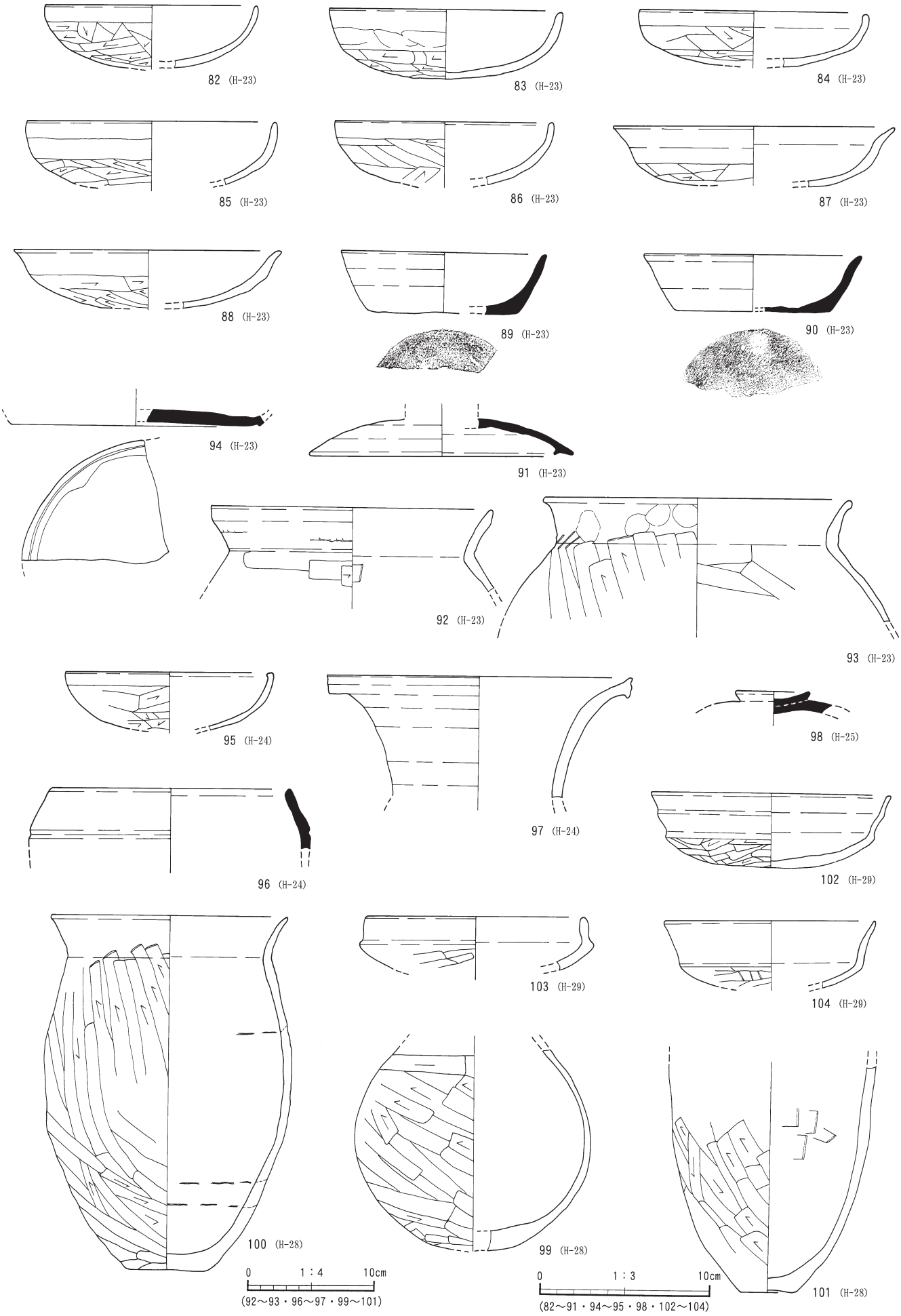


Fig.35　2トレンチH－23～25、28、29号住居出土の土器

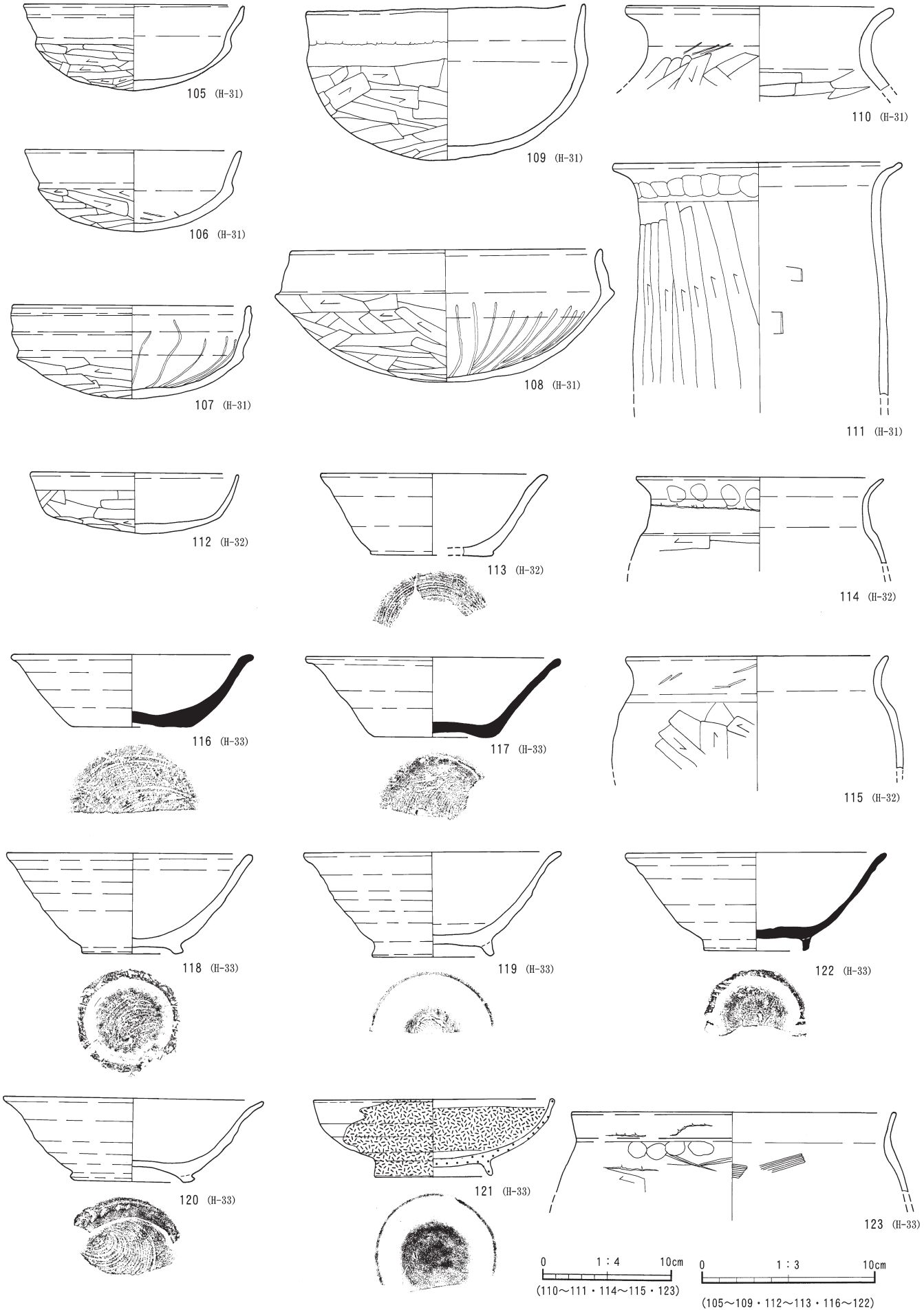


Fig.36　2トレンチH－31～33号住居出土の土器

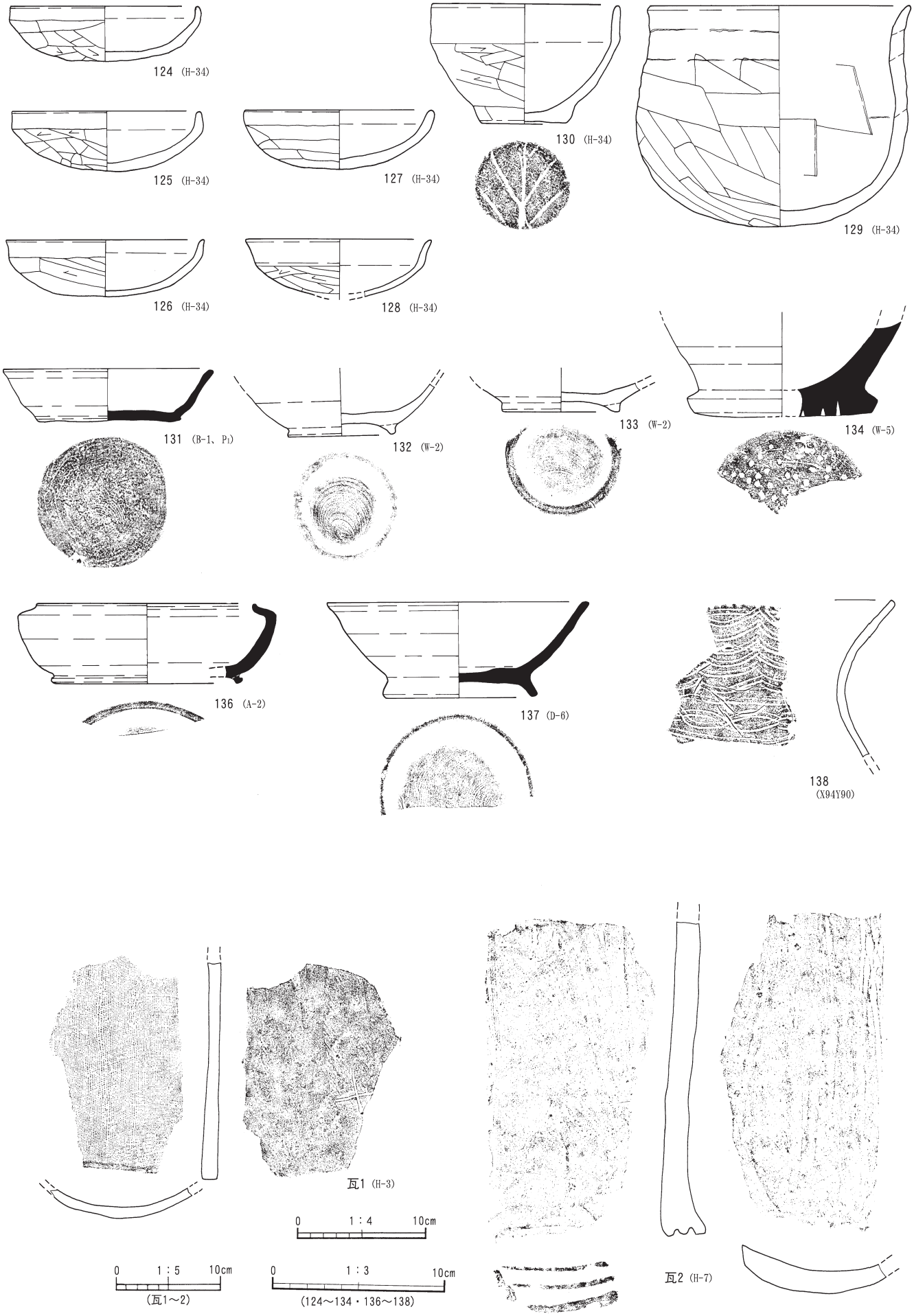


Fig.37　2トレンチH－34号住居・B－1号掘立柱建物・溝・土坑・遺構外出土の土器およびH－3、7号住居出土の瓦

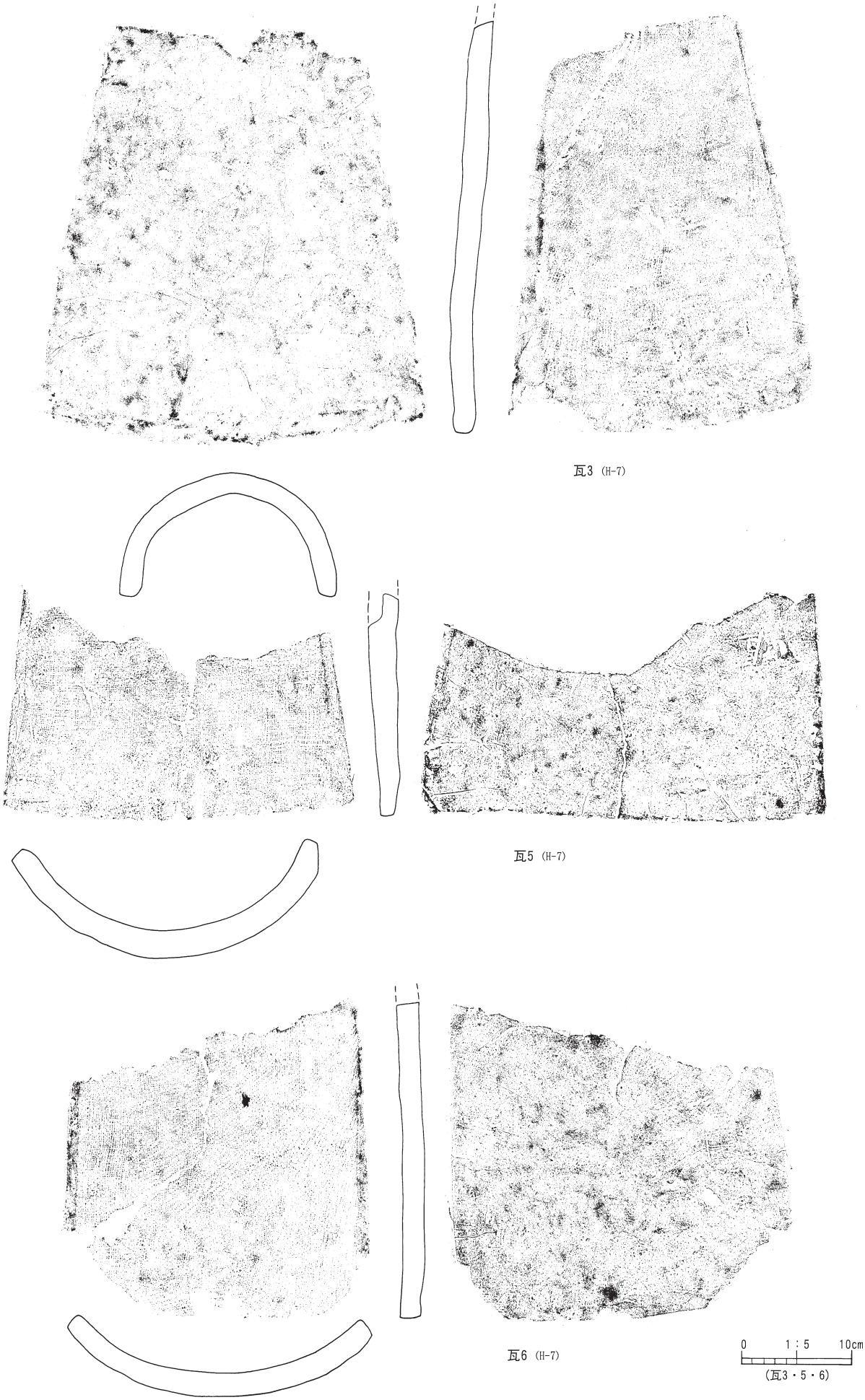


Fig.38　2トレンチH－7号住居出土の瓦

Fig.39　2トレンチH－7号住居出土の瓦

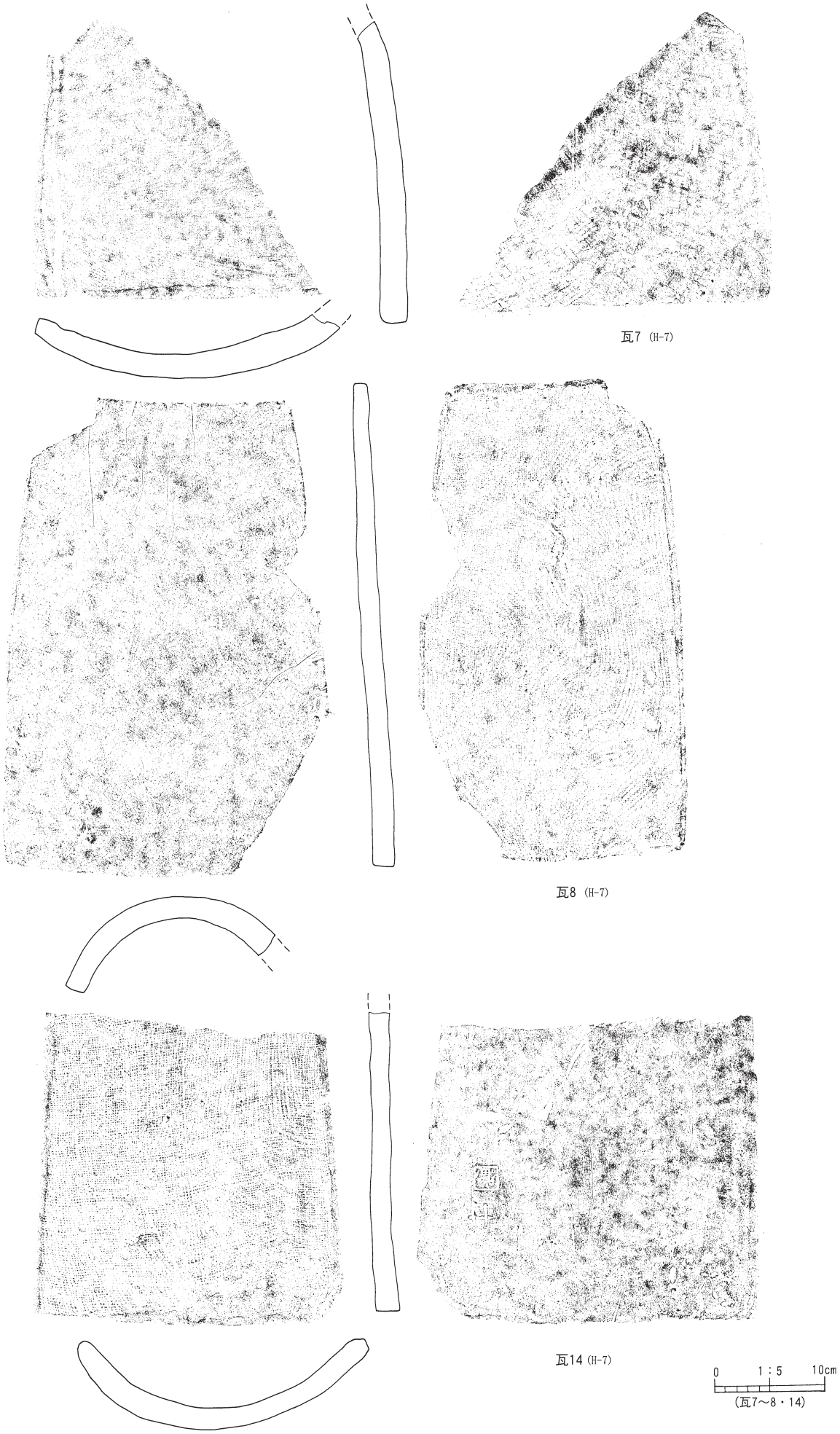


Fig.40　2トレンチH－7号住居出土の瓦

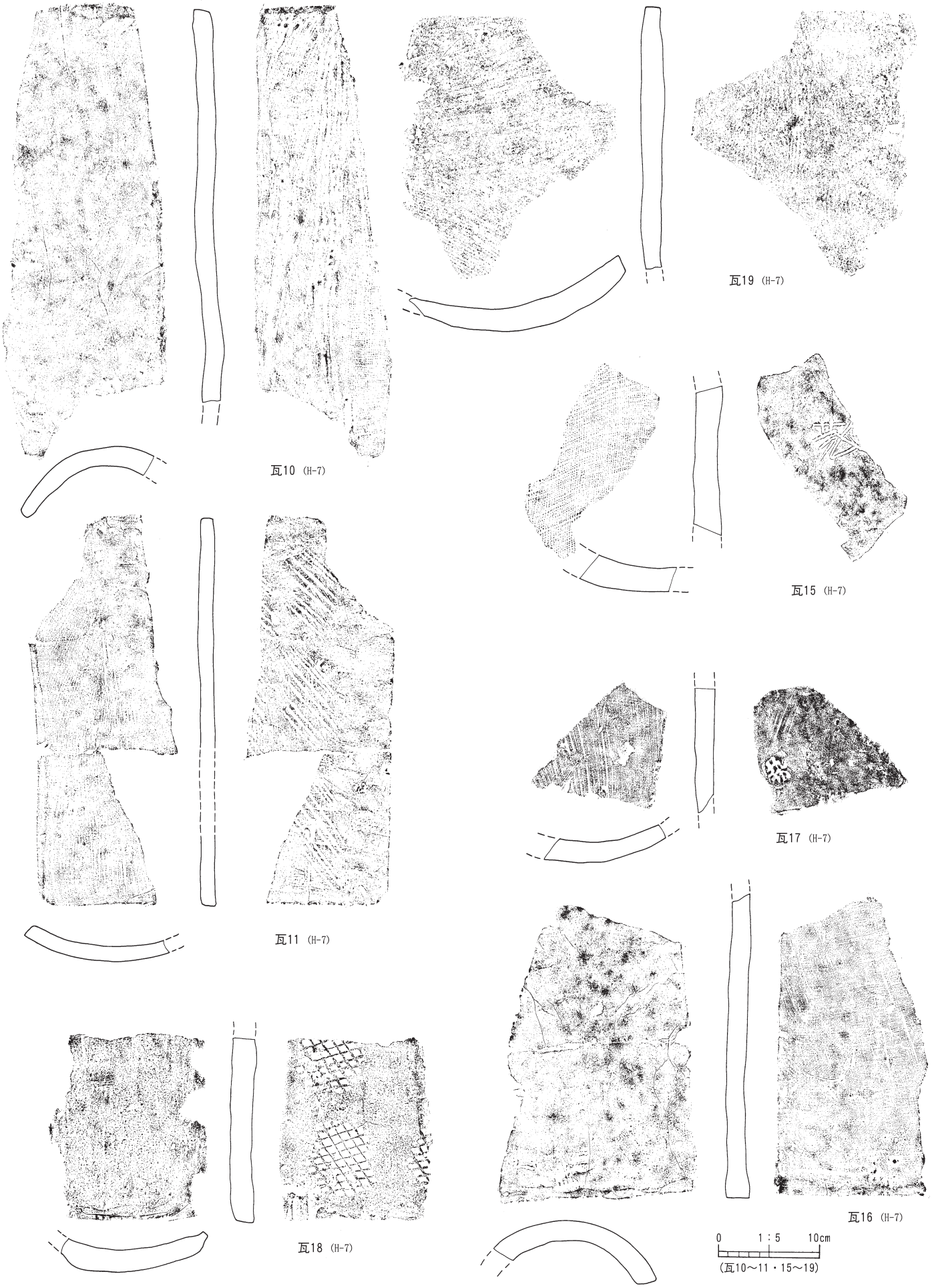


Fig.41　2トレンチH－7号住居出土の瓦

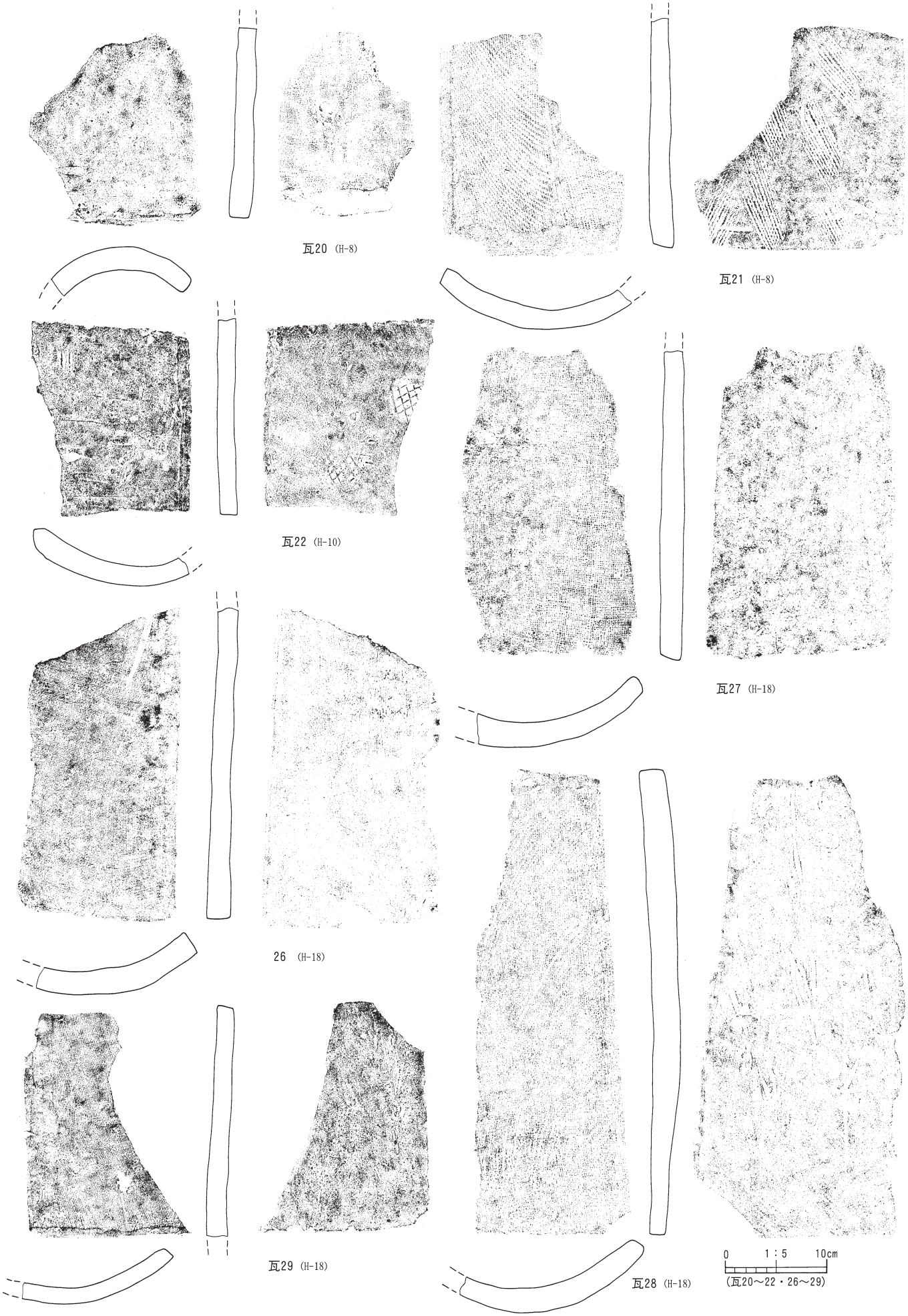
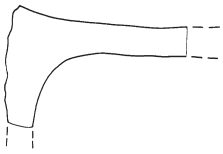
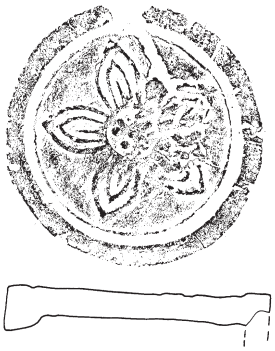


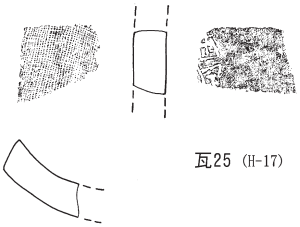
Fig.42　2トレンチH－8、10、18号住居出土の瓦



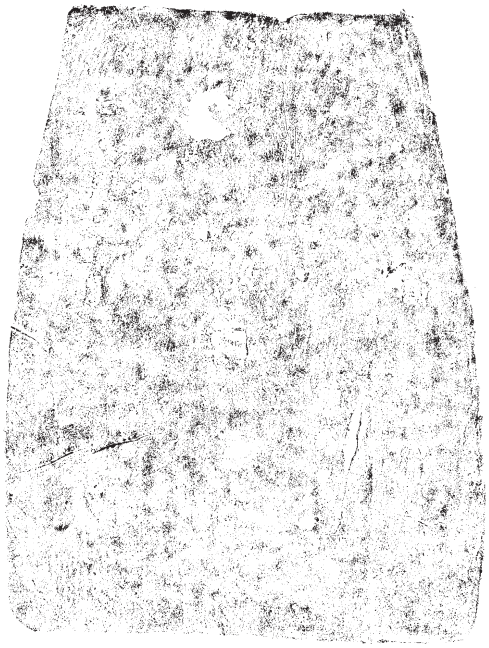
瓦23 (H-11)



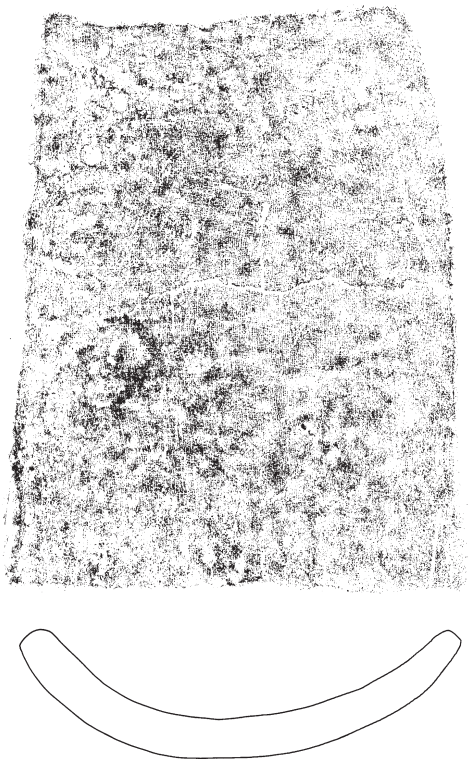
瓦24 (H-16)

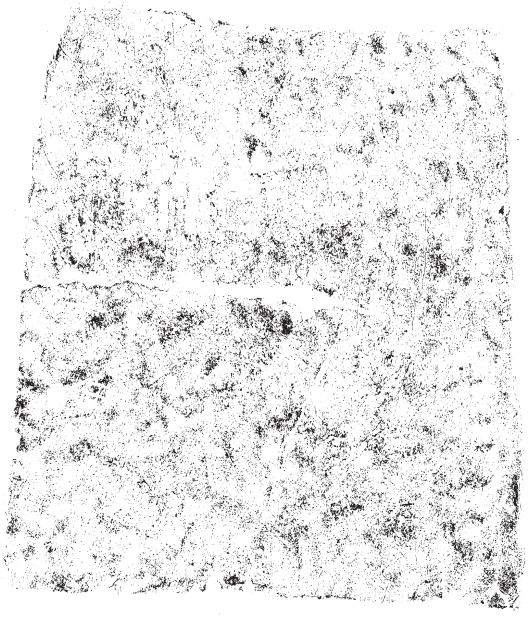


瓦25 (H-17)



瓦30 (H-32)

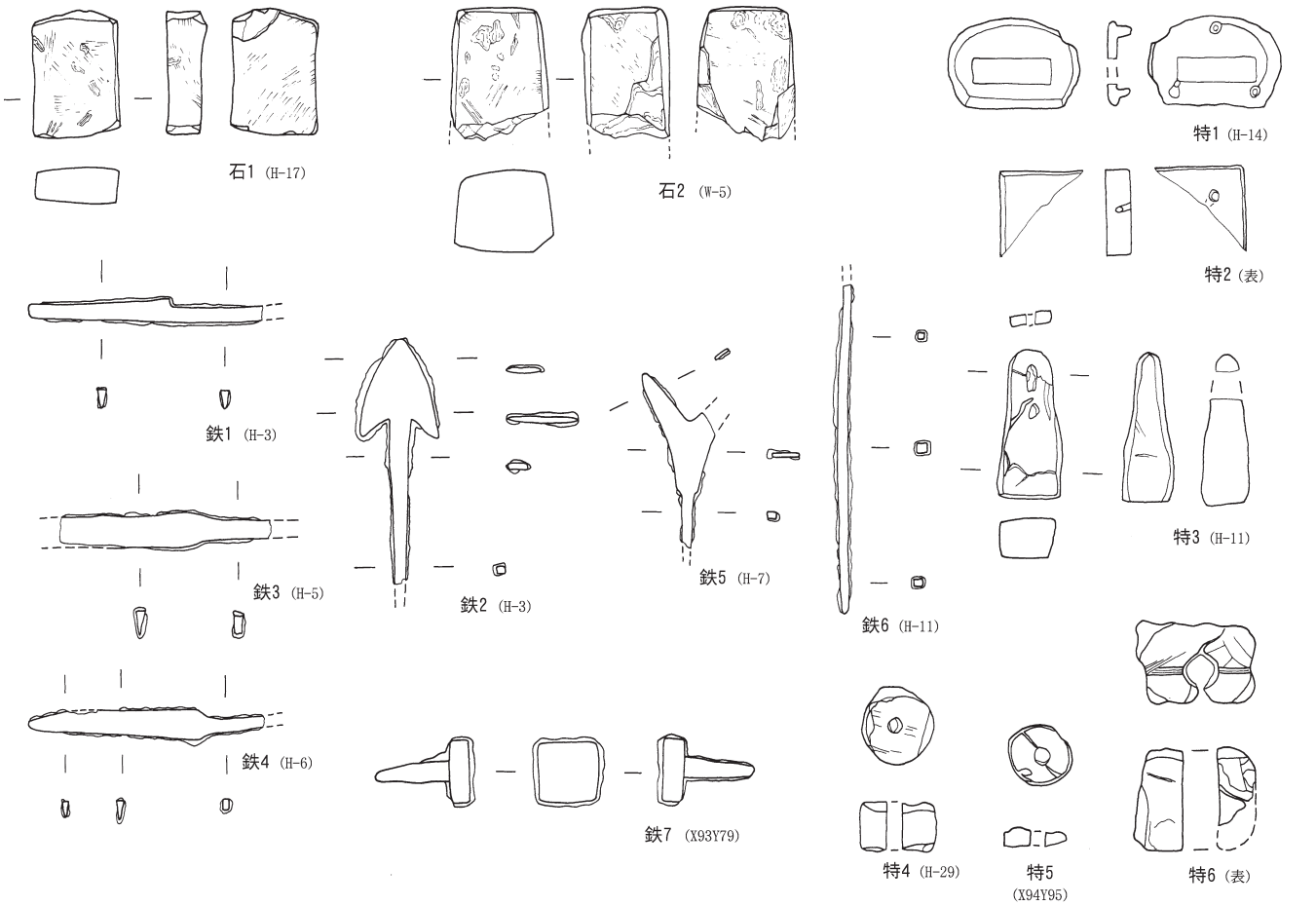




瓦31 (D-6)

0　1：5　10cm
(瓦23～25・30～31)

Fig.43　2トレンチH－11、16、17、32号住居・D－6号土坑出土の瓦



3トレンチ

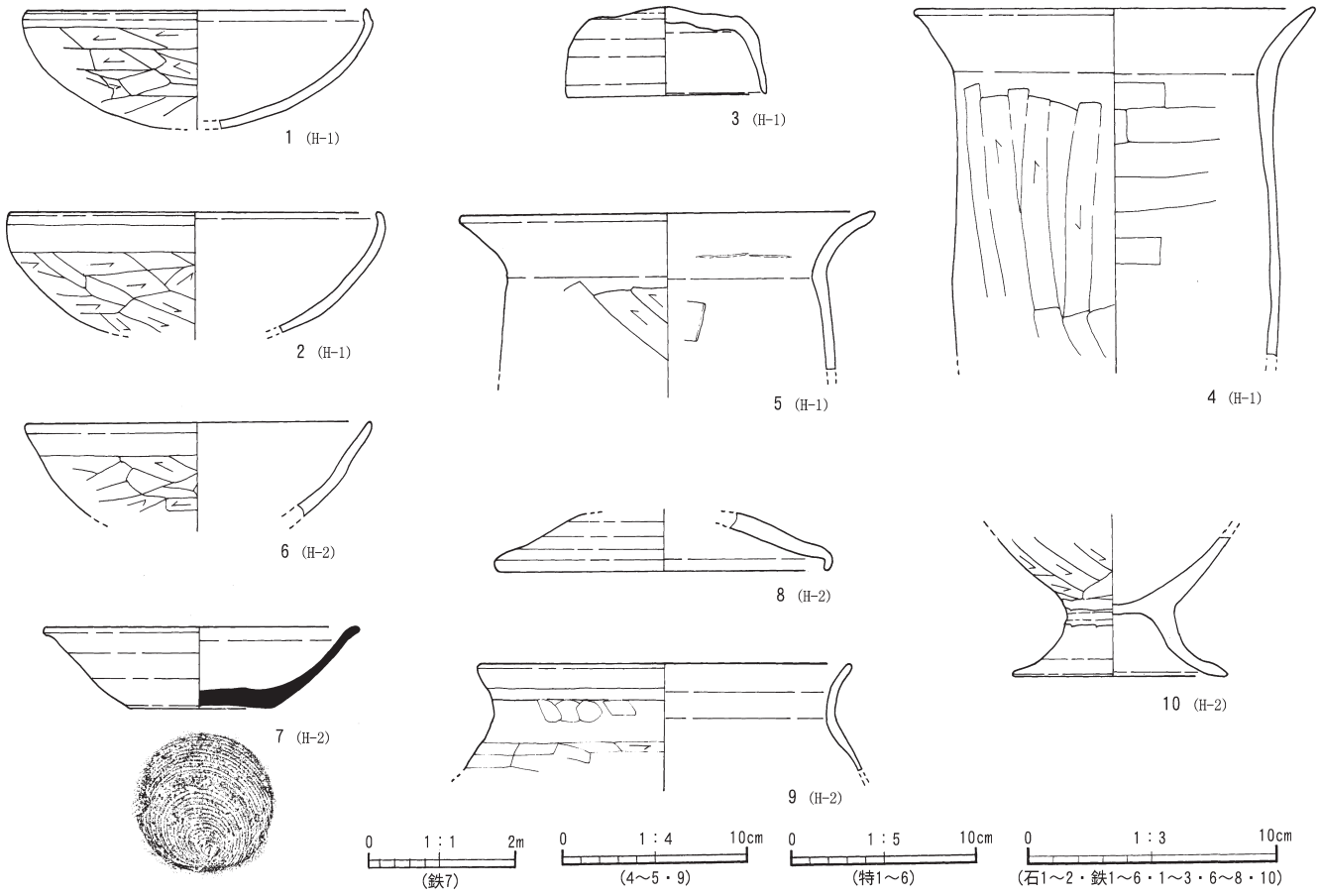


Fig.44　2トレンチ出土の石製品・鉄器・特殊遺物および3トレンチH－1、2号住居出土の土器

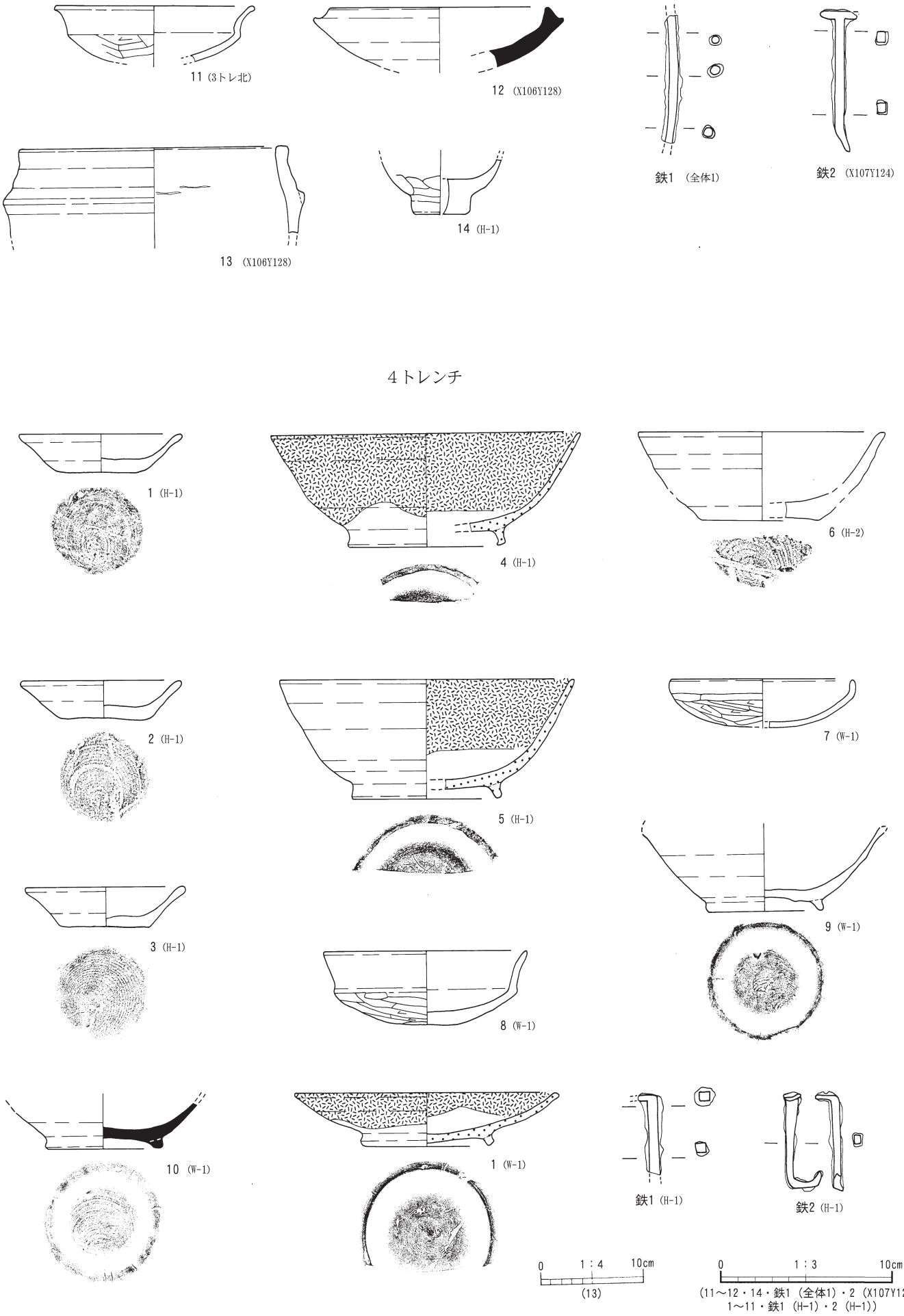
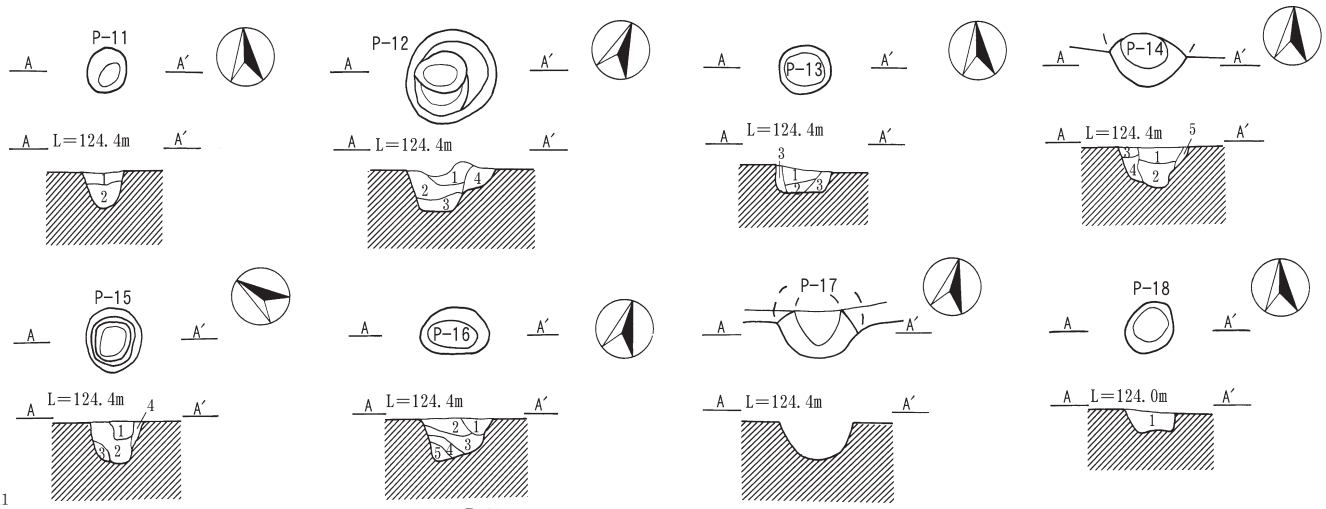


Fig.45　3トレンチ遺構外出土の土器・鉄器および4トレンチ出土の土器・鉄器



P-11
1　10YR2/2　黒褐　2～5㎜大の黄褐色土粒を7％含む。粒度中～小。しまりややゆるい。粘性ややある。
2　10YR2/2.5　黒褐　2～3㎜大の黄褐色土粒を2％含む。粒度小。しまりややゆるい。粘性ややある。

P-12
1　10YR2/2　黒褐　黄褐色土が5％しみ状に混在。As-C粒10%含む。粒度中～小。しまり・粘性ややある。
2　10YR3/3　暗褐　暗褐色土と黄褐色土のしみ状～粒状～小ブロック状混在。粒度中～大。しまりゆるく、粘性やや弱い。
3　10YR3/2　黒褐　2～8㎜大の黄褐色土粒・小ブロックを30%含む。粒度中。しまりややゆるい。粘性ややある。
4　10YR2/2　黒褐　暗黄褐色土が5％しみ状～団粒状に混在。As-C粒40%含む。粒度中～小。しまりある。粘性ややある。

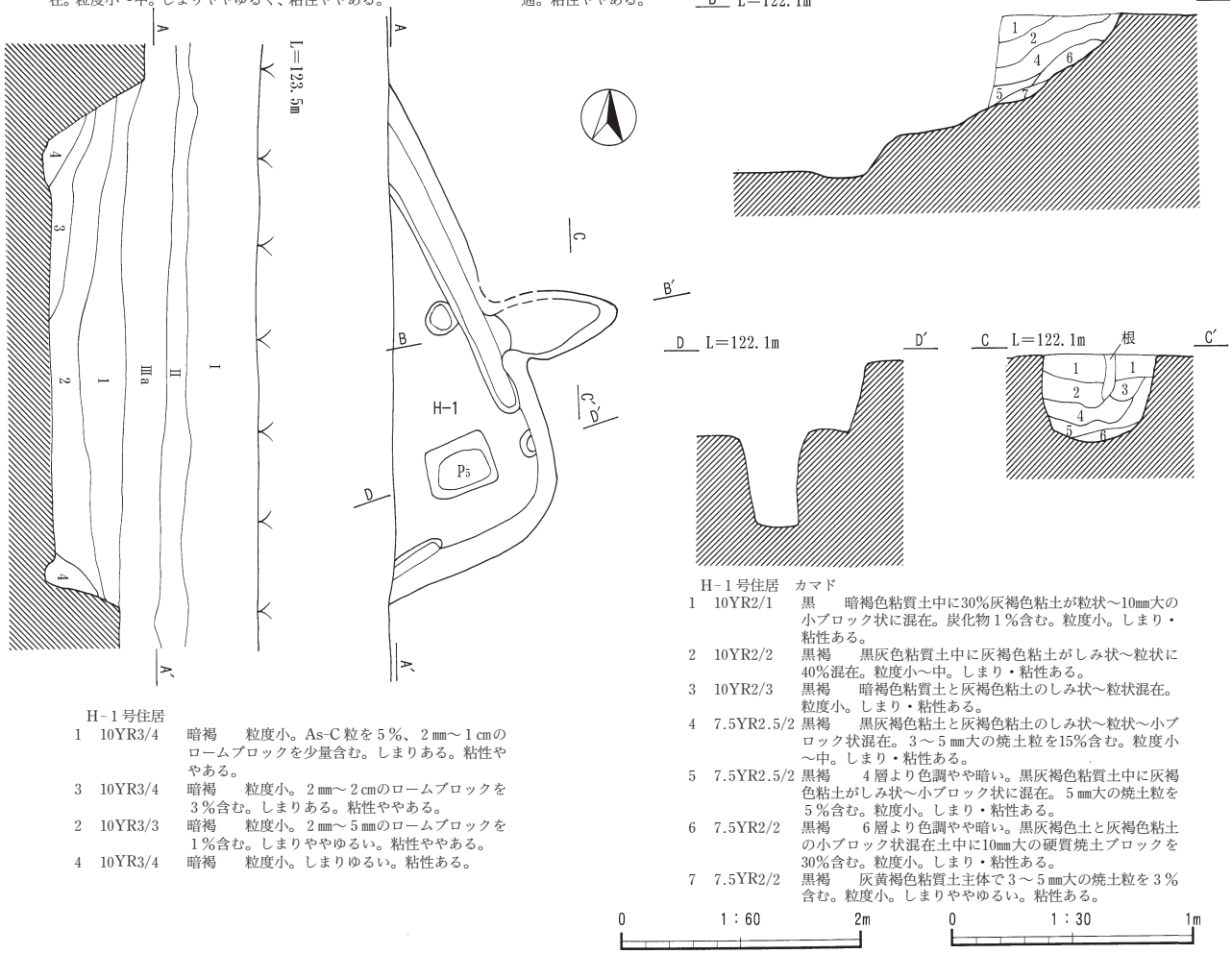
P-13
1　10YR2/2　黒褐　暗褐色土が5％しみ状混在。As-C粒3％含む。粒度小。しまりややゆるい。粘性ややある。
2　10YR2/2.5　黒褐　暗黄褐色土が15%しみ状～団粒状混在。As-C粒5％含む。粒度小。しまり・粘性ややある。
3　10YR3/3.5　暗褐　暗褐色土と黄褐色土のしみ状～団粒状混在。粒度小～中。しまりややゆるく、粘性ややある。

P-14
1　10YR2/2.5　黒褐　暗褐色土が2％しみ状混在。As-C粒10%含む。粒度中～小。しまりややゆるい。粘性ややある。
2　10YR2/2　黒褐　暗褐色土が2％団粒状に混在。As-C粒2％含む。粒度中。しまり普通。粘性ややある。
3　10YR3/2　黒褐　As-C粒7％含む。褐色土が20%しみ状混在。粒度小。しまりややゆるい。粘性ややある。
4　10YR3/3　暗褐　褐色土が40%しみ状混在。As-C粒小粒1％含む。粒度小～中。しまり普通。粘性ややある。
5　10YR2.5/2　黒褐　As-C粒小粒を1％以下で含む。粒度小。しまりややゆるい。粘性ややある。

P-15
1　10YR2/2　黒褐　黒褐色土中に褐色土が20%しみ状に混在。15㎜大の炭化物30%含む。粒度小。しまり緩め。粘性ややある。
2　10YR3/2.5　黒褐～暗褐　2～20㎜大の黄褐色土粒・小ブロックが20%混在。5㎜大の炭化物を5％含む。粒度小～中。しまりややゆるく、粘性ややある。
3　10YR3/2　黒褐　黄色・白色微粒を1％以下で含む。粒度小～極小。しまりゆるめで、粘性ややある。
4　10YR3/2.5　黒褐～暗褐　As-C粒1％含む。粒度小。しまり普通。粘性ややある。

P-16
1　10YR3/2.5　黒褐～暗褐　10㎜大の黄褐色土小ブロックを一部に含む。As-C粒3％含む。しまりある。粘性ややある。
2　10YR3/2　黒褐　As-C粒20%含む。粒度中～小。しまり普通。粘性ややある。
3　10YR3/2.5　黒褐～暗褐　含有粒子ほとんどない。粒度中～小。しまりややゆるく、粘性ある。
4　10YR2/2.5　黒褐　2㎜大の黄色粒子1％含む。粒度小～中。しまり・粘性ややある。
5　10YR3/3　暗褐　褐色土中に暗褐色土が30%しみ状混在。粒度小。やや柔らかく、しまりややゆるい。粘性ある。

P-18
1　10YR4/4　褐　暗褐色土中に5～20㎜大の黄褐色土粒・小ブロックが40%混在。粒度中～大。しまり普通。粘性ややある。

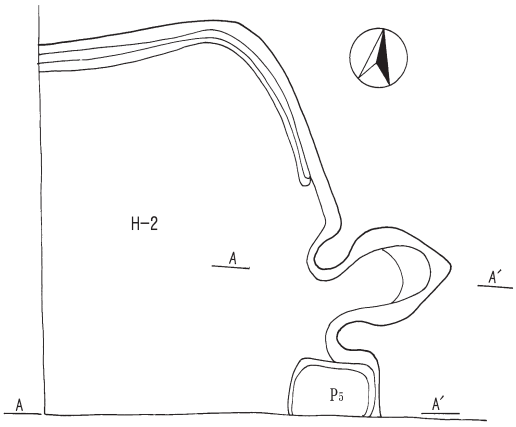


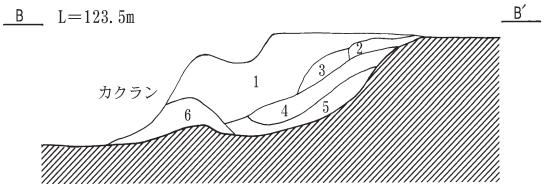
H-1号住居
1　10YR3/4　暗褐　粒度小。As-C粒を5％、2㎜～1㎝のロームブロックを少量含む。しまりある。粘性ややある。
3　10YR3/4　暗褐　粒度小。2㎜～2㎝のロームブロックを3％含む。しまりある。粘性ややある。
2　10YR3/3　暗褐　粒度小。2㎜～5㎜のロームブロックを1％含む。しまりややゆるい。粘性ややある。
4　10YR3/4　暗褐　粒度小。しまりゆるい。粘性ある。

H-1号住居　カマド
1　10YR2/1　黒　暗褐色粘質土中に30%灰褐色粘土が粒状～10㎜大の小ブロック状に混在。炭化物1％含む。粒度小。しまり・粘性ある。
2　10YR2/2　黒褐　黒灰色粘質土中に灰褐色粘土がしみ状～粒状に40%混在。粒度小～中。しまり・粘性ある。
3　10YR2/3　黒褐　暗褐色粘質土と灰褐色粘土のしみ状～粒状混在。粒度小。しまり・粘性ある。
4　7.5YR2.5/2　黒褐　黒灰褐色粘土と灰褐色粘土のしみ状～粒状～小ブロック状混在。3～5㎜大の焼土粒を15%含む。粒度小～中。しまり・粘性ある。
5　7.5YR2.5/2　黒褐　4層より色調やや暗い。黒灰褐色粘質土中に灰褐色粘土がしみ状～小ブロック状に混在。5㎜大の焼土粒を5％含む。粒度小。しまり・粘性ある。
6　7.5YR2/2　黒褐　6層より色調やや暗い。黒灰褐色土と灰褐色粘土の小ブロック状混在土中に10㎜大の硬質焼土ブロックを30%含む。粒度小。しまり・粘性ある。
7　7.5YR2/2　黒褐　灰黄褐色粘質土主体で3～5㎜大の焼土粒を3％含む。粒度小。しまりややゆるい。粘性ある。

0　1：60　2m　　0　1：30　1m

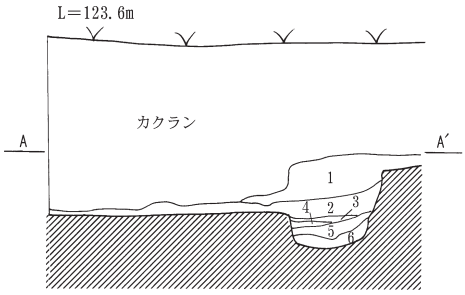
Fig.26　2トレンチ　P－11～18　3トレンチH－1号住居





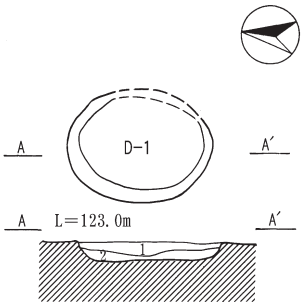
H－２号住居

1　10YR3/4　暗褐　粒度小。As-C 粒を３％含む。しまりある。粘性ややある。
2　10YR3/4　暗褐　粒度小。As-C 粒を１％含む。しまりある。粘性ややある。
3　10YR5/2　灰黄褐　粒土極小。粘土主体。しまりあり非常に硬い。粘性ある。
4　10YR4/3　にぶい黄褐　粒度小。灰を30％、焼土を30％含む。しまりややゆるい。粘性ある。
5　10YR3/4　暗褐　粒度小。焼土を30％含む。しまりややゆるい。粘性ある。
6　10YR4/4　褐　粒度小。ロームブロック主体。焼土を20％含む。しまりややゆるい。粘性ややある。



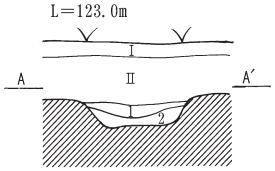
H－２号住居　カマド

1　10YR3/4　暗褐　As-C 粒をごく少量含む。焼土ブロックの散らばりを含む。
2　10YR4/6　褐　灰色粘土を20％、炭化物を10％、焼土を若干含む。しまりややゆるい。粘性ある。
3　10YR3/4　暗褐　炭化物を５％、焼土を３％含む。しまりややゆるい。粘性ある。
4　10YR4/3　にぶい黄褐　全体的に焼土を含み、炭化物３％、灰色粘土を含む。しまりゆるい。粘性ある。
5　10YR3/4　暗褐　焼土の散らばりを含む。しまりゆるい。粘性強い。
6　10YR4/3　にぶい黄褐　炭化物・焼土の散らばりを含む。しまりゆるい。粘性強い。ブロック状。



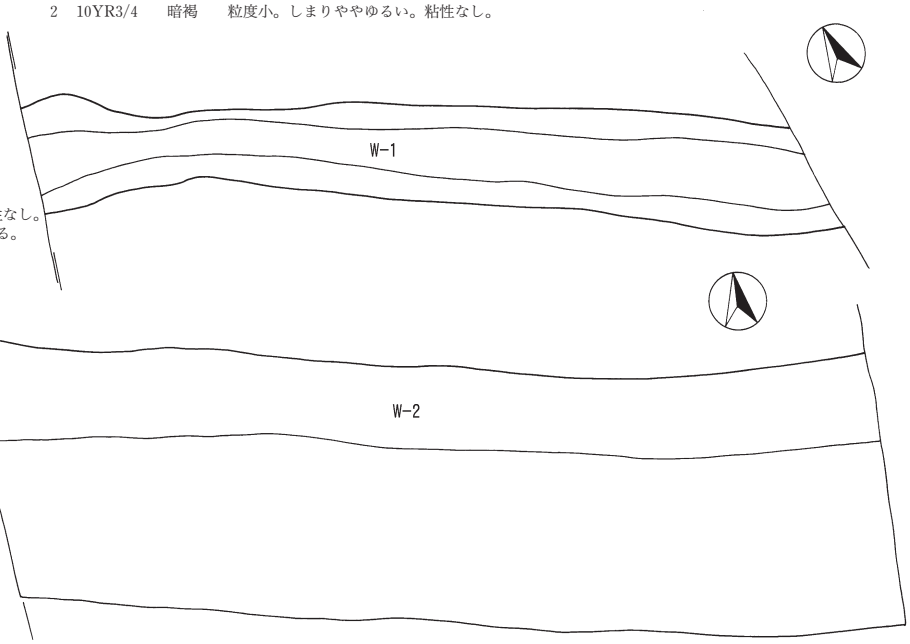
D－１号土坑

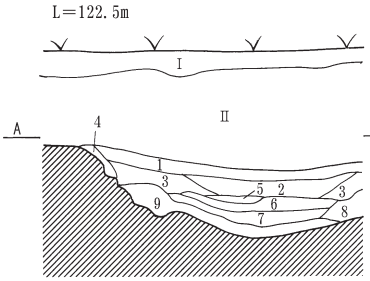
1　10YR3/4　暗褐　粒度小。As-C 粒を３％含む。しまりある。粘性なし。
2　10YR3/4　暗褐　粒度小。しまりややゆるい。粘性なし。



W－１号溝

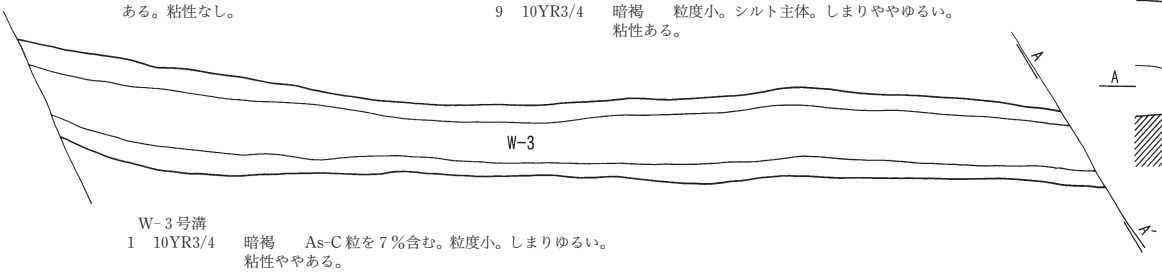
1　10YR3/4　暗褐　粒度小。As-B 主体。しまりゆるい。粘性なし。
2　10YR3/4　暗褐　粒度小。しまりややゆるい。粘性ややある。

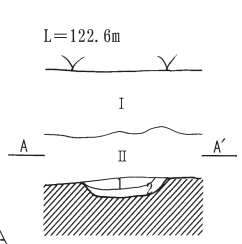




W－２号溝

1　10YR3/4　暗褐　粒度小。As-B を２％含む。しまりある。粘性なし。
2　10YR3/4　暗褐　粒度小。As-B を１％含む。部分的に非常に硬い層を含む。しまりある。粘性なし。
3　10YR3/4　暗褐　粒度小。As-B を２％含む。しまりある。粘性なし。
4　10YR3/4　暗褐　粒度小。As-B を５％含む。硬い層。しまりある。粘性なし。
5　10YR3/4　暗褐　粒度小。６層が非常に硬くなった層。しまりある。粘性なし。
6　10YR3/4　暗褐　粒度小。砂利層。しまりゆるい。粘性なし。
7　10YR3/4　暗褐　粒度小。炭化物ブロックをごく少量含む。しまりある。粘性ややある。
8　10YR3/3　暗褐　粒度小。シルトを40％含む。しまりややゆるい。粘性ある。
9　10YR3/4　暗褐　粒度小。シルト主体。しまりややゆるい。粘性ある。



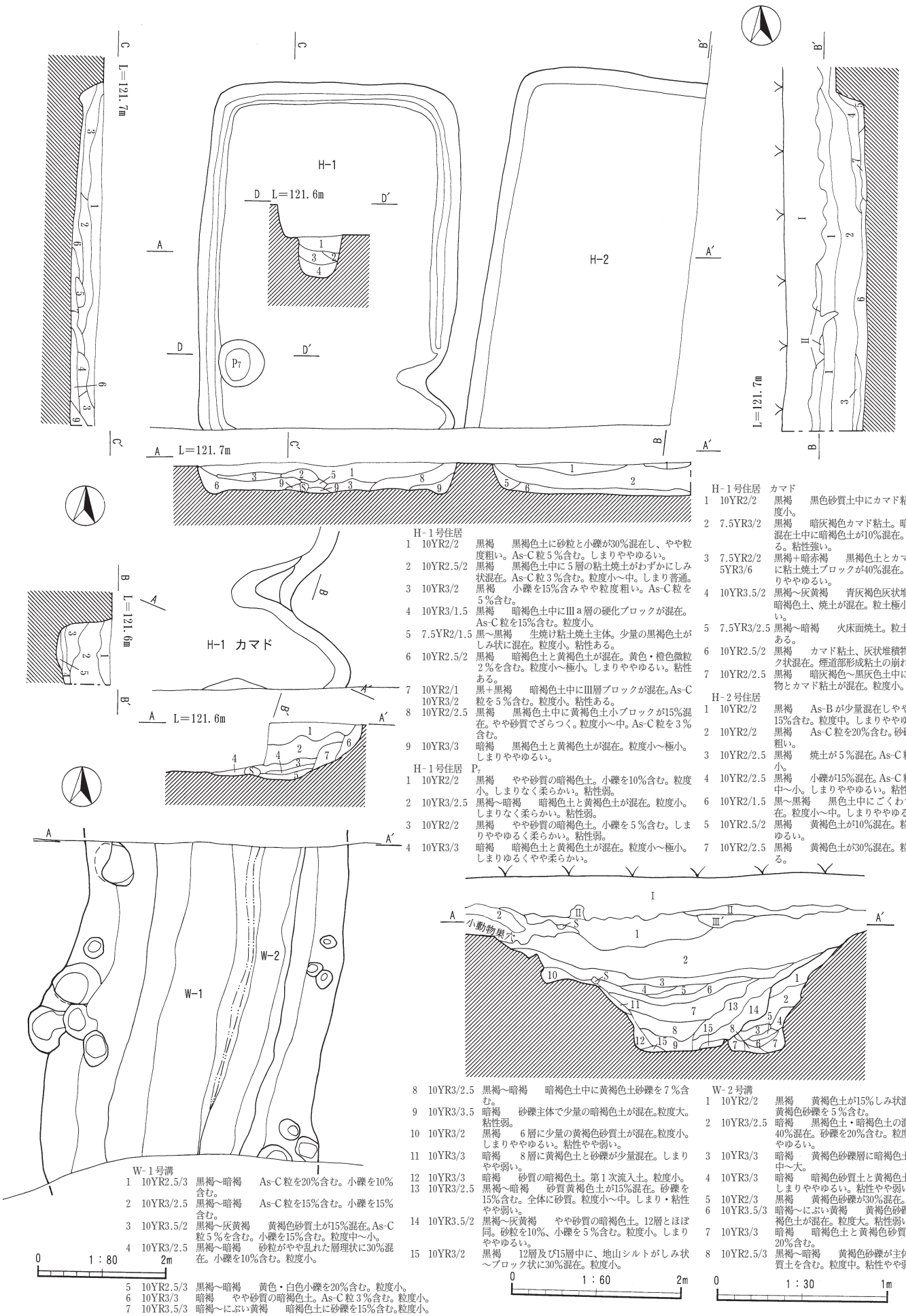


W－３号溝

1　10YR3/4　暗褐　As-C 粒を７％含む。粒度小。しまりゆるい。粘性ややある。
2　10YR3/4　暗褐　As-C 粒を３％含む。粒度小。しまりややゆるい。粘性ある。

0　1：60　2m　　0　1：30　1m

Fig.27　３トレンチＨ－２号住居・Ｗ－１～３号溝・Ｄ－１号土坑



H－1号住居

1 10YR2/2 黒褐 黒褐色土に砂粒と小礫が30%混在し、やや粒度粗い。As-C粒５%含む。しまりややゆるい。
2 10YR2.5/2 黒褐 黒褐色土中に５層の粘土焼土がわずかにしみ状混在。As-C粒３%含む。粒度小～中。しまり普通。
3 10YR3/2 黒褐 小礫を15%含みやや粒度粗い。As-C粒を５%含む。
4 10YR3/1.5 黒褐 暗褐色土中にⅢa層の硬化ブロックが混在。As-C粒を15%含む。粒度小。
5 7.5YR2/1.5 黒～黒褐 生焼け粘土焼土主体。少量の黒褐色土がしみ状に混在。粒度小。粘性ある。
6 10YR2.5/2 黒褐 暗褐色土と黄褐色土が混在。黄色・橙色微粒２%を含む。粒度小～極小。しまりややゆるい。粘性ある。
7 10YR2/1 10YR3/2 黒＋黒褐 暗褐色土中にⅢ層ブロックが混在。As-C粒を５%含む。粒度小。粘性ある。
8 10YR2/2.5 黒褐 黒褐色土中に黄褐色土小ブロックが15%混在。やや砂質でざらつく。粒度小～中。As-C粒を３%含む。
9 10YR3/3 暗褐 黒褐色土と黄褐色土が混在。粒度小～極小。しまりややゆるい。

H－1号住居 P_7

1 10YR2/2 黒褐 やや砂質の暗褐色土。小礫を10%含む。粒度小。しまりなく柔らかい。粘性弱。
2 10YR3/2.5 黒褐～暗褐 暗褐色土と黄褐色土が混在。粒度小。しまりなく柔らかい。粘性弱。
3 10YR2/2 黒褐 やや砂質の暗褐色土。小礫を５%含む。しまりややゆるく柔らかい。粘性弱。
4 10YR3/3 暗褐 暗褐色土と黄褐色土が混在。粒度小～極小。しまりゆるくやや柔らかい。

H－1号住居 カマド

1 10YR2/2 黒褐 黒色砂質土中にカマド粘土が10%混在。粒度小。
2 7.5YR3/2 黒褐 暗灰褐色カマド粘土。暗赤褐色粘土焼土の混在土中に暗褐色土が10%混在。粒度小。しまりある。粘性強い。
3 7.5YR2/2 5YR3/6 黒褐＋暗赤褐 黒褐色土とカマド粘土の混在土中に粘土焼土ブロックが40%混在。粒度小～中。しまりややゆるい。
4 10YR3.5/2 黒褐～灰黄褐 青灰褐色灰状堆積物主体。少量の暗褐色土、焼土が混在。粒土極小。しまりややゆるい。
5 7.5YR3/2.5 黒褐～暗褐 火床面焼土。粒土極小。しまりややある。
6 10YR2.5/2 黒褐 カマド粘土、灰状堆積物、黒色土がブロック状混在。煙道部形成粘土の崩れた土層。
7 10YR2/2.5 黒褐 暗灰褐色～黒灰色土中にわずかに灰状堆積物とカマド粘土が混在。粒度小。

H－2号住居

1 10YR2/2 黒褐 As-Bが少量混在しやや砂質。As-C粒を15%含む。粒度中。しまりややゆるい。
2 10YR2/2 黒褐 As-C粒を20%含む。砂礫を含み、粒度やや粗い。
3 10YR2/2.5 黒褐 焼土が５%混在。As-C粒を１%含む。粒度小。
4 10YR2/2.5 黒褐 小礫が15%混在。As-C粒を10%含む。粒度中～小。しまりややゆるい。粘性小。
6 10YR2/1.5 黒～黒褐 黒色土中にごくわずか黄褐色土が混在。粒度小～中。しまりややゆるい。
5 10YR2.5/2 黒褐 黄褐色土が10%混在。粒度小。しまりややゆるい。
7 10YR2/2.5 黒褐 黄褐色土が30%混在。粒度小。粘性ややある。
8 10YR3/2.5 黒褐～暗褐 暗褐色土中に黄褐色土砂礫を７%含む。
9 10YR3/3.5 暗褐 砂礫主体で少量の暗褐色土が混在。粒度大。粘性弱。
10 10YR3/2 黒褐 ６層に少量の黄褐色砂質土が混在。粒度小。しまりややゆるい。粘性やや弱い。
11 10YR3/3 暗褐 ８層に黄褐色土と砂礫が少量混在。しまりやや弱い。
12 10YR3/3 暗褐 砂質の暗褐色土。第１次流入土。粒度小。
13 10YR3/2.5 黒褐～暗褐 砂質黄褐色土が15%混在。砂礫を15%含む。全体に砂質。粒度小～中。しまり・粘性やや弱い。
14 10YR3.5/2 黒褐～灰黄褐 やや砂質の暗褐色土。12層とほぼ同。砂粒を10%、小礫を５%含む。粒度小。しまりややゆるい。
15 10YR3/2 黒褐 12層及び15層中に、地山シルトがしみ状～ブロック状に30%混在。粒度小。

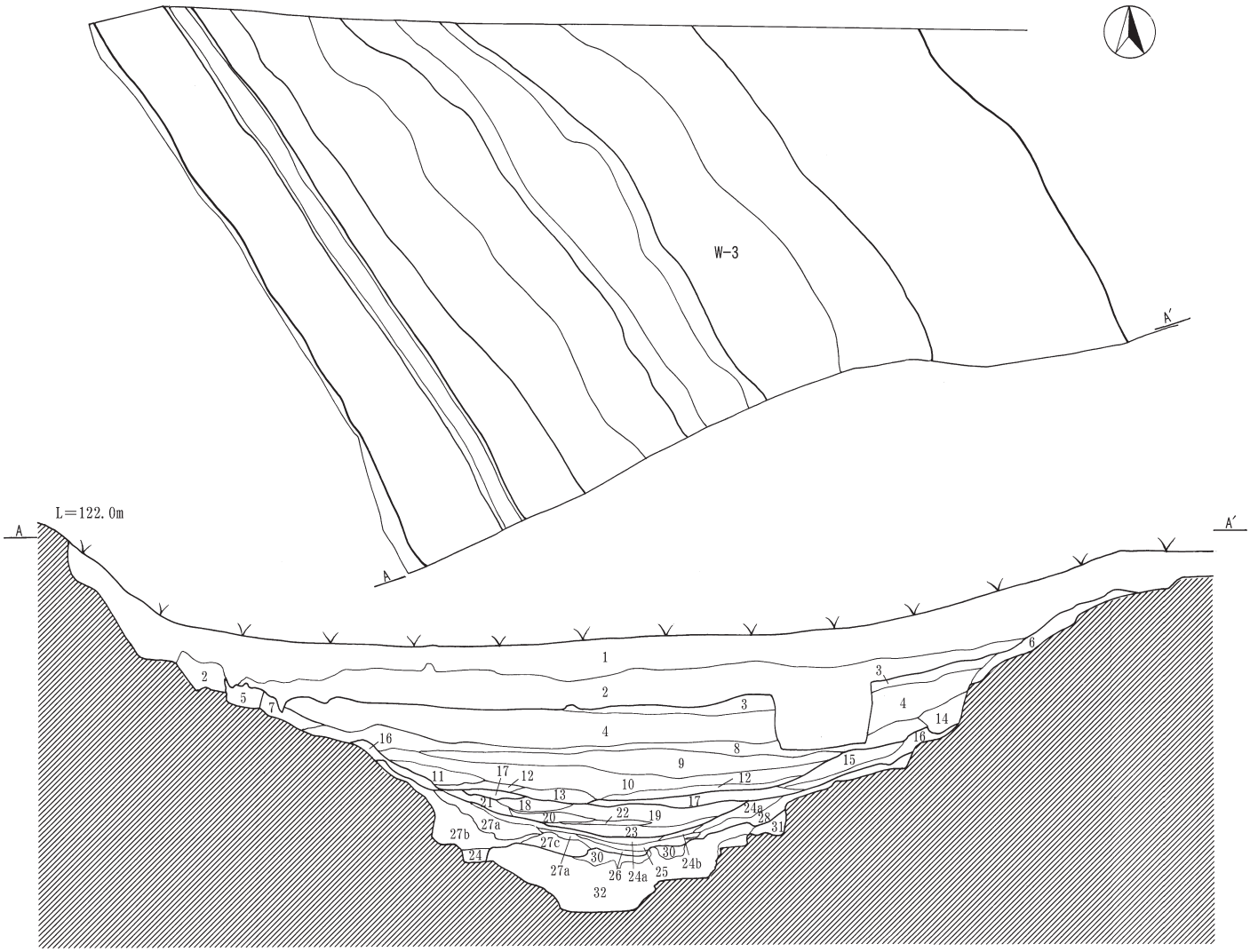
W－1号溝

1 10YR2.5/3 黒褐～暗褐 As-C粒を20%含む。小礫を10%含む。
2 10YR3/2.5 黒褐～暗褐 As-C粒を15%含む。小礫を15%含む。
3 10YR3.5/2 黒褐～灰黄褐 黄褐色砂質土が15%混在。As-C粒５%を含む。小礫を15%含む。粒度中～小。
4 10YR3/2.5 黒褐～暗褐 砂粒がやや乱れた層理状に30%混在。小礫を10%含む。粒度小。
5 10YR2.5/3 黒褐～暗褐 黄色・白色小礫を20%含む。粒度小。
6 10YR3/3 暗褐 やや砂質の暗褐色土。As-C粒３%含む。粒度小。
7 10YR3.5/3 暗褐～にぶい黄褐 暗褐色土に砂礫を15%含む。粒度小。

W－2号溝

1 10YR2/2 黒褐 黄褐色土が15%しみ状混在。As-C粒10%、黄褐色砂礫を５%含む。
2 10YR3/2.5 暗褐 黒褐色土・暗褐色土の混在土に黄褐色土が40%混在。砂礫を20%含む。粒度小～中。しまりややゆるい。
3 10YR3/3 暗褐 黄褐色砂礫層に暗褐色土が15%混在。粒度中～大。
4 10YR3/3 暗褐 暗褐色砂質土と黄褐色土が混在。粒度小。しまりややゆるい。粘性やや弱い。
5 10YR2/3 黒褐 黄褐色砂礫が30%混在。粒度中。
6 10YR3.5/3 暗褐～にぶい黄褐 黄褐色砂礫が主体。少量の暗褐色土が混在。粒度大。粘性弱い。
7 10YR3/3 暗褐 暗褐色土と黄褐色砂質土が混在。砂礫を20%含む。
8 10YR2.5/3 黒褐～暗褐 黄褐色砂礫が主体。少量の暗褐色砂質土を含む。粒度中。粘性やや弱い。

Fig.28 ４トレンチH－１、２号住居・W－１、２号溝



W-３号溝

１層群

1　10YR3/2　黒褐　現行表土層。

2　10YR3/2.5　黒褐～暗褐　ややにぶい色調。旧表土。As-B 軽石と考えられる砂を多く含み、やや砂質。５㎜大の小礫、10㎜大の地山黄褐色砂質土小ブロックを５％含む。粒度小。しまり・粘性普通。

２層群　堀跡上部覆土層。中世陶器、素焼き土器等が出土する。As-B と考えられる砂を含み、全体に砂質。

3　10YR3/2　黒褐　下位の４層とほぼ同じ土質の、やや砂質の暗褐色土。ただし、色調が暗い。

4　10YR3/3.5　暗褐　５～８㎜大の地山黄褐色砂礫やテフラー等の粒子を10％含む。粒度小～中。しまり・粘性ややある。やや赤味を帯びる。

5　10YR3/3　暗褐　黒褐色土、暗褐色土、40㎜大の地山の凝灰質砂岩ブロックの混在土。通路状遺構の覆土。

6　10YR3.5/2　黒褐～灰黄褐　砂質暗褐色土～黒褐色土中に地山黄褐色砂質土と灰褐色シルトが少量しみ状に混在。粒度小。しまり・粘性普通。

7　10YR4/2　灰黄褐　４層中に黄褐色砂質土がしみ状に混在。10㎜大の砂質黄褐色土粒～小ブロックを20％含む。粒度中。しまり・粘性ややある。

8　10YR3/3.5　暗褐　５層の砂質暗褐色土中に、灰白～灰褐色シルトが少量混在し、色調が白っぽくなる。

9　10YR3.5/3　暗褐～にぶい黄褐　As-B を多量に含む。地山黄褐色砂礫・黄褐色砂質土粒～小ブロックを７％程含む。粒度小～中。しまり普通。粘性ややある。

10　10YR3/2.5　黒褐～暗褐　As-B を多量に含む砂質土。２～３㎜大の黄色・白色粒子を３％含む。粒度小～中。他層と比べやや緻密。しまり・粘性ややある。

11　10YR3/3　暗褐　10層の砂質土中に15㎜大の地山黄褐色砂質土小ブロックを３％、３～６㎜大のシルト粒を10％含む。粒度小～中。しまり普通。粘性ややある。

12　10YR3/4　暗褐　暗褐色砂質土中に地山灰褐色シルトが20％しみ状に混在。８㎜大の同層小粒を５％含む。粒度小。しまり・粘性ややある。西側では黄褐色砂質土と少量混在。

13　10YR3/3　暗褐　12層とほぼ同じであるが、シルトの混在量が少ない。

14　10YR3/2.5　黒褐～暗褐　８層の暗褐色砂質土中に10～15㎜大の小礫を含み、粒度やや粗い。30㎜大の凝灰質砂岩小ブロックを15％含む。粒度中。しまりややある。粘性普通。

３層群　堀跡下部覆土。As-B 混在土と地山シルトの混在層。

15　10YR3.5/2　黒褐～灰黄褐　暗褐色砂質土中に地山シルトが30％しみ状に混在。同層小ブロック～粒を10％含む。８㎜大の黄褐色砂質土粒を３％含む。粒度小～中。しまりややある。粘性ある。

16　10YR3/3　暗褐　暗褐色砂質土と地山シルトのしみ状～ブロック状混在。粒度小。しまり・粘性ある。

17　10YR3/2.5　黒褐～暗褐　暗褐色砂質土中に地山シルトが10％しみ状に混在。一部に50～80㎜大の黄褐色砂質土ブロックを含む。粒度小。しまり普通。粘性ややある。

４層群　一部に硬化面を含む土層群。堀が半ば埋没した段階での通路利用が考えられる。４層群以上では硬化層は認められないため、４層群以上の埋没は早かったと考えられる。

18　10YR3/3　暗褐　暗褐色砂質土層。層底面には２～０㎜の砂礫層があり、その上、層中位に硬化層がある。含有粒子あまりない。粒度小～極小。しまり大。粘性ややある。

19　10YR3/3　暗褐　暗褐色砂質土中に砂質黄褐色土粒と15～30㎜大の凝灰質砂岩小ブロックを30％含む。粒度小～中。しまりある。粘性ややある。

20　10YR3/2.5　黒褐～暗褐　暗褐色砂質土の硬化層と２～０㎜の砂層の層理状混在層。層理の厚さは10～30㎜程。含有粒子あまりない。粒度小。堅くしまる。粘性普通。

21　10YR3/3　暗褐　砂質暗褐色土中に地山黄褐色砂質土が10％しみ状混在。10㎜大の黄褐色土粒を５％含む。粒度小～中。しまり普通。粘性ややある。

22　10YR2.5/3　黒褐～暗褐　10～０㎜の砂礫層。層中位がやや硬化する。粒度小～中。しまり大。粘性やや弱い。

23　10YR3/2.5　黒褐～暗褐　やや砂質の粘質土層。５～６㎜大の黄褐色土粒を７％含む。粒度小。しまりある。粘性ややある。層上面の30～40㎜が硬化する。層下位に20㎜の厚さで０～１㎜の砂層がある。しまり良い。層上面が硬化する。

５層群　堀跡底面付近の硬化層群。堀構築直後の通路利用が考えられる。

24　10YR3/2～10YR3/3　黒褐～暗褐　やや砂質の粘質土。24ａ層は層中に硬化層が２～４枚層理状に認められる。24b 層は１㎜以下の砂粒を多く含み、明瞭に硬化面は認められないが、層全体がよくしまる。24c 層は砂質粘質土中に灰褐色シルトがしみ状～小ブロック状に20％混在。層理状の硬化面は顕著でないが、層全体が良くしまる。

25　10YR3/3　暗褐　砂質粘質土。０～２㎜の砂層。シルト小ブロックを含む砂層の層理状混在層。下位に10～20㎜の厚さで砂層がある。各層理の厚さは10～20㎜程。硬化面は薄く、４～５枚認められる。

26　10YR3/4　暗褐　砂質粘質土中に地山黄褐色砂質土、灰褐色シルトが40％小ブロック状に混在。層中に３～４枚の硬化層が認められるが、明瞭な層理状堆積をしていない。粒度小～極小。しまり大。

27　10YR4/3～10YR4/4　にぶい黄褐～褐　総社砂層上半部各層の30～200㎜までのブロック主体層。27ａ層は20～80㎜大の黄褐色砂質土ブロック主体で、上面に硬化面がある。27b 層は60～200㎜大の黄褐色砂質土ブロック、凝灰質砂岩質ブロックの混在。27c 層は20～60㎜大の凝灰質砂岩質ブロック主体。各層ともしまりある。

28　10YR4/2　灰黄褐　暗褐色砂質粘質土と地山灰褐色シルト質粘土のしみ状～小ブロック状混在。粒度小～極小。しまり・粘性ややある。

29　10YR4/3　にぶい黄褐　20～40㎜大の地山シルト質粘土ブロックと地山砂質土の混在層。やや層理状を呈す。層底面に５～０㎜の砂礫層がある。

６層群　地山砂質粘土、シルト、砂層のブロックを主体とする層。埋め戻して堀底面を形成した層と考えられる。

30　10YR3/2.5　黒褐～暗褐　暗褐色砂質土と地山の砂層が混在。粒度小。しまり普通。粘性ややある。

31　10YR3/3　暗褐　地山シルト、凝灰質砂岩、地山硬質砂層の30～250㎜大ブロック主体。ブロック間には空隙が目立つ。層底面に５～０㎜の砂礫層がある。

32　10YR4/1.5　褐灰～灰黄褐　地山砂層が主体で少量の暗褐色土と混在。粒度小。しまり・粘性ややある。

0　1：120　4m　　0　1：80　2m

Fig.29　４トレンチW－３号溝

元総社蒼海遺跡群(1)　1トレンチ

1トレンチ全景（北から）

H－1号住居全景（東から）

H－1号住居遺物出土状態（西から）

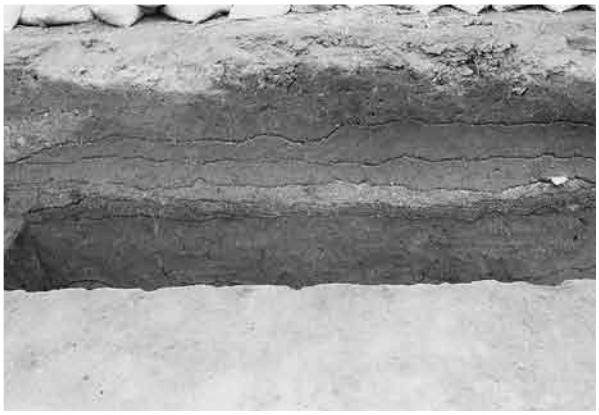
B－1号掘立柱建物跡全景（東から）

W－1号溝全景（西から）

W－２号溝全景（北西から）

A－１号硬化面確認状況（西から）

A－１号硬化面検出状況（西から）



A－１号硬化面土層断面（東から）

A－２号硬化面検出状況（南東から）

D－１号土坑全景（西から）

D－３号土坑全景（南西から）

D－４・５号土坑全景（北西から）

元総社蒼海遺跡群(1)　２トレンチ

２トレンチ北全景（南から）

２トレンチ南全景（南西から）

Ｈ－２・18号住居全景（西から）

Ｈ－２号住居カマド検出状況（西から）

Ｈ－３号住居全景（西から）

Ｈ－３号住居カマド検出状況（西から）

Ｈ－４号住居確認状況（北西から）

Ｈ－５号住居全景（西から）

Ｈ－６・15号住居全景（西から）

Ｈ－７・13号住居全景（西から）

Ｈ－７号住居瓦出土状態（西から）

Ｈ－７号住居カマド検出状況（西から）

Ｈ－８号住居全景（西から）

Ｈ－８号住居カマド検出状況（西から）

Ｈ－10号住居全景（西から）

Ｈ－11号住居全景（西から）

Ｈ－11号住居カマド検出状況（西から）

Ｈ－11号住居カマド内遺物出土状態（西から）

H－11号住居カマド補強材構築状況（西から）

H－11号住居カマド袖補強材検出状況（北西から）

H－12号住居全景（西から）

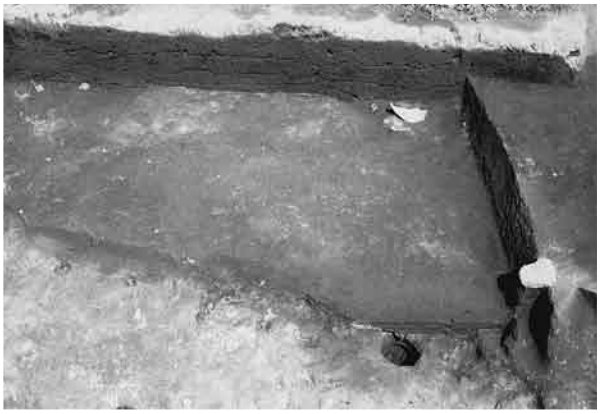
H－14号住居全景（西から）

H－16号住居全景（西から）

H－16号住居カマド内遺物出土状況（西から）

H－17号住居全景（北西から）

H－18号住居カマド検出状況（西から）



Ｈ－19号住居全景（西から）

Ｈ－20号住居全景（南から）

Ｈ－21号住居全景（西から）

Ｈ－22号住居全景（南東から）

Ｈ－23・27号住居全景（西から）

Ｈ－24号住居全景（西から）

Ｈ－25号住居全景（西から）

Ｈ－26号住居全景（西から）

Ｈ－28号住居全景（南西から）

Ｈ－28号住居カマド検出状況（南西から）

Ｈ－29号住居全景（北東から）

Ｈ－29号住居カマド検出状況（東から）

Ｈ－31号住居全景（西から）

Ｈ－31号住居カマド検出状況（西から）

Ｈ－32号住居全景（西から）

Ｈ－32号住居カマド検出状況

Ｈ－33号住居全景（西から）

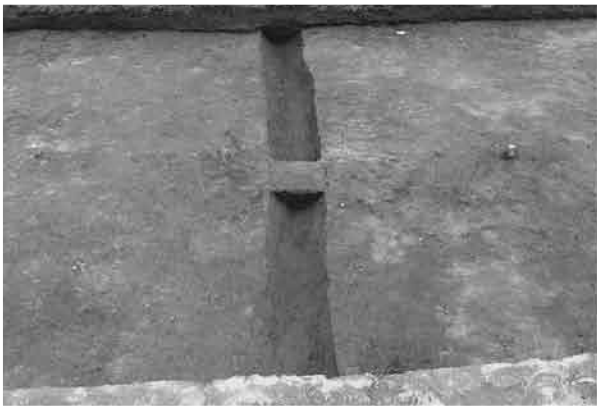
Ｈ－34号住居全景（南西から）

Ｂ－１掘立柱建物跡全景（西から）

Ｗ－１号溝全景（南東から）

Ｗ－２号溝南半全景（北西から）

Ｗ－２号溝土層断面（北から）



Ｗ－３号溝全景（西から）

Ｗ－４号溝全景（西から）

W－５号溝全景（南から）

W－６号溝全景（北から）

W－７号溝全景（北から）

W－８・10号溝全景（北西から）

W－９号溝全景（南西から）

D－５号土坑全景（西から）

D－12号土坑全景（西から）

D－14号土坑全景（北から）

元総社蒼海遺跡群(1)　3トレンチ

3トレンチ北全景（北から）

3トレンチ南全景（南から）

Ｈ－１号住居全景（北東から）

Ｈ－１号住居カマド検出状況

Ｈ－２号住居全景（南西から）

Ｈ－２号住居カマド検出状況（西から）

Ｗ－１号溝全景（北東から）

Ｗ－２号溝全景（東から）

Ｗ－３号溝全景（南東から）

Ｄ－１号土坑全景（西から）

元総社蒼海遺跡群(1)　４トレンチ

４トレンチ全景（西から）

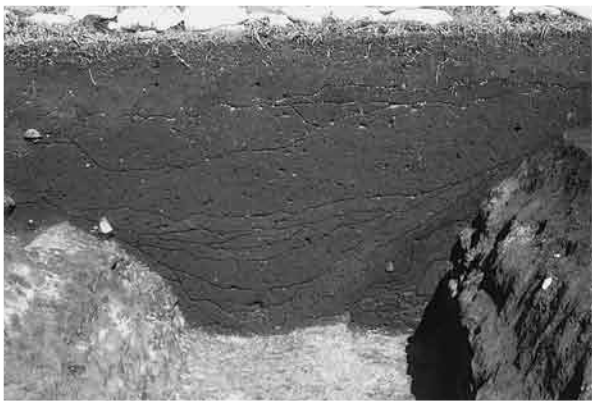
Ｗ－１・２・３号溝検出状況（東から）

Ｈ－１号住居全景（西から）

Ｈ－１号住居カマド検出状況（西から）

Ｈ－２号住居全景（西から）

Ｗ－１・２号溝全景（南から）



Ｗ－１・２号溝土層断面（南から）

Ｗ－３号溝全景（南東から）

Ｗ－３号溝全景（北西から）

Ｗ－３号溝土層断面（北から）

1トレ1（H－1） 1/3

1トレ2（H－1） 1/4

1トレ瓦1（A－1） 1/6

1トレ瓦2（A－1） 1/3

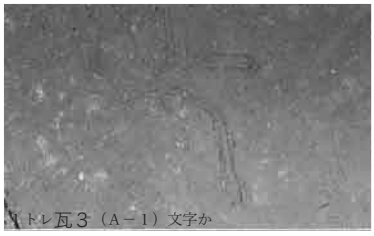
1トレ瓦4（A－2） 1/4

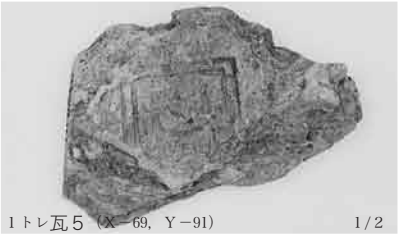
1トレ瓦6（表土） 1/2

1トレ瓦3（A－1）表 1/5

1トレ瓦3（A－1）裏 1/5

1トレ瓦7（表土） 1/2

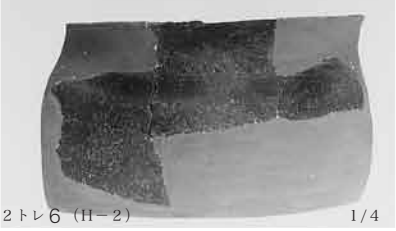

1トレ瓦3（A－1）文字か


1トレ瓦5（X－69, Y－91） 1/2

1トレ瓦5刻印

2トレ3（H－2） 1/4

2トレ4（H－2） 1/4


2トレ6（H－2） 1/4

2トレ7（H－3） 1/4

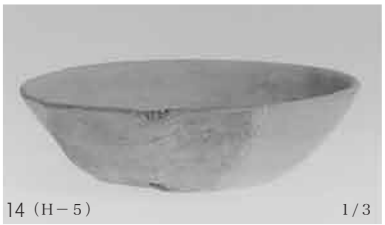
2トレ8（H－3） 1/4

2トレ9（H－3） 1/4

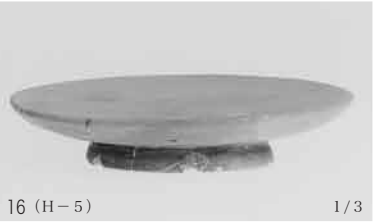
2トレ10（H－3） 1/4

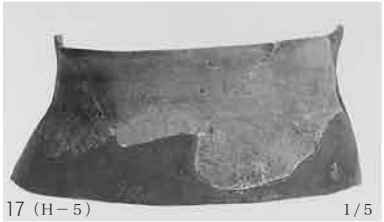
2トレ12（H－3） 1/4

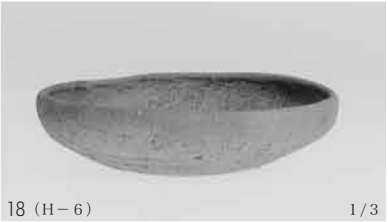
2トレ13（H－5） 1/4

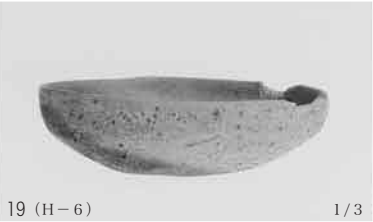

14（H－5） 1/3

15（H－5） 1/4


16（H－5） 1/3


17（H－5） 1/5


18（H－6） 1/3


19（H－6） 1/3

20（H－6） 1/4

21（H－6） 1/3

22（H－6） 1/3

23（H－6） 1/4

24（H－6） 1/3

25（H－6） 1/3

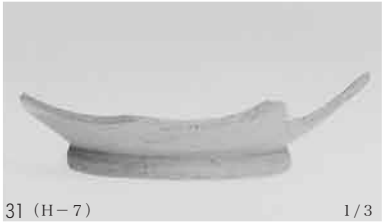
26（H－6） 1/3

27（H－6） 1/3

28（H－6） 1/4

29（H－7） 1/3

30（H－7） 1/4


31（H－7） 1/3

32（H－7） 1/4

33（H－7） 1/5

34（H－7） 1/5

35（H－7） 1/3

38（H－8） 1/3

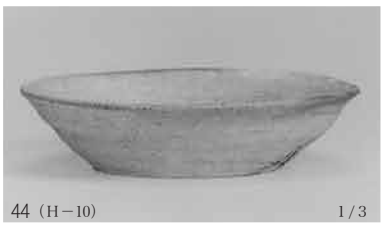
39（H－10） 1/3

40（H－10） 1/3

41（H－10） 1/5

42（H－10） 1/4

43（H－10） 1/3


44（H－10） 1/3

45（H－10） 1/4

46（H－10） 1/3

47（H－10） 1/3

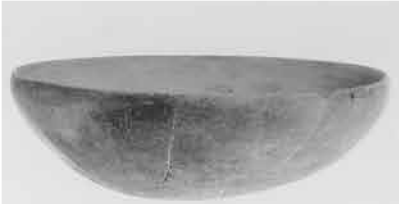
50（H－10） 1/3

48（H－10） 1/5

49（H－10） 1/4

51（H－11） 1/3

52（H－11） 1/3


53（H－11） 1/4

54（H－11） 1/4

55（H－11） 1/4

56（H－11） 1/3

57（H－11） 1/3

58（H－11） 1/3

59（H－11） 1/3

65（H－12） 1/3

63（H－11） 1/6

64（H－11） 1/5

70（H－16） 1/3

71（H－17） 1/3

72（H－17） 1/4

73（H－18） 1/4

74（H－18） 1/3

76（H－19） 1/5

75（H－19） 1/3

78（H－21） 1/3

79（H－21） 1/3

80（H－22） 1/4

82（H－23） 1/3

83（H－23） 1/3

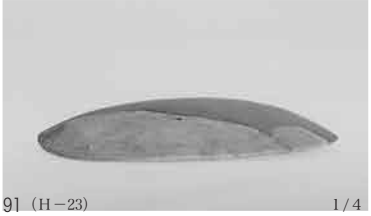
84（H－23） 1/3

87（H－23） 1/4

88（H－23） 1/4

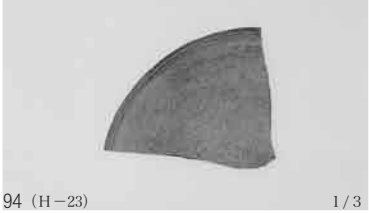
89（H－23） 1/3

90（H－23） 1/3

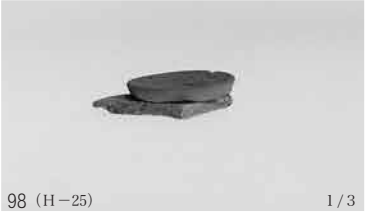

91（H－23） 1/4

92（H－23） 1/5

93（H－23） 1/3


94（H－23） 1/3

101（H－28） 1/5


98（H－25） 1/3

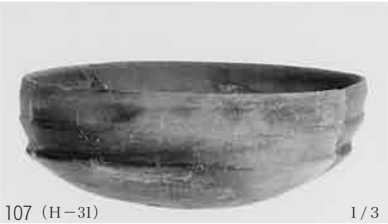
102（H－29） 1/3

100（H－28） 1/5

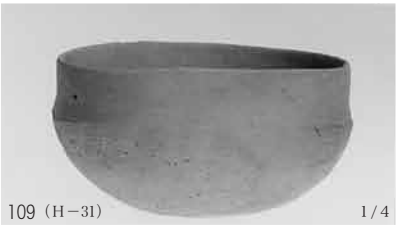
99（H－28） 1/5

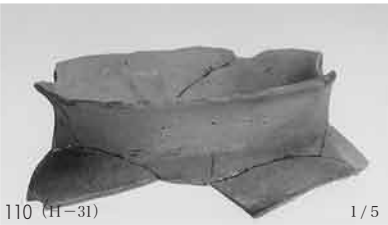
105 (H−31) 1/3

106 (H−31) 1/3


107 (H−31) 1/3

108 (H−31) 1/5


109 (H−31) 1/4


110 (H−31) 1/5

111 (H−31) 1/5

112 (H−32) 1/3

113 (H−32) 1/3

114 (H−32) 1/5

116 (H−33) 1/3

117 (H−33) 1/3

118 (H−33) 1/3

119 (H−33) 1/4

120 (H−33) 1/4

121 (H−33) 1/4

122 (H−33) 1/4

124 (H−34) 1/3

125 (H−34) 1/3

126 (H−34) 1/3

127（H－34） 1/3

128（H－34） 1/3

130（H－34） 1/3

131（B－1） 1/3

129（H－34） 1/4

132（W－2） 1/3

133（W－2） 1/3

134（W－5） 1/3

135（W－6） 1/3

136（A－2） 1/4

137（D－6） 1/4

138（X－94, Y－90） 1/4

瓦1（H－3） 1/5

瓦4（H－7）文字か記号

瓦5（H－7）文字

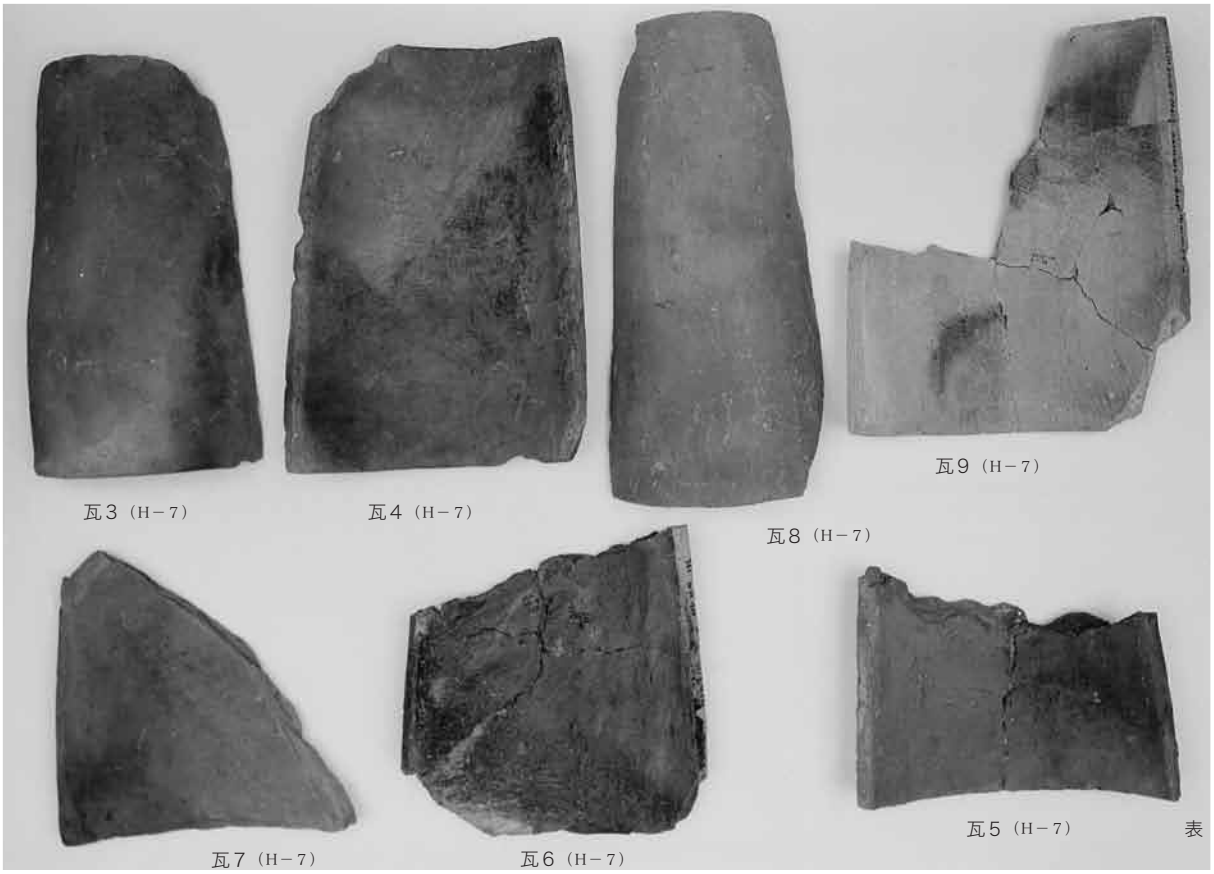
瓦6（H－7）文字

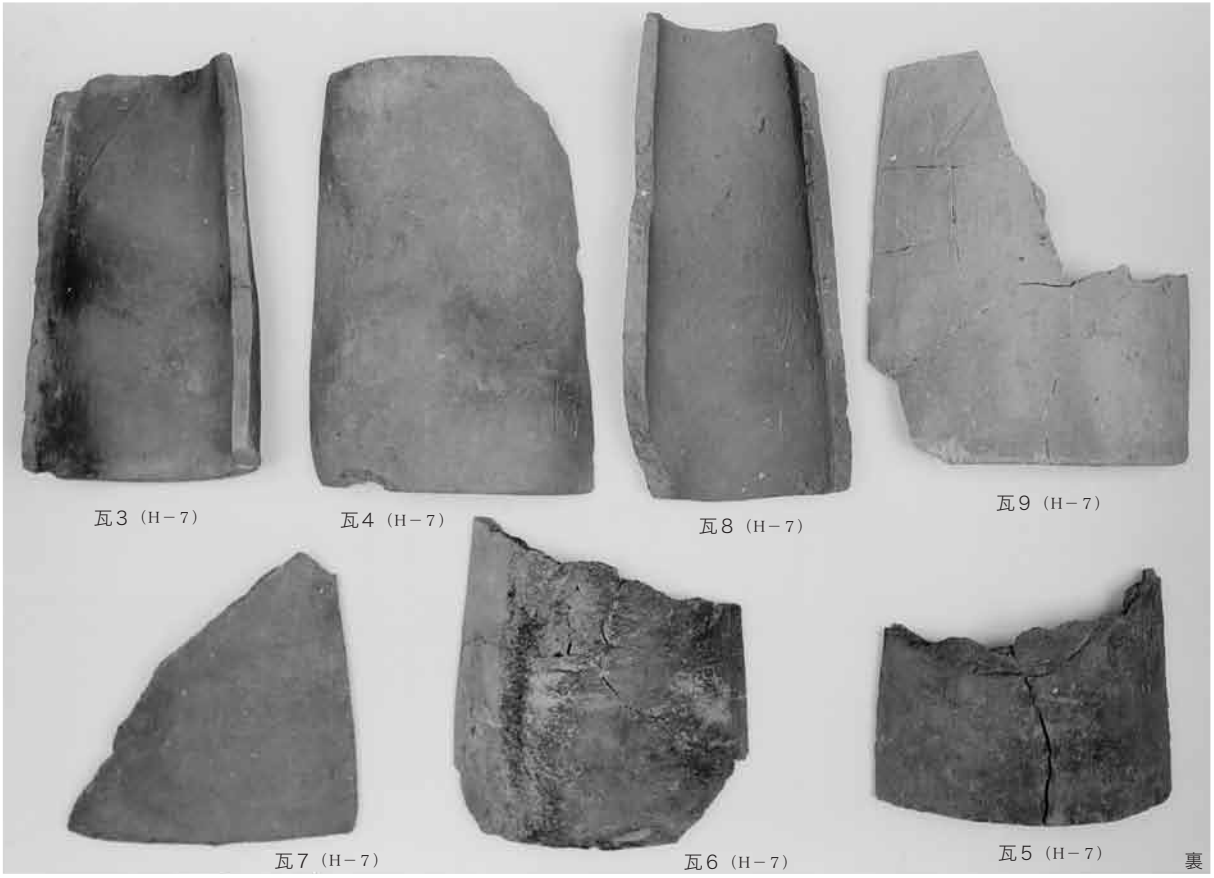
瓦14（H－7）刻印

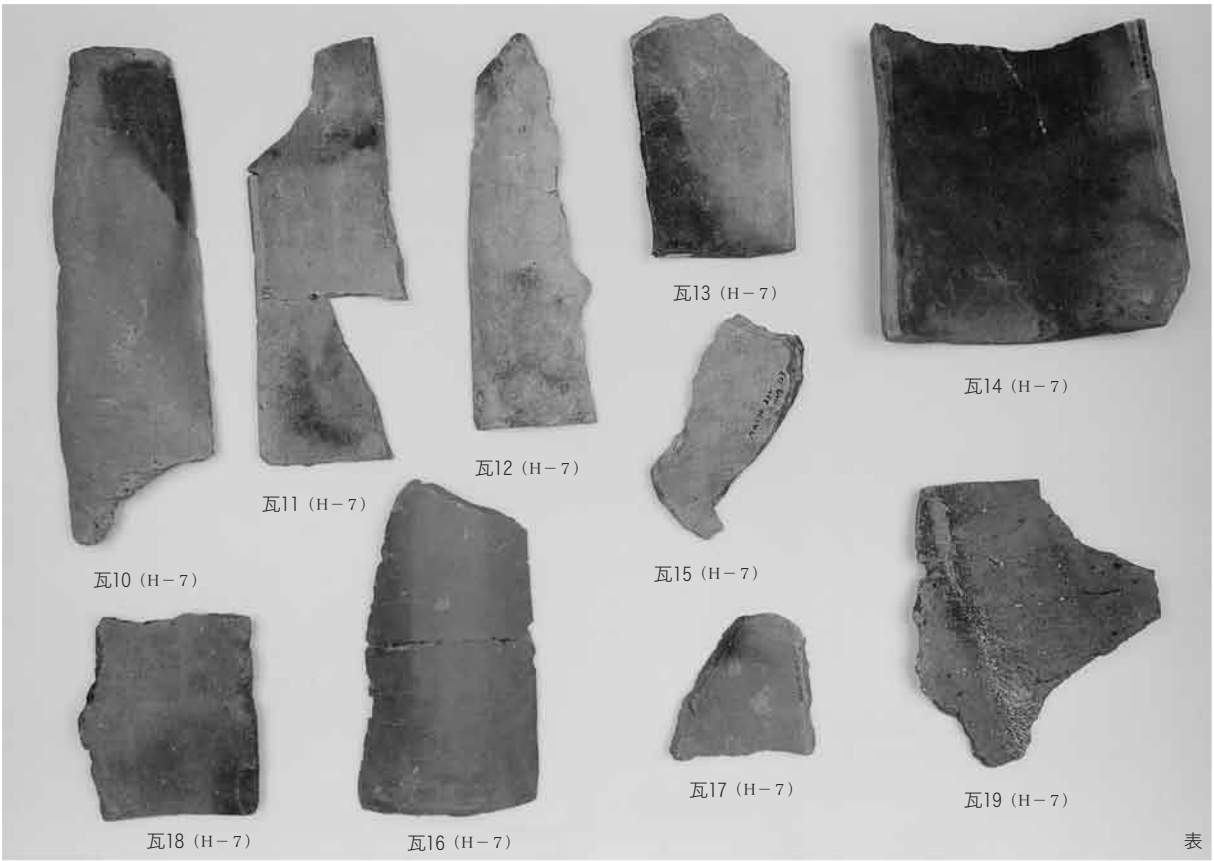
瓦2（H－7） 1/4

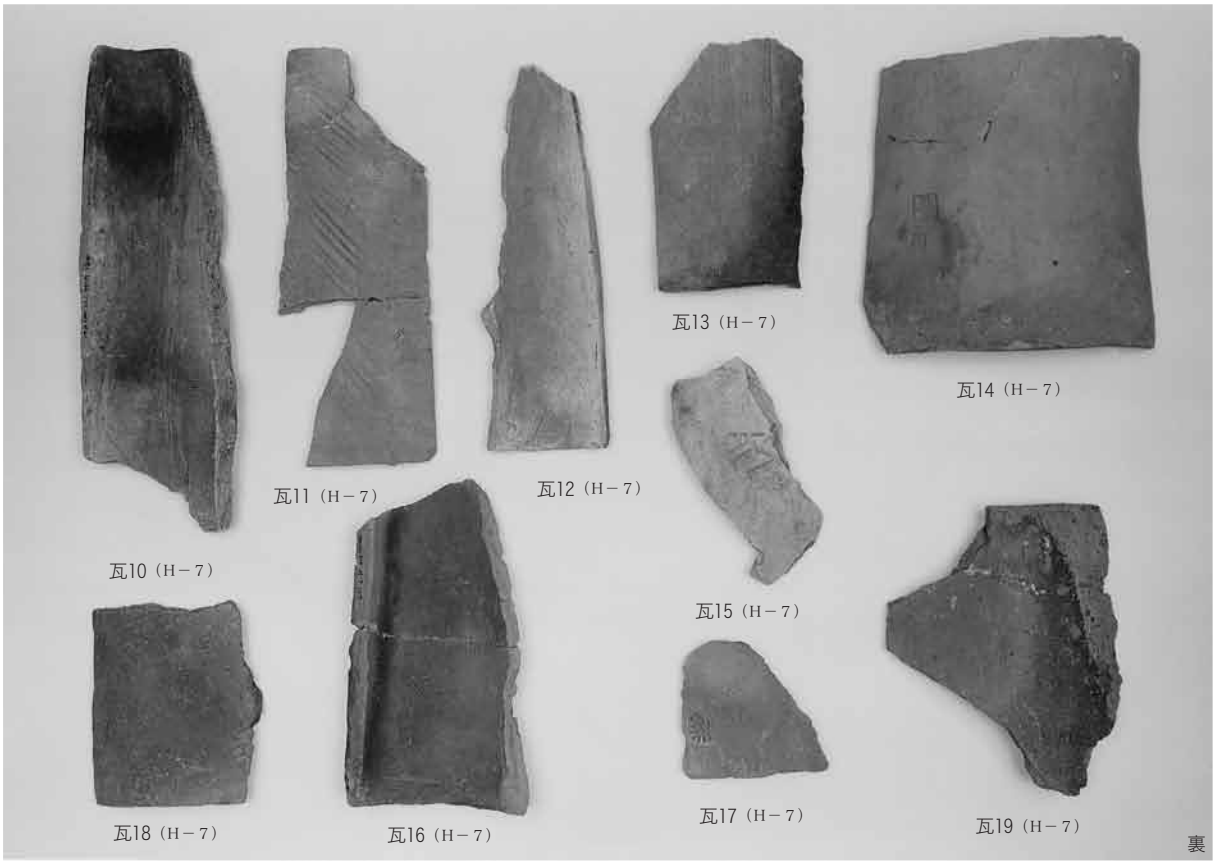
瓦15（H－7）文字

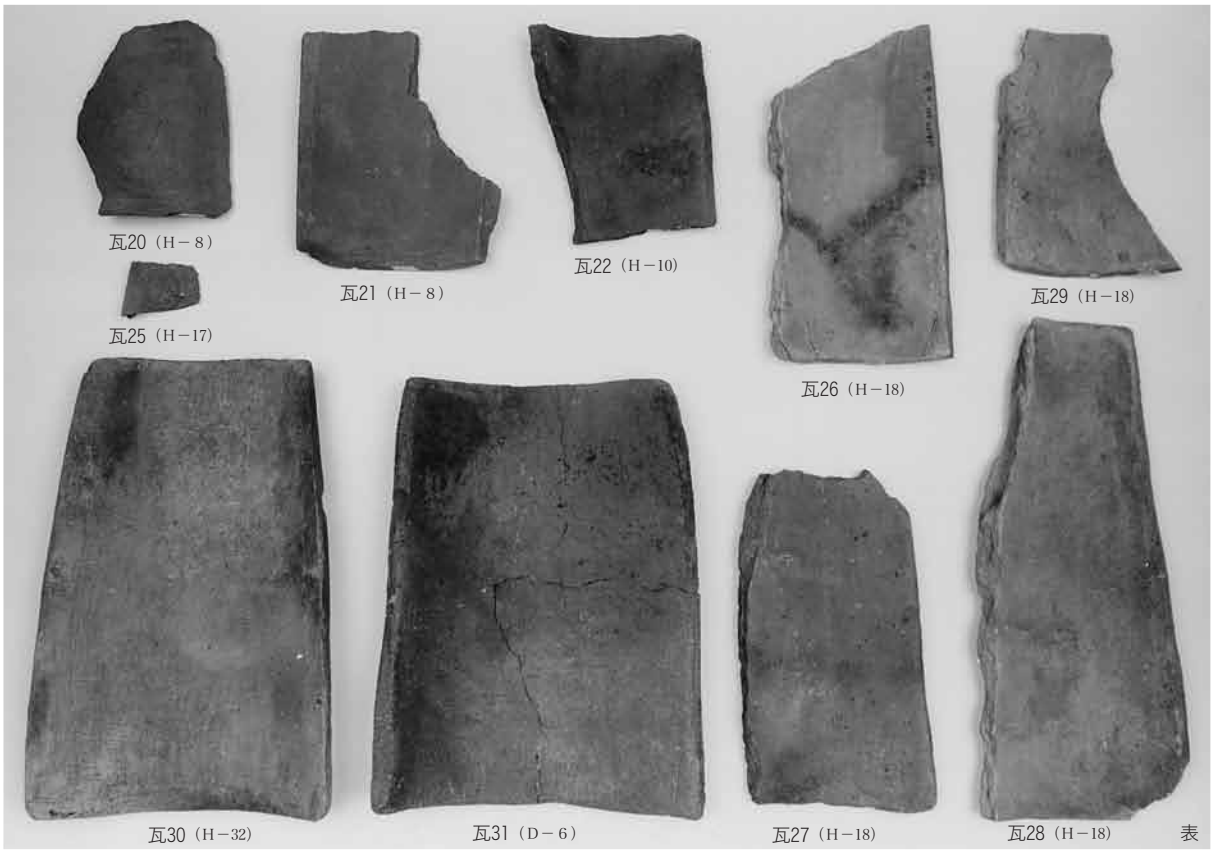
瓦17（H－7）刻印

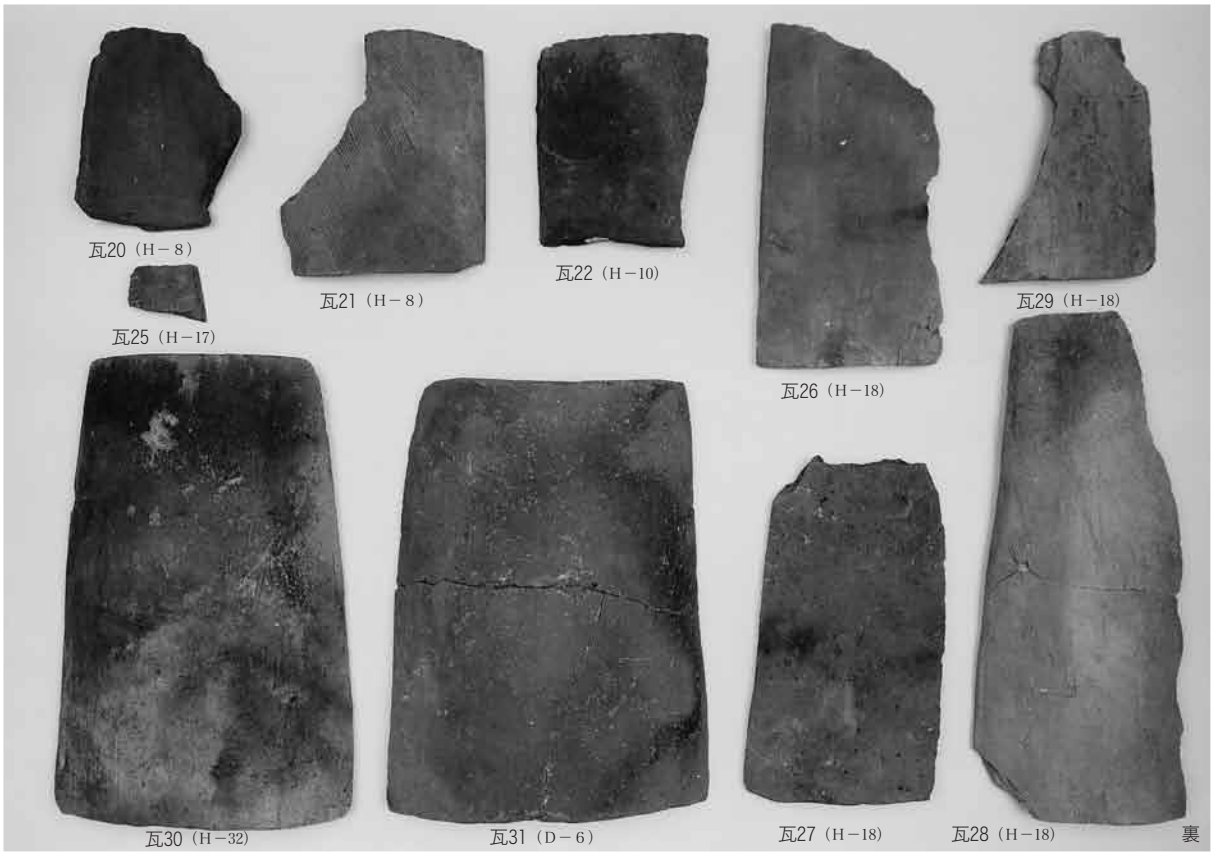

瓦3（H－7）
瓦4（H－7）
瓦8（H－7）
瓦9（H－7）
瓦7（H－7）
瓦6（H－7）
瓦5（H－7）
表


瓦3（H－7）
瓦4（H－7）
瓦8（H－7）
瓦9（H－7）
瓦7（H－7）
瓦6（H－7）
瓦5（H－7）
裏


瓦10（H－7）
瓦11（H－7）
瓦12（H－7）
瓦13（H－7）
瓦14（H－7）
瓦15（H－7）
瓦16（H－7）
瓦17（H－7）
瓦18（H－7）
瓦19（H－7）
表


瓦10（H－7）
瓦11（H－7）
瓦12（H－7）
瓦13（H－7）
瓦14（H－7）
瓦15（H－7）
瓦16（H－7）
瓦17（H－7）
瓦18（H－7）
瓦19（H－7）
裏

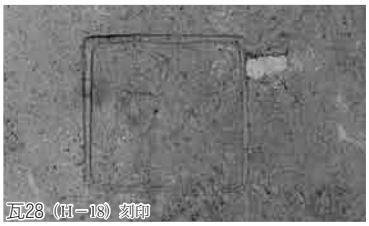

瓦20（H－8）
瓦21（H－8）
瓦22（H－10）
瓦29（H－18）
瓦25（H－17）
瓦26（H－18）
瓦30（H－32）
瓦31（D－6）
瓦27（H－18）
瓦28（H－18）
表


瓦20（H－8）
瓦21（H－8）
瓦22（H－10）
瓦29（H－18）
瓦25（H－17）
瓦26（H－18）
瓦30（H－32）
瓦31（D－6）
瓦27（H－18）
瓦28（H－18）
裏

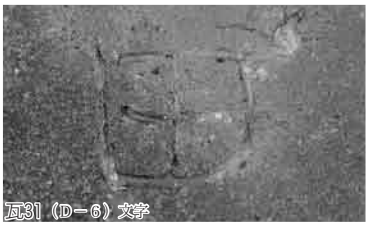
瓦23（H－11） 1/4

瓦24（H－16） 1/6

瓦25（H－17）文字


瓦28（H－18）刻印

瓦29（H－18）文字


瓦31（D－6）文字

特1（H－14）表 1/1

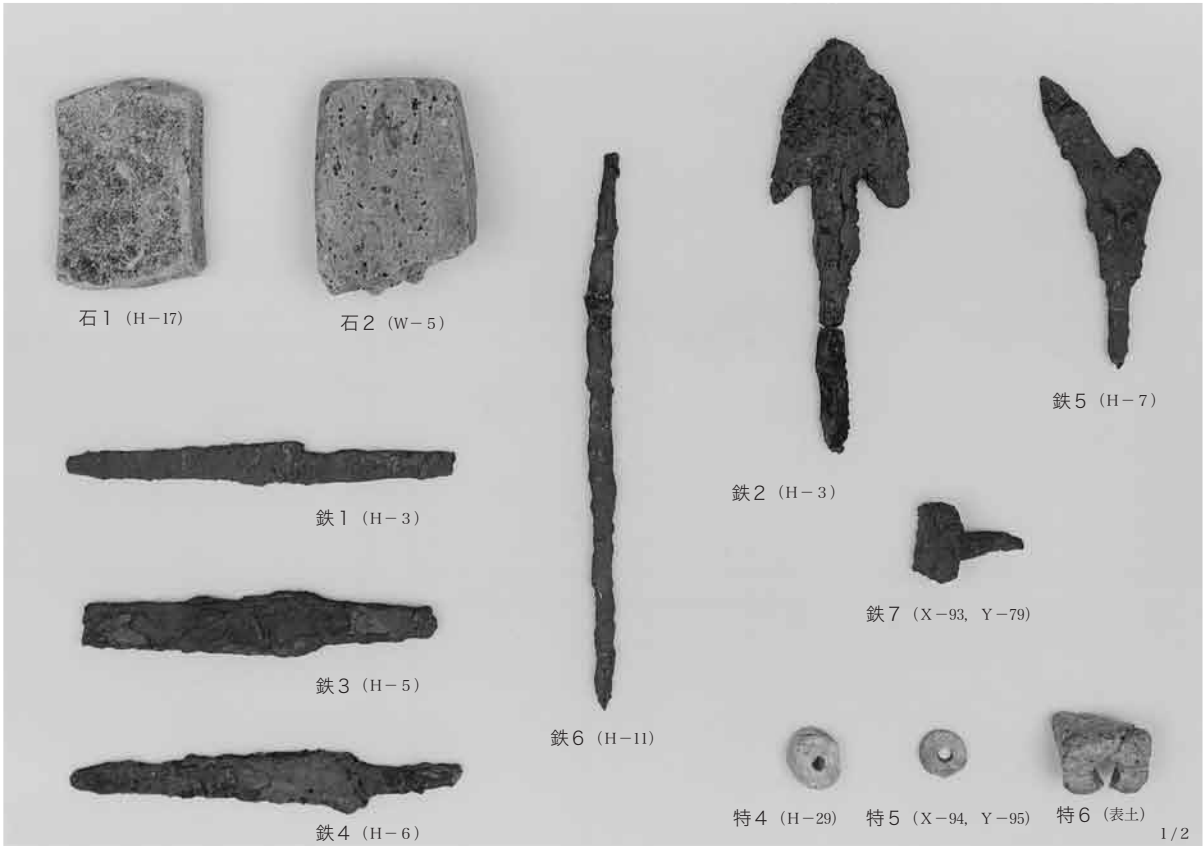
特1（H－14）裏 1/1

特3（H－11）表

特3裏 1/1

特2（表土）表 1/1

特2（表土）裏 1/1



3トレ1（H－1） 1/3

3トレ2（H－1） 1/4

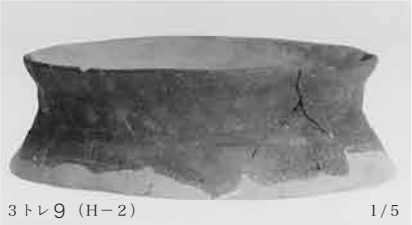
3トレ4（H－1） 1/5

3トレ3（H－1） 1/3

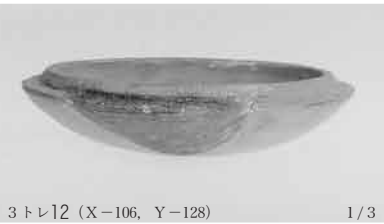
3トレ5（H－1） 1/5

3トレ6（H－2） 1/4

3トレ7（H－2） 1/3


3トレ9（H－2） 1/5

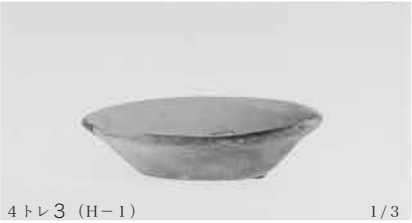
3トレ10（H－2） 1/3

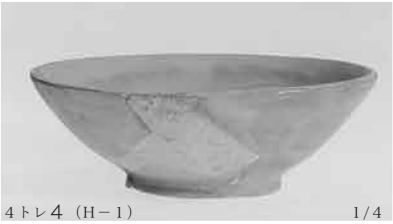

3トレ12（X－106, Y－128） 1/3

3トレ14（X－107, Y－127） 1/2

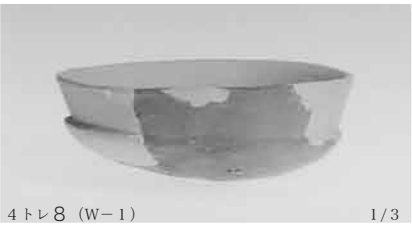
4トレ1（H－1） 1/3

4トレ2（H－1） 1/3


4トレ3（H－1） 1/3

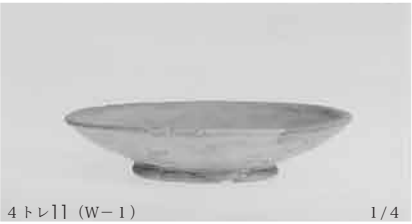

4トレ4（H－1） 1/4

4トレ6（H－2） 1/3


4トレ8（W－1） 1/3

4トレ9（W－1） 1/3

4トレ10（W－1） 1/3


4トレ11（W－1） 1/4

抄　　録

フ リ ガ ナ	モトソウジャオウミイセキグン１
書　　名	元総社蒼海遺跡群（１）
副 書 名	前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
巻　　次	
シ リ ー ズ 名	前橋市埋蔵文化財発掘調査団発掘調査報告書
シリーズ番号	
編 著 者 名	梅澤　克典・井上　登
編 集 機 関	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
編集機関所在地	〒371―0018　群馬県前橋市三俣町二丁目10―２
発 行 年 月 日	西暦2006年３月17日

フリガナ 所収遺跡名	フリガナ 所 在 地	コ ー ド		位　　置		調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	北　緯	東　経			
元総社蒼海遺跡群（１） （モトソウジャオウミイセキグン）	前橋市元総社町1743番地１ ほか （マエバシシ モトソウジャマチ）	10201	17A130 －１～４	36°23′38″	139°01′45″	20050516 ～ 20051219	約1,263㎡	前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業

所収遺跡名	種別	主な時代	主 な 遺 構	主 な 遺 物	特記事項
元総社蒼海遺跡群（１）	集落跡	古墳	竪穴住居４軒　他	土師器、須恵器等	な　し
		奈良・平安	竪穴住居跡32軒、掘建柱建物跡２棟、溝跡11条　他	土師器、須恵器、鉄器、石製品、瓦等	な　し
		中世以降	溝跡７条	かわらけ、陶磁器片等	蒼海城関連堀跡

元総社蒼海遺跡群（１）

2006年２月24日　印　刷
2006年３月17日　発　行

編集発行　前橋市埋蔵文化財発掘調査団
前橋市三俣町二丁目10―２
TEL　027―231―9531
印 刷 所　朝日印刷工業株式会社